

山口県立大学大学院 活動実績報告書

地域と共に20年

公立大学法人 山口県立大学大学院

国際文化学研究科

健康福祉学研究科



目 次

はじめに	3
大学院の概要	4
大学院の目的	4
大学院の組織構成	4
大学と大学院の沿革	5
研究科・専攻の変遷	5
教育研究分野(科目)と担当教員の変遷	6
国際文化学研究科	6
健康福祉学研究科	29
人材育成の実績	76
在籍者数の推移	76
学位論文一覧	80
国際文化学研究科	80
健康福祉学研究科	93
研究・創作の業績	115
論文一覧	115
大学院主催の活動等	145
山口国際文化学会	145
国際文化学研究科文化コーディネート論シンポジウム	154
健康福祉学研究会	172
大学院合同研究会	179
大学院オープンキャンパス	192
おわりに	201

はじめに

大学院開設 20 年目を迎えて

ミレニアム(千年紀)という時代の節目を直前に控え、人々が新たな時代に突入するという期待に大きく胸を膨らませる中、山口県立大学は1999(平成11)年4月に大学院(修士課程)をスタートさせました。国際文化学研究科(国際文化学専攻)、健康福祉学研究科(健康福祉学専攻・生活健康科学専攻)という2つの研究科を備え、多くの教授陣をそろえた充実した科目配置と研究指導により、社会人、留学生、学部からの進学生など数多くの方々を地域社会のリーダーとして輩出してまいりました。

さらに、2006(平成18)年4月には大学が法人化され、公立大学法人山口県立大学となるとともに、大学院においても健康福祉学研究科に博士後期課程を開設し、健康福祉学研究科健康福祉学専攻(博士前期課程・博士後期課程)へと形を変えました。博士課程の創設にあたっては著名な教授陣を迎え入れ、一層充実した教育研究が展開されることとなりました。国際文化学研究科においても、2007(平成19)年から地域に開かれた国際文化学会を継続的に開催し、100回を超えるまでになりました。

この度、開設20年目という大きな節目を迎えるにあたり、20年の歴史を振り返って主要な記録をまとめる中、発足当初にご尽力された諸先輩方、また、多くの教授陣のもとで学び研究成果をあげられた修了生のみなさまのお顔が浮かんで参ります。南キャンパスにあった大学院棟を懐かしく思われる方々も多いと思いますが、現在は北キャンパスに最新の施設が整備されています。

20年の始まりとなった礎を思い、20年という時間の流れを追いつつ、変化する時代や社会、地域に貢献できる大学院像を描くためにも、この記録は大切にされるべきと感じております。ここに拾うことができなかった多くの方々の思いは、2019(令和元)年9月に開催する大学院オープンキャンパスで実施する交流会において、またさらには、近い将来に別の形で集めて参りたいと存じます。

ひとまずは、ここに20年の記録の一部をまとめて報告し、県民のみなさまや関係者の方々への心からの御礼を申し上げます。

令和元年9月4日

国際文化学研究科 研究科長 岩野雅子
健康福祉学研究科 研究科長 吉村耕一

大学院の概要

大学院の目的

山口県立大学は、山口県唯一の「県立大学」として、「人間性の尊重」、「生活者の視点の重視」、「地域社会との共生」、「国際化への対応」の4つを教育理念として掲げ、地域の要望に応えることができる「地域貢献型大学」として、県民の健康や文化の分野で専門的教育と研究を行い、優れた人材や研究成果を還元し、高い評価が得られる事を目指しています。

山口県立大学は、地域における知の拠点として、住民の健康の増進及び個性豊かな地域文化の進展に資する専門の学術を深く教授研究するとともに、高度な知識及び技能を有する人材の育成並びに研究成果の社会への還元による地域貢献活動を積極的に展開し、もって人々が生き生きと暮らす社会の形成に資することを目的としています。

これらの大学の目的のもと、山口県立大学大学院は、国際文化並びに健康福祉にかかわる理論的及び応用的な教育研究を通して、高度な専門的能力を備えた人材の育成を目指しています。

大学院の組織構成

山口県立大学大学院は、次のような研究科及び専攻からなっています。

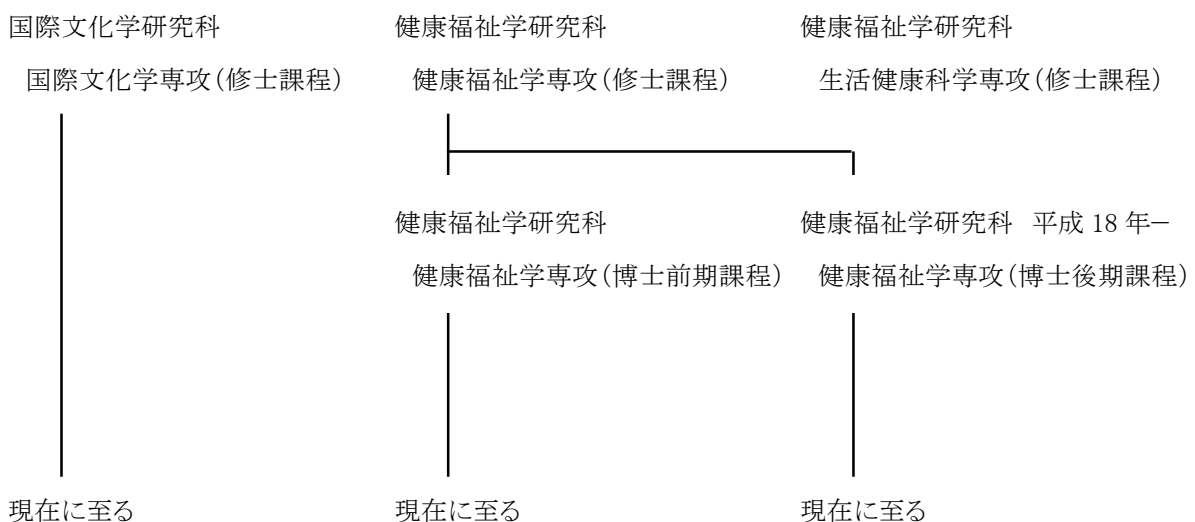


大学と大学院の沿革

昭和 16 年	1941 年	山口県立女子専門学校開学
昭和 25 年	1950 年	山口女子短期大学開学
昭和 50 年	1975 年	山口女子大学開学
平成 8 年	1996 年	大学名称を山口県立大学に変更
平成 11 年	1999 年	山口県立大学大学院(修士課程)開設 国際文化学研究科 国際文化学専攻 健康福祉学研究科 健康福祉学専攻・生活健康科学専攻
平成 18 年	2006 年	公立大学法人山口県立大学へ設置者を変更 山口県立大学大学院(博士後期課程課程)開設 健康福祉学研究科 健康福祉学専攻
平成 31 年	2019 年	大学院 20 周年

研究科・専攻の変遷

山口県立大学大学院 平成 11 年ー



教育研究分野(科目)と担当教員の変遷

国際文化学研究科 平成 11 年 1999 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際社会系)		
政治学・比較政治論	教 授 衣笠 哲生	○ 福岡県の労働組合運動 ○ 戦後福岡県政と県民各層とのかかわり
経済学	教 授 松井 範惇	○ 経済発展の過程分析
文化人類学論	教 授 安野 早己	○ 西ネパールの憑依カルトの人類学的研究
アメリカ外交史	教 授 近藤 淳子	○ 20 世紀のアメリカ外交
中国経済論	教 授 折戸 洪太	○ 改革・開放政策下の中国の経済・社会の変化 ○ 中国の社会主義経済理論における”スターリン”
ロシア外交 東北アジア地域研究	助教授 岩下 明裕	○ ロシア・中国関係の現在 ○ ロシア国際邦楽と CIS
(生活文化系)		
生態人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと沖縄の島々における自然と人の関係と 共存の可能性
空間設計学	教 授 高瀬 忠重	○ 都市デザイン史 ○ 都市、建築の計画・設計 ○ 町づくり、町並の修復
日本史(中世)	教 授 国守 進	○ 中世における政治・社会史 ○ 古文書研究
生活文化論	教 授 猪又 徹	○ マヤーラカンドン族の社会構造 ○ 造形学
芸術文化	教 授 岩田 弥富	○ 日本文化(住居・衣服)研究
服飾美学 服飾デザイン論	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作 研究
(国際教育系)		
インド哲学	教 授 戸崎 宏正	○ 仏教認識論研究 ○ ミーマンサー学派の認識論研究
教育哲学 比較教育学	教 授 酒井 ツギ子	○ 現代のポスト・モダンにおける教育哲学 ○ 戦後イタリアの社会・文化・教育(特に大学教育) 改革
教育制度教育法学	教 授 門前 貞三	○ フランスの教育制度研究
教育社会学	教 授 相原 次男	○ 新生ロシアと旧ソ連における青年の学歴志向の 比較考察 ○ 個性教育の可能性
(言語社会系)		
英語学・中世英文学	教 授 下笠 徳次	○ チョーサーの脚韻語と尾韻ロマンスの脚韻語と の比較 ○ ルイス・キャロルの言語研究
英文学	教 授 平井 隆	○ ローマ古典の英訳研究 ○ 西欧近代の認識のあり方研究
日本古代語	教 授 武市 眞弘	○ 日本古代語の研究 ○ 上代文献の音韻・漢字表記研究

日本近世文学	教 授 鳥越 文蔵	○ 日本芸能史 ○ 日本近世文学 ○ 近松門左衛門
英文学	教 授 松田 理	○ ディケンズ及びシェイクスピア研究
日本中古文学 (和歌文学)	教 授 熊本 守雄	○ 歌僧の研究 ○ 源氏物語古注の研究
中国言語学	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究
言語学 朝鮮語学	教 授 田村 宏	○ 中期朝鮮語の表記と音韻体系との関係 ○ 中期朝鮮語の形態論

国際文化学研究科 平成 12 年 2000 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際社会系)		
政治学・比較政治論	教 授 衣笠 哲生	○ 福岡県の労働組合運動 ○ 戦後福岡県政と県民各層とのかかわり
経済学	教 授 松井 範惇	○ 経済発展の過程分析
文化人類学論	教 授 安野 早己	○ 西ネパールの憑依カルトの人類学的研究
アメリカ外交史	教 授 近藤 淳子	○ 20 世紀のアメリカ外交
中国経済論	教 授 折戸 洪太	○ 改革・開放政策下の中国の経済・社会の変化 ○ 中国の社会主義経済理論における”スターリン”
ロシア外交 東北アジア地域研究	助教授 岩下 明裕	○ ロシア・中国関係の現在 ○ ロシア国際邦楽と CIS
(生活文化系)		
生態人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと沖縄の島々における自然と人の関係と 共存の可能性
空間設計学	教 授 高瀬 忠重	○ 都市デザイン史 ○ 都市、建築の計画・設計 ○ 町づくり、町並の修復
日本史(中世)	教 授 国守 進	○ 中世における政治・社会史 ○ 古文書研究
生活文化論	教 授 猪又 徹	○ マヤーラカンドン族の社会構造 ○ 造形学
芸術文化	教 授 岩田 弥富	○ 日本文化(住居・衣服)研究
服飾美学 服飾デザイン論	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作 研究
(国際教育系)		
インド哲学	教 授 戸崎 宏正	○ 仏教認識論研究 ○ ミーマンサー学派の認識論研究
教育哲学 比較教育学	教 授 酒井 ツギ子	○ 現代のポスト・モダンにおける教育哲学 ○ 戦後イタリアの社会・文化・教育(特に大学教育) 改革
教育制度教育法学	教 授 門前 貞三	○ フランスの教育制度研究

教育社会学	教 授 相原 次男	○ 新生ロシアと旧ソ連における青年の学歴志向の比較考察 ○ 個性教育の可能性
(言語社会系)		
英語学・中世英文学	教 授 下笠 徳次	○ チョーサーの脚韻語と尾韻ロマンスの脚韻語との比較 ○ ルイス・キャロルの言語研究
英文学	教 授 平井 隆	○ ローマ古典の英訳研究 ○ 西欧近代の認識のあり方研究
日本古代語	教 授 武市 眞弘	○ 日本古代語の研究 ○ 上代文献の音韻・漢字表記研究
日本近世文学	教 授 鳥越 文蔵	○ 日本芸能史 ○ 日本近世文学 ○ 近松門左衛門
英文学	教 授 松田 理	○ ディケンズ及びシェイクスピア研究
日本中古文学 (和歌文学)	教 授 熊本 守雄	○ 歌僧の研究 ○ 源氏物語古注の研究
中国言語学	教 授 馬 鳳 如	○ 日中両国語の比較研究
言語学 朝鮮語学	教 授 田村 宏	○ 中期朝鮮語の表記と音韻体系との関係 ○ 中期朝鮮語の形態論

国際文化学研究科 平成 13 年 2001 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際社会系)		
政治学・比較政治論	助教授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
文化人類学論	教 授 安野 早己	○ 西ネパールの憑依カルトの人類学的研究
アメリカ外交史	教 授 近藤 淳子	○ 20 世紀のアメリカ外交史
中国経済論	教 授 折戸 洪太	○ 改革・開放政策下の中国の経済・社会の変化 ○ 中国の社会主義経済理論における”スターリン”
ロシア外交 東北アジア地域研究	助教授 岩下 明裕	○ ロシア・中国関係の現在 ○ ロシア国際邦楽と CIS
(生活文化系)		
生態人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと沖縄の島々における自然と人の関係と共存の可能性
空間設計学	教 授 高瀬 忠重	○ 都市デザイン史 ○ 都市、建築の計画・設計 ○ 町づくり、町並の修復
生活文化論	教 授 猪又 徹	○ マヤーラカンドン族の社会構造 ○ 造形学
服飾美学 服飾デザイン論	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作研究
(国際教育系)		
人間論	教 授 片山 弘基	○ 現象学研究 ○ 現代文化論研究

教育哲学 比較教育学	教 授 酒井 ツギ子	○ 現在のポスト・モダンにおける教育哲学 ○ 戦後イタリアの社会・文化・教育(特に大学教育)改革
比較女性史	教 授 三宅 義子	○ 日本近代女性史研究 ○ ジェンダー論
教育社会学	教 授 相原 次男	○ 新生ロシアと旧ソ連における青年の学歴志向の比較考察 ○ 個性教育の可能性
(言語社会系)		
英語学・中世英文学	教 授 下笠 徳次	○ チョーサーの脚韻語と尾韻ロマンスの脚韻語との比較 ○ ルイス・キャロルの言語研究
英文学	教 授 平井 隆	○ ローマ古典の英訳研究 ○ 西欧近代の認識のあり方の研究
日本古代語	教 授 武市 眞弘	○ 日本古代語の研究 ○ 上代文献の音韻・漢字表記研究
日本近世文学	教 授 鳥越 文蔵	○ 日本芸能史 ○ 日本近世文学 ○ 近松門左衛門
英文学	教 授 松田 理	○ ディケンズ及びシェークスピア研究
日本中古文学 (和歌文学)	教 授 熊本 守雄	○ 歌僧の研究 ○ 源氏物語古注の研究
中国言語学	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究

国際文化学研究科 平成 14 年 2002 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際社会系)		
政治学・比較政治論	助教授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
文化人類学論	教 授 安野 早己	○ 西ネパールの憑依カルトの人類学的研究
アメリカ外交史	教 授 近藤 淳子	○ 20 世紀のアメリカ外交
中国経済論	教 授 折戸 洪太	○ 改革・開放政策下の中国の経済・社会の変化 ○ 中国の社会主義経済理論における”スターリン”
ロシア外交 東北アジア地域研究	助教授 岩下 明裕	○ ロシア・中国関係の現在 ○ ロシア国際邦楽と CIS
(生活文化系)		
生態人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと沖縄の島々における自然と人の関係と共存の可能性
空間設計学	教 授 高瀬 忠重	○ 都市デザイン史 ○ 都市、建築の計画・設計 ○ 町づくり、町並の修復
生活文化論	教 授 猪又 徹	○ マヤーラカンドン族の社会構造 ○ 造形学
服飾美学 服飾デザイン論	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作研究

プロダクトデザイン	助教授 井生 文隆	○ 生活用品の造形 ○ 環境の為に素材を活用したデザインの研究
(国際教育系)		
人間論	教 授 片山 弘基	○ 現象学研究 ○ 現代文化論研究
教育哲学 比較教育学	教 授 酒井 ツギ子	○ 現在のポスト・モダンにおける教育哲学 ○ 戦後イタリアの社会・文化・教育(特に大学教育)改革
比較女性史	教 授 三宅 義子	○ 日本近代女性史研究 ○ ジェンダー論
教育社会学	教 授 相原 次男	○ 新生ロシアと旧ソ連における青年の学歴志向の比較考察 ○ 個性教育の可能性
(言語社会系)		
英語学・中世英文学	教 授 下笠 徳次	○ チョーサーの脚韻語と尾韻ロマンスの脚韻語との比較 ○ ルイス・キャロルの言語研究
英文学	教 授 平井 隆	○ ローマ古典の英訳研究 ○ 西欧近代の認識のあり方の研究
日本古代語	教 授 武市 眞弘	○ 日本古代語の研究 ○ 上代文献の音韻・漢字表記研究
日本中世文学 (能・狂言)	教 授 稲田 秀雄	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 狂言作品研究
英文学	教 授 松田 理	○ ディケンズ及びシェイクスピア研究
日本中世文学 (和歌文学)	教 授 熊本 守雄	○ 歌僧の研究 ○ 源氏物語古注の研究
中国言語学	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究

国際文化学研究科 平成 15 年 2003 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際社会系)		
政治学・比較政治論	助教授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
文化人類学論	教 授 安野 早己	○ 西ネパールの憑依カルトの人類学的研究
アメリカ外交史	教 授 近藤 淳子	○ 20 世紀のアメリカ外交史 ○ 戦後日米中関係
中国経済論	教 授 折戸 洪太	○ 改革・開放政策下の中国の経済・社会の変化 ○ 中国の社会主義経済理論における”スターリン”
国際関係論	助教授 小川 秀樹	○ 国際関係におけるエスニシティ ○ 現在世界における紛争と開発
(生活文化系)		
生態人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと沖縄の島々における自然と人の関係と共存の可能性
生活文化論	教 授 猪又 徹	○ マヤーラカンドン族の社会構造 ○ 造形学

服飾美学 服飾デザイン論	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作研究
プロダクトデザイン	助教授 井生 文隆	○ 生活用品の造形 ○ 環境の為の素材を活用したデザインの研究
地域文化史	助教授 伊藤 幸司	○ 中世日本と東アジア ○ 九州・山口地域の中世史
(国際教育系)		
人間論	教 授 片山 弘基	○ 現象学研究 ○ 現代文化論研究
比較女性史	教 授 三宅 義子	○ 日本近代女性史研究 ○ ジェンダー論
教育社会学	教 授 相原 次男	○ 新生ロシアと旧ソ連における青年の学歴志向の比較考察 ○ 個性教育の可能性
臨床心理学	教 授 赤羽 潔	○ 青少年の自己形成・自己再編過程研究 ○ 子ども集団づくり研究
人権教育論(歴史社会学)	助教授 李 修京	○ 国際社会における様々な社会問題や人権問題研究 ○ 日韓関係を含む東アジアの社会研究
(言語社会系)		
英語学・中世英文学	教 授 下笠 徳次	○ チョーサーの脚韻語と尾韻ロマンスの脚韻語との比較 ○ ルイス・キャロルの言語研究
日本古代語	教 授 武市 眞弘	○ 日本古代語の研究 ○ 上代文献の音韻・漢字表記研究
日本中世文学 (能・狂言)	教 授 稲田 秀雄	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 狂言作品研究
英文学	教 授 松田 理	○ ディケンズ及びシェークスピア研究
日本中古文学 (和歌文学)	教 授 熊本 守雄	○ 歌僧の研究 ○ 源氏物語古注の研究
中国言語学	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究 ○ 中国官話方言の研究

国際文化学研究科 平成 16 年 2004 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際社会系)		
政治学・比較政治論	助教授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
社会人類学論	教 授 安野 早己	○ 西ネパールの憑依カルトの人類学的研究
アメリカ外交史	教 授 近藤 淳子	○ 20 世紀のアメリカ外交史 ○ 戦後日米中関係
中国経済論	教 授 折戸 洪太	○ 改革・開放政策下の中国の経済・社会の変化 ○ 中国の社会主義経済理論における”スターリン”
国際関係論	助教授 小川 秀樹	○ 国際関係におけるエスニシティ ○ 現在世界における紛争と開発

(生活文化系)		
生態人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと沖縄の島々における自然と人の関係と 共存の可能性
生活文化論	教 授 猪又 徹	○ マヤーラカンドン族の社会構造 ○ 造形学
服飾美学 服飾デザイン論	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作 研究
プロダクトデザイン	助教授 井生 文隆	○ 生活用品の造形 ○ 環境の為の素材を活用したデザインの研究
地域文化史	助教授 伊藤 幸司	○ 中世日本と東アジア ○ 九州・山口地域の中世史
(国際教育系)		
人間論	教 授 片山 弘基	○ 現象学研究 ○ 現代文化論研究
比較女性史	教 授 三宅 義子	○ 日本近代女性史研究 ○ ジェンダー論
教育社会学	教 授 相原 次男	○ 新生ロシアと旧ソ連における青年の学歴志向の 比較考察 ○ 個性教育の可能性
臨床心理学	教 授 赤羽 潔	○ 青少年の自己形成・自己再編過程研究 ○ 子ども集団づくり研究
人権教育論(歴史社 会学)	助教授 李 修京	○ 国際社会における様々な社会問題や人権問題 研究 ○ 日韓関係を含む東アジアの社会研究
(言語社会系)		
英語学・中世英文学	教 授 下笠 徳次	○ チョーサーの脚韻語と尾韻ロマンスの脚韻語と の比較 ○ ルイス・キャロルの言語研究
日本古代語	教 授 武市 眞弘	○ 日本古代語の研究 ○ 上代文献の音韻・漢字表記研究
日本中世文学 (能・狂言)	教 授 稲田 秀雄	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 狂言作品研究
英文学	教 授 松田 理	○ ディケンズ及びシェークスピア研究
日本中古文学 (和歌文学)	教 授 熊本 守雄	○ 歌僧の研究 ○ 源氏物語古注の研究
中国言語学	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究 ○ 中国官話方言の研究

国際文化学研究科 平成 17 年 2005 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際社会系)		
政治学・比較政治論	助教授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
社会人類学論	教 授 安野 早己	○ 西ネパールの憑依カルトの人類学的研究
アメリカ外交史	教 授 近藤 淳子	○ 20 世紀の戦争と平和の概念 ○ 戦後アメリカ外交史

中国経済論	教 授 折戸 洪太	○ 改革・開放政策下の中国の経済・社会の変化 ○ 中国の社会主義経済理論における”スターリン”
国際関係論	助教授 小川 秀樹	○ 国際関係におけるエスニシティ ○ 現在世界における紛争と開発
(生活文化系)		
生態人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと沖縄の島々における自然と人の関係と 共存の可能性
生活文化論	教 授 猪又 徹	○ マヤーラカンドン族の社会構造 ○ 造形学
服飾美学 服飾デザイン論	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作 研究
プロダクトデザイン	助教授 井生 文隆	○ 生活用品の造形 ○ 環境の為の素材を活用したデザインの研究
地域文化史	助教授 伊藤 幸司	○ 中世日本と東アジア ○ 九州・山口地域の中世史
(国際教育系)		
比較女性史	教 授 三宅 義子	○ 日本近代女性史研究 ○ ジェンダー論
教育社会学	教 授 相原 次男	○ 新生ロシアと旧ソ連における青年の学歴志向の 比較考察 ○ 個性教育の可能性
臨床心理学	教 授 赤羽 潔	○ 青少年の自己形成・自己再編過程研究 ○ 子ども集団づくり研究
人間論	助教授 鈴木 隆泰	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性
(言語社会系)		
英語学・中世英文学	教 授 下笠 徳次	○ チョーサーの脚韻語と尾韻ロマンスの脚韻語と の比較 ○ ルイス・キャロルの言語研究
日本古代語	教 授 武市 眞弘	○ 日本古代語の研究 ○ 上代文献の音韻・漢字表記研究
日本中世文学 (能・狂言)	教 授 稲田 秀雄	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 狂言作品研究
英文学	教 授 松田 理	○ デイクンズ及びシェークスピア研究
中国言語学	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究 ○ 中国官話方言の研究

国際文化学研究科 平成 18 年 2006 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際社会系)		
中国経済論	教 授 折戸 洪太	○ 改革・開放政策下の中国の経済・社会の変化 ○ 中国の社会主義経済理論における”スターリン”
アメリカ外交史	教 授 近藤 淳子	○ 20 世紀の戦争と平和の概念 ○ 戦後アメリカ外交史
社会人類学論	教 授 安野 早己	○ 西ネパールの憑依カルトの人類学的研究
政治学・比較政治論	助教授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代

(生活文化系)		
生態人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと沖縄の島々における自然と人の関係と 共存の可能性
生活文化論	教 授 猪又 徹	○ マヤーラカンドン族の社会構造 ○ 造形学
服飾文化論 服飾デザイン論	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作 研究
プロダクトデザイン論	助教授 井生 文隆	○ 生活用品の造形 ○ 環境の為の素材を活用したデザインの研究
地域文化史	助教授 伊藤 幸司	○ 中世日本と東アジア ○ 九州・山口地域の中世史
(国際教育系)		
教育社会学	教 授 相原 次男	○ 新生ロシアと旧ソ連における青年の学歴志向の 比較考察 ○ 個性教育の可能性
臨床心理学	教 授 赤羽 潔	○ 青少年の自己形成・自己再編過程研究 ○ 子ども集団づくり研究
比較女性史	教 授 三宅 義子	○ 日本近代女性史研究 ○ ジェンダー論
人間論	教 授 鈴木 隆泰	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性
(言語社会系)		
日本中世文学 (能・狂言)	教 授 稲田 秀雄	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 狂言作品研究
英語学・中世英文学	教 授 下笠 徳次	○ チョーサーの脚韻語と尾韻ロマンスの脚韻語と の比較 ○ ルイス・キャロルの言語研究
日本古代語	教 授 武市 眞弘	○ 日本古代語の研究 ○ 上代文献の音韻・漢字表記研究
中国言語学	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究 ○ 中国官話方言の研究
英文学	教 授 松田 理	○ ディケンズ及びシェークスピア研究

国際文化学研究科 平成 19 年 2007 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際文化系)		
多文化教育論	教 授 岩野 雅子	○ 異文化理解教育／子どもの社会化・文化化 ○ 多文化共生の市民社会
国際文化特講Ⅰ (中国社会論)	教 授 折戸 洪太	○ 改革・開放政策下の中国の経済・社会の変化 ○ 中国の社会主義経済理論における“スターリン”
アメリカ外交史	教 授 近藤 淳子	○ 20 世紀の戦争と平和の概念 ○ 戦後アメリカ外交史
言語文化特講Ⅱ (中国言語論)	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究 ○ 中国官話方言の研究
英文学	教 授 松田 理	○ ディケンズ及びシェークスピア研究
国際文化特講Ⅲ (比較家族論)	教 授 三宅 義子	○ 日本近代女性史研究 ○ ジェンダー論

文化人類学特論	教 授 安野 早己	○ 西ネパール・カースト社会の紛争解決 ○ 政体移行期ネパールの国内難民問題と地方自治
比較政治特論	准教授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
言語文化特講Ⅲ (韓国・朝鮮言語文化論)	准教授 林 炫情	○ 韓国語と日本語の対照研究:日本語と韓国語の呼称選択にみられるポライトネス・ストラテジー ○ 韓国語教授法に関する研究:韓国語 CALL 教材の開発
言語文化特講Ⅰ (中国文化論)	准教授 川口 喜治	○ 中国唐代の詩歌 ○ 唐代詩人の生態(伝記、交遊等)
国際文化特講Ⅱ (韓国社会論)	准教授 金 惠媛	○ 高齢化社会についての日韓比較研究 ○ 日韓交流と在日コリアン
国際関係特論	講 師 浅羽 祐樹	○ 戦後日韓関係史の再構築 ○ 東アジアの国際関係
(地域文化系)		
生涯学習特論	教 授 相原 次男	○ ロシア、中国、韓国の教育改革の諸問題 ○ 生涯学習論、社会教育と地域づくり
臨床心理学	教 授 赤羽 潔	○ 青少年の自己形成・自己再編過程研究 ○ 子ども集団づくり研究
暮らしの人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと奄美・沖縄の島々における自然と人の関係と共存の可能性
文化創造特講Ⅲ (生活造形論)	教 授 井生 文隆	○ 生活用品の造形 ○ 環境のための素材を活用したデザインの研究
日本文化特講Ⅰ (中世芸能論)	教 授 稲田 秀雄	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 狂言作品研究
仏教文化特論	教 授 鈴木 隆泰	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性
日本古代語	教 授 武市 眞弘	○ 日本古代語の研究 ○ 上代文献の音韻・漢字表記研究
文化コーディネーター論 文化創造特講Ⅱ (服飾文化論)	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作研究 ○ 文化イベント・学術ミーティング・展覧会・メディアプログラムなどの企画及び運営に関する実践的研究
東アジア文化交流史 中世山口文化論	准教授 伊藤 幸司	○ 中世日本と東アジア ○ 九州・山口地域の中世史
日本文化特講Ⅱ (近世文化論)	准教授 木越 俊介	○ 江戸時代後期の戯作研究 ○ 19世紀の書物出版・流通に関する研究

国際文化学研究科 平成 20 年 2008 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際文化系)		
多文化教育論	教 授 岩野 雅子	○ 異文化理解教育／子どもの社会化・文化化 ○ 多文化共生の市民社会
言語文化特講Ⅰ (中国文化論)	教 授 川口 喜治	○ 中国唐代の詩歌 ○ 唐代詩人の生態(伝記、交遊等)
国際文化特講Ⅰ (中国社会論)	教 授 折戸 洪太	○ 改革・開放政策下の中国の経済・社会の変化 ○ 中国の社会主義経済理論における“スターリン”

言語文化特講Ⅱ (中国言語論)	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究 ○ 中国官話方言の研究
国際文化特講Ⅲ (比較家族論)	教 授 三宅 義子	○ 日本近代女性史研究 ○ ジェンダー論
文化人類学特論	教 授 安野 早己	○ 西ネパール・カースト社会の紛争解決 ○ 政体移行期ネパールの国内難民問題と地方自治
比較政治特論	准教授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
言語文化特講Ⅲ (韓国・朝鮮言語文化論)	准教授 林 炫情	○ 韓国語と日本語の対照研究:日本語と韓国語の呼称選択にみられるポライトネス・ストラテジー ○ 韓国語教 授法に関する研究:韓国語 CALL 教材の開発
国際文化特講Ⅱ (韓国社会論)	准教授 金 恵媛	○ 高齢化社会についての日韓比較研究 ○ 日韓交流と在日コリアン
国際関係特論	講 師 浅羽 祐樹	○ 戦後日韓関係史の再構築 ○ 東アジアの国際関係
国際文化特講Ⅰ (中国社会論)	講 師 張 玉玲	○ 華僑華人とエスニシティ ○ 現代中国の社会変動
(地域文化系)		
生涯学習特論	教 授 相原 次男	○ ロシア、中国、韓国の教育改革の諸問題 ○ 生涯学習論、社会教育と地域づくり
暮らしの人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと奄美・沖縄の島々における自然と人の関係と共存の可能性
文化創造特講Ⅲ (生活造形論)	教 授 井生 文隆	○ 生活用品の造形 ○ 環境のための素材を活用したデザインの研究
日本文化特講Ⅰ (中世芸能論)	教 授 稲田 秀雄	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 狂言作品研究
仏教文化特論	教 授 鈴木 隆泰	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性
文化コーディネーター論 文化創造特講Ⅱ (服飾文化論)	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作研究 ○ 文化イベント・学術ミーティング・展覧会・メディアプログラムなどの企画及び運営に関する実践的研究
東アジア文化交流史 中世山口文化論	准教授 伊藤 幸司	○ 中世日本と東アジア○ 九州・山口地域の中世史
日本文化特講Ⅱ (近世文化論)	准教授 木越 俊介	○ 江戸時代後期の戯作研究 ○ 19世紀の書物出版・流通に関する研究

国際文化学研究科 平成 21 年 2009 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際文化系)		
多文化教育論	教 授 岩野 雅子	○ 異文化理解教育／子どもの社会化・文化化 ○ 多文化共生の市民社会
言語文化特講Ⅰ (中国文化論)	教 授 川口 喜治	○ 中国唐代の詩歌 ○ 唐代詩人の生態(伝記、交遊等)
言語文化特講Ⅱ (中国言語論)	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究 ○ 中国官話方言の研究

国際文化特講Ⅲ (比較家族論)	教 授 三宅 義子	○ 日本近代女性史研究 ○ ジェンダー論
文化人類学特論	教 授 安野 早己	○ 西ネパール・カースト社会の紛争解決 ○ 政体移行期ネパールの国内難民問題と地方自治
比較政治特論	准教授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
言語文化特講Ⅲ (韓国・朝鮮言語文化論)	准教授 林 炫情	○ 韓国語と日本語の対照研究: 日本語と韓国語の呼称選択にみられるボライテス・ストラテジー ○ 韓国語教 授法に関する研究: 韓国語 CALL 教材の開発
国際文化特講Ⅱ (韓国社会論)	准教授 金 恵媛	○ 高齢化社会についての日韓比較研究 ○ 日韓交流と在日コリアン
国際関係特論	講 師 浅羽 祐樹	○ 戦後日韓関係史の再構築 ○ 東アジアの国際関係
国際文化特講Ⅰ (中国語文化論)	講 師 張 玉玲	○ 華僑華人とエスニシティ ○ 現代中国の社会変動
(地域文化系)		
生涯学習特論	教 授 相原 次男	○ ロシア、中国、韓国の教育改革の諸問題 ○ 生涯学習論、社会教育と地域づくり
暮らしの人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと奄美・沖縄の島々における自然と人の関係と共存の可能性
文化創造特講Ⅲ (生活造形論)	教 授 井生 文隆	○ 生活用品の造形 ○ 環境のための素材を活用したデザインの研究
日本文化特講Ⅰ (中世芸能論)	教 授 稲田 秀雄	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 狂言作品研究
仏教文化特論	教 授 鈴木 隆泰	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性
文化コーディネーター論 文化創造特講Ⅱ (服飾文化論)	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作研究 ○ 文化イベント・学術ミーティング・展覧会・メディアプログラムなどの企画及び運営に関する実践的研究
東アジア文化交流史 中世山口文化論	准教授 伊藤 幸司	○ 中世日本と東アジア ○ 九州・山口地域の中世史
日本文化特講Ⅱ (近世文化論)	准教授 木越 俊介	○ 江戸時代後期の戯作研究 ○ 19世紀の書物出版・流通に関する研究

国際文化学研究科 平成 22 年 2010 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際文化系)		
比較政治特論	教 授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
多文化教育論	教 授 岩野 雅子	○ 異文化理解教育／子どもの社会化・文化化 ○ 多文化共生の市民社会
言語文化特講Ⅰ (中国文化論)	教 授 川口 喜治	○ 中国唐代の詩歌 ○ 唐代詩人の生態(伝記、交遊等)
言語文化特講Ⅱ (中国言語論)	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究 ○ 中国官話方言の研究

国際文化特講Ⅲ (比較家族論)	教 授 三宅 義子	○ 日本近代女性史研究 ○ ジェンダー論
文化人類学特論	教 授 安野 早己	○ 西ネパール・カースト社会の紛争解決 ○ 政体移行期ネパールの国内難民問題と地方自治
言語文化特講Ⅲ (韓国・朝鮮言語文化論)	准教授 林 炫情	○ 韓国語と日本語の対照研究:日本語と韓国語の呼称選択にみられるポライトネス・ストラテジー ○ 韓国語教授法に関する研究:韓国語 CALL 教材の開発
国際文化特講Ⅱ (韓国社会論)	准教授 金 恵媛	○ 高齢化社会についての日韓比較研究 ○ 日韓交流と在日コリアン
国際関係特論	准教授 浅羽 祐樹	○ 戦後日韓関係史の再構築 ○ 東アジアの国際関係
国際文化特講Ⅰ (中国語文化論)	講 師 張 玉玲	○ 華僑華人とエスニシティ ○ 現代中国の社会変動
(地域文化系)		
生涯学習特論	教 授 相原 次男	○ ロシア、中国、韓国の教育改革の諸問題 ○ 生涯学習論、社会教育と地域づくり
暮らしの人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと奄美・沖縄の島々における自然と人の関係と共存の可能性
文化創造特講Ⅲ (生活造形論)	教 授 井生 文隆	○ 生活用品の造形 ○ 環境のための素材を活用したデザインの研究
日本文化特講Ⅰ (中世芸能論)	教 授 稲田 秀雄	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 狂言作品研究
仏教文化特論	教 授 鈴木 隆泰	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性
文化コーディネーター論 文化創造特講Ⅱ (服飾文化論)	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作研究 ○ 文化イベント・学術ミーティング・展覧会・メディアプログラムなどの企画及び運営に関する実践的研究
東アジア文化交流史 中世山口文化論	准教授 伊藤 幸司	○ 中世日本と東アジア ○ 九州・山口地域の中世史
日本文化特講Ⅱ(近世文化論)	准教授 木越 俊介	○ 江戸時代後期の戯作研究○ 19世紀の書物出版・流通に関する研究

国際文化学研究科 平成 23 年 2011 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際文化系)		
比較政治特論	教 授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
多文化教育論	教 授 岩野 雅子	○ 異文化理解教育／子どもの社会化・文化化 ○ 多文化共生の市民社会
言語文化特講Ⅰ (中国語文化論)	教 授 川口 喜治	○ 中国唐代の詩歌 ○ 唐代詩人の生態(伝記、交遊等)
国際文化特講Ⅱ (韓国社会論)	教 授 金 恵媛	○ 高齢化社会についての日韓比較研究 ○ 日韓交流と在日コリアン
言語文化特講Ⅱ (中国言語論)	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究 ○ 中国官話方言の研究

文化人類学特論	教 授 安野 早己	○ 西ネパール・カースト社会の紛争解決 ○ 政体移行期ネパールの国内難民問題と地方自治
国際関係特論	准教授 浅羽 祐樹	○ 戦後日韓関係史の再構築 ○ 東アジアの国際関係
言語文化特講Ⅲ (韓国・朝鮮言語文化論)	准教授 林 炫情	○ 韓国語と日本語の対照研究:日本語と韓国語の呼称選択にみられるポライトネス・ストラテジー ○ 韓国語教授法に関する研究:韓国語 CALL 教材の開発
(地域文化系)		
暮らしの人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと奄美・沖縄の島々における自然と人の関係と共存の可能性
文化創造特講Ⅲ (生活造形論)	教 授 井生 文隆	○ 生活用品の造形 ○ 環境のための素材を活用したデザインの研究
日本文化特講Ⅰ (中世芸能論)	教 授 稲田 秀雄	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 狂言作品研究
仏教文化特論	教 授 鈴木 隆泰	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性
文化コーディネーター論 文化創造特講Ⅱ (服飾文化論)	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作研究 ○ 文化イベント・学術ミーティング・展覧会・メディアプログラムなどの企画及び運営に関する実践的研究
東アジア文化交流史 中世山口文化論	准教授 伊藤 幸司	○ 中世日本と東アジア ○ 九州・山口地域の中世史
日本文化特講Ⅱ (近世文化論)	准教授 木越 俊介	○ 江戸時代後期の戯作研究 ○ 19世紀の書物出版・流通に関する研究
文化遺産論	准教授 齊藤 理	○ 文化遺産の保護・利活用、観光まちづくりに関する研究 ○ 地域文化の普及教育プログラム(コミュニティ・サービスラーニング) ○ 近代を中心とした日欧の建築・都市史研究
NGO・NPO 特論	准教授 進藤 優子	○ 開発途上国の経済 ○ 教育・人的資本蓄積による経済成長 ○ 財政政策のシミュレーション分析

国際文化学研究科 平成 24 年 2012 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際文化系)		
比較政治特論	教 授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
多文化教育論	教 授 岩野 雅子	○ 異文化理解教育／子どもの社会化・文化化 ○ 多文化共生の市民社会
言語文化特講Ⅰ (中国文化論)	教 授 川口 喜治	○ 中国唐代の詩歌 ○ 唐代詩人の生態(伝記、交遊等)
国際文化特講Ⅱ (韓国社会論)	教 授 金 恵媛	○ 高齢化社会についての日韓比較研究 ○ 日韓交流と在日コリアン
言語文化特講Ⅱ (中国言語論)	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究 ○ 中国官話方言の研究

文化人類学特論	教 授 安野 早己	○ 西ネパール・カースト社会の紛争解決 ○ 政体移行期ネパールの国内難民問題と地方自治
国際関係特論	准教授 浅羽 祐樹	○ 戦後日韓関係史の再構築 ○ 東アジアの国際関係
言語文化特講Ⅲ (韓国・朝鮮言語文化論)	准教授 林 炫情	○ 韓国語と日本語の対照研究:日本語と韓国語の呼称選択にみられるポライトネス・ストラテジー ○ 韓国語教授法に関する研究:韓国語 CALL 教材の開発
国際文化特講Ⅰ (中国社会論)	講 師 張 玉玲	○ 華僑華人とエスニシティ ○ 現代中国の社会変動
(地域文化系)		
暮らしの人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと奄美・沖縄の島々における自然と人の関係と共存の可能性
文化創造特講Ⅲ (生活造形論)	教 授 井生 文隆	○ 生活用品の造形 ○ 環境のための素材を活用したデザインの研究
日本文化特講Ⅰ (中世芸能論)	教 授 稲田 秀雄	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 狂言作品研究
仏教文化特論	教 授 鈴木 隆泰	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性
文化コーディネート論 文化創造特講Ⅱ (服飾文化論)	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作研究 ○ 文化イベント・学術ミーティング・展覧会・メディアプログラムなどの企画及び運営に関する実践的研究
東アジア文化交流史 中世山口文化論	准教授 伊藤 幸司	○ 中世日本と東アジア ○ 九州・山口地域の中世史
日本文化特講Ⅱ (近世文化論)	准教授 木越 俊介	○ 江戸時代後期の戯作研究 ○ 19世紀の書物出版・流通に関する研究
文化遺産論	准教授 齊藤 理	○ 文化遺産の保護・利活用、観光まちづくりに関する研究 ○ 地域文化の普及教育プログラム(コミュニティ・サービスラーニング) ○ 近代を中心とした日欧の建築・都市史研究
NGO・NPO 特論	准教授 進藤 優子	○ 開発途上国の経済 ○ 教育・人的資本蓄積による経済成長 ○ 財政政策のシミュレーション分析

国際文化学研究科 平成 25 年 2013 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際文化系)		
比較政治特論	教 授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
多文化教育論	教 授 岩野 雅子	○ 異文化理解教育／子どもの社会化・文化化 ○ 多文化共生の市民社会
言語文化特講Ⅰ (中国文化論)	教 授 川口 喜治	○ 中国唐代の詩歌 ○ 唐代詩人の生態(伝記、交遊等)
国際文化特講Ⅱ (韓国社会論)	教 授 金 恵媛	○ 韓国の世代関係 ○ 大衆長寿化時代とアクティブ・エイジング

言語文化特講Ⅱ (中国言語論)	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究 ○ 中国官話方言の研究
文化人類学特論	教 授 安野 早己	○ 西ネパール・カースト社会の紛争解決 ○ 政体移行期ネパールの国内難民問題と地方自治
言語文化特講Ⅲ (韓国・朝鮮言語文化論)	教 授 林 炫情	○ 韓国語と日本語の対照研究:日本語と韓国語の呼称選択にみられるボライテネス・ストラテジー ○ 韓国語教 授法に関する研究:韓国語 CALL 教材の開発
国際関係特論	准教授 浅羽 祐樹	○ 戦後日韓関係史の再構築 ○ 東アジアの国際関係
国際文化特講Ⅰ (中国社会論)	准教授 張 玉玲	○ 華僑華人とエスニシティ ○ 現代中国の社会変動
(地域文化系)		
暮らしの人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと奄美・沖縄の島々における自然と人の関係と共存の可能性
文化創造特講Ⅲ (生活造形論)	教 授 井生 文隆	○ プロダクト デザイン(生活用品の造形) ○ 環境のための素材を活用したデザインの研究 ○ 地域資源を活かしたデザイン製品に関する研究
日本文化特講Ⅰ (中世芸能論)	教 授 稲田 秀雄	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 山口鷲流狂言の研究 ○ 狂言作品研究
仏教文化特論	教 授 鈴木 隆泰	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性
文化コーディネート論 文化創造特講Ⅱ (服飾文化論)	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作研究 ○ 文化イベント・学術ミーティング・展覧会・メディアプログラムなどの企画及び運営に関する実践的研究
東アジア文化交流史 中世山口文化論	准教授 伊藤 幸司	○ 中世日本と東アジア ○ 九州・山口地域の中世史
日本文化特講Ⅱ (近世文化論)	准教授 木越 俊介	○ 江戸時代後期の戯作研究 ○ 19世紀の書物出版・流通に関する研究
文化遺産論	准教授 齊藤 理	○ 文化遺産の保護・利活用、観光まちづくりに関する研究 ○ 地域文化の普及教育プログラム(コミュニティ・サービスラーニング) ○ 近代を中心とした日欧の建築・都市史研究
NGO・NPO 特論	准教授 進藤 優子	○ 開発途上国の経済 ○ 教育・人的資本蓄積による経済成長 ○ 財政政策のシミュレーション分析

国際文化学研究科 平成 26 年 2014 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際文化系)		
比較政治特論	教 授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
多文化教育論	教 授 岩野 雅子	○ 異文化理解教育／子どもの社会化・文化化 ○ 多文化共生の市民社会

言語文化特講Ⅰ (中国文化論)	教 授 川口 喜治	○ 中国唐代の詩歌 ○ 唐代詩人の生態(伝記、交遊等)
国際文化特講Ⅱ (韓国社会論)	教 授 金 恵媛	○ 韓国の世代関係 ○ 大衆長寿化時代とアクティブ・エイジング
言語文化特講Ⅱ (中国言語論)	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究 ○ 中国官話方言の研究
文化人類学特論	教 授 安野 早己	○ 西ネパール・カースト社会の紛争解決 ○ 政体移行期ネパールの国内難民問題と地方自治
言語文化特講Ⅲ (韓国・朝鮮言語文化論)	准教授 林 炫情	○ 韓国語と日本語の対照研究:日本語と韓国語の呼称選択にみられるボライトネス・ストラテジー ○ 韓国語教授法に関する研究:韓国語 CALL 教材の開発
国際文化特講Ⅰ (中国社会論)	准教授 張 玉玲	○ 華僑華人とエスニシティ ○ 現代中国の社会変動
(地域文化系)		
暮らしの人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと奄美・沖縄の島々における自然と人の関係と共存の可能性
文化創造特講Ⅲ (生活造形論)	教 授 井生 文隆	○ プロダクト デザイン(生活用品の造形) ○ 環境のための素材を活用したデザインの研究 ○ 地域資源を活かしたデザイン製品に関する研究
日本文化特講Ⅰ (中世芸能論)	教 授 稲田 秀雄	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 山口鷺流狂言の研究 ○ 狂言作品研究
仏教文化特論	教 授 鈴木 隆泰	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性
文化コーディネート論 文化創造特講Ⅱ (服飾文化論)	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作研究 ○ 文化イベント・学術ミーティング・展覧会・メディアプログラムなどの企画及び運営に関する実践的研究
日本文化特講Ⅱ (近世文化論)	准教授 木越 俊介	○ 江戸時代後期の戯作研究 ○ 19世紀の書物出版・流通に関する研究
文化遺産論	准教授 齊藤 理	○ 文化遺産の保護・利活用、観光まちづくりに関する研究 ○ 地域文化の普及教育プログラム(コミュニティ・サービスラーニング) ○ 近代を中心とした日欧の建築・都市史研究
NGO・NPO 特論	准教授 進藤 優子	○ 開発途上国の経済 ○ 教育・人的資本蓄積による経済成長 ○ 財政政策のシミュレーション分析

国際文化学研究科 平成 27 年 2015 年

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
(国際文化系)		
比較政治特論	教 授 井竿 富雄	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
多文化教育論	教 授 岩野 雅子	○ 異文化理解教育／子どもの社会化・文化化 ○ 多文化共生の市民社会

言語文化特講Ⅲ (韓国・朝鮮言語文化論)	教 授 林 炫情	○ 韓国語と日本語の対照研究:日本語と韓国語の呼称選択にみられるポライトネス・ストラテジー ○ 韓国語教授法に関する研究:韓国語 CALL 教材の開発
国際文化特講Ⅲ	教 授 ウィルソン・エイミー	○ ハワイ在住日系アメリカ人高齢者の生きがい研究 ○ 子どもの健全な育成のための「発達資産」の日米比較
言語文化特講Ⅰ (中国文化論)	教 授 川口 喜治	○ 中国唐代の詩歌 ○ 唐代詩人の生態(伝記、交遊等)
国際文化特講Ⅱ (韓国社会論)	教 授 金 恵媛	○ 韓国の世代関係 ○ 大衆長寿化時代とアクティブ・エイジング
言語文化特講Ⅱ (中国言語論)	教 授 馬 鳳如	○ 日中両国語の比較研究 ○ 中国官話方言の研究
文化人類学特論	教 授 安野 早己	○ 西ネパール・カースト社会の紛争解決 ○ 政体移行期ネパールの国内難民問題と地方自治
国際文化特講Ⅰ (中国社会論)	准教授 張 玉玲	○ 華僑華人とエスニシティ ○ 現代中国の社会変動
国際関係特論	准教授 西脇 靖洋	○ 欧州統合 ○ 南欧諸国の政治と外交
(地域文化系)		
暮らしの人類学	教 授 安溪 遊地	○ アフリカと奄美・沖縄の島々における自然と人の関係と共存の可能性
文化創造特講Ⅲ (生活造形論)	教 授 井生 文隆	○ プロダクト デザイン(生活用品の造形) ○ 環境のための素材を活用したデザインの研究 ○ 地域資源を活かしたデザイン製品に関する研究
日本文化特講Ⅰ (中世芸能論)	教 授 稲田 秀雄	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 山口鷺流狂言の研究 ○ 狂言作品研究
仏教文化特論	教 授 鈴木 隆泰	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性
文化コーディネータ論 文化創造特講Ⅱ (服飾文化論)	教 授 水谷 由美子	○ 服飾における祝祭性と遊戯性に関する研究 ○ 服飾デザインと地域文化のかかわりからの創作研究 ○ 文化イベント・学術ミーティング・展覧会・メディアプログラムなどの企画及び運営に関する実践的研究
日本文化特講Ⅱ (近世文化論)	准教授 木越 俊介	○ 江戸時代後期の戯作研究 ○ 19世紀の書物出版・流通に関する研究
文化創造特講Ⅰ	准教授 倉田 研治	○ Web デザインの拡張、表現方法におけるGIS(地理情報システム)の考察 ○ メディアと写真表現の考察
文化遺産論	准教授 齊藤 理	○ 文化遺産の保護・利活用、観光まちづくりに関する研究 ○ 地域文化の普及教育プログラム(コミュニティ・サービスラーニング) ○ 近代を中心とした日欧の建築・都市史研究
NGO・NPO 特論	准教授 進藤 優子	○ 開発途上国の経済 ○ 教育・人的資本蓄積による経済成長 ○ 財政政策のシミュレーション分析

日本文化特講Ⅱ	准教授 渡邊 滋	○ 日本古代～中世前期における地方政治 ○ 日本漢文の形成過程 ○ 史料学(古文書・古典籍の研究)
---------	-------------	---

国際文化学研究科 平成 28 年 2016 年

担当教員	教育研究分野	主な研究内容
教 授 安溪 遊地	地域学特論	○ アフリカの森の神話 ○ 奄美沖縄の環境史 ○ 幕末維新の長州僧
教 授 井生 文隆	文化創造特講Ⅲ	○ プロダクト デザイン ○ 環境と地域資源を配慮したデザイン製品に関する研究
教 授 井竿 富雄	比較政治特論	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代
教 授 稲田 秀雄	日本文化特講Ⅰ	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 山口鷺流狂言の系統的研究
教 授 林 炫情	言語文化特講Ⅲ	○ 韓国語と日本語の対照研究:日本語と韓国語の呼称選択にみられるポライトネス・ストラテジー ○ 韓国語教 授法に関する研究:韓国語 CALL 教材の開発
教 授 岩野 雅子	多文化教育論	○ 多文化主義や多文化教育の理論と実践を中心に、国際教育、異文化理解教育、グローバル教育、教育の国際的なスタンダード等
教 授 ウィルソン・エイミー	国際文化特講Ⅲ	○ ハワイ在住日系アメリカ人高齢者の生きがい研究 ○ 子どもの健全な育成のための「発達資産」の日米比較
教 授 川口 喜治	言語文化特講Ⅰ	○ 中国唐代の詩歌 ○ 唐代詩人の生態(伝記、交遊等)
教 授 金 恵媛	国際文化特講Ⅱ	○ 韓国の世代関係 ○ 大衆長寿化時代とアクティブ・エイジング
教 授 鈴木 隆泰	仏教文化特論	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性
教 授 馬 鳳如	言語文化特講Ⅱ	○ 日中両国語の比較研究 ○ 中国官話方言の研究
教 授 水谷 由美子	文化コーディネータ論 文化創造特講Ⅱ	○ 服飾デザインとサービスデザインの研究 ○ 地域をフィールドとして文化イベント・展覧会等の企画及び運営に関する実践的研究
教 授 安野 早己	文化人類学特論	○ 西ネパール・カースト社会の紛争解決 ○ ネパールにおける連邦制とクォータ制
教 授 齊藤 理	文化遺産論	○ 文化遺産の保護・利活用、観光まちづくりに関する研究 ○ 地域文化の普及教育プログラム(コミュニティ・サービスラーニング)
准教授 木越 俊介	日本文化特講Ⅲ	○ 江戸時代後期の戯作研究 ○ 19世紀の書物出版・流通に関する研究
准教授 倉田 研治	文化創造特講Ⅰ	○ Web デザインの拡張、表現方法における GIS(地理情報システム)の考察 ○ メディアと写真表現の考察

准教授 進藤 優子	NGO・NPO 特論	○ 開発途上国の経済 ○ 教育・人的資本蓄積による経済成長 ○ 財政政策のシミュレーション分析
准教授 張 玉玲	国際文化特講 I	○ 華僑華人とエスニシティ ○ 現代中国の社会変動
准教授 西脇 靖洋	国際関係特論	○ 欧州統合 ○ 南欧諸国の政治と外交
准教授 山口 光	文化創造特講Ⅲ	○ プロダクトデザイン ○ 地域産業デザイン
准教授 渡邊 滋	日本文化特講Ⅱ	○ 日本古代～中世前期における地方政治 ○ 日本漢文の形成過程 ○ 史料学(古文書・古典籍の研究)

国際文化学研究科 平成 29 年 2017 年

担当教員	教育研究分野	主な研究内容
教 授 井竿 富雄	比較政治特論	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代 ○ 近代日本における政治的訓練 ○ 近代日本と植民地
教 授 稲田 秀雄	日本文化特講 I	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 山口鷺流狂言の系統的研究
教 授 林 炫情	言語文化特講Ⅲ	○ 韓国語と日本語の対照研究:日本語と韓国語の 呼称選択にみら れるポライテネス・ストラテジー ○ 韓国語教 授法に関する研究:韓国語 CALL 教 材の開発
教 授 岩野 雅子	多文化教育論	○ 多文化主義や多文化教育の理論と実践を中心 に、国際教育、 異文化理解教育、グローバル教育、教育の国際的 なスタンダード等
教 授 ウィルソン・エ イミー	国際文化特講Ⅲ	○ ハワイ在住日系アメリカ人高齢者の生きがい研 究 ○ 子どもの健全な育成のための「発達資産」の日 米比較
教 授 川口 喜治	言語文化特講 I	○ 中国唐代の詩歌 ○ 唐代詩人の生態(伝記、交遊等)
教 授 金 恵媛	国際文化特講Ⅱ	○ 韓国の世代関係 ○ 大衆長寿化時代とアクティブ・エイジング
教 授 齊藤 理	文化遺産論	○ 文化遺産の保護・利活用、観光まちづくりに関 する研究 ○ 地域文化の普及教育プログラム(コミュニティ・サ ービスラーニング)
教 授 鈴木 隆泰	仏教文化特論	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性
教 授 西田 光一	言語文化特講Ⅱ	○ 英語と日本語の事例を中心とした語用論 ○ 現代英語の語法と文法 ○ 対照言語学
教 授 水谷 由美子	文化コーディネート論 文化創造特講Ⅱ	○ 服飾デザインとサービスデザインの研究 ○ 地域をフィールドとして文化イベント・展覧会等の 企画及び運営に関する実践的研究

教授 安野 早己	文化人類学特論	○ 西ネパール・カースト社会の紛争解決 ○ ネパールにおける連邦制とクォータ制
教授 山口 光	文化創造特講Ⅲ	○ プロダクトデザイン ○ 地域産業デザイン
准教授 倉田 研治	文化創造特講Ⅰ	○ Webデザインの拡張、表現方法におけるGIS(地理情報システム)の考察 ○ メディアと写真表現の考察
准教授 進藤 優子	NGO・NPO 特論	○ 開発途上国の経済 ○ 教育・人的資本蓄積による経済成長 ○ 財政政策のシミュレーション分析
准教授 張 玉玲	国際文化特講Ⅰ	○ 華僑華人とエスニシティ ○ 現代中国の社会変動
准教授 西脇 靖洋	国際関係特論	○ 欧州統合 ○ 南欧諸国の政治と外交
准教授 菱岡 憲司	日本文化特講Ⅲ	○ 江戸時代の散文文学 ○ 19世紀日本における「個」の自己表出の変遷
准教授 渡邊 滋	日本文化特講Ⅱ	○ 日本古代～中世前期における地方政治 ○ 日本漢文の形成過程 ○ 史料学(古文書・古典籍の研究)

国際文化学研究科 平成 30 年 2018 年

担当教員	教育研究分野	主な研究内容
教授 井竿 富雄	比較政治特論	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代 ○ 近代日本における政治的訓練 ○ 近代日本と植民地
教授 稲田 秀雄	日本文化特講Ⅰ	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 山口鷺流狂言の系統的研究
教授 林 炫情	言語文化特講Ⅲ	○ 日本語と韓国語の社会言語学的研究 ○ 外国語教育と言語評価に関する研究
教授 岩野 雅子	多文化教育論	○ 多文化主義や多文化教育の理論と実践を中心に、国際教育、異文化理解教育、グローバル教育、教育の国際的なスタンダード等
教授 ウィルソン・エイミー	国際文化特講Ⅲ	○ ハワイ在住日系アメリカ人高齢者の生きがい研究 ○ 子どもの健全な育成のための「発達資産」の日米比較
教授 川口 喜治	言語文化特講Ⅰ	○ 中国唐代の詩歌 ○ 唐代詩人の生態(伝記、交遊等)
教授 金 恵媛	国際文化特講Ⅱ	○ 多文化共生と地域社会 ○ アクティブ・エイジング社会における世代関係
教授 齊藤 理	文化遺産論	○ 文化遺産の保護・利活用、観光まちづくりに関する研究 ○ 地域文化の普及教育プログラム(コミュニティ・サービスラーニング)
教授 鈴木 隆泰	仏教文化特論	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性
教授 西田 光一	言語文化特講Ⅱ	○ 英語と日本語の事例を中心とした語用論 ○ 現代英語の語法と文法 ○ 対照言語学

教 授 水谷 由美子	文化創造特講Ⅱ 文化コーディネート論	○ 服飾デザインとサービスデザインの研究 ○ 地域をフィールドとして文化イベント・展覧会等の企画及び運営に関する実践的研究
教 授 山口 光	文化創造特講Ⅲ	○ プロダクトデザイン ○ 地域産業デザイン
准教授 倉田 研治	文化創造特講Ⅰ	○ Webデザインの拡張、表現方法におけるGIS(地理情報システム)の考察 ○ メディアと写真表現の考察
准教授 進藤 優子	NGO・NPO 特論	○ 開発途上国の経済 ○ 教育・人的資本蓄積による経済成長 ○ 財政政策のシミュレーション分析
准教授 張 玉玲	国際文化特講Ⅰ	○ 華僑華人とエスニシティ ○ 現代中国の社会変動
准教授 西脇 靖洋	国際関係特論	○ 欧州統合 ○ 南欧諸国の政治と外交
准教授 菱岡 憲司	日本文化特講Ⅲ	○ 江戸時代の散文文学 ○ 19世紀日本における「個」の自己表出の変遷
准教授 渡邊 滋	日本文化特講Ⅱ	○ 日本古代～中世前期における地方政治 ○ 日本漢文の形成過程 ○ 史料学(古文書・古典籍の研究)

国際文化学研究科 平成 31 年 2019 年

担当教員	教育研究分野	主な研究内容
教 授 井竿 富雄	比較政治特論	○ 日本政治史におけるシベリア出兵問題 ○ 歴史意識と現代 ○ 近代日本における政治的訓練 ○ 近代日本と植民地
教 授 稲田 秀雄	日本文化特講Ⅰ	○ 能・狂言の作劇法に関する研究 ○ 山口鷺流狂言の系統的研究
教 授 林 炫情	言語文化特講Ⅲ	○ 日本語と韓国語の社会言語学的研究 ○ 外国語教育と言語評価に関する研究
教 授 岩野 雅子	多文化教育論	○ 多文化主義や多文化教育の理論と実践を中心に、国際教育、異文化理解教育、グローバル教育、教育の国際的なスタンダード等
教 授 ウィルソン・エイミー	国際文化特講Ⅲ	○ ハワイ在住日系アメリカ人高齢者の生きがい研究 ○ CLIL(Content and Language Integrated Learning)を利用した英語教育や TESL(Teaching English as a Second Language)
教 授 川口 喜治	言語文化特講Ⅰ	○ 中国唐代の詩歌 ○ 唐代詩人の生態(伝記、交遊等)
教 授 金 恵媛	国際文化特講Ⅱ	○ 多文化共生と地域社会 ○ アクティブ・エイジング社会における世代関係
教 授 齊藤 理	文化遺産論	○ 文化遺産の保護・利活用、観光まちづくりに関する研究 ○ 地域文化の普及教育プログラム(コミュニティ・サービスラーニング)
教 授 鈴木 隆泰	仏教文化特論	○ インド哲学/仏教学/宗教学 ○ 自己と他者(他人・世界)との関係性

教 授 西田 光一	言語文化特講Ⅱ	○ 英語と日本語の事例を中心とした語用論 ○ 現代英語の語法と文法 ○ 対照言語学
教 授 水谷 由美子	文化創造特講Ⅱ 文化コーディネート論	○ 服飾デザインとサービスデザインの研究 ○ 地域をフィールドとした文化イベント・展覧会等の企画及び運営に関する実践的研究
教 授 山口 光	文化創造特講Ⅲ	○ プロダクトデザイン ○ 地域産業デザイン
准教授 倉田 研治	文化創造特講Ⅰ	○ Webデザインの拡張、表現方法におけるGIS(地理情報システム)の考察 ○ メディアと写真表現の考察
准教授 進藤 優子	NGO・NPO 特論	○ 開発途上国の経済 ○ 教育・人的資本蓄積による経済成長 ○ 財政政策のシミュレーション分析
准教授 西脇 靖洋	国際関係特論	○ 欧州統合 ○ 南欧諸国の政治と外交
准教授 菱岡 憲司	日本文化特講Ⅲ	○ 江戸時代の散文文学 ○ 19世紀日本における「個」の自己表出の変遷
准教授 渡邊 滋	日本文化特講Ⅱ	○ 日本古代～中世前期における地方政治 ○ 日本漢文の形成過程 ○ 史料学(古文書・古典籍の研究)

健康福祉学研究科 平成 11 年 1999 年
健康福祉学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康福祉ケア (地域)	教 授 西村 洋子	○ 地域における保険・医療・福祉の連携に関する研究 ○ 介護保険とケアマネジメントについて ○ 高齢者の保健・福祉に関する研究
健康福祉ケア (児童・家族)	教 授 野口 多恵子	○ 家族のヘルスケア機能に関する研究－母親の育児・家族の健康管理機能に対する支援を中心に－
国際健康看護学	教 授 M.A.ペトリニ	○ My main research field is international nursing in evolving countries、 pediatric care, and effects of interactive teaching on the learning process.
社会福祉学 (社会福祉理論)	教 授 真田 是	○ 社会福祉理論及び社会福祉政策の実証的研究 ○ 現代日本社会における社会問題の動向
社会福祉学 (福祉教育)	教 授 村上 尚三郎	○ 福祉の主体養成に関する研究 ○ 地域における福祉教育のあり方をめぐる研究
地域福祉社会学	助教授 高野 和良	○ 地域社会における住民の生活構造と生活問題の実証的研究 ○ 過疎農山村社会における地域福祉構造に関する研究
臨床行動科学	教 授 宮下 照子	○ 行動療法と認知行動療法について ○ 行動観察の方法と分析 ○ 自閉症の認知について
臨床心理学	教 授 光岡 征夫	○ カウンセリングや心理療法(特に心と体)に関する研究 ○ 地域における精神的健康の支援に関する研究
発達心理学	教 授 三島 正英	○ 精神発達、とくに発達初期における空間や対象などの実在認識発達に関する研究 ○ 子どもの成長・発達をめぐる臨床的課題に関する研究
精神保健福祉学	助教授 橋本 明	○ 精神保健政策:ヨーロッパや日本における精神医療改革の展開 ○ 精神医学の「乱用」:例えば、ナチスの精神医療政策、優生学 ○ 精神医学・精神医療の歴史:精神障害者の処遇に関すること
地域社会学	教 授 志村 哲郎	○ 明治以降現在までの社会構造の変化と性役割の変化の分析 ○ 地域社会における家族の変容や家族構成員の役割変容の分析 ○ 上記に関連づけて現在の福祉観や福祉意識を分析する
疫学	教 授 岩本 晋	○ 保健医療福祉における既存情報の利用促進と活用に関する研究 ○ 少子高齢化の進展による保健医療福祉の変化についての研究 ○ 地域住民の安心感に関する研究

健康スポーツ学	教 授 青木 邦男	○ 高齢者の心の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ スポーツ外傷・障害と関連する心理社会的要因についての研究
臨床教育学	教 授 赤羽 潔	○ 青少年の発達過程を支えるケアとリードの関係に関する研究 ○ 青少年の福祉・教育施設における援助・指導のあり方について ○ 子供の「精神的自由権」に関する実践的研究

生活健康科学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康栄養学Ⅰ	教 授 森口 寛	○ 加齢に伴う細胞性免疫能低下とその栄養制御に関する研究 ○ ビタミンEの免疫亢進作用とそのメカニズムに関する研究 ○ 運動の健康保持・増進に対する役割ー免疫からの展望ー
健康栄養学Ⅱ	教 授 足立 蓉子	○ 高齢者の食生活に関する研究 1. 生活支援型サービスについて 2. 一人暮らし高齢者のNutritional Qualityの向上について
健康栄養学Ⅲ	教 授 日野 精二	○ 一般中高年者・肥満者の基礎代謝について ○ 一般中高年者・肥満者における生活活動(労働・運動等)のエネルギー代謝及びその指標について
細胞栄養生理学	教 授 市村 孝雄	○ 母子間免疫グロブリン伝達機能に関する細胞生物学的研究 ○ 母乳ダイオキシンによる新生児脳発達障害の実験的研究
栄養生化学	助教授 人見 英里	○ 南アフリカ産ハーブ茶ルイボスティーの機能性に関する研究
臨床栄養学	助教授 長坂 祐二	○ フラボノイドが培養細胞のストレス応答に与える影響について ○ インスリンの作用および細胞内情報伝達機構について ○ 高齢者の栄養評価について
食品化学	教 授 島田 和子	○ 抹茶の風味生成のための茶の熟成現象について ○ 豆腐の風味に関する研究ー大豆リポキシゲナーゼの寄与ー ○ シクロデキストリンエマルジョンの物理化学的性質について
食品プロセス学	教 授 神武 正信	○ 膜技術の研究:昆布洗い汁の濃縮のための膜選択と濃縮条件 ○ 食品のゲル化研究:動粘度測定器を用いた食品のゲル化条件
食糧資源学	教 授 小川 雅広	○ イネ突然変異体プロテインボディの特性とその形成機構の解明 ○ イネグルテリンとプロラミン分別集積に関する分子機構の解明 ○ イネ胚乳に存在するグルテリンとプロラミン分子多様性の解明

生活環境化学	教 授 伊原 靖二	○ シクロデキストリン誘導体による有害物質の分離選別能の解明 ○ 分子集合体環境下での環境関連基質の分解処理に関する研究 ○ 有機含有排水中の各種吸着剤による吸着処理法の開発について
生活コロイド化学	教 授 松尾 洋	○ 脂質の二成分混合単分子膜 ○ 界面活性剤水溶液の表面吸着とミセル形成
環境生態学	教 授 鈴木 和雄	○ 植物と昆虫の共進化系 ○ 生物指標を用いた環境評価 ○ 植物、動物(主に昆虫、鳥)の自然史
調理学	助教授 大下 市子	○ デンプン性食品のテクスチャー特性について ○ 調理済み食品の食生活に及ぼす影響とその利用に関連する因子の解析

健康福祉学研究科 平成 12 年 2000 年

健康福祉学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康福祉ケア (地域)	教 授 西村 洋子	○ 地域における保険・医療・福祉の連携に関する研究 ○ 介護保険とケアマネジメントについて ○ 高齢者の保健・福祉に関する研究
健康福祉ケア (児童・家族)	教 授 野口 多恵子	○ 家族のヘルスケア機能に関する研究－母親の育児・家族の健康管理機能に対する支援を中心に
国際健康看護学	教 授 M.A.ペトリニ	○ My main research field is international nursing in evolving countries、 pediatric care, and effects of interactive teaching on the learning process.
社会福祉学 (社会福祉理論)	教 授 真田 是	○ 社会福祉理論及び社会福祉政策の実証的研究 ○ 現代日本社会における社会問題の動向
社会福祉学 (福祉教育)	教 授 村上 尚三郎	○ 福祉の主体養成に関する研究 ○ 地域における教育福祉事業ならびに福祉教育のあり方・その方法をめぐる研究
地域福祉社会学	助教授 高野 和良	○ 地域社会における住民の生活構造と生活問題の実証的研究 ○ 過疎農山村社会における地域福祉構造に関する研究
臨床行動科学	教 授 宮下 照子	○ 行動療法と認知行動療法について ○ 行動観察の方法と分析 ○ 自閉症の認知について
臨床心理学	教 授 光岡 征夫	○ カウンセリングや心理療法(特に心と体)に関する研究 ○ 地域における精神的健康の支援に関する研究
発達心理学	教 授 三島 正英	○ 精神発達、とくに発達初期における空間や対象などの実在認識発達に関する研究 ○ 子どもの成長・発達をめぐる臨床的課題に関する研究
地域社会学	教 授 志村 哲郎	○ 明治以降現在までの社会構造の変化と性役割の変化の分析 ○ 地域社会における家族の変容や家族構成員の役割変容の分析

疫学	教 授 岩本 晋	○ 保健医療福祉における既存情報の利用促進と活用に関する研究 ○ 少子高齢化の進展による保健医療福祉の変化についての研究 ○ 地域住民の安心感に関する研究
健康スポーツ学	教 授 青木 邦男	○ 高齢者の心の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ スポーツ外傷・障害と関連する心理社会的要因についての研究
臨床教育学	教 授 赤羽 潔	○ 青少年の発達過程を支えるケアとリードの関係に関する研究 ○ 青少年の福祉・教育施設における援助・指導のあり方について ○ 子供の「精神的自由権」に関する実践的研究

生活健康科学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康栄養学Ⅰ	教 授 森口 寛	○ 急性飢餓並びに糖尿病時の細胞性免疫能低下とGLUT-1発現 ○ 運動トレーニングと細胞性免疫能 ○ 隠れ肥満の現状と成因並びに健康に及ぼす影響
健康栄養学Ⅱ	教 授 足立 蓉子	○ 高齢者の食生活に関する研究 1. 生活支援型サービスについて 2. 一人暮らし高齢者のNutritional Qualityの向上について
健康栄養学Ⅲ	教 授 日野 精二	○ 一般中高年者・肥満者の基礎代謝について ○ 一般中高年者・肥満者における生活活動(労働・運動等)のエネルギー代謝及びその指標について
細胞栄養生理学	教 授 市村 孝雄	○ 母子間免疫グロブリン伝達機能に関する細胞生物学的研究 ○ 母乳ダイオキシンによる新生児脳発達障害の実験的研究 ○ 環境ホルモンの次世代影響を評価する方法の開発研究
栄養生化学	助教授 人見 英里	○ 南アフリカ産ハーブ茶ルイボスティーの機能性に関する研究
臨床栄養学	助教授 長坂 祐二	○ フラボノイドが培養細胞のストレス応答に与える影響について ○ インスリンの作用および細胞内情報伝達機構について ○ 高齢者の栄養評価について
食品化学	教 授 島田 和子	○ 抹茶の風味生成のための茶の熟成現象について ○ 豆腐の風味に関する研究－大豆リポシゲナーゼの寄与－ ○ シクロデキストリンエマルジョンの物理化学的性質について
食品プロセス学	教 授 神武 正信	○ 膜技術の研究:昆布洗汁の濃縮のための膜選択と濃縮条件 ○ 食品のゲル化研究:動粘度測定器を用いた食品のゲル化条件

食糧資源学	教 授 小川 雅広	○ イネ突然変異体プロテインボディの特性とその形成機構の解明 ○ イネグルテリンとプロラミン分別集積に関する分子機構の解明 ○ イネ胚乳に存在するグルテリンとプロラミン分子多様性の解明
生活環境化学	教 授 伊原 靖二	○ シクロデキストリン誘導体による有害物質の分離選択能の解明 ○ 分子集合体環境下での環境関連基質の分解処理に関する研究 ○ 有機含有排水中の各種吸着剤による吸着処理法の開発について
生活コロイド化学	教 授 松尾 洋	○ 脂質の二成分混合単分子膜 ○ 界面活性剤水溶液の表面吸着とミセル形成
環境生態学	教 授 鈴木 和雄	○ 植物と昆虫の共進化系 ○ 生物指標を用いた環境評価 ○ 植物、動物(主に昆虫、鳥)の自然史
調理学	助教授 大下 市子	○ デンプン性食品のデクスチャー特性について

健康福祉学研究科 平成 13 年 2001 年
健康福祉学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康福祉ケア (地域)	教 授 西村 洋子	○ 地域における保険・医療・福祉の連携に関する研究 ○ 介護保険とケアマネジメントについて ○ 高齢者の保健・福祉に関する研究
健康福祉ケア (高齢者・障害者)	教 授 三原 博光	○ 障害者の家族の心理・社会的問題の研究 ○ 日本とドイツの障害者・老人福祉の比較研究
健康福祉ケア (高齢者・障害者)	助教授 横山 正博	○ 在宅ケア(ケアマネジメント)及び施設ケアに関する研究 ○ ソーシャルワークにおける援助関係論に関する研究 ○ 社会福祉教育に関する研究
健康福祉ケア (児童・家族)	教 授 野口 多恵子	○ 家族のヘルスケア機能に関する研究－母親の育児・家族の健康 管理機能に対する支援を中心に－
国際健康看護学	教 授 M.A.ペトリニ	○ My main research field is international nursing in evolving countries、 pediatric care, and effects of interactive teaching on the learning process.
臨床行動科学	教 授 廣瀬 春次	○ 行動変容に関する基礎的および臨床的研究 ○ 心身の健康増進に関する心理学的研究
臨床心理学	教 授 三船 直子	○ 様々な精神疾患について概説し、さらにユング心理学に基づき、心を病むということの意味について新しい角度から考察する。
健康スポーツ学	教 授 青木 邦男	○ 高齢者の心の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ スポーツ外傷・障害と関連する心理社会的要因についての研究

社会福祉学 (社会福祉発達史)	助教授 加登田 恵子	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての史的研究
社会政策・ 社会保障論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構造原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
地域社会学	教 授 志村 哲郎	○ 明治以降現在までの社会構造の変化と性役割の変化の分析 ○ 地域社会における家族の変容や家族構成員の役割変容の分析 ○ 上記に関連づけて現在の福祉観や福祉意識を分析する
発達心理学	教 授 三島 正英	○ 精神発達、とくに発達初期における空間や対象などの実在認識 発達に関する研究 ○ 子どもの成長・発達をめぐる臨床的課題に関する研究
地域福祉社会学	助教授 高野 和良	○ 地域社会における住民の生活構造と生活問題の実証的研究 ○ 過疎農山村社会における地域福祉構造に関する研究
臨床教育学	教 授 赤羽 潔	○ 青少年の発達過程を支えるケアとリードの関心に関する研究 ○ 青少年の福祉・教育施設における援助・指導のあり方について ○ 子供の「精神的自由権」に関する実践的研究
発達障害学	教 授 林 隆	○ 発達障害児の認知特性解明に関する臨床的事実に基づく研究 ○ 発達障害児の生活支援・家族支援についての実践研究

生活健康科学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康栄養学Ⅰ	教 授 森口 覚	○ 急性飢餓並びに糖尿病時の細胞性免疫能低下とGLUT-1発現 ○ 運動トレーニングと細胞性免疫能 ○ 隠れ肥満の現状と成因並びに健康に及ぼす影響
健康栄養学Ⅱ	教 授 足立 蓉子	○ 高齢者の食生活に関する研究 1. 生活支援型サービスについて 2. 一人暮らし高齢者のNutritional Qualityの向上について
健康栄養学Ⅲ	教 授 日野 精二	○ 一般中高年者・肥満者の基礎代謝について ○ 一般中高年者・肥満者における生活活動(労働・運動等)のエネルギー代謝及びその指標について
細胞栄養生理学	教 授 市村 孝雄	○ 母子間免疫グロブリン伝達機能に関する細胞生物学的研究 ○ 母乳ダイオキシンによる新生児脳発達障害の実験的研究 ○ 環境ホルモンの次世代影響を評価する方法の開発研究

栄養生化学	助教授 人見 英里	○ 南アフリカ産ハーブ茶ルイボスティーの機能性に関する研究
臨床栄養学	助教授 長坂 祐二	○ フラボノイドが培養細胞のストレス応答に与える影響について ○ インスリンの作用および細胞内情報伝達機構について ○ 高齢者の栄養評価について
食品化学	教 授 島田 和子	○ 抹茶の風味生成のための茶の熟成現象について ○ 豆腐の風味に関する研究－大豆リポキシゲナーゼの寄与－ ○ シクロデキストリンエマルションの物理化学的性質について
食品プロセス学	教 授 神武 正信	○ 膜技術の研究: 昆布洗い汁の濃縮のための膜選択と濃縮条件 ○ 食品のゲル化研究: 動粘度測定器を用いた食品のゲル化条件
食糧資源学	教 授 小川 雅広	○ イネ突然変異体プロテインボディの特性とその形成機構の解明 ○ イネグルテリンとプロラミン分別集積に関する分子機構の解明
生活環境化学	教 授 伊原 靖二	○ シクロデキストリン誘導体による有害物質の分離選択能の解明 ○ 分子集合体環境下での環境関連基質の分解処理に関する研究 ○ 有機含有排水中の各種吸着剤による吸着処理法の開発について
生活コロイド化学	教 授 松尾 洋	○ 脂質の二成分混合単分子膜 ○ 界面活性剤水溶液の表面吸着とミセル形成
環境生態学	教 授 鈴木 和雄	○ 植物と昆虫の共進化系 ○ 生物指標を用いた環境評価 ○ 植物、動物(主に昆虫、鳥)の自然史

健康福祉学研究科 平成 14 年 2002 年

健康福祉学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康福祉ケア (高齢者・障害者)	教 授 三原 博光	○ 障害者の家族の心理・社会的問題の研究 ○ 日本とドイツの障害者・老人福祉の比較研究
健康福祉ケア (高齢者・障害者)	助教授 横山 正博	○ 在宅ケア(ケアマネジメント)及び施設ケアに関する研究 ○ ソーシャルワークにおける援助関係論に関する研究 ○ 社会福祉教育に関する研究
健康福祉ケア (児童・家族)	教 授 野口 多恵子	○ 家族のヘルスケア機能に関する研究－母親の育児・家族の健康 管理機能に対する支援を中心に－
国際健康看護学	教 授 M.A.ペトリニ	○ My main research field is international nursing in evolving countries、 pediatric care, and effects of interactive teaching on the learning process.

臨床行動科学	教 授 廣瀬 春次	○ 行動変容に関する基礎的および臨床的研究 ○ 心身の健康増進に関する心理学的研究
臨床心理学	教 授 三船 直子	○ 様々な精神疾患について概説し、さらにユング心理学に基づき、心を病むということの意味について新しい角度から考察する。
健康スポーツ学	教 授 青木 邦男	○ 高齢者の心の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ スポーツ外傷・障害と関連する心理社会的要因についての研究
社会福祉学 (社会福祉発達史)	助教授 加登田 恵子	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての史的研究
社会政策・ 社会保障論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構造原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
地域社会学	教 授 志村 哲郎	○ 明治以降現在までの社会構造の変化と性役割の変化の分析 ○ 地域社会における家族の変容や家族構成員の役割変容の分析 ○ 上記に関連づけて現在の福祉観や福祉意識を分析する
発達心理学	教 授 三島 正英	○ 精神発達、とくに発達初期における空間や対象などの実在認識 発達に関する研究 ○ 子どもの成長・発達をめぐる臨床的課題に関する研究
地域福祉社会学	助教授 高野 和良	○ 地域社会における住民の生活構造と生活問題の実証的研究 ○ 過疎農山村社会における地域福祉構造に関する研究
臨床教育学	教 授 赤羽 潔	○ 青少年の発達過程を支えるケアとリードの関係に関する研究 ○ 青少年の福祉・教育施設における援助・指導のあり方について ○ 子供の「精神的自由権」に関する実践的研究
発達障害学	教 授 林 隆	○ 発達障害児の認知特性解明に関する臨床的事実に基づく研究 ○ 発達障害児の生活支援・家族支援についての実践研究

生活健康科学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康栄養学Ⅰ	教 授 森口 覚	○ 急性飢餓並びに糖尿病時の細胞性免疫能低下とGLUT-1発現 ○ 運動トレーニングと細胞性免疫能 ○ 隠れ肥満の現状と成因並びに健康に及ぼす影響
健康栄養学Ⅱ	教 授 足立 蓉子	○ 高齢者の食生活に関する研究 1. 生活支援型サービスについて 2. 一人暮らし高齢者のNutritional Qualityの向上について

健康栄養学Ⅲ	教 授 日野 精二	○ 一般中高年者・肥満者の基礎代謝について ○ 一般中高年者・肥満者における生活活動(労働・運動等)のエネルギー代謝及びその指標について
細胞栄養生理学	教 授 市村 孝雄	○ 母子間免疫グロブリン伝達機能に関する細胞生物学的研究 ○ 母乳ダイオキシンによる新生児脳発達障害の実験的研究 ○ 環境ホルモンの次世代影響を評価する方法の開発研究
栄養生化学	助教授 人見 英里	○ 南アフリカ産ハーブ茶ルイボスティーの機能性に関する研究
臨床栄養学	助教授 長坂 祐二	○ フラボノイドが培養細胞のストレス応答に与える影響について ○ インスリンの作用および細胞内情報伝達機構について ○ 高齢者の栄養評価について
食品化学	教 授 島田 和子	○ 抹茶の風味生成のための茶の熟成現象について ○ 豆腐の風味に関する研究－大豆リポキシゲナーゼの寄与－ ○ シクロデキストリンエマルションの物理化学的性質について
食品プロセス学	教 授 神武 正信	○ 膜技術の研究:昆布洗汁の濃縮のための膜選択と濃縮条件 ○ 食品のゲル化研究:動粘度測定器を用いた食品のゲル化条件
食糧資源学	教 授 小川 雅広	○ イネ突然変異体プロテインボディの特性とその形成機構の解明 ○ イネグルテリンとプロラミン分別集積に関する分子機構の解明 ○ イネ胚乳に存在するグルテリンとプロラミン分子多様性の解明
生活環境化学	教 授 伊原 靖二	○ シクロデキストリン誘導体による有害物質の分離選択能の解明 ○ 分子集合体環境下での環境関連基質の分解処理に関する研究 ○ 有機含有排水中の各種吸着剤による吸着処理法の開発について
生活コロイド化学	教 授 松尾 洋	○ 脂質の二成分混合単分子膜 ○ 界面活性剤水溶液の表面吸着とミセル形成
環境生態学	教 授 鈴木 和雄	○ 植物と昆虫の共進化系 ○ 生物指標を用いた環境評価 ○ 植物、動物(主に昆虫、鳥)の自然史

健康福祉学研究科 平成 15 年 2003 年

健康福祉学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康福祉ケア (高齢者・障害者)	教 授 三原 博光	○ 障害者の家族の心理・社会的問題の研究 ○ 障害者福祉の国際比較

健康福祉ケア (高齢者・障害者)	助教授 横山 正博	○ 在宅ケア(ケアマネジメント)及び施設ケアに関する研究 ○ ソーシャルワークにおける援助関係論に関する研究 ○ 社会福祉教育に関する研究
健康福祉ケア (児童・家族)	教 授 野口 多恵子	○ 家族のヘルスケア機能に関する研究－母親の育児・家族の健康 管理機能に対する支援を中心に－
国際健康看護学	教 授 M.A.ペトリニ	○ International nursing in evolving countries, pediatric care, and effects of interactive teaching on the learning process.
臨床行動科学	教 授 廣瀬 春次	○ 行動変容に関する基礎的および臨床的研究 ○ 心身の健康増進に関する心理学的研究
臨床心理学	教 授 三船 直子	○ 心理療法の実践と、治療プロセスに関する研究 ○ ユング心理学に基づき、夢及びイメージの臨床心理学的研究 ○ 心を病むということの意味について考察を重ねる。
健康スポーツ学	教 授 青木 邦男	○ 高齢者の心の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ スポーツ外傷・障害と関連する心理社会的要因についての研究
社会福祉学 (社会福祉発達史)	助教授 加登田 恵子	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての史的研究
社会政策・ 社会保障論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構造原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
地域社会学	教 授 志村 哲郎	○ 明治以降現在までの社会構造の変化と性役割の変化の分析 ○ 地域社会における家族の変容や家族構成員の役割変容の分析 ○ 上記に関連づけて現在の福祉観や福祉意識を分析する
発達心理学	教 授 三島 正英	○ 精神発達、とくに発達初期における空間や対象などの実在認識 発達に関する研究 ○ 子どもの成長・発達をめぐる臨床的課題に関する研究
地域福祉社会学	助教授 高野 和良	○ 地域社会における住民の生活構造と生活問題の実証的研究 ○ 過疎農山村社会における地域福祉構造に関する研究
発達障害学	教 授 林 隆	○ 発達障害児の認知特性解明に関する臨床的事実に基づく研究 ○ 発達障害児の生活支援・家族支援についての実践研究 ○ 超音波を用いた脳循環の非侵襲的評価についての研究

ケア科学	教 授 田中 マキ子	○ 看護ケアに関する実験的及び臨床的研究 ○ 看護技術教育における教育内容・方法に関する研究 ○ 看護師における職業的社会化についての研究
疫学	助教授 中澤 港	○ 感染症伝播や出生や死亡など人口動態に関する理論疫学的研究 ○ 途上国における近代化が地域集団にもたらす健康影響の研究
ターミナルケア	助教授 田中 愛子	○ ターミナルステージにある患者や家族の心の動きに関する研究 ○ 死生観と死の教育に関する研究 ○ 笑いや楽しい体験が、高齢者の免疫機能やQOLに与える影響

生活健康科学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康栄養学Ⅰ	教 授 森口 寛	○ 急性飢餓並びに糖尿病時の細胞性免疫能低下とGLUT-1発現 ○ 運動トレーニングと細胞性免疫能 ○ 隠れ肥満の現状と成因並びに健康に及ぼす影響
健康栄養学Ⅱ	教 授 足立 蓉子	○ 高齢者の食生活に関する研究 1. 生活支援型サービスについて 2. 一人暮らし高齢者のNutritional Qualityの向上について
健康栄養学Ⅲ	教 授 日野 精二	○ 小・中学生における栄養と健康
細胞栄養生理学	教 授 市村 孝雄	○ 子が母から受けつぐ免疫能:グロブリン輸送のメカニズム ○ 環境ホルモンが生殖器に及ぼす作用:精子減少との関係 ○ 温熱刺激に対する身体の反応:リラクセーションの生理学
栄養生化学	助教授 人見 英里	○ 南アフリカ産ハーブ茶ルイボスティーの機能性に関する研究 ○ 糖尿病における酸化ストレスの関与とその抑制に関する研究 ○ 食品成分による解毒酵素誘導機構に関する研究
臨床栄養学	教 授 長坂 祐二	○ 細胞のストレス反応に対するフラボノイドの効果 ○ アポトーシスにおけるMAPキナーゼ・カスケードの調節機構 ○ 細胞の増殖に対するグルタミン酸の効果
食品化学	教 授 島田 和子	○ 豆腐の食味に関する研究ー大豆リポキシゲナーゼの寄与ー ○ 山口県伝統野菜について ○ 食品の加工・熟成と嗜好性との関係について
食品プロセス学	教 授 神武 正信	○ 膜技術の研究:昆布洗い汁の濃縮のための膜選択と濃縮条件 ○ 食品のゲル化研究:動粘度測定器を用いた食品のゲル化条件

食糧資源学	教 授 小川 雅広	○ イネ種子に存在する2種類のプロテインジスルフィドイソメラーゼの生理機能の解析 ○ イネ突然変異体に存在するプロテインボディ形成に関する免疫組織化学的研究 ○ イネ貯蔵タンパク質突然変異体esp系統の醸造適正に関する研究
生活環境化学	教 授 伊原 靖二	○ シクロデキストリンホストの多次元機能の開発に関する実験的理論的研究 ○ 環境ホルモン類と生体レセプターモデルとの相互作用及びその電子状態解明に関する研究 ○ 河川の水質調査と河川環境の評価手法に関する研究
生活コロイド化学	教 授 松尾 洋	○ 脂質の二成分混合単分子膜 ○ 界面活性剤水溶液の表面吸着とミセル形成

健康福祉学研究科 平成 16 年 2004 年

健康福祉学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康福祉ケア (高齢者・障害者)	教 授 三原 博光	○ 障害者の家族の心理・社会的問題の研究 ○ 日本とドイツの障害者・老人福祉の比較研究
健康福祉ケア (高齢者・障害者)	助教授 横山 正博	○ 在宅ケア(ケアマネジメント)及び施設ケアに関する研究 ○ ソーシャルワークにおける援助関係論に関する研究 ○ 社会福祉教育に関する研究
健康福祉ケア (児童・家族)	教 授 野口 多恵子	○ 家族のヘルスケア機能に関する研究－母親の育児・家族の健康 管理機能に対する支援を中心に－
国際健康看護学	教 授 M.A.ペトリニ	○ International nursing in evolving countries、pediatric care, and effects of interactive teaching on the learning process.
臨床行動科学	教 授 廣瀬 春次	○ 行動変容に関する基礎的および臨床的研究 ○ 心身の健康増進に関する心理学的研究
臨床心理学	教 授 三船 直子	○ 心理療法の実践と、治療プロセスに関する研究 ○ ユング心理学に基づき、夢およびイメージの臨床心理学研究 ○ こころを病むということの意味についての考察を重ねる
健康スポーツ学	教 授 青木 邦男	○ 高齢者の心の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ スポーツ外傷・障害と関連する心理社会的要因についての研究
社会福祉学 (社会福祉発達史)	教 授 加登田 恵子	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての史的研究
社会政策・ 社会保障論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構造原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究

地域社会学	教 授 志村 哲郎	○ 明治以降現在までの社会構造の変化と性役割 の変化の分析 ○ 地域社会における家族の変容や家族構成員の 役割変容の分析
発達心理学	教 授 三島 正英	○ 精神発達、とくに発達初期における空間や対象 などの实在認識発達に関する研究 ○ 子どもの成長・発達をめぐる臨床的課題に関する 研究
地域福祉社会学	教 授 高野 和良	○ 地域社会における住民の生活構造と生活問題 の実証的研究 ○ 過疎農山村社会における地域福祉構造に関する 研究
発達障害医学	教 授 林 隆	○ 発達障害児の認知特性解明に関する臨床的研究 ○ 発達障害児の生活支援・家族支援についての 実践研究 ○ 超音波を用いた脳循環の非侵襲的評価につい ての研究
ケア科学	教 授 田中 マキ子	○ 看護ケアに関する実験的及び臨床的研究 ○ 看護技術教育における教育内容・方法に関する 研究 ○ 看護師における職業的社会的化についての研究
ターミナルケア	助教授 田中 愛子	○ ターミナルステージにある患者や家族の心の動 きに関する研究 ○ 死生観と死の教育に関する研究 ○ 笑いや楽しい体験が、高齢者の免疫機能や QOLに与える影響

生活健康科学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康栄養学Ⅰ	教 授 森口 覚	○ 急性飢餓並びに糖尿病時の細胞性免疫能低下 とGLUT-1発現 ○ 運動トレーニングと細胞性免疫能 ○ 隠れ肥満の現状と成因並びに健康に及ぼす影 響
健康栄養学Ⅱ	教 授 足立 蓉子	○ 高齢者の食生活に関する研究 1. 生活支援型サービスについて 2. 一人暮らし高齢者のNutritional Qualityの向上 について
健康栄養学Ⅲ	教 授 日野 精二	○ 小・中学生における栄養と健康
細胞栄養生理学	教 授 市村 孝雄	○ 環境ホルモンが生殖器に及ぼす作用:精子減少 との関係 ○ 音楽、匂い、温熱など、感覚刺激に対する身体 の反応:リラクセーションの生理学
栄養生化学	助教授 人見 英里	○ 南アフリカ産ハーブ茶ルイボスティの機能性 に関する研究 ○ 糖尿病における酸化ストレスの関与とその抑制 に関する研究 ○ 食品成分による解毒酵素誘導機能に関する研 究

臨床栄養学	教 授 長坂 祐二	○ 細胞のストレス応答に対するフラボノイドの効果 ○ フラノボイドの癌細胞増殖抑制作用の解析 ○ 細胞の増殖に対するグルタミン酸の効果
食品化学	教 授 島田 和子	○ 豆腐の風味に関する研究－大豆リポキシゲナーゼの寄与－ ○ 山口県伝統野菜について ○ 食品の加工・熟成と嗜好性との関係について
食糧資源学	教 授 小川 雅広	○ イネ突然変異体に存在する2種類のプロテインジスルフィドイソメラーゼの生理機能の解明 ○ イネ突然変異体に存在するプロテインボディ形成に関する免疫組織化学的研究 ○ イネ貯蔵タンパク質突然変異体esp系統の醸造適正に関する研究
生活環境化学	教 授 伊原 靖二	○ シクロデキストリンホストの多次元機能の開発に関する実験的理論的研究 ○ 環境ホルモン類と生体レセプターモデルとの相互作用及びその電子状態解明に関する研究 ○ 河川の水質調査と河川環境の評価手法に関する研究
生活コロイド化学	教 授 松尾 洋	○ 脂質の二成分混合単分子膜 ○ 界面活性剤水溶液の表面吸着とミセル形成
環境生態学	教 授 新井 哲夫	○ 昆虫の生活史調整機構と種分化の解析 ○ 昆虫の測時機構解析
調理科学	講 師 安藤 真美	○ 氷温貯蔵法を利用した食品の鮮度保持について ○ 地元野菜・果物から分離した天然酵母と県内産小麦粉を用いたパンの試作

健康福祉学研究科 平成 17 年 2005 年

健康福祉学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康福祉ケア (高齢者・障害者)	教 授 三原 博光	○ 障害者の家族の心理・社会的問題の研究 ○ 障害者福祉の国際比較
健康福祉ケア (高齢者・障害者)	教 授 横山 正博	○ 在宅ケア(ケアマネジメント)及び施設ケアに関する研究 ○ ソーシャルワークにおける援助関係論に関する研究 ○ 社会福祉教育に関する研究
健康福祉ケア (児童・家族)	教 授 野口 多恵子	○ 家族のヘルスケア機能に関する研究－母親の育児・家族の健康 管理機能に対する支援を中心に
国際健康看護学	教 授 M.A.ペトリニ	○ International nursing in evolving countries、pediatric care, and effects of interactive teaching on the learning process.
臨床行動科学	教 授 廣瀬 春次	○ 行動変容に関する基礎的および臨床的研究 ○ 心身健康増進に関する心理学的研究
臨床心理学	助教授 三船 直子	○ 心理療法の実践と、治療プロセスに関する研究 ○ ユング心理学に基づき、夢およびイメージの臨床心理学研究 ○ こころを病むということの意味についての考察を重ねる

健康スポーツ学	教 授 青木 邦男	○ 高齢者の心の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ スポーツ外傷・障害と関連する心理社会的要因についての研究
社会福祉学 (社会福祉発達史)	教 授 加登田 恵子	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての史的研究
社会政策・ 社会保障論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構造原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
地域社会学	教 授 志村 哲郎	○ 明治以降現在までの社会構造の変化と性役割の変化の分析 ○ 地域社会における家族の変容や家族構成員の役割変容の分析 ○ 上記に関連づけて現在の福祉観や福祉意識を分析する
発達心理学	教 授 三島 正英	○ 精神発達、とくに発達初期における空間や対象などの実在認識 発達に関する研究 ○ 子どもの成長・発達をめぐる臨床的課題に関する研究
地域福祉社会学	教 授 高野 和良	○ 地域社会における住民の生活構造と生活問題の実証的研究 ○ 過疎農山村社会における地域福祉構造に関する研究
発達障害医学	教 授 林 隆	○ 発達障害児の認知特性解明に関する臨床的研究 ○ 発達障害児の生活支援・家族支援についての実践研究 ○ 超音波を用いた脳循環の非侵襲的評価についての研究
ケア科学	教 授 田中 マキ子	○ 看護ケアに関する実験的及び臨床的研究 ○ 看護技術教育における教育内容・方法に関する研究 ○ 看護師における職業的社会化についての研究
ターミナルケア	助教授 田中 愛子	○ ターミナルステージにある患者や家族の心の動きに関する研究 ○ 死生観と死の教育に関する研究 ○ 笑いや楽しい体験が、高齢者の免疫機能やQOLに与える影響

生活健康科学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康栄養学 I	教 授 森口 覚	○ 急性飢餓並びに糖尿病時の細胞性免疫能低下とGLUT-1発現 ○ 運動トレーニングと細胞性免疫能 ○ 隠れ肥満の現状と成因並びに健康に及ぼす影響 ○ オボアルブミン誘発アレルギーモデル動物を用いた抗アレルギー食品の開発

健康栄養学Ⅱ	教 授 足立 蓉子	○ 高齢者の食生活に関する研究 ○ 生活支援型食事サービスについて ○ 一人暮らし高齢者のNutritional Qualityの向上について
健康栄養学Ⅲ	教 授 日野 精二	○ 食生活・身体活動
細胞栄養生理学	教 授 市村 孝雄	○ 環境ホルモンが生殖器に及ぼす作用:精子減少との関係 ○ 音楽、匂い、温熱など、感覚刺激に対する身体の反応:リラクセーションの生理学
栄養生化学	助教授 人見 英里	○ 南アフリカ産ハーブ茶ルイボスティーの機能性に関する研究 ○ 杜仲茶の生体内機能性に関する研究 ○ 食品成分による解毒酵素誘導機能に関する研究
臨床栄養学	教 授 長坂 祐二	○ 細胞のストレス応答に対するフラボノイドの効果 ○ フラノボイドの癌細胞増殖抑制作用の解析 ○ 糖尿病患者の安静時エネルギー代謝の測定
食品化学	教 授 島田 和子	○ 豆腐の風味に関する研究ー大豆リポキシゲナーゼの寄与ー ○ 山口県伝統野菜について ○ 食品の加工・熟成と嗜好性との関係について
食糧資源学	教 授 小川 雅広	○ イネ突然変異体に存在する2種類のプロテインジスルフィドイソメラーゼの生理機能の解明 ○ イネ突然変異体に存在するプロティンボディ形成に関する免疫組織化学的研究 ○ イネ貯蔵タンパク質突然変異体esp系統の醸造適正に関する研究
生活環境化学	教 授 伊原 靖二	○ シクロデキストリンホストの多次元機能の開発に関する実験的理論的研究 ○ 環境ホルモン類と生体レセプターモデルとの相互作用及びその電子状態解明に関する研究 ○ 河川の水質調査と河川環境の評価手法に関する研究
生活コロイド化学	教 授 松尾 洋	○ 脂質の二成分混合単分子膜 ○ 界面活性剤水溶液の表面吸着とミセル形成
環境生態学	教 授 新井 哲夫	○ 昆虫の生活史調整機構と種分化の解析 ○ 昆虫の測時機構解析
調理科学	講 師 安藤 真美	○ 氷温貯蔵法を利用した食品の鮮度保持について ○ 地元野菜・果物から分離した天然酵母と県内産小麦粉を用いたパンの試作

健康福祉学研究科 平成 18 年 2006 年

健康福祉学専攻博士前期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康スポーツ学	教 授 青木 邦男	○ 高齢者の心の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ スポーツ外傷・障害と関連する心理社会的要因についての研究

社会福祉学 (社会福祉発達史)	教 授 加登田 恵子	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての史的研究
地域社会学	教 授 志村 哲郎	○ 明治以降現在までの社会構造の変化と性役割の変化の分析 ○ 地域社会における家族の変容や家族構成員の役割変容の分析
地域福祉社会学	教 授 高野 和良	○ 地域社会における住民の生活構造と生活問題の実証的研究 ○ 過疎農山村社会における地域福祉構造に関する研究
社会政策・ 社会保障論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構造原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
ケア科学	教 授 田中 マキ子	○ 看護ケアに関する実験的及び臨床的研究 ○ 看護技術教育における教育内容・方法に関する研究 ○ 看護師における職業的社会化についての研究
発達障害医学	教 授 林 隆	○ 発達障害児の認知特性解明に関する臨床的研究 ○ 発達障害児の生活支援・家族支援についての実践研究 ○ 超音波を用いた脳循環の非侵襲的評価についての研究
臨床行動科学	教 授 廣瀬 春次	○ 行動変容に関する基礎的および臨床的研究 ○ 心身の健康増進に関する心理学的研究
国際健康看護学	教 授 M.A.ペトリーニ	○ International nursing in evolving countries, pediatric care, and effects of interactive teaching on the learning process.
発達心理学	教 授 三島 正英	○ 精神発達、とくに発達初期における空間や対象などの実在認識発達に関する研究 ○ 子どもの成長・発達をめぐる臨床的課題に関する研究
健康福祉ケア (高齢者・障害者)	教 授 横山 正博	○ 在宅ケア(ケアマネジメント)及び施設ケアに関する研究 ○ ソーシャルワークにおける援助関係論に関する研究 ○ 社会福祉教育に関する研究
ターミナルケア	教 授 田中 愛子	○ ターミナルステージにある患者や家族の心の動きに関する研究 ○ 死生観と死の教育に関する研究 ○ 笑いや楽しい体験が、高齢者の免疫機能やQOLに与える影響

生活健康科学専攻

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康栄養学Ⅱ	教 授 足立 蓉子	○ 高齢者の食生活に関する研究 ○ 生活支援型食事サービスについて ○ 一人暮らし高齢者のNutritional Qualityの向上について

環境生態学	教 授 新井 哲夫	○ 昆虫の生活史調整機構と種分化の解析 ○ 昆虫の測時機構解析
細胞栄養生理学	教 授 市村 孝雄	○ 環境ホルモンが生殖器に及ぼす作用:精子減少との関係 ○ 音楽、匂い、温熱など、感覚刺激に対する身体の反応:リラクセーションの生理学
生活環境化学	教 授 伊原 靖二	○ シクロデキストリンホストの多次元機能の開発に関する実験的理論的研究 ○ 環境ホルモン類と生体レセプターモデルとの相互作用及びその電子状態解明に関する研究 ○ 河川の水質調査と河川環境の評価手法に関する研究
食糧資源学	教 授 小川 雅広	○ イネ突然変異体に存在する2種類のプロテインジスルフィドイソメラーゼの生理機能の解明 ○ イネ突然変異体に存在するプロティンボディ形成に関する免疫組織化学的研究 ○ イネ貯蔵タンパク質突然変異体esp系統の醸造適正に関する研究
食品化学	教 授 島田 和子	○ 豆腐の風味に関する研究ー大豆リポキシゲナーゼの寄与ー ○ 山口県伝統野菜について ○ 食品の加工・熟成と嗜好性との関係について
臨床栄養学	教 授 長坂 祐二	○ 細胞のストレス応答に対するフラボノイドの効果 ○ フラノボイドの癌細胞増殖抑制作用の解析 ○ 高糖質及び高脂肪食が安静時エネルギー代謝に与える影響
健康栄養学Ⅲ	教 授 日野 精二	○ 食生活・身体活動
生活コロイド化学	教 授 松尾 洋	○ 脂質の二成分混合単分子膜 ○ 界面活性剤水溶液の表面吸着とミセル形成
健康栄養学Ⅰ	教 授 森口 寛	○ 喫煙に伴う肺胞マクロファージの質的及び機能的変化 ○ 運動トレーニングと細胞性免疫能 ○ 隠れ肥満の現状と成因並びに健康に及ぼす影響 ○ オボアルブミン誘発アレルギーモデル動物を用いた抗アレルギー食品の開発
調理科学	助教授 安藤 真美	○ 氷温貯蔵法を利用した食品の鮮度保持について ○ 地域の特徴的な農産物を活かした地産・地消を目指す取り組みについて ○ 様々な調理操作によって変化する食材の栄養性、嗜好性、生理機能性について ○ 子どもを取り巻く食環境の把握及び改善について
栄養生化学	助教授 人見 英里	○ 南アフリカ産ハーブ茶ルイボスティーの機能性に関する研究 ○ 杜仲茶の生体内機能性に関する研究 ○ ハーブ類、山口県産野菜類による解毒代謝酵素誘導機構に関する研究

健康福祉学専攻博士後期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
実践栄養学講究	教 授 足立 蓉子	○ 地域住民の食事満足度とQOLに関する研究 ○ 高齢者の食生活支援について
健康福祉学講究 地域社会計画講究	教 授 小川 全夫	○ 人口高齢化、地理的移動、中山間地域の地域 開発プログラムと その評価に関する研究
社会保障学講究	教 授 檜原 朗	○ イギリスの社会保障、日本の社会保険に関する 研究
福祉社会学講究	教 授 高野 和良	○ 高齢社会における地域生活構造に関する研究
臨床看護学講究	教 授 田中 マキ子	○ 看護師の臨床能力に関する要因抽出 ○ ケア技術に関するエビデンス解明
臨床栄養学講究	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病 の予防について○ フラボノイドの生理活性に関する 基礎的研究
発達障害学講究	教 授 林 隆	○ 発達障害の社会適応を阻む要因についての研 究 ○ 発達障害の認知特性を踏まえた生活支援につ いての研究
臨床心理学講究	教 授 廣瀬 春次	○ カウンセリングの理論と技術 ○ 健康に関する行動変容の研究 ○ 認知症患者とその家族への支援に関する研究
国際看護学講究	教 授 M. A. ペトリ ーニ	○ International nursing at the doctoral level analyzes health policy in countries and the impact on health and nursing education.
発達心理学講究	教 授 三島 正英	○ 精神発達に関わる理論的研究 ○ 児童虐待を始めとする現代の子供を取り巻く諸 課題の検討
健康福祉学講究 健康栄養学講究	教 授 森口 覚	○ ビタミンEと免疫 ○ 子供から高齢者までの食生活と健康について ○ 健康食品の機能評価に関する研究

健康福祉学研究科 平成 19 年 2007 年

健康福祉学専攻博士前期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康スポーツ特論	教 授 青木 邦男	○ 高齢者の心の健康に影響する心理社会的要因 に関する研究 ○ スポーツ外傷・障害と関連する心理社会的要因 についての研究
実践栄養学特論	教 授 足立 蓉子	○ 栄養・食育プログラムとその評価についての実証 的研究 ○ ヘルシーエイジングと食生活についての研究 ○ 高齢者の食事満足度に影響する要因について
生命と生活の質特論	教 授 市村 孝雄	○ 地球環境変動の健康影響と生命の質について の研究 ○ 環境ホルモンの生殖影響評価についての研究 ○ 温熱利用健康法の生理的解析についての研究
健康福祉学特論	教 授 小川 全夫	○ 高齢地域社会の研究 ○ 都市と農村交流の研究 ○ エイジング社会における地域社会計画の研究

健康福祉学特論	教 授 檜原 朗	○ イギリスの社会保障、日本の社会保険に関する研究
社会福祉発達史特論	教 授 加登田 恵子	○ 社会変化と社会問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての史的研究
地域福祉学特論	教 授 草平 武志	○ 市町村・福祉地区における保健医療福祉サービスシステムの構築に関する研究 ○ フォーマルケアとインフォーマルケアの関連についての研究
食品科学特論	教 授 島田 和子	○ 豆腐の風味に関する研究－大豆リポキシゲナーゼの寄与－ ○ 山口県産大豆の利用と機能に関する研究 ○ 食品の加工・熟成と嗜好性に関する研究
生命と生活の質特論	教 授 志村 哲郎	○ 現代社会における生、病、障、老、死について社会学、倫理学の分野より考察する
社会福祉学特論	教 授 愼 燮重	○ 東アジア型社会福祉モデルに関する研究
社会調査特論	教 授 高野 和良	○ 高齢社会における地域生活構造に関する研究
ターミナルケア特論	教 授 田中 愛子	○ ターミナルステージにある患者や家族の心の動きに関する研究 ○ 死生観と死の教育に関する研究 ○ 笑いや楽しい体験が、高齢者の免疫機能やQOLに与える影響
社会政策・社会保障特論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構成原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
臨床看護学特論	教 授 田中 マキ子	○ 臨床看護師における卒業後教育カリキュラム確立についての研究 ○ 看護師の自律意識と自己学習姿勢との関連性の研究 ○ 臨床看護師を支える核要素の抽出についての研究
精神保健福祉学特論	教 授 中村 仁志	○ 精神障害者の社会参加に対する看護職の役割とシステムについての研究 ○ 発達障害者に対する心理的支援についての研究
臨床栄養学特論	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防について ○ フラボノイドの生理活性に関する基礎的研究
発達医学特論	教 授 林 隆	○ 発達障害児の認知特性解明についての臨床的研究 ○ 軽度発達障害児の早期支援事業についての研究 ○ 超音波ドプラ法を用いた脳循環と認知機能についての研究
健康情報学特論	教 授 日野 精二	○ 小学生・中学生・高校生における食生活等と日常生活活動(身体活動レベル)についての研究

臨床心理学特論	教 授 廣瀬 春次	○ 様々な疾患や精神衛生上の問題を持つ人に対する介入研究や事例研究 ○ 慢性病の家族や身内を亡くした遺族などの喪失と悲嘆に関する量的・質的研究 ○ 内省、回想、語り等を通しての信念、価値観、ディスコース等の変化に関する研究
地域看護学特論	教 授 藤村 孝枝	○ 地域保健活動の計画策定及び評価に関する研究 ○ 住民の自己健康管理能力を高めるための専門職の支援方法に関する研究 ○ 行政で働く保健師の専門性に関する研究
国際看護学特論	教 授 M. A. ペトリ ーニ	○ International nursing in envolving countries, pediatric care, and effects of interactive teaching on the learning process.
発達心理学特論	教 授 三島 正英	○ 精神発達(特に認識発達)に関する研究 ○ 子ども虐待にかかわる研究
健康栄養学特論	教 授 森口 覚	○ 喫煙に伴う肺胞マクロファージの質的及び機能的変化についての研究 ○ 隠れ肥満の現状と成因並びに健康に及ぼす影響についての研究 ○ 粘膜免疫と栄養に関する研究 ○ 食育の進め方と問題点についての研究
健康福祉ケア特論	教 授 横山 正博	○ ケアマネジメントの評価に関する研究 ○ 認知症の予防、啓発・普及活動に関する研究 ○ ケアにおける援助関係論に関する研究
栄養生化学特論	助教授 人見 英里	○ 種々の食品(健康茶、ハーブ、山口県産わさび、山口県産柑橘等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究 ○ 高齢者の機能障害を予防・改善する間食パンの開発

健康福祉学専攻博士後期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
実践栄養学講究	教 授 足立 蓉子	○ 地域住民の食事満足度とQOLに関する研究 ○ 高齢者の食生活支援について
地域社会計画講究	教 授 小川 全夫	○ 人口高齢化、地理的移動、中山間地域の地域開発プログラムと その評価に関する研究
社会保障学講究	教 授 檜原 朗	○ イギリスの社会保障、日本の社会保険に関する研究
社会福祉学講究	教 授 愼 燮重	○ 東アジア型社会福祉モデルに関する研究
福祉社会学講究	教 授 高野 和良	○ 高齢社会における地域生活構造に関する研究
臨床看護学講究	教 授 田中 マキ子	○ 看護師の臨床能力に関する要因抽出 ○ ケア技術に関するエビデンス解明
臨床栄養学講究	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防について ○ フラボノイドの生理活性に関する基礎的研究

発達障害学講究	教 授 林 隆	○ 発達障害の社会適応を阻む要因についての研究 ○ 発達障害の認知特性を踏まえた生活支援についての研究
臨床心理学講究	教 授 廣瀬 春次	○ カウンセリングの理論と技術 ○ 健康に関する行動変容の研究 ○ 認知症患者とその家族への支援に関する研究
国際看護学講究	教 授 M. A. ペトリ ーニ	○ International nursing at the doctoral level analyzes health policy in countries and the impact on health and nursing education. ○ Students will study a country of choice and do the analysis and country to verify findings.
発達心理学講究	教 授 三島 正英	○ 精神発達に関わる理論的研究 ○ 児童虐待を始めとする現代の子供を取り巻く諸課題の検討
健康栄養学講究	教 授 森口 覚	○ ビタミンEと免疫 ○ 子供から高齢者までの食生活と健康について ○ 健康食品の機能評価に関する研究

健康福祉学研究科 平成 20 年 2008 年

健康福祉学専攻博士前期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康スポーツ特論	教 授 青木 邦男	○ 高齢者の心身の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ 生活習慣病の予防と改善のための運動処方についての研究
実践栄養学特論	教 授 足立 蓉子	○ 栄養・食育プログラムとその評価についての実証的研究 ○ ヘルシーエイジングと食生活についての研究 ○ 高齢者の食事満足度に影響する要因について
生命と生活の質特論	教 授 市村 孝雄	○ QOLの評価についての研究 ○ 健康法の生理的効果についての研究
健康福祉学特論	教 授 小川 全夫	○ 高齢地域社会の研究 ○ 都市と農村交流の研究 ○ エイジング社会における地域社会計画の研究
健康福祉学特論	教 授 檜原 朗	○ イギリスの社会保障、日本の社会保険に関する研究
社会福祉発達史特論	教 授 加登田 恵子	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての史的研究
地域福祉学特論	教 授 草平 武志	○ 市町村・福祉地区における保健医療福祉サービスシステムの構築に関する研究 ○ フォーマルケアとインフォーマルケアの関連についての研究
食品科学特論	教 授 島田 和子	○ 豆腐の風味に関する研究ー大豆リポキシゲナーゼの寄与ー ○ 山口県産大豆の利用と機能に関する研究 ○ 食品の加工・熟成と嗜好性に関する研究
生命と生活の質特論	教 授 志村 哲郎	○ 現代社会における生、病、障、老、死について社会学、倫理学の分野より考察する

社会福祉学特論	教 授 愼 燮重	○ 東アジア型社会福祉モデルに関する研究
社会調査特論	教 授 高野 和良	○ 高齢社会における地域生活構造に関する研究
ターミナルケア特論	教 授 田中 愛子	○ ターミナルステージにある患者や家族の心の動きに関する研究 ○ 死生観と死の教育に関する研究 ○ 笑いや楽しい体験が、高齢者の免疫機能やQOLに与える影響
社会政策・社会保障特論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構成原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
臨床看護学特論 健康福祉学特論	教 授 田中 マキ子	○ 臨床看護師における卒業後教育カリキュラム確立についての研究 ○ 看護師の自律意識と自己学習姿勢との関連性の研究 ○ 臨床看護師を支える核要素の抽出についての研究
精神保健福祉学特論	教 授 中村 仁志	○ 精神障害者の社会参加に対する看護職の役割とシステムについて の研究 ○ 発達障害者に対する心理的支援についての研究
臨床栄養学特論	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防について ○ フラボノイドの生理活性に関する基礎的研究
発達医学特論	教 授 林 隆	○ 発達障害児の認知特性解明についての臨床的研究 ○ 軽度発達障害児の早期支援事業についての研究 ○ 超音波ドプラ法を用いた脳循環と認知機能についての研究
栄養生化学特論	教 授 人見 英里	○ 種々の食品(健康茶、ハーブ、山口県産わさび、山口県産柑橘等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究 ○ 高齢者の機能障害を予防・改善する間食パンの開発
健康情報学特論	教 授 日野 精二	○ 小学生・中学生・高校生における食生活等と日常生活活動(身体活動レベル)についての研究
臨床心理学特論	教 授 廣瀬 春次	○ 様々な疾患や精神衛生上の問題を持つ人に対する介入研究や事例研究 ○ 慢性病の家族や身内を亡くした遺族などの喪失と悲嘆に関する量的・質的研究 ○ 内省、回想、語り等を通しての信念、価値観、ライフコース等の変化に関する研究
地域看護学特論	教 授 藤村 孝枝	○ 地域保健活動の計画策定及び評価に関する研究 ○ 住民の自己健康管理能力を高めるための専門職の支援方法に関する研究 ○ 行政で働く保健師の専門性に関する研究

国際看護学特論	教 授 M. A. ペトリ ーニ	○International nursing in envolving countries,pediatric care, and effects of interactive teaching on the learning process.
発達心理学特論	教 授 三島 正英	○ 精神発達(特に認識発達)に関する研究 ○ 子ども虐待にかかわる研究
健康福祉ケア特論	教 授 横山 正博	○ ケアマネジメントの評価に関する研究 ○ 認知症の予防、啓発・普及活動に関する研究 ○ ケアにおける援助関係論に関する研究

健康福祉学専攻博士後期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
実践栄養学講究	教 授 足立 蓉子	○ 地域住民の食事満足度とQOLに関する研究 ○ 高齢者の食生活支援について
健康福祉学講究 地域社会計画講究	教 授 小川 全夫	○ 人口高齢化、地理的移動、中山間地域の地域開発プログラムと その評価に関する研究
社会保障学講究	教 授 檜原 朗	○ イギリスの社会保障、日本の社会保険に関する研究
社会福祉学講究	教 授 愼 燮重	○ 東アジア型社会福祉モデルに関する研究
福祉社会学講究	教 授 高野 和良	○ 高齢社会における地域生活構造に関する研究
健康福祉学講究 臨床看護学講究	教 授 田中 マキ子	○ 看護師の臨床能力に関する研究 ○ 看護教育方法に関する研究 ○ 創傷ケアに関する研究
臨床栄養学講究	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防について ○ フラボノイドの生理活性に関する基礎的研究
発達障害学講究	教 授 林 隆	○ 発達障害の社会適応を阻む要因についての研究 ○ 発達障害の認知特性を踏まえた生活支援についての研究
臨床心理学講究	教 授 廣瀬 春次	○ カウンセリングの理論と技術 ○ 健康に関する行動変容の研究 ○ 認知症患者とその家族への支援に関する研究
国際看護学講究	教 授 M. A. ペトリ ーニ	○ International nursing at the doctoral level analyzes health policy in countries and the impact on health and nursing education. ○ Students will study a country of choice and do the analysis and country to verify findinngs.
発達心理学講究	教 授 三島 正英	○ 精神発達に関わる理論的研究 ○ 児童虐待を始めとする現代の子供を取り巻く諸課題の検討

健康福祉学研究科 平成 21 年 2009 年

健康福祉学専攻博士前期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康スポーツ特論	教 授 青木 邦 男	○ 高齢者の心身の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ 生活習慣病の予防と改善のための運動処方についての研究

健康福祉の倫理特論	教 授 岩本 テルヨ	○ 看護アドボカシーに関する研究 ○ 看護職の業務と裁量に関する研究 ○ 医療・福祉における倫理的課題に関する研究
生命と生活の質特論	教 授 市村 孝雄	○ QOLの評価についての研究 ○ 健康法の生理的効果についての研究
健康福祉学特論	教 授 小川 全夫	○ 高齢地域社会の研究 ○ 都市と農村交流の研究 ○ エイジング社会における地域社会計画の研究
社会福祉発達史特論	教 授 加登田 恵子	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての史的研究
地域福祉学特論	教 授 草平 武志	○ 市町村・福祉地区における保健医療福祉サービスシステムの構築に関する研究 ○ フォーマルケアとインフォーマルケアの関連についての研究
食品科学特論	教 授 島田 和子	○ 豆腐の風味に関する研究－大豆リポキシゲナーゼの寄与－ ○ 山口県産大豆の利用と機能に関する研究 ○ 食品の加工・熟成と嗜好性に関する研究
生命と生活の質特論	教 授 志村 哲郎	○ 現代社会における生、病、障、老、死について社会学、倫理学の分野より考察する
社会調査特論	教 授 高野 和良	○ 高齢社会における地域生活構造に関する研究
ターミナルケア特論	教 授 田中 愛子	○ ターミナルステージにある患者や家族の心の動きに関する研究 ○ 死生観と死の教育に関する研究 ○ 笑いや楽しい体験が、高齢者の免疫機能やQOLに与える影響
社会政策・社会保障特論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構成原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
臨床看護学特論 健康福祉学特論	教 授 田中 マキ子	○ 臨床看護師における卒業後教育カリキュラム確立についての研究 ○ 看護師の自律意識と自己学習姿勢との関連性の研究 ○ 臨床看護師を支える核要素の抽出についての研究
精神保健福祉学特論	教 授 中村 仁志	○ 精神障害者の社会参加に対する看護職の役割とシステムについての研究 ○ 発達障害者に対する心理的支援についての研究
臨床栄養学特論	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防について ○ フラボノイドの生理活性に関する基礎的研究
実践栄養学特論	准教授 乃木 章子	○ 生活習慣改善による体重コントロールと生活習慣病予防に関する研究

発達医学特論	教 授 林 隆	○ 発達障害児の認知特性解明についての臨床的研究 ○ 軽度発達障害児の早期支援事業についての研究
栄養生化学特論	教 授 人見 英里	○ 種々の食品(健康茶、ハーブ、山口県産わさび、山口県産柑橘等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究 ○ 高齢者の機能障害を予防・改善する間食パンの開発
健康情報学特論	教 授 日野 精二	○ 小学生・中学生・高校生における食生活等と日常生活活動(身体活動レベル)についての研究
臨床心理学特論	教 授 廣瀬 春次	○ 様々な疾患や精神衛生上の問題を持つ人に対する介入研究や事例研究 ○ 慢性病の家族や身内を亡くした遺族などの喪失と悲嘆に関する量的・質的研究 ○ 内省、回想、語り等を通しての信念、価値観、ライフコース等の変化に関する研究
地域看護学特論	教 授 藤村 孝枝	○ 地域保健活動の計画策定及び評価に関する研究 ○ 住民の自己健康管理能力を高めるための専門職の支援方法に関する研究 ○ 行政で働く保健師の専門性に関する研究
発達心理学特論	教 授 三島 正英	○ 精神発達(特に認識発達)に関する研究 ○ 子ども虐待にかかわる研究
健康福祉ケア特論	教 授 横山 正博	○ ケアマネジメントの評価に関する研究 ○ 認知症の予防、啓発・普及活動に関する研究 ○ ケアにおける援助関係論に関する研究

健康福祉学専攻博士後期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康福祉学講究 地域社会計画講究	教 授 小川 全夫	○ 人口高齢化、地理的移動、中山間地域の地域開発プログラムと その評価に関する研究
福祉社会学講究	教 授 高野 和良	○ 高齢社会における地域生活構造に関する研究
健康福祉学講究 臨床看護学講究	教 授 田 中 マキ子	○ 看護師の臨床能力に関する研究 ○ 看護教育方法に関する研究 ○ 創傷ケアに関する研究
臨床栄養学講究	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防について ○ フラボノイドの生理活性に関する基礎的研究
発達障害学講究	教 授 林 隆	○ 発達障害の社会適応を阻む要因についての研究 ○ 発達障害の認知特性を踏まえた生活支援についての研究
臨床心理学講究	教 授 廣瀬 春次	○ カウンセリングの理論と技術 ○ 健康に関する行動変容の研究 ○ 認知症患者とその家族への支援に関する研究
発達心理学講究	教 授 三島 正英	○ 精神発達に関わる理論的研究 ○ 児童虐待を始めとする現代の子供を取り巻く諸課題の検討

健康福祉学研究科 平成 22 年 2010 年
健康福祉学専攻博士前期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康スポーツ特論	教 授 青木 邦男	○ 高齢者の心身の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ 生活習慣病の予防と改善のための運動処方についての研究
健康福祉の倫理特論	教 授 岩本 テルヨ	○ 看護アドボカシーに関する研究 ○ 看護職の業務と裁量に関する研究 ○ 医療・福祉における倫理的課題に関する研究
社会福祉発達史特論	教 授 加登田 恵子	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての史的研究
地域福祉学特論	教 授 草平 武志	○ 市町村・福祉地区における保健医療福祉サービスシステムの構築に関する研究 ○ フォーマルケアとインフォーマルケアの関連についての研究
食品科学特論	教 授 島田 和子	○ 豆腐の風味に関する研究－大豆リポキシゲナーゼの寄与－ ○ 山口県産大豆の利用と機能に関する研究 ○ 食品の加工・熟成と嗜好性に関する研究
生命と生活の質特論	教 授 志村 哲郎	○ 現代社会における生、病、障、老、死について社会学、倫理学の分野より考察する
調理学特論	講 師 園田 純子	○ 幼稚園における保護者を対象とした食育プログラムの実践 ○ 抹茶の起泡性に及ぼす諸条件の影響 ○ 食育歴と調理技術および知識とのかかわりについて
ターミナルケア特論	教 授 田中 愛子	○ ターミナルステージにある患者や家族の心の動きに関する研究 ○ 死生観と死の教育に関する研究 ○ 笑いや楽しい体験が、高齢者の免疫機能やQOLに与える影響
社会政策・社会保障特論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構成原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
臨床看護学特論 健康福祉学特論	教 授 田中 マキ子	○ 臨床看護師における卒業後教育カリキュラム確立についての研究 ○ 看護師の自律意識と自己学習姿勢との関連性の研究 ○ 臨床看護師を支える核要素の抽出についての研究
臨床栄養学特論	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防について ○ フラボノイドの生理活性に関する基礎的研究
実践栄養学特論	准教授 乃木 章子	○ 生活習慣改善による体重コントロールと生活習慣病予防に関する研究

精神保健福祉学特論	教 授 中村 仁志	○ 精神障害者の社会参加に対する看護職の役割とシステムについて の研究 ○ 発達障害者に対する心理的支援についての研究
発達医学特論	教 授 林 隆	○ 発達障害児の認知特性解明についての臨床的研究 ○ 軽度発達障害児の早期支援事業についての研究 ○ 超音波ドプラ法を用いた脳循環と認知機能についての研究
栄養生化学特論	教 授 人見 英里	○ 種々の食品(健康茶、ハーブ、山口県産わさび、山口県産柑橘等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究 ○ 高齢者の機能障害を予防・改善する間食パンの開発
健康情報学特論	教 授 日野 精二	○ 小学生・中学生・高校生における食生活等と日常生活活動(身体活動レベル)についての研究
臨床心理学特論	教 授 廣瀬 春次	○ 様々な疾患や精神衛生上の問題を持つ人に対する介入研究や事例研究 ○ 慢性病の家族や身内を亡くした遺族などの喪失と悲嘆に関する量的・質的研究 ○ 内省、回想、語り等を通しての信念、価値観、ディスコース等の変化に関する研究
地域看護学特論	教 授 藤村 孝枝	○ 地域保健活動の計画策定及び評価に関する研究 ○ 住民の自己健康管理能力を高めるための専門職の支援方法に関する研究 ○ 行政で働く保健師の専門性に関する研究
発達心理学特論	教 授 三島 正英	○ 精神発達(特に認識発達)に関する研究 ○ 子ども虐待にかかわる研究
健康福祉ケア特論	教 授 横山 正博	○ ケアマネジメントの評価に関する研究 ○ 認知症の予防、啓発・普及活動に関する研究 ○ ケアにおける援助関係論に関する研究

健康福祉学専攻博士後期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康福祉の倫理講究	教 授 岩本 テルヨ	○ 看護アドボカシーに関する研究 ○ 看護職の業務と裁量に関する研究 ○ 医療・福祉における倫理的課題に関する研究
社会保障学講究	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構成原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
健康福祉学講究 臨床看護学講究	教 授 田中 マキ子	○ 看護師の臨床能力に関する研究 ○ 看護教育方法に関する研究 ○ 創傷ケアに関する研究
臨床栄養学講究	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防について ○ フラボノイドの生理活性に関する基礎的研究

発達障害学講究	教 授 林 隆	○ 発達障害の社会適応を阻む要因についての研究 ○ 発達障害の認知特性を踏まえた生活支援についての研究
臨床心理学講究	教 授 廣瀬 春次	○ カウンセリングの理論と技術 ○ 健康に関する行動変容の研究 ○ 認知症患者とその家族への支援に関する研究
発達心理学講究	教 授 三島 正英	○ 精神発達に関わる理論的研究 ○ 児童虐待を始めとする現代の子供を取り巻く諸課題の検討
生命と生活の質特論	教 授 吉村 耕一	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関する研究

健康福祉学研究科 平成 23 年 2011 年

健康福祉学専攻博士前期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康スポーツ特論	教 授 青木 邦男	○ 高齢者の心身の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ 生活習慣病の予防と改善のための運動処方についての研究
社会福祉学特論	教 授 加登田 恵子	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての史的研究
地域福祉学特論	教 授 草平 武志	○ 市町村・福祉地区における保健医療福祉サービスシステムの構築に関する研究 ○ フォーマルケアとインフォーマルケアの関連についての研究
食品科学特論	教 授 島田 和子	○ 豆腐の風味に関する研究－大豆リポキシゲナーゼの寄与－ ○ 山口県産大豆の利用と機能に関する研究 ○ 食品の加工・熟成と嗜好性に関する研究
生命と生活の質特論	教 授 志村 哲郎	○ 現代社会における生、病、障、老、死について社会学、倫理学の分野より考察する
調理学特論	講 師 園田 純子	○ 幼稚園における保護者を対象とした食育プログラムの実践 ○ 抹茶の起泡性に及ぼす諸条件の影響 ○ 食育歴と調理技術および知識とのかかわりについて
ターミナルケア特論	教 授 田中 愛子	○ ターミナルステージにある患者や家族の心の動きに関する研究 ○ 死生観と死の教育に関する研究 ○ 笑いや楽しい体験が、高齢者の免疫機能やQOLに与える影響
社会政策・社会保障特論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構成原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究

臨床看護学特論 健康福祉学特論	教 授 田中 マキ子	○ 臨床看護師における卒業後教育カリキュラム確立についての研究 ○ 看護師の自律意識と自己学習姿勢との関連性の研究 ○ 臨床看護師を支える核要素の抽出についての研究
臨床栄養学特論	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防について ○ フラボノイドの生理活性に関する基礎的研究
精神保健福祉学特論	教 授 中村 仁志	○ 精神障害者の社会参加に対する看護職の役割とシステムについての研究 ○ 発達障害者に対する心理的支援についての研究
社会学特論	教 授 中村 文哉	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生とそれを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証的な考察
実践栄養学特論	教 授 乃木 章子	○ 生活習慣改善による体重コントロールと生活習慣病予防に関する研究
発達医学特論	教 授 林 隆	○ 発達障害児の認知特性解明についての臨床的研究 ○ 軽度発達障害児の早期支援事業についての研究 ○ 超音波ドプラ法を用いた脳循環と認知機能についての研究
栄養生化学特論	教 授 人見 英里	○ 種々の食品(健康茶、ハーブ、山口県産わさび、山口県産柑橘等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究 ○ 高齢者の機能障害を予防・改善する間食パンの開発
健康情報学特論	教 授 日野 精二	○ 小学生・中学生・高校生における食生活等と日常生活活動(身体活動レベル)についての研究
地域看護学特論	教 授 藤村 孝枝	○ 地域保健活動の計画策定及び評価に関する研究 ○ 住民の自己健康管理能力を高めるための専門職の支援方法に関する研究 ○ 行政で働く保健師の専門性に関する研究
発達心理学特論	教 授 三島 正英	○ 精神発達(特に認識発達)に関する研究 ○ 子ども虐待にかかわる研究
健康福祉ケア特論	教 授 横山 正博	○ ケアマネジメントの評価に関する研究 ○ 認知症の予防、啓発・普及活動に関する研究 ○ ケアにおける援助関係論に関する研究
生命と生活の質特論	教 授 吉村 耕一	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関する研究
公衆栄養学特論	准教授 草間 かおる	○ 栄養学的ハイリスク者(高齢者、妊産婦など)に対する栄養評価と食生活支援に関する研究

健康福祉学専攻博士後期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
--------	------	--------

社会保障学講究	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構成原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
健康福祉学講究 臨床看護学講究	教 授 田中 マキ子	○ 看護師の臨床能力に関する研究 ○ 看護教育方法に関する研究 ○ 創傷ケアに関する研究
健康福祉学講究 臨床栄養学講究	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防について ○ フラボノイドの生理活性に関する基礎的研究
発達障害学講究	教 授 林 隆	○ 発達障害の社会適応を阻む要因についての研究 ○ 発達障害の認知特性を踏まえた生活支援についての研究
発達心理学講究	教 授 三島 正英	○ 精神発達に関わる理論的研究 ○ 児童虐待を始めとする現代の子供を取り巻く諸課題の検討
健康福祉の倫理講究	准教授 草間 かおる	○ 栄養学的ハイリスク者(高齢者、妊産婦など)に対する栄養評価と食生活支援に関する研究

健康福祉学研究科 平成 24 年 2012 年

健康福祉学専攻博士前期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康運動学特論	教 授 青木 邦男	○ 高齢者の心身の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ 生活習慣病の予防と改善のための運動処方についての研究
社会福祉学特論	教 授 加登田 恵子	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての史的研究
地域福祉学特論	教 授 草平 武志	○ 市町村・福祉地区における保健医療福祉サービスシステムの構築に関する研究 ○ フォーマルケアとインフォーマルケアの関連についての研究
食品科学特論	教 授 島田 和子	○ 豆腐の風味に関する研究－大豆リポキシゲナーゼの寄与－ ○ 山口県産大豆の利用と機能に関する研究 ○ 食品の加工・熟成と嗜好性に関する研究
生命と生活の質特論	教 授 志村 哲郎	○ 現代社会における生、病、障、老、死について社会学、倫理学の分野より考察する
ターミナルケア特論	教 授 田中 愛子	○ ターミナルステージにある患者や家族の心の動きに関する研究 ○ 死生観と死の教育に関する研究 ○ 笑いや楽しい体験が、高齢者の免疫機能やQOLに与える影響

社会政策・社会保障 特論 健康福祉学特論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の 姿や構成原理、 財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化な ど現代の経済 社会が直面している変化と社会保障の今後のあり 方の研究
臨床看護学特論 健康福祉学特論	教 授 田中 マキ子	○ 臨床看護師における卒業後教育カリキュラム確 立についての研究 ○ 看護師の自律意識と自己学習姿勢との関連性 の研究 ○ 臨床看護師を支える核要素の抽出についての 研究
病態栄養学特論 健康福祉学特論	教 授 長坂 祐 二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病 の予防について ○ フラボノイドの生理活性に関する基礎的研究
精神保健福祉学特論	教 授 中村 仁志	○ 精神障害者の社会参加に対する看護職の役割 とシステムについての研究 ○ 発達障害者に対する心理的支援についての研 究
社会学特論	教 授 中村 文哉	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生と それを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証 的な考察
臨床栄養学特論	教 授 乃木 章子	○ 生活習慣改善による体重コントロールと生活習 慣病予防に関する研究
発達医学特論	教 授 林 隆	○ 発達障害児の認知特性解明についての臨床的 研究 ○ 軽度発達障害児の早期支援事業についての研 究 ○ 超音波ドプラ法を用いた脳循環と認知機能につ いての研究
栄養生化学特論	教 授 人見 英里	○ 種々の食品(健康茶、ハーブ、山口県産わさび、 山口県産柑橘等)の成分が生体機能に及ぼす影響 に関する研究 ○ 高齢者の機能障害を予防・改善する間食パンの 開発
健康情報学特論	教 授 日野 精二	○ 小学生・中学生・高校生における食生活等と日 常生活活動(身体活動レベル)についての研究
地域看護学特論	教 授 藤村 孝枝	○ 地域保健活動の計画策定及び評価に関する研 究 ○ 住民の自己健康管理能力を高めるための専門 職の支援方法に関する研究 ○ 行政で働く保健師の専門性に関する研究
発達心理学特論	教 授 三島 正英	○ 精神発達(特に認識発達)に関する研究 ○ 子ども虐待にかかわる研究
健康福祉ケア特論	教 授 横山 正博	○ ケアマネジメントの評価に関する研究 ○ 認知症の予防、啓発・普及活動に関する研究 ○ ケアにおける援助関係論に関する研究
生命と生活の質特論	教 授 吉村 耕一	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関 する研究

公衆栄養学特論	准教授 草間 かおる	○ 栄養学的ハイリスク者(高齢者、妊産婦など)に対する栄養評価と食生活支援に関する研究
調理学特論	講 師 園田 純子	○ 幼稚園における保護者を対象とした食育プログラムの実践 ○ 抹茶の起泡性に及ぼす諸条件の影響 ○ 食育歴と調理技術および知識とのかかわりについて

健康福祉学専攻博士後期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康栄養学講究	准教授 草間 かおる	○ 栄養学的ハイリスク者(高齢者、妊産婦など)に対する栄養評価と食生活支援に関する研究
社会保障学講究	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構成原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
臨床看護学講究	教 授 田中 マキ子	○ 看護師の臨床能力に関する研究 ○ 看護教育方法に関する研究 ○ 創傷ケアに関する研究
臨床栄養学講究	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防について ○ フラボノイドの生理活性に関する基礎的研究
発達障害学講究	教 授 林 隆	○ 発達障害の社会適応を阻む要因についての研究 ○ 発達障害の認知特性を踏まえた生活支援についての研
発達心理学講究	教 授 三島 正英	○ 精神発達に関わる理論的研究 ○ 児童虐待を始めとする現代の子供を取り巻く諸課題の検討

健康福祉学研究科 平成 25 年 2013 年

健康福祉学専攻博士前期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康運動学特論	教 授 青木 邦男	○ 高齢者の心身の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ 生活習慣病の予防と改善のための運動処方についての研究
社会福祉学特論	教 授 加登田 恵子	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 戦後の社会福祉調査史研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての研究
地域福祉学特論	教 授 草平 武志	○ 市町村・福祉地区における保健医療福祉サービスシステムの構築に関する研究 ○ フォーマルケアとインフォーマルケアの関連についての研究
食品科学特論	教 授 島田 和子	○ 豆腐の風味に関する研究ー大豆リポキシゲナーゼの寄与ー ○ 山口県産大豆の利用と機能に関する研究 ○ 食品の加工・熟成と嗜好性に関する研究

生命と生活の質特論	教 授 志村 哲郎	○ 現代社会における生、病、障、老、死について社会学、倫理学の分野より考察する
ターミナルケア特論	教 授 田中 愛子	○ ターミナルステージにある患者や家族の心の動きに関する研究 ○ 死生観と死の教育に関する研究 ○ 笑いや楽しい体験が、高齢者の免疫機能やQOLに与える影響
社会政策・社会保障特論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構成原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
臨床看護学特論	教 授 田中 マキ子	○ 臨床看護師における卒業後教育カリキュラム確立についての研究 ○ 看護師の自律意識と自己学習姿勢との関連性の研究 ○ 臨床看護師を支える核要素の抽出についての研究
病態栄養学特論	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防についての研究 ○ 食事とエネルギー代謝についての研究 ○ ストレスと呼吸法についての研究
精神保健福祉学特論	教 授 中村 仁志	○ 精神障害者の社会参加に対する看護職の役割とシステムについての研究 ○ 発達障害者に対する心理的支援についての研究
社会学特論	教 授 中村 文哉	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生とそれを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証的な考察
臨床栄養学特論	教 授 乃木 章子	○ 食習慣改善による生活習慣病の予防および改善に関する研究
栄養生化学特論	教 授 人見 英里	○ 種々の食品(健康茶、山口県産野菜・果実類等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究
健康情報学特論	教 授 日野 精二	○ 小学生・中学生・高校生における食生活等と日常生活活動(身体活動レベル)についての研究
地域看護学特論	教 授 藤村 孝枝	○ 地域保健活動の計画策定及び評価に関する研究 ○ 住民の自己健康管理能力を高めるための専門職の支援方法に関する研究 ○ 行政で働く保健師の専門性に関する研究
発達心理学特論	教 授 三島 正英	○ 精神発達(特に認識発達)に関する研究 ○ 子ども虐待にかかわる研究
健康福祉ケア特論	教 授 横山 正博	○ ケアマネジメントの評価に関する研究 ○ 認知症高齢者ケア、認知症の啓発・普及活動に関する研究 ○ ケアにおける支援関係論に関する研究
生命と生活の質特論	教 授 吉村 耕一	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関する研究
臨床心理学特論	准教授 佐々木 直美	○ 高齢者の臨床心理学的援助に関する研究

調理学特論	講 師 園田 純子	○ 起泡性を持つ茶の物性及び茶の嗜好性に関する研究 ○ 幼児や保護者、大学生の食育に関する研究 ○ 地域の伝承料理や食文化に関する研究
-------	--------------	---

健康福祉学専攻博士後期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
社会保障学講究	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構成原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
臨床看護学講究	教 授 田中 マキ子	○ 看護師の臨床能力に関する研究 ○ 看護教育方法に関する研究 ○ 創傷ケアに関する研究
臨床栄養学講究	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防についての研究 ○ 食事とエネルギー代謝についての研究 ○ ストレスと呼吸法についての研究
発達心理学講究	教 授 三島 正英	○ 精神発達に関わる理論的研究 ○ 児童虐待を始めとする現代の子供を取り巻く諸課題の検討
臨床心理学特論	准教授 佐々木 直美	○ 高齢者の臨床心理学的援助に関する研究

健康福祉学研究科 平成 26 年 2014 年

健康福祉学専攻博士前期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
健康運動学特論	教 授 青木 邦 男	○ 高齢者の心身の健康に影響する心理社会的要因に関する研究 ○ 生活習慣病の予防と改善のための運動処方についての研究
社会福祉学特論	教 授 加登田 恵子	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 戦後の社会福祉調査史研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての研究
地域福祉学特論	教 授 草平 武志	○ 市町村・福祉地区における保健医療福祉サービスシステムの構築に関する研究 ○ フォーマルケアとインフォーマルケアの関連についての研究
食品科学特論	教 授 島田 和子	○ 豆腐の風味に関する研究－大豆リポキシゲナーゼの寄与－ ○ 山口県産大豆の利用と機能に関する研究 ○ 食品の加工・熟成と嗜好性に関する研究
生命と生活の質特論	教 授 志村 哲郎	○ 現代社会における生、病、障、老、死について社会学、倫理学の分野より考察する

ターミナルケア特論	教 授 田中 愛子	○ ターミナルステージにある患者や家族の心の動きに関する研究 ○ 死生観と死の教育に関する研究 ○ 笑いや楽しい体験が、高齢者の免疫機能やQOLに与える影響
社会政策・社会保障特論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構成原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
臨床看護学特論	教 授 田中 マキ子	○ 臨床看護師における卒業後教育カリキュラム確立についての研究 ○ 看護師の自律意識と自己学習姿勢との関連性の研究 ○ 臨床看護師を支える核要素の抽出についての研究
病態栄養学特論	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防についての研究 ○ 食事とエネルギー代謝についての研究 ○ ストレスと呼吸法についての研究
精神保健福祉学特論	教 授 中村 仁志	○ 精神障害者の社会参加に対する看護職の役割とシステムについての研究 ○ 発達障害者に対する心理的支援についての研究
社会学特論	教 授 中村 文哉	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生とそれを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証的な考察
臨床栄養学特論	教 授 乃木 章子	○ 食習慣改善による生活習慣病の予防および改善に関する研究
栄養生化学特論	教 授 人見 英里	○ 種々の食品(健康茶、山口県産野菜・果実類等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究
地域看護学特論	教 授 藤村 孝枝	○ 地域保健活動の計画策定及び評価に関する研究 ○ 住民の自己健康管理能力を高めるための専門職の支援方法に関する研究 ○ 行政で働く保健師の専門性に関する研究
発達心理学特論	教 授 三島 正英	○ 精神発達(特に認識発達)に関する研究 ○ 子ども虐待にかかわる研究
健康福祉ケア特論	教 授 横山 正博	○ ケアマネジメントの評価に関する研究 ○ 認知症高齢者ケア、認知症の啓発・普及活動に関する研究 ○ ケアにおける支援関係論に関する研究
生命と生活の質特論	教 授 吉村 耕一	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関する研究
臨床心理学特論	准教授 佐々木 直美	○ 高齢者の臨床心理学的援助に関する研究
調理学特論	講 師 園田 純子	○ 起泡性を持つ茶の物性及び茶の嗜好性に関する研究 ○ 幼児や保護者、大学生の食育に関する研究 ○ 地域の伝承料理や食文化に関する研究

健康福祉学専攻博士後期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
社会保障学講究	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構成原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
臨床看護学講究	教 授 田中 マキ子	○ 看護師の臨床能力に関する研究 ○ 看護教育方法に関する研究 ○ 創傷ケアに関する研究
臨床栄養学講究	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防についての研究 ○ 食事とエネルギー代謝についての研究 ○ ストレスと呼吸法についての研究
発達心理学講究	教 授 三島 正英	○ 精神発達に関わる理論的研究 ○ 児童虐待を始めとする現代の子供を取り巻く諸課題の検討
臨床心理学講究	准教授 佐々木 直美	○ 高齢者の臨床心理学的援助に関する研究
健康福祉学講究	教 授 中村 文哉	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生とそれを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証的な考察
健康福祉学講究	教 授 人見 英里	○ 種々の食品(健康茶、山口県産野菜・果実類等)及びその成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究
健康福祉学講究	教 授 吉村 耕一	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関する研究

健康福祉学研究科 平成 27 年 2015 年

健康福祉学専攻博士前期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
病態栄養学特論	教 授 内田 耕一	○ 肝硬変患者の栄養治療の研究 ○ 肥満症治療の研究
社会福祉学特論	教 授 加登田 恵子	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 戦後の社会福祉調査史研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての研究
地域福祉学特論	教 授 草平 武志	○ 市町村・福祉地区における保健医療福祉サービスシステムの構築に関する研究 ○ フォーマルケアとインフォーマルケアの関連についての研究
老年社会学特論	教 授 坂本 俊彦	○ 高齢者の社会参加と生きがいに関する研究 ○ 協働のまちづくりの推進条件に関する研究
社会政策・社会保障特論	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構成原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究

臨床看護学特論	教 授 田中 マキ子	○ 臨床看護師における卒業後教育カリキュラム確立についての研究 ○ 看護師の自律意識と自己学習姿勢との関連性の研究 ○ 臨床看護師を支える核要素の抽出についての研究
病態栄養学特論	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防についての研究 ○ 食事とエネルギー代謝についての研究 ○ ストレスと呼吸法についての研究
精神保健福祉学特論	教 授 中村 仁志	○ 精神障害者の社会参加に対する看護職の役割とシステムについての研究 ○ 発達障害者に対する心理的支援についての研究
社会学特論	教 授 中村 文哉	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生とそれを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証的な考察
臨床栄養学特論	教 授 乃木 章子	○ 食習慣改善による生活習慣病の予防および改善に関する研究
栄養生化学特論	教 授 人見 英里	○ 種々の食品(健康茶、山口県産野菜・果実類等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究
地域看護学特論	教 授 藤村 孝枝	○ 地域保健活動の計画策定及び評価に関する研究 ○ 住民の自己健康管理能力を高めるための専門職の支援方法に関する研究 ○ 行政で働く保健師の専門性に関する研究
健康情報学特論	教 授 増成 直美	○ 骨粗しょう症の疫学に関する研究
健康福祉ケア特論	教 授 横山 正博	○ ケアマネジメントの評価に関する研究 ○ 認知症高齢者ケア、認知症の啓発・普及活動に関する研究 ○ ケアにおける支援関係論に関する研究
生命と生活の質特論	教 授 吉村 耕一	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関する研究
健康福祉倫理学特論	准教授 上白木 悦子	○ 患者の意思決定支援に関する研究 ○ 終末期医療の倫理問題等、医療福祉分野の倫理問題に関する研究
臨床心理学特論	准教授 佐々木 直美	○ 回想法を用いた高齢者支援の研究 ○ 生殖医療における心理カウンセリングの研究
身体運動科学特論	准教授 曾根 文夫	○ 身体運動の生理心理学的効果に関する研究 ○ 体温調節機能と健康に関する研究
健康福祉学特論応用演習	准教授 弘津 公子	○ 栄養状態とADLおよびQOLの関係に関する研究 ○ 介護予防やスポーツ栄養に関する研究
臨床福祉学特論	准教授 宮崎 まさ江	○ 精神障がいのある人の地域生活支援 ○ 精神保健福祉士の権利擁護実践 ○ 精神保健福祉士養成教育のあり方(演習・実習を中心に)
権利擁護特論	准教授 藪本 知二	○ 子どもの権利に関する研究 ○ 成年後見制度に関する研究

調理学特論	講 師 園田 純子	○ 起泡性を持つ茶の物性及び茶の嗜好性に関する研究 ○ 幼児や保護者、大学生の食育に関する研究 ○ 地域の伝承料理や食文化に関する研究
-------	--------------	---

健康福祉学専攻博士後期課程

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
病態栄養学特論	教 授 内田 耕一	○ 肝硬変患者の栄養治療の研究 ○ 肥満症治療の研究
社会保障学講究	教 授 田中 耕太郎	○ 医療、年金、介護保険など、社会保障の全体の姿や構成原理、財政、歴史などの研究 ○ 少子高齢化、雇用形態の変化、グローバル化など現代の経済社会が直面している変化と社会保障の今後のあり方の研究
臨床看護学講究	教 授 田中 マキ子	○ 看護師の臨床能力に関する研究 ○ 看護教育方法に関する研究 ○ 創傷ケアに関する研究
臨床栄養学講究	教 授 長坂 祐二	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防についての研究 ○ 食事とエネルギー代謝についての研究 ○ ストレスと呼吸法についての研究
健康福祉学講究	教 授 中村 文哉	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生とそれを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証的な考察
健康福祉学講究	教 授 人見 英里	○ 種々の食品(健康茶、山口県産野菜・果実類等)及びその成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究
健康福祉学講究	教 授 吉村 耕一	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関する研究
健康福祉倫理学特論	准教授 上白木 悦子	○ 患者の意思決定支援に関する研究 ○ 終末期医療の倫理問題等、医療福祉分野の倫理問題に関する研究
臨床心理学特論	准教授 佐々木 直美	○ 回想法を用いた高齢者支援の研究 ○ 生殖医療における心理カウンセリングの研究
身体運動科学特論	准教授 曾根 文夫	○ 身体運動の生理心理学的効果に関する研究 ○ 体温調節機能と健康に関する研究

健康福祉学研究科 平成 28 年 2016 年

健康福祉学専攻博士前期課程

担当教員	教育研究分野	主な研究内容
教 授 内田 耕一	病態栄養学特論	○ 肝硬変患者の栄養治療の研究 ○ 肥満症治療の研究
教 授 浦山 晶美	看護科学特論	○ 子育てに関する研究 ○ Virtuesに関する研究 ○ 自己効力感・自尊感情に関する研究
教 授 加登田 恵子	社会福祉学特論	○ 社会変化と生活問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての史的研究

教 授 草平 武志	地域福祉学特論	○ 市町村・福祉地区における保健医療福祉サービスシステムの構築に関する研究 ○ フォーマルケアとインフォーマルケアの関連についての研究
教 授 坂本 俊彦	老年社会学特論	○ 高齢者の社会参加と生きがいに関する研究 ○ 協働のまちづくりの推進条件に関する研究
教 授 田中 マキ子	臨床看護学特論	○ 創傷治癒に効果する新たな体位変換方法の検討 ○ 百寿者研究 ―長寿要因に関する国際比較―
教 授 長坂 祐二	地域栄養学特論	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防についての研究 ○ 食事とエネルギー代謝についての研究 ○ ストレスと呼吸法についての研究
教 授 中村 仁志	精神保健福祉学特論	○ 精神障害者の社会参加に対する看護職の役割とシステムについての研究 ○ 発達障害者に対する心理的支援についての研究
教 授 中村 文哉	社会学特論	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生とそれを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証的な考察
教 授 乃木 章子	臨床栄養学特論	○ 食習慣改善による生活習慣病の予防および改善に関する研究
教 授 人見 英里	健康栄養学特論	○ 種々の食品(健康茶、山口県産野菜・果実類等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究
教 授 藤村 孝枝	地域看護学特論	○ 地域保健活動の計画策定及び評価に関する研究 ○ 住民の自己健康管理能力を高めるための専門職の支援方法に関する研究 ○ 行政で働く保健師の専門性に関する研究
教 授 増田 公香	国際健康福祉学特論	○ ICFの参加(参加制約)に関する評価 ○ 障害者虐待
教 授 増成 直美	健康福祉学研究法特論	○ 骨粗しょう症の疫学に関する研究
教 授 横山 正博	健康福祉学特論応用演習	○ ケアマネジメントの評価に関する研究○ 認知症高齢者ケア、認知症の啓発・普及活動に関する研究 ○ ケアにおける支援関係論に関する研究
教 授 吉村 耕一	健康福祉学特論	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関する研究
准教授 上白木 悦子	健康福祉倫理学特論	○ 患者の意思決定支援に関する研究 ○ 終末期医療の倫理問題等、医療福祉分野の倫理問題に関する研究
准教授 後藤 みゆき	生と死のケア特論	○ 終末期がん患者の在宅ケアに関する研究
准教授 佐々木 直美	臨床心理学特論	○ 回想法を用いた高齢者支援の研究 ○ 生殖医療における心理カウンセリングの研究
准教授 曽根 文夫	身体運動科学特論	○ 身体運動の生理心理学的効果に関する研究 ○ 体温調節機能と健康に関する研究
准教授 園田 純子	食生活科学特論	○ 起泡性を持つ茶の物性及び茶の嗜好性に関する研究 ○ 幼児や保護者、大学生の食育に関する研究 ○ 地域の伝承料理や食文化に関する研究

准教授 弘津 公子	健康福祉学特論応用 演習	○ 栄養状態とADLおよびQOLの関に関する研究 ○ 介護予防やスポーツ栄養に関する研究
准教授 宮崎 まさ江	臨床福祉学特論	○ 精神障がいのある人の地域生活支援 ○ 精神保健福祉士の権利擁護実践 ○ 精神保健福祉士養成教育のあり方(演習・実習を中心に)
准教授 藪本 知二	権利擁護特論	○ 子どもの権利に関する研究 ○ 成年後見制度に関する研究

健康福祉学専攻博士後期課程

担当教員	教育研究分野	主な研究内容
教 授 内田 耕一	臨床栄養学講究	○ 肝硬変患者の栄養治療の研究 ○ 肥満症治療の研究
教 授 田中 マキ子	臨床看護学講究	○ 創傷治癒に効果する新たな体位変換方法の検討 ○ 百寿者研究 ー長寿要因に関する国際比較ー
教 授 長坂 祐二	臨床栄養学講究	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防についての研究 ○ 食事とエネルギー代謝についての研究
教 授 中村 文哉	健康福祉学講究	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生とそれを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証的な考察
教 授 人見 英里	健康栄養学講究	○ 種々の食品(健康茶、山口県産野菜・果実類等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究
教 授 横山 正博	地域ケア論講究	○ ケアマネジメントの評価に関する研究 ○ 認知症高齢者ケア、認知症の啓発・普及活動に関する研究 ○ ケアにおける支援関係論に関する研究
教 授 吉村 耕一	健康福祉学講究	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関する研究
准教授 上白木 悦子	健康福祉倫理学講究	○ 患者の意思決定支援に関する研究 ○ 終末期医療の倫理問題等、医療福祉分野の倫理問題に関する研究
准教授 佐々木 直美	臨床心理学講究	○ 回想法を用いた高齢者支援の研究 ○ 生殖医療における心理カウンセリングの研究
准教授 曾根 文夫	身体運動科学講究	○ 身体運動の生理心理学的効果に関する研究 ○ 体温調節機能と健康に関する研究

健康福祉学研究科 平成 29 年 2017 年

健康福祉学専攻博士前期課程

担当教員	教育研究分野	主な研究内容
教 授 内田 耕一	病態栄養学特論	○ 肝硬変患者の栄養治療の研究 ○ 肥満症治療の研究
教 授 浦山 晶美	看護科学特論	○ 子育てに関する研究 ○ Virtuesに関する研究 ○ 自己効力感・自尊感情に関する研究
教 授 加登田 恵子	社会福祉学特論	○ 社会変化と福祉問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての 史的研究

教 授 草平 武志	地域福祉学特論	○ 市町村・福祉地区における保健医療福祉サービスシステムの構築に関する研究 ○ フォーマルケアとインフォーマルケアの関連についての研究
教 授 坂本 俊彦	老年社会学特論	○ 高齢者の生活支援活動に関する研究 ○ 協働のまちづくりの推進条件に関する研究
教 授 田中 マキ子	臨床看護学特論	○ 創傷治癒に効果する新たな体位変換方法の検討 ○ 百寿者研究 ―長寿要因に関する国際比較―
教 授 長坂 祐二	地域栄養学特論	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病の予防についての研究 ○ 食事とエネルギー代謝についての研究
教 授 中村 仁志	精神保健福祉学特論	○ 精神障害者の社会参加に対する看護職の役割とシステムについての研究 ○ 児童・思春期にある子どもたちの心理的支援についての研究
教 授 中村 文哉	社会学特論	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生とそれを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証的な考察
教 授 乃木 章子	臨床栄養学特論	○ 食習慣改善による生活習慣病の予防および改善に関する研究
教 授 人見 英里	健康栄養学特論	○ 種々の食品(健康茶、山口県産野菜・果実類等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究
教 授 藤村 孝枝	地域看護学特論	○ 地域保健活動の計画策定及び評価に関する研究 ○ 住民の自己健康管理能力を高めるための専門職の支援方法に関する研究 ○ 行政で働く保健師の専門性に関する研究
教 授 増成 直美	健康福祉学研究法特論	○ 骨粗しょう症の疫学に関する研究
教 授 藪本 知二	権利擁護特論	○ 子どもの権利に関する研究 ○ 成年後見制度に関する研究
教 授 横山 正博	健康福祉学特論応用演習	○ ケアマネジメントの評価に関する研究 ○ 認知症高齢者ケア、認知症の啓発・普及活動に関する研究 ○ ケアにおける支援関係論に関する研究
教 授 吉村 耕一	健康福祉学特論	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関する研究
准教授 上白木 悦子	健康福祉倫理学特論	○ 患者の意思決定支援に関する研究 ○ 終末期医療の倫理問題等、医療福祉分野の倫理問題に関する研究
准教授 後藤 みゆき	生と死のケア特論	○ 終末期がん患者の在宅ケアに関する研究
准教授 佐々木 直美	臨床心理学特論	○ 回想法を用いた高齢者支援の研究 ○ 生殖医療における心理カウンセリングの研究
准教授 曽根 文夫	身体運動科学特論	○ 身体運動の生理心理学的効果に関する研究 ○ 体温調節機能と健康に関する研究
准教授 園田 純子	食生活科学特論	○ 起泡性を持つ茶の物性及び茶の嗜好性に関する研究 ○ 幼児や保護者、大学生の食育に関する研究 ○ 地域の伝承料理や食文化に関する研究

准教授 弘津 公子	健康福祉学特論応用 演習	○ 栄養状態とADLおよびQOLの関に関する研究 ○ 介護予防やスポーツ栄養に関する研究
准教授 宮崎 まさ江	臨床福祉学特論	○ 精神障がいのある人の地域生活支援 ○ ソーシャルワーカーの権利擁護実践 ○ 精神保健福祉士養成教育のあり方(演習・実習 を中心に)

健康福祉学専攻博士後期課程

担当教員	教育研究分野	主な研究内容
教 授 内田 耕一	臨床栄養学講究	○ 肝硬変患者の栄養治療の研究 ○ 肥満症治療の研究
教 授 田中 マキ子	臨床看護学講究	○ 創傷治癒に効果する新たな体位変換方法の検 討 ○ 百寿者研究 ―長寿要因に関する国際比較―
教 授 長坂 祐二	臨床栄養学講究	○ 食生活及び生活習慣の改善による生活習慣病 の予防についての研究 ○ 食事とエネルギー代謝についての研究 ○ ストレスと呼吸法についての研究
教 授 中村 文哉	健康福祉学講究	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生と それを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証 的な考察
教 授 人見 英里	健康栄養学講究	○ 種々の食品(健康茶、山口県産野菜・果実類等) の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究
教 授 横山 正博	地域ケア論講究	○ ケアマネジメントの評価に関する研究 ○ 認知症高齢者ケア、認知症の啓発・普及活動に 関する研究 ○ ケアにおける支援関係論に関する研究
教 授 吉村 耕一	健康福祉学講究	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関 する研究
准教授 上白木 悦子	健康福祉倫理学講究	○ 患者の意思決定支援に関する研究 ○ 終末期医療の倫理問題等、医療福祉分野の倫 理問題に関する研究
准教授 佐々木 直美	臨床心理学講究	○ 回想法を用いた高齢者支援の研究 ○ 生殖医療における心理カウンセリングの研究
准教授 曾根 文夫	身体運動科学講究	○ 身体運動の生理心理学的効果に関する研究 ○ 体温調節機能と健康に関する研究

健康福祉学研究科 平成 30 年 2018 年

健康福祉学専攻博士前期課程

担当教員	教育研究分野	主な研究内容
教 授 内田 耕一	病態栄養学特論	○ 肝硬変患者の栄養治療の研究 ○ 肥満症治療の研究
教 授 浦山 晶美	看護科学特論	○ 子育て中の母親の自己効力感・自尊感情に関 する研究 ○ Virtuesに関する研究
教 授 加登田 恵子	社会福祉学特論	○ 社会変化と福祉問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意 義と効果についての 史的研究

教授 上白木 悦子	健康福祉倫理学特論	○ 患者の意思決定支援に関する研究 ○ 終末期医療の倫理問題等、医療福祉分野の倫理問題に関する研究
教授 草平 武志	地域福祉学特論	○ 市町村・福祉地区における保健医療福祉サービスシステムの構築に関する研究 ○ フォーマルケアとインフォーマルケアの関連についての研究
教授 坂本 俊彦	老年社会学特論	○ 高齢者の社会参加と生きがいに関する研究 ○ 高齢者の生活支援活動に関する研究 ○ 協働のまちづくりの推進条件に関する研究
教授 曾根 文夫	身体運動科学特論	○ 身体運動の生理心理学的効果に関する研究 ○ 体温調節機能と健康に関する研究
教授 田中 マキ子	臨床看護学特論	○ 創傷治癒に効果する新たな体位変換方法の検討 ○ 百寿者研究 ―長寿要因に関する国際比較―
教授 中村 仁志	精神保健福祉学特論	○ 精神障害者の社会参加に対する看護職の役割とシステムについての研究 ○ 児童・思春期にある子どもたちの心理的支援についての研究
教授 中村 文哉	社会学特論	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生とそれを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証的な考察
教授 乃木 章子	臨床栄養学特論	○ 食習慣改善による生活習慣病の予防および改善に関する研究
教授 人見 英里	健康栄養学特論	○ 種々の食品(健康茶、山口県産野菜・果実類等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究
教授 弘津 公子	健康福祉学特論応用演習	○ 栄養状態とADLおよびQOLの関係に関する研究 ○ 介護予防やスポーツ栄養に関する研究
教授 藤村 孝枝	地域看護学特論	○ 地域保健活動の計画策定及び評価に関する研究 ○ 住民の自己健康管理能力を高めるための専門職の支援方法に関する研究
教授 増成 直美	健康福祉学研究法特論	○ 骨粗しょう症の疫学に関する研究 ○ 研究診療情報の利活用
教授 藪本 知二	権利擁護特論	○ 子どもの権利に関する研究 ○ 成年後見制度に関する研究
教授 横山 正博	健康福祉学特論応用演習 地域ケア論講究	○ 地域包括ケアシステムにおける多職種協働 ○ 介護人材確保
教授 吉村 耕一	健康福祉学特論	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関する研究
准教授 佐々木 直美	臨床心理学特論	○ 回想法を用いた高齢者支援の研究 ○ 生殖医療における心理カウンセリングの研究
准教授 園田 純子	食生活科学特論	○ 起泡性を持つ茶の物性及び茶の嗜好性に関する研究 ○ 幼児や保護者、大学生の食育に関する研究 ○ 地域の伝承料理や食文化に関する研究
准教授 長谷川 真司	健康福祉学特論	○ 戦前期の民間財源に関する研究 ○ コミュニティソーシャルワークの理論や手法に関する研究

准教授 宮崎 まさ江	臨床福祉学特論	○ 精神障がいのある人の地域生活支援 ○ ソーシャルワーカーの権利擁護実践 ○ 精神保健福祉士養成教育のあり方(演習・実習を中心に)
---------------	---------	--

健康福祉学専攻博士後期課程

担当教員	教育研究分野	主な研究内容
教授 内田 耕一	臨床栄養学講究	○ 肝硬変患者の栄養治療の研究 ○ 肥満症治療の研究
教授 上白木 悦子	健康福祉倫理学講究	○ 患者の意思決定支援に関する研究 ○ 終末期医療の倫理問題等、医療福祉分野の倫理問題に関する研究
教授 曾根 文夫	身体運動科学講究	○ 身体運動の生理心理学的効果に関する研究 ○ 体温調節機能と健康に関する研究
教授 田中 マキ子	臨床看護学講究	○ 創傷治癒に効果する新たな体位変換方法の検討 ○ 百寿者研究 一長寿要因に関する国際比較
教授 中村 文哉	健康福祉学講究	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生とそれを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証的な考察
教授 人見 英里	健康栄養学講究	○ 種々の食品(健康茶、山口県産野菜・果実類等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究
教授 横山 正博	地域ケア論講究	○ 地域包括ケアシステムにおける多職種協働 ○ 介護人材確保
教授 吉村 耕一	健康福祉学講究	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関する研究
准教授 佐々木 直美	臨床心理学講究	○ 回想法を用いた高齢者支援の研究 ○ 生殖医療における心理カウンセリングの研究

健康福祉学研究科 平成 31 年 2019 年

健康福祉学専攻博士前期課程

担当教員	教育研究分野	主な研究内容
教授 内田 耕一	病態栄養学特論	○ 肝硬変患者の栄養治療の研究 ○ 肥満症治療の研究
教授 浦山 晶美	看護科学特論	○ 子育て中の母親の自己効力感・自尊感情に関する研究 ○ Virtuesに関する研究
教授 加登田 恵子	社会福祉学特論	○ 社会変化と福祉問題発生構造の史的研究 ○ 社会福祉実践及びソーシャルワークの社会的意義と効果についての史的研究
教授 草平 武志	地域福祉学特論	○ 市町村・福祉地区における保健医療福祉サービスシステムの構築に関する研究 ○ フォーマルケアとインフォーマルケアの関連についての研究
教授 坂本 俊彦	老年社会学特論	○ 高齢者の社会参加と生きがいに関する研究 ○ 高齢者の生活支援活動に関する研究 ○ 協働のまちづくりの推進条件に関する研究
教授 曾根 文夫	身体運動科学特論	○ 身体運動の生理心理学的効果に関する研究 ○ 冷え性の予防等の体温と健康に関する研究

教 授 田中 マキ子	臨床看護学特論	○ 創傷治癒に効果する新たな体位変換方法の検討 ○ 百寿者研究 ―長寿要因に関する国際比較―
教 授 中村 仁志	精神保健福祉学特論	○ 精神障害者の社会参加に対する看護職の役割とシステムについての研究 ○ 児童・思春期にある子どもたちの心理的支援についての研究
教 授 中村 文哉	社会学特論	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生とそれを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証的な考察
教 授 乃木 章子	臨床栄養学特論	○ 食習慣改善による生活習慣病の予防および改善に関する研究
教 授 人見 英里	健康栄養学特論	○ 種々の食品(健康茶、山口県産野菜・果実類等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究
教 授 弘津 公子	地域栄養学特論	○ 栄養状態とADLおよびQOLの関係に関する研究 ○ 介護予防やスポーツ栄養に関する研究
教 授 藤村 孝枝	地域看護学特論	○ 地域保健活動の計画策定及び評価に関する研究 ○ 住民の自己健康管理能力を高めるための専門職の支援方法に関する研究
教 授 増成 直美	健康福祉学研究法特論	○ 骨粗しょう症の疫学に関する研究 ○ 研究診療情報の利活用
教 授 藪本 知二	権利擁護特論	○ 子どもの権利に関する研究 ○ 成年後見制度に関する研究
教 授 横山 正博	健康福祉学特論応用演習	○ 在宅医療と介護の多職種連携 ○ 介護人材確保
教 授 吉村 耕一	健康福祉学特論	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関する研究
准教授 佐々木 直美	臨床心理学特論	○ 心理学的見地からの不妊予防の研究 ○ 親子関係に関する研究 ○ セクシュアルマイノリティに関する研究
准教授 園田 純子	食生活科学特論	○ 起泡性を持つ茶の物性及び茶の嗜好性に関する研究 ○ 幼児や保護者、大学生の食育に関する研究 ○ 地域の伝承料理や食文化に関する研究
准教授 長谷川 真司	健康福祉学特論	○ 戦前期の民間財源に関する研究 ○ コミュニティソーシャルワークの理論や手法に関する研究
准教授 宮崎 まさ江	臨床福祉学特論	○ 精神障がいのある人の地域生活支援 ○ 精神保健福祉士の権利擁護実践 ○ 精神保健福祉士養成教育のあり方(演習・実習を中心に)

健康福祉学専攻博士後期課程

担当教員	教育研究分野	主な研究内容
教 授 内田 耕一	臨床栄養学講究	○ 肝硬変患者の栄養治療の研究 ○ 肥満症治療の研究
教 授 曾根 文夫	身体運動科学講究	○ 身体運動の生理心理学的効果に関する研究 ○ 冷え性の予防等の体温と健康に関する研究

教 授 田中 マキ子	臨床看護学講究	○ 創傷治癒に効果する新たな体位変換方法の検討 ○ 百寿者研究 ―長寿要因に関する国際比較―
教 授 中村 文哉	健康福祉学講究	○ 保健・医療・福祉の発生基盤をなす人間の生とそれを取り巻く社会的なものに関する理論的・実証的な考察
教 授 人見 英里	健康栄養学講究	○ 種々の食品(健康茶、山口県産野菜・果実類等)の成分が生体機能に及ぼす影響に関する研究
教 授 横山 正博	地域ケア論講究	○ 在宅医療と介護の多職種連携 ○ 介護人材確保
教 授 吉村 耕一	健康福祉学講究	○ 循環器疾患の病態解明と新規治療法開発に関する研究
准教授 佐々木 直美	臨床心理学講究	○ 心理学的見地からの不妊予防の研究 ○ 親子関係に関する研究 ○ セクシュアルマイノリティに関する研究

人材育成の実績

国際文化学研究科国際文化学専攻の在籍者数の推移

	1 年 次 生					2 年 次 生					合 計				
	県内	県外	男	女	計	県内	県外	男	女	計	県内	県外	男	女	計
H11 年 1999 年	13	2	3	12	15	-	-	-	-	-	13	2	3	12	15
H12 年 2000 年	7	4	4	7	11	13	2	3	12	15	20	6	7	19	26
H13 年 2001 年	12	0	5	7	12	10	3	3	10	13	22	3	8	17	25
H14 年 2002 年	11	1	7	5	12	13	0	5	8	13	24	1	12	13	25
H15 年 2003 年	4	8	6	6	12	4	8	7	5	12	8	16	13	11	24
H16 年 2004 年	11	1	6	6	12	13	1	7	7	14	24	2	13	13	26
H17 年 2005 年	10	1	5	6	11	13	1	7	7	14	23	2	12	13	25
H18 年 2006 年	7	1	3	5	8	11	1	6	6	12	18	2	9	11	20
H19 年 2007 年	13	0	7	6	13	6	2	4	4	8	19	2	11	10	21
H20 年 2008 年	11	2	9	4	13	14	0	7	7	14	25	2	16	11	27
H21 年 2009 年	7	2	1	8	9	14	2	12	4	16	21	4	13	12	25
H22 年 2010 年	7	3	5	5	10	11	2	4	9	13	18	5	9	14	23
H23 年 2011 年	6	4	6	4	10	7	3	5	5	10	13	7	11	9	20
H24 年 2012 年	4	1	1	4	5	6	4	6	4	10	10	5	7	8	15
H25 年 2013 年	5	3	3	5	8	6	2	3	5	8	11	5	6	10	16
H26 年 2014 年	4	2	1	5	6	6	5	4	7	11	10	7	5	12	17
H27 年 2015 年	5	3	3	5	8	8	2	2	8	10	13	5	5	13	18
H28 年 2016 年	4	3	2	5	7	10	3	4	9	13	14	6	6	14	20
H29 年 2017 年	6	1	3	4	7	6	4	2	8	10	12	5	5	12	17
H30 年 2018 年	2	1	0	3	3	6	1	3	4	7	8	2	3	7	10
H31 年 2019 年	3	3	1	5	6	5	1	1	5	6	8	4	2	10	12

健康福祉学研究科健康福祉学博士前期課程の在籍者数の推移

	1 年 次 生					2 年 次 生					合 計				
	県内	県外	男	女	計	県内	県外	男	女	計	県内	県外	男	女	計
H11 年 1999 年	6	2	2	6	8	-	-	-	-	-	6	2	2	6	8
H12 年 2000 年	6	1	1	6	7	6	2	2	6	8	12	3	3	12	15
H13 年 2001 年	5	3	2	6	8	6	2	2	6	8	11	5	4	12	16
H14 年 2002 年	8	1	2	7	9	5	3	2	6	8	13	4	4	13	17
H15 年 2003 年	3	4	1	6	7	3	6	2	7	9	6	10	3	13	16
H16 年 2004 年	5	5	5	5	10	7	1	1	7	8	12	6	6	12	18
H17 年 2005 年	7	0	2	5	7	8	4	5	7	12	14	5	7	12	19
H18 年 2006 年	6	1	2	5	7	8	0	3	5	8	14	1	5	10	15
H19 年 2007 年	14	1	2	13	15	5	1	1	5	6	19	2	3	18	21
H20 年 2008 年	11	0	2	9	11	15	1	2	14	16	26	1	4	23	27
H21 年 2009 年	11	1	1	11	12	12	0	2	10	12	23	1	3	21	24
H22 年 2010 年	9	2	3	8	11	12	0	1	11	12	21	2	4	19	23
H23 年 2011 年	9	3	4	8	12	10	2	3	9	12	19	5	7	17	24
H24 年 2012 年	6	2	2	6	8	9	3	4	8	12	15	5	6	14	20
H25 年 2013 年	9	3	4	8	12	6	2	2	6	8	15	5	6	14	20
H26 年 2014 年	7	2	1	8	9	10	3	4	9	13	17	5	5	17	22
H27 年 2015 年	6	2	1	7	8	9	2	1	10	11	15	4	2	17	19
H28 年 2016 年	6	1	3	4	7	6	3	1	8	9	12	4	4	12	16
H29 年 2017 年	7	2	4	5	9	7	2	4	5	9	14	4	8	10	18
H30 年 2018 年	5	3	3	5	8	9	3	6	6	12	14	6	9	11	20
H31 年 2019 年	4	2	2	4	6	8	3	5	6	11	12	5	7	10	17

健康福祉学研究科生活健康科学専攻博士前期課程の在籍者数の推移

	1 年 次 生					2 年 次 生					合 計				
	県内	県外	男	女	計	県内	県外	男	女	計	県内	県外	男	女	計
H11 年 1999 年	5	3	0	8	8	-	-	-	-	-	5	3	0	8	8
H12 年 2000 年	3	1	2	2	4	4	3	0	7	7	7	4	2	9	11
H13 年 2001 年	0	2	1	1	2	3	1	2	2	4	3	3	3	3	6
H14 年 2002 年	7	3	2	8	10	0	2	1	1	2	7	5	3	9	12
H15 年 2003 年	3	6	2	7	9	5	5	2	8	10	8	11	4	15	19
H16 年 2004 年	5	0	1	4	5	7	3	2	8	10	12	3	3	12	15
H17 年 2005 年	5	1	1	5	6	6	0	1	5	6	11	1	2	10	12
H18 年 2006 年	4	1	1	4	5	6	1	1	6	7	1	2	2	10	12
H19 年 2007 年	-	-	-	-	-	5	1	1	5	6	5	1	1	5	6
H20 年 2008 年	-	-	-	-	-	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1

健康福祉学研究科健康福祉学専攻博士後期課程の在籍者数の推移

	1 年 次 生					2 年 次 生					3 年 次 生					合 計				
	県内	県外	男	女	計	県内	県外	男	女	計	県内	県外	男	女	計	県内	県外	男	女	計
H18 年 2006 年	3	1	0	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	0	4	4
H19 年 2007 年	1	2	0	3	3	3	1	0	4	4	-	-	-	-	-	4	3	0	7	7
H20 年 2008 年	1	2	1	2	3	3	2	0	5	5	1	1	0	2	2	5	5	1	9	10
H21 年 2009 年	3	0	2	1	3	3	2	1	4	5	1	2	0	3	3	7	4	3	8	11
H22 年 2010 年	2	0	0	2	2	3	0	2	1	3	4	4	1	7	8	9	4	3	10	13
H23 年 2011 年	2	1	0	3	3	2	0	0	2	2	6	2	2	6	8	10	3	2	11	13
H24 年 2012 年	0	1	0	1	1	2	1	0	3	3	1	3	0	4	4	3	5	0	8	8
H25 年 2013 年	1	0	0	1	1	0	1	0	1	1	3	3	0	6	6	4	4	0	8	8
H26 年 2014 年	1	2	0	3	3	1	0	0	1	1	3	4	0	7	7	5	6	0	11	11
H27 年 2015 年	2	0	1	1	2	1	2	0	3	3	4	4	0	8	8	7	6	1	12	13
H28 年 2016 年	3	0	0	3	3	2	0	1	1	2	3	5	0	8	8	8	5	1	12	13
H29 年 2017 年	3	0	0	3	3	3	0	0	3	3	4	3	1	6	7	10	3	1	12	13
H30 年 2018 年	3	0	1	2	3	3	0	0	3	3	5	1	0	6	6	11	1	1	11	12
H31 年 2019 年	3	1	2	2	4	3	0	1	2	3	5	0	0	5	5	11	1	3	9	12

国際文化学研究科国際文化学専攻の学位論文

平成 12 年度(2000 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
呉 建亮	国際化する中国経済と対北東アジア諸国経済関係	折戸 洪太	折戸 洪太
哈日巴拉	ポスト冷戦時代の中国外交	衣笠 哲生	岩下 明裕
羽野 優子	「サビエルと大内文化」に着想を得た服飾の商品開発と販売システムの模索	水谷 由美子	水谷 由美子
湯川 理絵	地方文化としての「山口ちょうちん祭り」 －研究と服飾から派生する祭りのトータルデザインの提案－	水谷 由美子	水谷 由美子
横山 順子	民族服の伝承と創造との関わり －雲南省麗江地区における少数民族・納西族を中心として－	水谷 由美子	水谷 由美子
岡本 早智子	教員のリカレント教育の研究	相原 次男	相原 次男
坪井 ひろみ	グラミン銀行の文化的・教育的機能に関する研究	相原 次男	相原 次男
堀江 新子	英語教育の小学校導入に関する基礎的研究	門前 貞三	酒井 ツギ子
渡辺 哲子	高校教育における「個性」を生かし、「生きる力」はぐくむ研究	門前 貞三	門前 貞三
藤田 克彦	ガリシア語とカスティーリャ語(スペイン語)の対照研究	田村 宏	田村 宏
李 文相	韓国語における音韻添加について －サイツソリ(間音)－	田村 宏	田村 宏
河村 朋江	日中両言語における複合動詞の対照研究 －「行為＋結果」型複合動詞を中心に－	武市 眞弘	武市 眞弘

平成 13 年度(2001 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
聞 天塹	19世紀における日中社会経済比較 －日中近代化の比較－	折戸 洪太	折戸 洪太
岩男 幸	大内文化とフランシスコ・サビエルをテーマとした服飾デザイン及び山口モードの提案	水谷 由美子	水谷 由美子
蔵重 麻里	ゆかたのバリアフリーデザインからユニバーサルデザインへ	水谷 由美子	水谷 由美子

永野 甲人	タンザニア海岸都市タンガにおける地酒造りの技術誌と酒場の人々の生活誌	安溪 遊地	猪又 徹
上田 裕子	多文化教育と早期英語教育に関する考察	酒井 ツギ子	酒井 ツギ子
砂田 さやか	高齢者の生涯学習に関する研究	相原 次男	相原 次男
堀田 英里	21世紀のシチズンシップ教育に関する一考察 ー地球市民を育てる教育ー	門前 貞三	酒井 ツギ子
久保田 裕貴	”Japanese Elements in Kazuo Isiguro's Works”	下笠 徳次	下笠 徳次
元 世香	中日両言語における受身についての対照研究	田村 宏	田村 宏

平成 14 年度(2002 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
篠原 愛子	学校という枠を越えて学ぶ -Boundaryless Education の日米比較	安溪 遊地	安溪 遊地
蔵重 伸	現代空間に生ける花 ー環境デザインとしてのいけばなのあり方ー	高瀬 忠重	高瀬 忠重
高島 海	有限会社ナルナセバの設立と商品の制作	水谷 由美子	水谷 由美子
山崎 忠道	有限会社ナルナセバの設立と運営、それにおける商品開発また、ファッションショーの企画、運営	水谷 由美子	水谷 由美子
野澤 栄二郎	高齢者の余暇活動に関する研究	相原 次男	相原 次男
石島 優憲	高等学校英語科における異文化理解教育に関する実証的研究	相原 次男	相原 次男
住友 優子	子どもの価値観の変容及び形成に関する一研究 ー価値多様化時代の道德教育の在り方を巡ってー	酒井 ツギ子	酒井 ツギ子
清地 愛子	成人女性のアイデンティティ形成に関する研究 ー中年期の女性の社会参加活動への関わりを中心にー	酒井 ツギ子	酒井 ツギ子
嶋内 寛	Theme-related Diction in Chaucer's Religious Tales	下笠 徳次	下笠 徳次
嶋崎 潤子	D.H.Lawrence: Sons and Lovers 作品研究	下笠 徳次	松田 理
田原 かすみ	弘法大師伝説の研究	熊本 守雄	熊本 守雄
東 尚美	オスカーワイルドの持つ二面性について	下笠 徳次	松田 理

平成 15 年度(2003 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
田原 寛男	自動車産業における日本的生産方式は文化を越え得るか	安野 早己	安野 早己
古川 哲	中国経済改革における産業構造の変化	折戸 洪太	折戸 洪太
岡部 泰民	服飾を通じた地域文化と産業の活性化 ージャパンファッションデザインコンテスト IN 山口とナルナセバの運営を通じた事例研究ー	水谷 由美子	水谷 由美子
徳田 良樹	遺構を都市計画に組み込む方法論と事例研究	高瀬 忠重	高瀬 忠重
篠田 芳江	学校教育における個性教育の可能性	相原 次男	相原 次男
申 荷麗	中国における生涯学習 ー高等教育機関のリカレント教育を中心にー	相原 次男	相原 次男
秋吉 代志美	「源氏御談義抄」の研究	熊本 守雄	熊本 守雄
金子 小百合	『ハムレット』研究 ーオフィーリアとハムレットとの関係を中心にー	下笠 徳次	松田 理
築田 純雄	Discourse Analysis …Focusing on the Aspects of Politeness	下笠 徳次	下笠 徳次
殿河内 康博	DHIVEHI について	下笠 徳次	下笠 徳次

平成 16 年度(2004 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
王 超	現在の中国のバブル期の日本の住宅問題比較	折戸 洪太	折戸 洪太
加藤 規子	アメリカ合衆国における移民法改正とナショナル・アイデンティティ	折戸 洪太	近藤 淳子
張 志宇	中国清朝洋務運動について	折戸 洪太	折戸 洪太
張 娜	北京における個人住宅への支出変化	折戸 洪太	折戸 洪太
田 广林	日本の対中国直接投資研究 ー中国の改革・開放21年を中心にー	折戸 洪太	折戸 洪太
入江 幸江	サビエル時代に渡来した編物の実践的研究 ー竹繊維を用いた衣服制作ー	水谷 由美子	水谷 由美子
齋藤 賢親	「誰が墓を守るのか？」 ー山口県北部福栄村の農林日誌が問う中山間地の未来ー	安溪 遊地	安溪 遊地

岡田 拓也	超越論的対象の理論についての考察	片山 弘基	片山 弘基
小池 美晴	杉原千畝研究	李 修京	片山 弘基
松井 忠夫	定年退職教員の社会参加に関する研究	相原 次男	相原 次男
金 熙博	「もののあはれ論」考 －源氏物語享受史における本居宣長の果たした役割－	熊本 守雄	熊本 守雄
西村 梨美子	パラサイト・シングルの考察	三宅 義子	三宅 義子

平成 17 年度(2005 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
福元 誠	日中合弁会社における品質管理と労働者意識	安野 早己	安野 早己
寧 慧	中国私営経済の展開 －浙江省「温州モデル」の考察を中心として－	折戸 洪太	折戸 洪太
浅生 堯	中世後期の西国地域における城郭研究	伊藤 幸司	伊藤 幸司
小川 喬功	日本の水車文化 －水車・風車の過去から未来へ－	安溪 遊地	安溪 遊地
永富 真子	エコロジー繊維とファッションデザイン －環境に配慮したライフスタイルの提案－	水谷 由美子	水谷 由美子
縄田 恵	地域における国際交流とデザインにおける実際的 研究 －フィンランドデザイナーとの交流から山口日フィ ン協会設立まで－	水谷 由美子	水谷 由美子
平川 和明	造形と機能をテーマとした家具の提案と研究	井生 文隆	井生 文隆
大和 保男	現代造形(作陶)思考	井生 文隆	井生 文隆
江本 美由季	日韓現代社会における外国人労働者に関する研究	相原 次男	井竿 富雄
船崎 美智子	NPO 支援センターに関する研究	相原 次男	相原 次男
檜垣 正彦	シェークスピアの劇における悲・喜劇的要素 －『十二夜』を中心として－	下笠 徳次	松田 理
末本 亜希	日中両言語の漢字音比較研究	馬 鳳如	馬 鳳如

平成 18 年度(2006 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
-----	---------	------	------

阿川 佐知子	中国農村改革の問題点について －都市と農村の格差に関する考察－	折戸 洪太	折戸 洪太
奥田 竜介	中国における外国資本投資と経済成長 －インドとの比較－	折戸 洪太	折戸 洪太
甘 龍珠	日中文化・芸能交流および文化産業起業の可能性 について	折戸 洪太	折戸 洪太
岳 凌楓	現代中国における宗教と気功について －法輪功問題を中心に－	安野 早己	安野 早己
李 萌	日本自動車産業の中国進出 －日中提携の役割－	折戸 洪太	折戸 洪太
橋本 崇広	文化を発信するための空間デザインの研究	井生 文隆	井生 文隆
植田 篤志	三次元コンピュータグラフィックスによる大内時代の 大内館の再現	水谷 由美子	水谷 由美子
岩田 美喜	アジアにおける国際教育協力に関する一研究 －日本の国際教育協力 NGO－	相原 次男	相原 次男
小田 菜保子	パリー語聖典よりみる仏教の姿	相原 次男	鈴木 隆泰
白石 正子	保育者の子どもへのかかわり能力に関する研究	相原 次男	相原 次男
竹重 泰	多文化教育の可能性 －多様性に関する一考察－	相原 次男	相原 次男

平成 19 年度 (2007 年度) 修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
王 巧奪	中国における道德教育に関する研究	相原 次男	相原 次男
神 大樹	地域における文化創造とモード発信の実践的研究 －服飾造形と情報発信メディアを媒体としたセルフ イメージの表現－	水谷 由美子	水谷 由美子
高 遠	中国における高校生の学歴意識に関する研究	相原 次男	相原 次男
深野 京子	英語の語彙指導に関する一考察 －語源を活用して－	馬 鳳如	松田 理
藤井 道子	山口の自然と風土を生かしたもののづくり	安溪 遊地	安溪 遊地
米本 太郎	山口驚流狂言の研究 －歌舞・小舞の復元をめぐる－	稲田 秀雄	稲田 秀雄

松村 竜也	地域における文化発信についての企画プロデュースの実践的研究	井生 文隆	井生 文隆
-------	-------------------------------	-------	-------

平成 20 年度(2008 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
片山 涼子	文化・産業振興に向けたファッションビジネスの実践的研究 －山口におけるオリジナルブランドの創造と発信－	水谷 由美子	水谷 由美子
笹田 剛志	観光資源を活用したまちづくりの研究－地域と高校生の連携を通じて－	相原 次男	相原 次男
高見 早苗	フェアトレードからみた消費者の社会的責任	安野 早己	岩野 雅子
永留 靖洋	サウンドスケープデザインと地域文化創造に関する実践的研究 －山口における音を媒介とする表現－	水谷 由美子	水谷 由美子
西山 香代子	中高年の社会貢献に関する研究－世代間交流に視点をあてて－	相原 次男	相原 次男
藤井 郁子	岩国における地域再生とジェンダー	三宅 義子	三宅 義子
三宅 倫太郎	源義朝研究 －「平治物語」諸本における記述の比較を中心に－	稲田 秀雄	稲田 秀雄
横山 睦美	文化交流にみる日韓相互認識についての研究	三宅 義子	金 恵媛
李 彦及	中国のイスラム圏における教育 －新疆ウイグル自治区におけるテュルク系民族を中心に－	安野 早己	相原 次男
上田 エカテリーヌ	A Study on Value Orientations of Russian Youth	相原 次男	相原 次男

平成 21 年度(2009 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
亀重 靖彦	地方議会における会派の研究	安野 早己	井竿 富雄
伊藤 丈二	山口県が進める「手づくり自治区」と NGO 活動との連携に関する考察	安野 早己	岩野 雅子

邴 逸群	国際教育交流に関する一考察	馬 鳳如	岩野 雅子
永野 ひとみ	高齢者の生きがい感に関する研究	相原 次男	相原 次男
関谷 淳一	中・高生の異文化理解に関する研究	相原 次男	相原 次男
劉 文琳	中国貧困地区の教育に関する研究	相原 次男	相原 次男
岡部 隆則	地域資源活用による商品開発と発信事業	水谷 由美子	水谷 由美子
森田 聖士	地域創造に向けたパフォーマンスの実践的研究	水谷 由美子	水谷 由美子
礪部 素男	創造都市山口の可能性を探る実践的研究	水谷 由美子	水谷 由美子
谷川 敬二郎	対象の変質による表現	井生 文隆	井生 文隆
真鍋 廣亜貴	庭による新たな空間創造	井生 文隆	井生 文隆

平成 22 年度(2010 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	主査	副査
湊 和久	「交通安全教育」に関する研究 ー交通安全を中核とした、安心安全な街づくりー	相原次男	安溪遊地 水谷由美子
安藤 公門	タイ北部農山村地帯における衛生環境事業の実践 から見える未来型社会	安溪遊地	井生文隆 伊藤幸司
西脇 未美	和装花嫁衣装における 創作と普及の実践的研究	水谷由美子	井生文隆 木越俊介
吉木 祥介	法華経にみる経典読誦の意義	鈴木隆泰	川口喜治 伊藤幸司
岡田 奈緒	子ども服飾文化とデザインにおける企画プロデュースの実践的研究	水谷由美子	井生文隆 相原次男
小川 敦	商工高等学校におけるキャリア教育に関する研究 ー地域の特色を活かした萩観光ネットワークづくりを通してー	相原次男	安野早己 水谷由美子
熊野 初代	子育てサロンから生まれる地域交流	安溪遊地	相原次男 水谷由美子
高 静	中国における大学生の就職意識に関する一考察 ー日本におけるキャリア教育からの提言ー	岩野雅子	馬鳳如 相原次男
施 海 燕	日中関係史のなかの歴史教科書問題	井竿富雄	安野早己 浅羽祐樹
杉原 道子	在留外国人児童生徒の教育保証に関する研究	相原次男	岩野雅子 張玉玲

田村 未奈美	地域資源を活かした服飾デザインの実践的研究	水谷由美子	井生文隆 安溪遊地
中島 美帆	徳地の重源上人	安溪遊地	伊藤幸司 井生文隆
藤本 佳代	大学生文化に関する一研究	相原次男	岩野雅子 井竿富雄

平成 23 年度(2011 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	主査	副査
木村 和枝	地域資源を活かした装身具の創作研究 山口の中山間地域の恵みを生かしたエコ・デザイン	水谷由美子	井生文隆 齊藤理
申 明 賢	中国朝鮮族の民族教育について －吉林省長春市朝鮮族学校のエコ・デザインについて－	岩野雅子	馬鳳如 安野早己
孫 作 文	中国における日本大衆文化の受容 －日本テレビドラマを中心に－	安野早己	安溪遊地 金恵媛
竹部 徳真	素材を活かした加工方法によるデザインの実践的研究	井生文隆	水谷由美子 安溪遊地
張 任	中国の素質教育政策下における大学生の課外活動に関する一考察 －中国東北地方の大学生の意識と行動について－	岩野雅子	馬鳳如 井竿富雄
原田 洋子	図書館を拠点にしたまちづくり －山口市秋穂における古写真による地域回想法の実践に基づく「地域のこし・地域おこし」－	安溪遊地	安野早己 進藤優子
原 文 映	山口における日本文化理解教育の現状と課題 －高等学校の伝統・文化教育を中心に－	稲田秀雄	岩野雅子 木越俊介
松永 美代子	地域資源に着想を得た生活デザインの実践研究	水谷由美子	井生文隆 安溪遊地
王 溥 麟	近代中国における留学生の意味 －辛亥革命～新文化運動期を中心に－	井竿富雄	安野早己 浅羽祐樹

平成 24 年度(2012 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	主査	副査
北口 絢章	心地を訴求するプロダクトデザインの実践的研究	井生文隆	水谷由美子 安溪遊地
松原 直子	地域資源を活かしたアーツ・マネージメントの実践的研究 ー 山口市徳地・「アウリンコ・徳地・タロ」プロジェクトを事例としてー	水谷由美子	井生文隆 進藤優子
浅田 陽子	「帰森(きしん)」 ー 地域資源と植物素材を用いたニットによる服飾造形と空間構成ー	水谷由美子	井生文隆 齊藤理
崔 延 萍	日本の公害経験と中国の水環境	安溪遊地	伊藤幸司 張玉玲
北林 健二	高等学校における地域素材を活用した新しい日本史授業モデルに関する研究	齊藤理	伊藤幸司 木越俊介
安ジンソル	韓国における国際理解教育の現状と課題 ー 慶尚南道の中学校を中心にー	岩野雅子	金恵媛 木越俊介
張 亮	張学良における統一中国	井竿富雄	安野早己 浅羽祐樹

平成 25 年度(2013 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	主査	副査
武永 佳奈	地域資源でつなぐ服飾デザインの実践的研究 ー 山口市徳地における袴パンツプロジェクトを事例としてー	水谷由美子	井生文隆 齊藤 理
松原 信政	地域づくりの現状と課題	安野早己	安溪遊地 井竿富雄
呉 暁良	日本における留学生受入政策の現状と課題 ー 中国人留学生の留学情報受容に関する一考察ー	岩野雅子	進藤優子 馬 鳳如
中村 彩佳	『太平広記』『狐部』所収の小説に描かれた「狐」の姿について	川口喜治	稲田秀雄 張 玉玲

山崎 珠菜	生活や習慣の中にある文化から発想を得たプロダクト制作	井生文隆	水谷由美子 齊藤 理
-------	----------------------------	------	---------------

平成 26 年度(2014 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	主査	副査
王 晶晶	国際観光を活かした地域振興に関する研究	齊藤 理	安溪遊地 張 玉玲
孫 凱	古写真にみる山東省の景観と生活の変容	安溪遊地	齊藤 理 張 玉玲
張 超超	青島市における環境教育の可能性 －日本の環境教育の事例をもとに－	岩野雅子	馬 鳳如 安溪遊地
歩 亦飛	日中国際文化交流の成果と観光交流の可能性 －山口県と山東省の姉妹都市を事例として－	岩野雅子	馬 鳳如 齊藤 理
水津 初美	地域資源を活かした商品開発に関する実践的研究 －徳地和紙と柳井縞を事例として－	水谷由美子	井生文隆 安溪遊地
田村 洋子	キリスト教の受容過程にみる日本文化の特質	鈴木隆泰	安溪遊地 木越俊介
藤田 幸司	ファッションデザインにおけるアイデンティティ －「都市とモードのビデオノート」を起点として－	水谷由美子	井生文隆 齊藤 理

平成 27 年度(2015 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	主査	副査
王 星慧	中国の帰国子女教育について －日本の経験から学ぶ異文化教育－	岩野雅子	馬 鳳如 川口喜治
小野 飛鳥	心地よさから発想を得た生活道具の研究	井生文隆	水谷由美子 齊藤 理
李 俊穎	日本のファスト・ファッションを支える中国のアパレル製造工場 －中国山東省の事例を中心に－	安野早己	安溪遊地 張 玉玲
岡本 勝利	自然的循環型畜産についての考察	安溪遊地	安野早己 齊藤 理
藤井 由美子	日本における銅の生産 －長登銅山を事例として－	井竿富雄	川口喜治 木越俊介

平成 28 年度(2016 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	主査	副査
岡村 理恵	地域社会でペットと暮らす幸せ	安溪遊地	井竿富雄 金恵媛
小田 玲子	山口の地域素材を服飾デザインに活かす実践的研究 ～デニムと和紙と藍布を用いた服飾造形～	水谷由美子	安溪遊地 倉田研治
下瀬 一正	山口市阿東地区の観光を主体とした地域活性化	安溪遊地	水谷由美子 倉田研治
馬木 浩二	陶淵明研究 —学習者の自己理解を深めるための教材作りを目的として—	川口喜治	稲田秀雄 張玉玲
小川 大貴	地域資源を活用したメディア表現研究	倉田研治	水谷由美子 斎藤理
木村 雅幸	山口県における青少年海外派遣事業を通じた異文化理解促進のための一考察 —英語圏姉妹都市派遣研修プログラムへの中高生参加者を中心に—	岩野雅子	川口喜治 ウィルソン・エイミー
田中 真紀子	高齢女性のおしゃれ・美容行動に関する研究	ウィルソン・エイミー	安溪遊地 水谷由美子
趙 圓	中国における留学生教育の現状と課題 —山東省に留学した日本人留学生を中心に—	岩野雅子	馬鳳如 井竿富雄
陳 鶴丹	歴史的街並みの観光活用に関する研究 ～文化的共通点に着目した国際交流の可能性を中心に～	斎藤理	安溪遊地 張玉玲
松永 朋子	ソリューションフォーカスによる中小企業における組織開発の効果分析	進藤優子	安野早己 岩野雅子

平成 29 年度(2017 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	主査	副査
甲斐 少夜子	伝統染織文化の継承と地域貢献 ～染織ワークショップと商品開発の実践的研究～	水谷由美子	山口 光 齊藤 理

原田 章子	伝統的茶道の研究と新様式野点の普及 —アーツ・マネジメントを通じた地域活性化のための 実践的研究—	水谷由美子	山口 光 齊藤 理
荒木 麻耶	服飾デザインにおけるサービスデザインの活用と課 題	水谷由美子	倉田研治 山口 光
小方 礼次	祭りが果たす現代的意義の一考察 —山口地域における三自治会の祭りを事例に—	張 玉玲	安野早己 齊藤 理
張 潔	盆行事の伝承と変容に関する中日比較研究 —火をともし行事を中心として—	稲田秀雄	張 玉玲 渡辺 滋
ビジャモール・ エレロ・エフラ イン	The Identity of Children in a Multilingual Education Region: A Case Study on Primary Education in the Basque Autonomous Community	西脇靖洋	岩野雅子 ウィルソン・ エイミー
柳 蘇賢	高度外国人材の採用および待遇の韓日比較 —慶尚南道昌原市および山口県における企業調査 —	進藤優子	岩野雅子 金 恵媛
李 丹	中国(山東省)の大学における女性の進出に関する 一考察:若者世代を中心に	岩野雅子	金 恵媛 張 玉玲

平成 30 年度(2018 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	主査	副査
袁 夢	魯迅における文芸観の変遷 —魯迅の前期文芸観と後期文芸観の比較を中心に —	川口喜治	井竿富雄 張 玉玲
栗栖 尚太郎	伝統工芸品のインターネット販売による文化の普及 と自立 —北タイ少数民族・モン族の事例研究—	進藤優子	水谷由美子 倉田研治
耿 寒雪	中国山東省における高校生の進路指導に関する研 究 —日本のキャリア教育を参考にして	岩野雅子	川口喜治 金 恵媛
古宮 弥生	茶道における談話のポライトネス研究	林 炫情	西田光一 川口喜治

十亀 陽太	プロダクトデザインにおける接合構造の実践的研究 —地域産業資源における接合構造の活用を目的として—	山口 光	水谷由美子 倉田研治
-------	--	------	---------------

健康福祉学研究科健康福祉学専攻博士前期課程の学位論文

平成 12 年度(2000 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
岩永 量子	障害文化のアイデンティティ・ポリティクス －「青い芝の会」の思想と運動の事例検討を通じて－	高野和良	志村哲郎
于 婧	中国の「一人っ子」の発達様相に関する研究	野口多恵子	赤羽 潔
亀山 知子	摂食障害と居場所 －CMCの可能性－	赤羽 潔	光岡征夫
近藤 鉄浩	痴呆性老人家族介護者の介護体験に関する評価と その要因	西村洋子	西村洋子
正長 清志	健康福祉論の課題 －社会福祉からの接近－	真田 是	真田 是
松田 典子	児童虐待・母親の意識にみるその実態と関連要因	三島正英	三島正英
吉村 真由美	高等学校における福祉教育を考える －家庭科教育の視点から－	三島正英	村上尚三郎

平成 13 年度(2001 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
石川 大輔	NAM(New Associationist Movement)原理からの一 考察 －障害者の消費自立へむけて－	高野和良	志村哲郎
新保 眞利理	成人中期における女性のアイデンティティ発達に関 する一研究	赤羽 潔	赤羽 潔
瀬川 裕子	ターミナル期の患者を持つ家族への援助	野口多恵子	野口多恵子
中野 美奈子	在宅療養者の訪問看護の評価に関する研究 －末期がん患者について－	西村洋子	西村洋子
山本 亜希子	日本社会における性別役割	高野和良	志村哲郎
由岐中 佳代	子育て支援の現状と課題	三島正英	三島正英
保坂 恵美子	痴呆性老人を抱える家族の在宅介護支援の研究	西村洋子	西村洋子

平成 14 年度(2002 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
-----	---------	------	------

伊藤 千夏	高齢者の配偶者喪失後に見られる対人関係の再構成の過程	三島正英	三島正英
河 春実	「中国残留邦人」の高齢化とその日本社会への適応 －地方都市における生活実態をもとに－	高野和良	高野和良
坂本 秀泰	農村社会における生活構造の現状と課題	高野和良	高野和良
中野 康子	サモアにおける精神障害者へのケアと看護職の役割 －レイニンガーの「サンライズ・モデル」を用いた分析－	小林敏生	Marcia.A.Petroni
萩野 詩子	精神障害者の地域生活支援に関する研究 －小規模作業所利用者の自立について－	青木邦男	西村洋子
真木 恵	福祉教育による児童の短期的な意識の変化と効果についての考察 －課題における実証からの検討－	三島正英	三島正英
三輪 直之	特別養護老人ホームにおける生活相談員の業務と専門職性との関連について －生活相談員への質問紙調査から－	青木邦男	西村洋子
森川 美帆	過疎農山村社会の高齢者の生活構造	高野和良	高野和良

平成 15 年度(2003 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
金子 美幸	緩和ケア病棟入院中の患者家族が体験する世界の特徴 －在宅ホスピスの患者家族との比較－	野口多恵子	野口多恵子
岡村 恵子	母親の養育態度と母親からみた子どもの性格特性との関連について	三島正英	三島正英
梶原 弘平	痴呆性高齢者の介護者の介護満足度尺度作成と在宅介護継続意向に関する研究	野口多恵子	横山正博
久保 昌昭	在宅高齢者の生活力形成要因に関する研究	高野和良	横山正博
小柴 久子	性の政治(ジェンダー・ポリテックス)としての「男女参画条例」制定過程の考察 －U市のケーススタディを中心として－	三島正英	加登田恵子

原 信子	中間集団としての NPO の存在意識 ー 山口市における NPO 法人の実態をもとにー	高野和良	高野和良
溝田 順子	痴呆性高齢者のグループホームにおける生活共有 がもたらす有用性とケア検討	青木邦男	横山正博
山根 俊恵	介護支援専門員が行うケアマネジメントプロセス での処 遇困難に関する研究	青木邦男	横山正博

平成 16 年度(2004 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
生田 奈美可	配偶者を亡くした遺族のスピリチュアリティ	廣瀬春次	廣瀬春次
梅木 幹司	インクルージョンとエンパワメント ー障害児のインクルーシヴ教育の可能性ー	高野和良	志村哲郎
繁本 敏子	現代高校生の友人関係に関する一考察	三島正英	加登田恵子
杉原 トヨ子	アクティブ・エイジング中高年者の終の生活場所に 影響を及ぼす要因分析	横山正博	横山正博
中本 里美	高齢者におけるスキントラブル予防の検討	林 隆	田中マキ子
中川 幸子	障害者介助における介助者の介助経験をめぐって	高野和良	志村哲郎

平成 17 年度(2005 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
石川 恵美	虐待を受けた子どもへの発達支援に関する研究	三島正英	三島正英
伊勢嶋 英子	契約型福祉社会における社会福祉士の役割と独立 型社会福祉士の可能性	田中耕太郎	田中耕太郎
上田 亜希	他者イメージ、自己イメージ及び対人恐怖症の関係	廣瀬春次	廣瀬春次
鎌田 秀人	身体障害者寮護施設における介護サービスの質の 評価と利用者の主観的満足感に関する研究	横山正博	横山正博
吉川 良一	精神障害者の社会参加と精神科病院スタッフの意 識	廣瀬春次	廣瀬春次
増岡 健	H市 A 区における精神障害者共同作業所につい ての研究	廣瀬春次	廣瀬春次
松谷 依子	認知症高齢者の個人回想法の有効性の検討 ーバウムテスト・MMSE・視角アナログ尺度を用い てー	廣瀬春次	廣瀬春次

吉島 豊録	介護支援専門員が行うケアマネジメント過程におけるエンパワメントアプローチに影響を及ぼす要因	横山正博	横山正博
米澤 美保子	地域福祉とボランティア的行為	高野和良	高野和良
藤山 玲子	在宅疼痛患者に対する在宅緩和ケアシステム構築への試論 ー看護職・薬剤師のケア・指導の分析からー	田中マキ子	田中マキ子

平成 18 年度(2006 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
上田 理恵	ケアハウス入居者が持つソーシャルサポートに対する社会移動の影響	高野和良	高野和良
大本 二三幸	発達障害者の支援と社会資源の有効利用について	林 隆	林 隆
沼 由希子	在宅で生活をするがん末期患者を支える介護支援専門員の不安に関する研究	田中愛子	田中愛子
東谷 敏子	発達障害児の早期発見・早期療育と就学支援に関する保護者の意識調査	林 隆	林 隆
弘中 昭子	高次脳機能障害の本人・家族支援	高野 和良	高野和良
松本 則子	介護従事者の終末期ケアの実態とそれに影響を与える要因の検討	田中愛子	田中愛子
楊井 正明	山口県萩市圏域における精神障害者の処遇に関する研究	横山正博	横山正博
蔵本 満敦	知的障害者グループホームの支援構造に関する研究	高野和良	高野和良

平成 19 年度(2007 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
上原奈緒子	作業療法士が対象に高次脳機能障害を意識する判断基準に関する意識調査	林 隆	林 隆
塩川 朋子	養護学校における医療的ケアに従事する看護師のストレスについての検討 ー日本語版 NIOSH 職業性ストレス調査票を用いてー	林 隆	林 隆

申 壽卿	韓国の老人長期療養保険におけるケアマネジメント の位置づけに関する研究 ーモデル事業のケアマネージャーに対する自己評 価を通してー	横山正博	横山正博
末永 明彦	若者定住における社会的要因の影響に関する研究	高野和良	高野和良
安村 玲子	学校で生きづらい子どもたちの困り感の要因を検証 する ー教員への意識調査を手がかりとしてー	林 隆	林 隆

平成 20 年度(2008 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
三谷 明美	成熟期女性の月経周期に連動した気分に関する調 査研究ーPOMS:Profile Mood Of States へ を用いてー	林 隆	○林 隆 青木邦男 田中マキ子
安部 道子	自閉症児の「食」に関するアンケート調査 ー偏食あるいは食へのこだわりについてー	林 隆	○林 隆 島田和子 加登田恵子
大倉 福恵	福祉コミュニティ形成における社会参加活動が果た す役割と可能性 ーふれあい・いきいきサロン活動に着目してー	高野和良	○高野和良 藤村孝枝 横山正博
緒方 雪乃	障がい者の身体・精神活動に及ぼすアダプテッド・ スポーツの影響 ー障がい者のアダプテッド・スポーツ参加を通して ー	青木邦男	○青木邦男 田中耕太郎 日野精二
金子 宏明	知的障害者の地域生活を支える支援のあり方	高野和良	○志村哲郎 高野和良 日野精二
古閑あや子	施設の社会化における処遇の地域化 ー特養入居者の外出支援の取り組みからー	高野和良	○高野和良 草平武志 田中愛子
滝川 洋子	個別健康教育におけるグループ支援介入の効果判 定	林 隆	○藤村孝枝 林 隆 足立蓉子

寺谷 剛	認知症患者の運動療法の現状と効果に関する研究	青木邦男	○青木邦男 高野和良 横山正博
中村 恵子	介護専門職の養成・資格制度の変遷とそのあり方についての考察	田中耕太郎	○田中耕太郎 島田和子 横山正博
浪花 美穂子	認知症高齢者のグループホームにおける「なじみの環境」形成の影響に関する検討	横山正博	○横山正博 高野和良 田中愛子
林 亜由美	福祉教育における社会福祉協議会の役割	高野和良	○高野和良 市村孝雄 加登田恵子
光永 結香	不登校をめぐる親の気持ちとその支援に関する研究	廣瀬春次	○廣瀬春次 足立蓉子 中村仁志
盛岡 のぞみ	行動変容を促進する生活習慣改善プログラムの開発と評価	長坂祐二	○長坂祐二 青木邦男 人見英里
柳井 幸恵	失禁のある高齢者に対する予防的スキンケア方法の検討	田中マキ子	○田中マキ子 林 隆 人見英里
山下 美由紀	認知症高齢者に対する食生活のケアに関する研究	横山正博	○横山正博 足立蓉子 青木邦男

平成 21 年度 (2009 年度) 修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
相本 幸恵	要介護者の在宅支援における住環境整備の意義と住宅改修業者の役割	横山正博	○横山正博 草平武志 藤村孝枝
伊藤 美幸	転倒骨折をした地域在住高齢者の転倒恐怖感と外出制限	林 隆	○藤村孝枝 林 隆 横山正博

大嶋 満須美	中堅看護師の看護実践能力に焦点を当てた教育内容の考察	田中マキ子	○田中マキ子 横山正博 廣瀬春次
徳久 幹之	高齢社会における別居子によるソーシャルサポートの研究	横山正博	○横山正博 志村哲郎 田中愛子
中川 康子	高等学校の精神保健における連携と養護教諭の役割 －スクールソーシャルワークの視点から－	廣瀬春次	○中村仁志 廣瀬春次 島田和子
橋本 夏夜子	児童・生徒の心身の発達に応じた食に関する指導の体系化	長坂祐二	○長坂祐二 三島正英 廣瀬春次
三浦 理恵	大学生の求める学生支援とそれに関連する要因	青木邦男	○青木邦男 日野精二 廣瀬春次
村山 美香	食事形態の違いによる自律神経系への影響に関する検討 －高齢者に対する食事形態の意味－	田中マキ子	○田中マキ子 島田和子 林 隆
森 祐子	高校生の主体的な学習活動をめざした教育実践 －家庭科食物領域における取り組み－	島田和子	○島田和子 長坂祐二 廣瀬春次
矢田フミエ	看護学生のリフレクションを促進させる教員の発問に関する研究	田中マキ子	○田中マキ子 廣瀬春次 志村哲郎

平成 22 年度 (2010 年度) 修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
岩田 宏美	中高年女性の心身の健康度に対するマインドフルネス体験の効果	長坂祐二	○長坂祐二 廣瀬春次 乃木章子
内田 聡子	障害基礎年金の受給の有無による在宅成人知的障がい者の生活実態に関する質的分析	林 隆	○林 隆 加登田恵子 日野精二

木村 有香	2型糖尿病の病態と合併症の進展に対するプロテオーム解析 ー2型糖尿病モデル KK-Ay マウスを用いての検討ー	長坂祐二	○長坂祐二 人見英里 島田和子
合屋 さゆり	医療ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマとその関連要因	横山正博	○横山正博 草平武志 田中愛子
廣兼 かおり	地域の食材を利用した家庭科教育法の検討	人見英里	○人見英里 島田和子 加登田恵子
藤野 加奈子	豆腐の製造条件と風味形成との関係に関する研究	島田和子	○島田和子 青木邦男 日野精二
宮本 里依子	精神科長期入院患者の退院支援における生活のイメージ化	廣瀬春次	○中村仁志 廣瀬春次 島田和子
吉兼 伸子	特別支援教育時代の保育士の業務上の負担感について	林 隆	○林 隆 加登田恵子 日野精二
吉松 敏代	高校生の食習慣調査と食事バランスガイドを用いた栄養教育	長坂祐二	○長坂祐二 藤村孝枝 横山正博
中村 千枝	Dementia Care Mapping の施行が認知症介護に携わる職員の態度・意識に及ぼす効果の検討	廣瀬春次	○廣瀬春次 青木邦男 島田和子

平成 23 年度(2011 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
松井 志保	認知症ケアにおける介護職員のつまずきの構造	横山正博	○横山正博 藤村孝枝 田中愛子

小野 芳子	緩和ケア病棟看護師に対するストレス・マネジメント・プログラムの検討	田中マキ子	○田中マキ子 三島正英 田中愛子
河上屋 里美	行政保健師の職業的アイデンティティ確立を目指したセルフチェックシートの検討	田中マキ子	○田中マキ子 藤村孝枝 草平武志
佐々木 満智子	地域で生活している高齢者の服薬状況 ー薬の飲み忘れの実態とその関連要因についてー	長坂祐二	○藤村孝枝 草平武志 長坂祐二
柴崎 幸子	高齢者の生きがい感とそれに関連する要因	青木邦男	○青木邦男 日野精二 草平武志
清水 佑子	看護職の志望動機別にみるやる気の軌跡	田中マキ子	○田中マキ子 横山正博 草間かおる
謝 中岱	転換期における中国高齢化に関する研究 ー在宅サービスの日中比較の視点からー	田中耕太郎	○草平武志 田中耕太郎 田中愛子
竹永 吉伸	特別養護老人ホームにおける生活相談員のチームコンピテンシーに関する研究	横山正博	○横山正博 青木邦男 乃木章子
中本 朋子	看護者が行う新生児期の母乳育児支援の実態とそれに影響を与える要因の分析	田中愛子	○田中愛子 加登田恵子 青木邦男
安田 風明	学童期の児が社会生活上支障を感じる動作の不器用さの検討	林 隆	○林 隆 青木邦男 加登田恵子
山岡 幸子	介護福祉士養成教育における看取りに関する教育内容の検討	横山正博	○横山正博 草平武志 田中愛子
山田 紗容	納豆および味噌の発酵・熟成過程における抗酸化能の変化とその関連物質	島田和子	○島田和子 人見英里 青木邦男

平成 24 年度(2012 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
阿津坂 尚子	希少糖 D-プシコースの加工食品への応用 ーすし酢、黒豆、小豆あんの調製とその特徴ー	島田和子	○島田和子 加登田恵子 園田純子
岩 城 淳	「児童入所施設における生活支援機能の抽出とその実態」	田中マキ子	○田中マキ子 三島正英 日野精二
岡 村 梢	スポーツ観戦での感動が日常生活における意識や態度に及ぼす影響とそれに関連する要因	青木邦男	○青木邦男 横山正博 日野精二
尾中 未来	ソーシャルワーク実習における実習指導者の学生に対するスーパービジョンに関する研究	横山正博	○横山正博 草平武志 田中愛子
檀村 香利	中途採用看護師の育成と定着 ー多様なキャリア形態の看護師に対する教育支援方法の検討ー	田中マキ子	○田中マキ子 横山正博 長坂祐二
魏 宏 洋	中国山東省臨沂市地域高齢者における栄養状態の把握	長坂祐二	○長坂祐二 田中マキ子 草平武志
玄 祖 鑫	地域事例からみる中国新型農村合作医療の現状と課題 ー日本の国民健康保険との比較の視点からー	田中耕太郎	○田中耕太郎 田中マキ子 草平武志
崎山 幸美	特別支援学校に勤務する教員の保護者対応についての意識調査	田中マキ子	○田中マキ子 加登田恵子 日野精二
瀬川 紀子	ワークショップを用いた健康学習に関する研究 ーヘルスリテラシーの視点からの分析ー	長坂祐二	○長坂祐二 青木邦男 乃木章子
橘 康 彦	新人ケアマネジャーに対するスーパービジョンに関する研究	横山正博	○横山正博 草平武志 藤村孝枝

安永 正則	「作業療法士の初期対応に着目した岩国市療育センターの実態調査」	田中マキ子	○田中マキ子 加登田恵子 日野精二
山内 里恵	予期せぬ急性死別を迎えた家族ケアのあり方	中村仁志	○中村仁志 田中愛子 島田和子

平成 25 年度(2013 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
柿並 洋子	精神科訪問看護による家族支援方法の検討	中村 仁志	○中村仁志 草平武志 乃木章子
古賀 聖典	災害支援看護師に対する継続教育カリキュラムの検討	田中マキ子	○田中マキ子 日野精二 加登田恵子
中津井 貴子	保護者(料理の作り手)の食経験が児童生徒の食生活に及ぼす影響	長坂祐二	○長坂祐二 日野精二 藤村孝枝
藤井 小百合	養護教諭のアセスメント能力の形成に影響を与える要因	中村仁志	○中村仁志 田中耕太郎 乃木章子
山下 晋平	<i>Helicobacter pylori</i> の自己増殖阻害物質の解明	島田和子	○島田和子 長坂祐二 吉村耕一
山中 なみ子	皮膚・排泄ケア認定看護師に対する自己教育力活性の要因検討	田中マキ子	○田中マキ子 日野精二 横山正博

平成 26 年度(2014 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
松浦 洋子	高齢者の自己概念に働きかけるレクリエーションの効用	横山正博	○横山正博 田中マキ子 青木邦男

伊木 康人	認知症高齢者に対して介護職員が「共感」を形成するプロセスの構造	横山正博	○横山正博 佐々木直美 田中愛子
閻 龍潔	中国濱州市における中年男性の健康に関する要因についての研究	長坂祐二	○長坂祐二 草平武志 藤村孝枝
大塚 和美	介護職員のキャリアアップ形成に関わる要因の分析	横山正博	○横山正博 青木邦男 田中マキ子
篠原 美奈	患者の QOL を向上させるための体位変換方法の検討ー関節の変形・拘縮、筋委縮を増強しないためにー	田中マキ子	○田中マキ子 長坂祐二 横山正博
愼 恩貞	韓国の農村地域における敬老堂の機能と役割	横山正博	○横山正博 藤村孝枝 吉村耕一
瀬 充	障害受容についての当事者研究 ー脊髄損傷専門病院での入院経験からー	中村文哉	○草平武志 中村文哉 藤村孝枝
長谷 昌枝	災害中長期における継続看護の為の情報共有システムの検討	田中マキ子	○田中マキ子 加登田恵子 園田純子
馬 燕	親の発達期待と子どものパーソナリティ ー現代中国における母親の発達期待の一考察ー	三島正英	○三島正英 中村仁志 藤村孝枝
松本 江理子	看護師が会うライフイベントがもたらす離職要因の検討	田中マキ子	○田中マキ子 田中耕太郎 園田純子
箕越 功浩	駆血による皮膚血流量の変化(反応性充血)の測定の意義ーレーザースペックル二次元血流画像化法の有用性の検討ー	長坂祐二	○長坂祐二 青木邦男 吉村耕一
山根 千絵	児童家庭支援センターにおける家庭支援 ーファミリーソーシャルワークと職員の意識ー	加登田恵子	○加登田恵子 横山正博 田中愛子

平成 27 年度(2015 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
赤崎 敦子	介護支援専門員の地域ケア会議に対する評価に関する研究	横山正博	○横山正博 藤村孝枝 人見英里
阿南 沙織	小児領域に勤務する看護師の職務ストレスに及ぼす影響	田中マキ子	○田中マキ子 中村文哉 人見英里
伊藤 美穂	初産婦を対象とした授乳確立までのプロセスとその支援	佐々木直美	○佐々木直美 草平武志 藤村孝枝
内田 朋子	職種間連携による病棟での栄養ケアに必要な要因の検討	人見英里	○人見英里 横山正博 吉村耕一
小林 裕子	看護師長のストレスと後進育成のジレンマ	田中マキ子	○田中マキ子 加登田恵子 園田純子
張 紅娜	日本在住の若年中国人の高齢者観	横山正博	○横山正博 田中マキ子 加登田恵子
野原 徹	社会福祉施設におけるコミュニティソーシャルワーク機能についての考察	中村文哉	○草平武志 中村文哉 佐々木直美
山下 みよ子	介護支援ボランティア活動がもたらす介護予防効果の考察	田中マキ子	○田中マキ子 田中耕太郎 吉村耕一
長尾 安美	A県における出産施設と地域の子育て支援活動との連携の実態と課題	長坂祐二	○藤村孝枝 長坂祐二 草平武志

平成 28 年度(2016 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
-----	---------	------	------

澤田 孝子	看護師のリスク感性を高めるための教育課題の析出 -標準予防策における手指衛生に焦点をあてて-	田中マキ子	○田中マキ子 横山正博 人見英里
久保木 紀子	地域在住高齢者の転倒予防につながる日常生活行動特性	吉村耕一	○藤村孝枝 吉村耕一 草平武志
河本 乃里	就業継続 3 年が職業継続意欲へ及ぼす要因の検討 -看護師における 3 年神話の検証から-	田中マキ子	○田中マキ子 内田耕一 上白木悦子
田中 孝恵	少子化時代における小児看護学の学習内容の検討	田中マキ子	○田中マキ子 園田純子 宮崎まさ江
林 瑞恵	過疎地域で暮らす在宅高齢者の廃用症候群の予防につながる生活要因の検討	横山正博	○横山正博 吉村耕一 弘津公子
松元 悦子	難病患者における医療従事者に対する心理過程の解明	田中マキ子	○田中マキ子 中村文哉 乃木章子
宮本 恵子	単位子ども会役員が抱える負担感とやりがいについての検討	中村仁志	○中村仁志 加登田恵子 草平武志
李 草	近代化と引きこもりに関する研究 -中日比較の視点から-	坂本俊彦	○草平武志 坂本俊彦 藤村孝枝

平成 29 年度 (2017 年度) 修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
新開 奏恵	慢性疾患の子どもを支える養護教諭の教育実践に関する研究	横山正博	○横山正博 藤村孝枝 内田耕一
江口 恵里	高齢者が旅行に参加する際の意思決定に影響を及ぼす要因の分析	横山正博	○横山正博 藤村孝枝 園田純子

白蓋 真弥	新卒看護職の看護実践能力及び社会的スキルと職場適応との関連性	中村仁志	○中村仁志 後藤みゆき 乃木章子
山本 幸子	臨地実習が看護学生に必要な社会人基礎力に及ぼす影響の検討	田中マキ子	○田中マキ子 乃木章子 宮崎まさ江
楊 玉華	中国空巢老人問題の研究ー地域住民による見守り活動に焦点を当ててー	坂本俊彦	○坂本俊彦 草平武志 藤村孝枝

平成 30 年度(2018 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
佐藤 正昭	医療福祉現場における精神保健福祉士の機能と役割についての考察	加登田恵子	○加登田恵子 吉村耕一 人見英里
山本 倫也	食の安全性向上を目指して ー難培養性細菌による食品汚染状況と薬剤耐性化の視点からー	吉村耕一	○吉村耕一 内田耕一 上白木悦子
甲斐 美智代	看護カンファレンス質評価尺度の開発 ーインタビュー調査をもちいた構造化分類ー	田中マキ子	○田中マキ子 増成直美 宮崎まさ江
山崎 学	母と子の愛着スタイルの関連性についての検討ー質問紙と描画法を用いてー	佐々木直美	○佐々木直美 乃木章子 宮崎まさ江
井上 寿美香	入院中の子どもの遊びを通じた関わりに関する看護学生への教育方法の効果	田中マキ子	○田中マキ子 加登田恵子 増成直美
片山 久美子	高齢者に対する食生活プログラムが主観的健康感と健康状態に及ぼす影響	内田耕一	○内田耕一 園田純子 藤村孝枝
金子 祐大	アルフレッド・シュッツの他者理解理論における意味構成をめぐる考察 ー精神病がもたらす意味構成の阻害ー	中村文哉	○中村文哉 坂本俊彦 中村仁志

齋藤 すが代	倫理的課題に対する看護学生の認識の現状	田中マキ子	○田中マキ子 増成直美 藪本知二
陳 曉倩	中国内陸部における大学生の老親扶養意識と社会保障の役割について ー中国貴陽市と日本の比較調査を通してー	坂本俊彦	○草平武志 坂本俊彦 藤村孝枝
中村 幸一郎	ネグレクトに対するスクールソーシャルワーカーの支援と成果	中村仁志	○中村仁志 加登田恵子 園田純子

健康福祉学研究科生活健康科学博士前期課程の学位論文

平成 12 年度(2000 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
河村 麻紀	免疫組織化学法、TUNEL 法、断片化 DNAPCR	市村孝雄	市村孝雄
島添 美葉子	生活者の視点に立った環境科学情報についての研究 ー地球温暖化問題を題材としての試みー	伊原靖二	伊原靖二
野嶋 理恵	糖尿病発症並びに進展に対する食事制限と運動トレーニングの効果 ー糖尿病モデルラット OLETF を用いての検討ー	森口 覚	森口 覚
松本 明日美	ビタミン E 欠乏ラットに対するルイボスティー (Aspalathus linearis)	森口 覚	人見英里
山下 由美子	女子大生における「隠れ肥満」と「痩せ」の実態とその背景に関する研究	森口 覚	森口 覚
吉田 陽子	IgG 輸送上皮細胞における低分子量 GTP 結合蛋白 Rab17 の発見	市村孝雄	市村孝雄
渡邊 陽子	加齢に伴う細胞性免疫能低下に対するビタミン E の影響について ー一酸化窒素との関連ー	森口 覚	森口 覚

平成 13 年度(2001 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
-----	---------	------	------

阿部 浩	シクロデキストリンホストの多次元機能の開発に関する理論的科学研究	伊原靖二	伊原靖二
木村 文子	高校家庭科における栄養教育の一考察	足立蓉子	足立蓉子
岡本 利洋	昆布洗浄水の有効利用 －NF(ナノフィルトレーション)膜による昆布洗浄水の濃縮－	島田和子	神武正信
山下 里恵	B16 メラノーマの肺転移に対するアルギニン添加食投与の影響	森口 覚	森口 覚

平成 14 年度(2002 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
石川 直洋	<i>Helicobacter pylori</i> の MCP 様遺伝子の機能解析	島田和子	小川雅広
蓮川 知恵子	児童の身体活動量の実態とそれに関わる生活要因について	森口 覚	日野精二

平成 15 年度(2003 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
稲津 早紀子	<i>Helicobacter pylori</i> 病原因子の環境応答	長坂祐二	人見英里
栗原 佳子	加齢に伴う細胞性免疫能低下に対する乳酸菌飲料の飲用効果とそのメカニズムに関する研究	森口 覚	森口 覚
末弘 静子	温和な温熱刺激に対する生体反応の生理学的解析	市村孝雄	市村孝雄
高橋 須眞子	山口県伝統野菜の嗜好特性に関する研究	島田和子	島田和子
西村 愛代	環境ホルモン類と生体レセプターモデルとの相互作用に関する実験的理論的研究	伊原靖二	伊原靖二
前田 典子	乾燥ハーブの抗アレルギー作用に関する研究	島田和子	島田和子
山川 佐知子	コミュニケーションの促進と心の健康 －「家庭科」を通じてのアプローチ－	足立蓉子	足立蓉子
山下 奉海	山口市周辺地域におけるシソ科植物の繁殖状況と送粉環境	長坂祐二	長坂祐二
林 宇峰	東アジアの若年女性における痩せ、隠れ肥満および肥満の実態とその背景に関する研究 －韓国、中国および日本の女子大学生を対象とした横断的研究－	森口 覚	森口 覚

平成 16 年度(2004 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
角橋 明美	ルイボスティー、杜仲茶の抗酸化能及び肥満抑制作用の検討	長坂 祐二	人見 英里
兼安 真弓	オボアルブミン誘発食物アレルギーモデルマウスに対するビタミン E の発症予防効果とそのメカニズムに関する研究	森口 寛	森口 寛
竹本 香奈	水質調査による山口県内主要河川の環境モニタリングについて	伊原 靖二	伊原 靖二
平岡 幸子	女子大学生の生理機能と細胞性免疫能に対するケール及び大麦若葉抽出青汁の飲用効果	森口 寛	森口 寛
細木 淳一	シクロデキストリンによるビスフェノール類の包接作用に関する実験的理論的研究	伊原 靖二	伊原 靖二
水谷 周平	下肢運動装置の生理的リラックス効果に関する実証研究	市村 孝雄	市村 孝雄
溝田 美苗	住民主役の健康づくりとその評価 ー山口県 T 町でのとりくみー	足立 蓉子	足立 蓉子
山崎 あかね	幼児期の食生活からみた生活習慣病の発症と予防に関する研究	森口 寛	森口 寛

平成 17 年度(2005 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
青山 和也	環境阻害物質含有排水の除去技術開発に関する基礎的研究	伊原 靖二	伊原 靖二
井上 佳美	高濃度グルコースによる酸化ストレスに対する抵抗性の低下とケルセチンの作用	長坂 祐二	長坂 祐二
加藤 雅子	乾燥ハーブ成分のロイコトリエンB4 放出抑制作用に関する研究	島田 和子	島田 和子
高松 美香	山口県高等学校家庭科教育における食物領域の研究 ー現行学習指導要領での主体的学習活動の展開と基礎知識・技術の定着効果ー	島田 和子	島田 和子

弘津 公子	低栄養高齢者の栄養介入の効果 ー文献レビューと介入研究ー	森口 寛	森口 寛
-------	---------------------------------	------	------

平成 18 年度(2006 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
伊藤 淳也	水溶性シクロデキストリンポリマーにおけるビスフェノール類の取り込み能に関する研究	伊原 靖二	伊原 靖二
神田 裕美	現代小学生の生活習慣の実態と食育を通じての一時例	森口 寛	森口 寛
田中 ゆみ	喫煙並びに受動喫煙に伴う免疫異常に対する青汁摂取の影響	森口 寛	森口 寛
中村 崇佳代	高校生の野菜摂取に対する意識と実践力向上の取り組み	島田 和子	安藤 真美
西本 満美	山口県産黒大豆の利用に関する研究	島田 和子	島田 和子
劉 彩虹	植物種子形成における2種類のプロテインジスルフィドイソメラーゼの役割について	島田 和子	小川 雅広

平成 19 年度(2007 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
東野 秀子	昆虫と食文化	新井 哲夫	新井 哲夫
上野 晋作	離島住民の食物摂取状況と身体状況に関する調査	島田 和子	日野 精二
宇佐 川佳子	特別支援学校における食生活の学習とその考察	足立 蓉子	足立 蓉子
櫻井 菜穂子	幼児期の食生活実態と食育プログラム介入効果について	足立 蓉子	足立 蓉子
水野 志乃	<i>Helicobacter pylori</i> の微好気性は偶然か必然か？	長坂 祐二	人見 英里

健康福祉学研究科健康福祉学専攻博士後期課程の学位論文

平成 20 年度(2008 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
井上 佳美	食品に含まれる抗酸化物質としてのフラボノイドによる糖毒性の抑制に関する研究	長坂祐二	○長坂祐二 足立蓉子 林 隆

大下 由美	生成的ソーシャル・サポート・ネットワーク論 ー理論、技法、測定法の体系化に向けてー	小川全夫	○小川全夫 檜原 朗 高野和良 加茂 陽
-------	--	------	-------------------------------

平成 22 年度(2010 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
田口 誠也	地域福祉計画をめぐるステークホルダー間関係のダイナミズム	田中マキ子	○田中マキ子 田中耕太郎 長坂祐二 小川全夫
後藤 みゆき	インフォーマル・レスパイトケア ー終末期がん患者の家族に対する支援ー	田中マキ子	○田中マキ子 田中耕太郎 廣瀬春次 小川全夫

平成 23 年度(2011 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
生田 奈美可	死別による配偶者喪失を経験した高齢者のスピリチュアリティに関する研究	田中マキ子	○田中マキ子 三島正英 長坂祐二
弘津 公子	高齢者の生活習慣と口腔粘膜免疫に関する研究 ー唾液中の分泌型免疫グロブリン A と食生活並びに ADL との関係ー	長坂祐二	○長坂祐二 林 隆 草間かおる
上原 奈緒子	高次脳機能障害者の認知特性を反映した観察指標の検討	林 隆	○林 隆 長坂祐二 田中耕太郎
盛岡 のぞみ	健康行動の継続にかかわる要因の分析	長坂祐二	○長坂祐二 林 隆 草間かおる
山下 稔哉	山村留学生の社会・心理的発達に関する縦断的研究	林 隆	○林 隆 長坂祐二 草間かおる

平成 24 年度(2012 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
松永 智子	健康長寿の生活様式の検討 ー健康百寿者の語りからー	田中マキ子	○田中マキ子 長坂祐二 田中耕太郎

平成 27 年度(2015 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
光貞 美香	高齢者の食欲増進に対する視覚刺激の基礎的研究	田中マキ子	○田中マキ子 長坂祐二 内田耕一

平成 28 年度(2016 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
萩原 裕子	メディカルフィットネス施設における運動実施 および継続行動に関する研究 -健康運動指導士から提供されるソーシャルサポ ートに着目して-	長坂祐二	○長坂祐二 人見英里 曾根文夫
吉兼 伸子	保育士のメンタルヘルス -陽性・陰性感情に基づく実証的研究-	田中マキ子	○田中マキ子 長坂祐二 上白木悦子

平成 29 年度(2017 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
矢田 フミエ	看護学生のリフレクションを活性化させる教育 方法の創出	田中マキ子	○田中マキ子 長坂祐二 横山正博 佐々木直美
中津井 貴子	児童生徒に対する食育の指導方法と評価に関す る研究	長坂祐二	○長坂祐二 田中マキ子 吉村耕一

松野 恭子	1 型糖尿病患者における発症時の栄養指導に対する受け止め方がその後の食生活及び療養生活に与える影響について	長坂祐二	○長坂祐二 吉村耕一 人見英里
箕越 功浩	血管機能の新たな測定方法の検討 ～レーザースペックル二次元血流画像化法の応用～	長坂祐二	○長坂祐二 曾根文夫 上白木悦子

平成 30 年度(2018 年度)修了生

氏 名	論 文 題 目	指導教員	担当教員
原田 美穂子	多次元構概念に基づく乳房切除術を受けた患者のボディ・イメージの検討	田中マキ子	○田中マキ子 内田耕一 中村文哉
三谷 明美	母親の自己効力感を刺激するベビービクスプログラムを検証	田中マキ子	○田中マキ子 上白木悦子 佐々木直美
中村 敦子	娘の産後を支援する実母の母性性・世代性に関する研究	田中マキ子	○田中マキ子 人見英里 上白木悦子 佐々木直美
田中 和子	開発途上国の周産期ケアを改善する新たな支援策開発のための基盤的調査研究	吉村耕一	○吉村耕一 田中マキ子 内田耕一

研究・創作の業績

国際文化学研究科並びに健康福祉学研究科の論文一覧

Petrini, M. A. (2000). "Toward a Theory for Sustainable International Development." 山口県立大学大学院論集(1): 39-108.

岩下明裕 (2000). "中露関係における中央アジア." 山口県立大学大学院論集(1): 3-17.

市村孝雄, 河村麻紀, 吉田陽子 and 新井奈央 (2000). "フタル酸エステルに誘導されたマウス精巢アポトーシスの免疫組織化学と TUNEL 法による検索." 山口県立大学看護学部紀要 4: 14-18.

村上尚三郎 (2000). "人権教育を考える : 現代社会における人間観を視座に." 山口県立大学大学院論集 1: 109-132.

松尾洋, 関谷陽子, 達千英 and 増井恭子 (2000). "12-Hydroxyoctadecanoic acid と不飽和脂肪酸の二成分混合単分子膜." 山口県立大学大学院論集 1: 147-161.

長坂祐二 (2000). "Jurkat 細胞の熱ショック応答に対するケルセチンの効果." 山口県立大学大学院論集 1: 141-146.

青木邦男 and 松本耕二 (2000). "在宅高齢者の精神的健康の実態とそれに関連する要因." 山口県立大学大学院論集 1: 133-140.

馬鳳如 (2000). "『金瓶梅』における山東方言の語彙の考証." 山口県立大学大学院論集(1): 19-37.

Iwashita, A. (2001). "The Russo-Chinese'Strategic Partnership' and Border Negotiations: Then and Now." 山口県立大学大学院論集(2): 1-10.

Moriguchi, S. and R. Nojima (2001). "Effect of Food Restriction or Voluntary Exercise on the Development of Non-Insulin Dependent Diabetes Mellitus(NIDDM) in Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty(OLETF) Rats." 山口県立大学大学院論集(2): 59-65.

Petrini, M. A. (2001). "Model for Childcare Based on the Concept of the Child as an Open System." 山口県立大学大学院論集(2): 11-41.

中野康子 (2001). "アメリカにおける看護婦(士)の臨床実践能力評価と継続教育の現状." 病院管理 38(4): 319-327.

伊原靖二 (2001). "ポリ塩化ジベンゾフランとシクロデキストリンの相互作用に関する分子科学的研究." 山口県立大学大学院論集 2: 67-73.

松尾洋, 柿田睦月 and 四方好美 (2001). "長鎖脂肪酸メチルエステルとミリスチン酸の二成分混合単分子膜." 山口県立大学大学院論集 2: 75-87.

森口覚 (2001). "肥満に伴う細胞性免疫能低下と運動効果." 体力科学 50(4): 525.

西村洋子 and 藤村孝枝 (2001). "要介護高齢者に関するアセスメント方法の比較検討." 山口県立大学大学院論集 2: 43-57.

青木邦男, 足立蓉子, 森口覚 and 長坂祐二 (2001). "文部省版体力スクリーニングテストに関連する要因." 臨床スポーツ医学 18(3): 342-346.

Ankei, Y. (2002). "Community-based Conservation of Biocultural Diversity and the Role of Researchers: Examples from Iriomote and Yaku Islands, Japan and Kakamega Forest, West Kenya." 山口県立大学大学院論集(3): 13-23.

Ichimura, T. (2002). "Recent Progress in the Study of Adverse Effects of Phthalate Esters to the Male Reproductive Organ: A Short Review." 山口県立大学大学院論集(3): 1-11.

Petrini, M. A. and A. Kawashima (2002). "An Evaluation of Griffith University, the Bachelor of Nursing(Nissoken Project)." 山口県立大学大学院論集(3): 47-60.

Shimogasa, T. (2002). "Formulaic Expressions in Sir Launfal." 山口県立大学大学院論集(3): 25-35.

伊原靖二 and 今村主税 (2002). "シクロデキストリンホストによるポルフィリン誘導体の分子カプセル化に関する実験的理論的研究." 山口県立大学大学院論集 3: 61-70.

栗原佳子 and 森口寛 (2002). "過性運動負荷に伴う細胞性免疫能低下に対するビタミン E 摂取の影響(血液・免疫)." 体力科学 51(6): 627.

森口寛 and 栗原佳子 (2002). "【運動は免疫能を高めるか?】 栄養学からのアプローチ." 臨床スポーツ医学 19(11): 1325-1331.

水谷由美子 (2002). "山口県立大学大学院ゼミにおける地域服飾文化の発信と商品共同研究開発-産・官・学連携事業「やまぐち文化発信ショップ Naru Naxeve」の実践." 日本家政学会誌 53(11): 1155-1157.

水谷由美子 and 河野通孝 (2002). "山口県立美術館「クロード・モネ展」における「モネとパリモード」の企画・展示." 山口県立大学大学院論集(3): 71-78.

青木邦男 (2002). "運動の不安軽減効果及びうつ軽減効果に関する文献研究." 山口県立大学大学院論集 3: 37-45.

Mifune, N. (2003). "Consideration of Roles of "Nature" in Psychotherapy : Focusing on the Period of "Holding"." 山口県立大学大学院論集 4: A33-A44.

Mihara, H., M. Yokoyama and A. Stracke-Mertes (2003). "Untersuchung zur Einschätzung der Leistungen der Pflegeversicherung in Japan bei zu Hause lebenden alten Menschen." 山口県立大学大学院論集 4: A45-A49.

Petrini, M. A. and A. Kawashima (2003). "Comparison of Critical Thinking Skills of Nurses in Japan, China and Samoa." 山口県立大学大学院論集(4): 11-32.

Shimogasa, T. (2003). "Formulaic Expressions in The King of Tars." 山口県立大学大学院論集(4): 1-10.

中野康子, 小林敏生 and M. A. Petrini (2003). "サモアにおける精神障害者へのケアに影響を与える要因についての考察「サンライズ・モデル」を用いた分析." 山口県立大学看護学部紀要(7): 93-96.

伊原靖二 (2003). "ポリ塩化ジベンゾ-p-ダイオキシンの電子構造解析に関する理論的研究." 山口県立大学大学院論集 4: A51-A58.

安溪遊地 (2003). "「生命と生活の質特論」めざすもの--山口県立大学大学院における教育実践の報告 ([山口県立大学]大学院共通科目「生命と生活の質特論」特集)." 山口県立大学大学院論集 (4): 81-90.

栗原佳子, 寺田修, 山崎あかね and 森口覚 (2003). "運動トレーニングと細胞性免疫能 : ルームランナーを用いての連続歩行と細切れ歩行の影響(血液・免疫)." 体力科学 52(6): 902.

森口覚 (2003). "高齢者の栄養状態と免疫能について(<特集>大学院共通科目「生命と生活の質特論」特集)." 山口県立大学大学院論集 4: A99-A101.

水谷由美子, 岡部泰民, 高島海, 山崎忠道, 新留直人, ニイニコスキノーラ and リンネピア (2003). "異文化交流とファッションデザインに関する産学連携による実践的研究--やまぐち文化発信ショップの活動およびヘルシンキ芸術デザイン大学と山口県立大学の交流事例を通じて." 山口県立大学大学院論集(4): 59-80.

稲田秀雄 (2003). "翻刻 狂言名寄・内外間名寄(山口県立大学蔵)." 山口県立大学大学院論集 (4): 1-13.

青木邦男 (2003). "健康関連 QOL を改善する身体活動を理解するための運動行動モデル : TPB と TTM について(<特集>大学院共通科目「生命と生活の質特論」特集)." 山口県立大学大学院論集 4: A95-A98.

高瀬忠重 (2003). "遺構と都市デザイン : ポストモダンの都市に求めるもの(<特集>大学院共通科目「生命と生活の質特論」特集)." 山口県立大学大学院論集 4: A91-A93.

高野和良 (2003). "農村高齢化と地域生活構造の変動(<特集>大学院共通科目「生命と生活の質 特論」特集)." 山口県立大学大学院論集 4: A103-A105.

Shimogasa, T. (2004). "Formulaic Expressions in The Romance of Duke Rowlande and of Sir Ottuell of Spayne." 山口県立大学大学院論集(5): 9-21.

三原博光 (2004). "日本とドイツの知的障害者の高齢化状況の国際比較." 山口県立大学大学院論集(5): 47-54.

中本里美, 田中マキ子, 岡崎一子 and 斎原隆文 (2004). "【高齢者の QOL をめざしたスキンケア】事例にみる看護の実際 リンゴ酢によるおむつかぶれへの対応." 臨床看護 30(8): 1218-1221.

中本里美, 田中マキ子 and 緋田祐二 (2004). "【高齢者の QOL をめざしたスキンケア】高齢者のスキンケア クランベリージュース飲用によるスキントラブル改善への取り組み." 臨床看護 30(8): 1208-1212.

伊原靖二, 西村愛代, 細木淳一 and 今村主税 (2004). "エストロゲン作用物質と生体レセプターモデルとの相互作用に関する実験的理論的研究." 山口県立大学大学院論集 5: 55-64.

廣瀬春次 (2004). "境界例のブリーフセラピー." 山口県立大学大学院論集(5): 37-46.

李修京 (2004). "現代韓国のジェンダー論研究の一考察." 山口県立大学大学院論集(5): 1-8.

水谷由美子, 岡部泰民 and 入江幸江 (2004). "ファッションと産学共同--「ジャパンファッションデザインコンテスト IN 山口」実施の事例研究." 山口県立大学大学院論集(5): 65-86.

稲田秀雄 (2004). "翻刻 鷺流間集(1)." 山口県立大学大学院論集(5): 1-11.

馬鳳如 (2004). "魯西南方言における特殊な文法表現." 山口県立大学大学院論集(5): 23-36.

Ankei, Y., T. Ankei and J. Kahenwa (2005). "ケニア東海岸・聖なるカヤの森への旅--ディゴ民族のエコツーリズムに関するコンゴ・ケニア・日本協同調査レポート." 山口県立大学大学院論集(6): 1-19.

三原博光, 松本耕二 and 豊山大和 (2005). "障害児の両親の育児意識に関する研究--障害児ときょうだいに対する比較調査を通して." 山口県立大学大学院論集(6): 81-87.

三船直子 (2005). "自己愛人格の実証的研究--成人期のNPI-Nの分析を通して." 山口県立大学大学院論集(6): 101-115.

久保昌昭 and 横山正博 (2005). "在宅高齢者の生活意欲とそれに関連する要因." 老年社会科学 27(1): 34-42.

伊原靖二, 竹本香奈 and 今村主税 (2005). "水質調査による山口県内主要河川の環境モニタリング." 山口県立大学大学院論集 6: 55-63.

杉原トヨ子 (2005). "アクティヴ・エイジング中高年者のPGC モラル・スケール構造分析." 山口県看護研究学会学術集会プログラム・集録 4 回: 21-23.

李修京 (2005). "韓国におけるアメリカの一考察." 山口県立大学大学院論集(6): 21-31.

林隆, 木戸久美子 and 小野善郎 (2005). "知的障害児者入所施設保健医療担当者の問題行動への認識と薬剤適応について--ICF スケールを用いた問題行動についての認識調査." 山口県立大学大学院論集(6): 71-79.

武市眞弘 (2005). "翻刻『バレット写本』の「われらが主ゼズ・キリシトの御受難」のローマ字翻刻(続き)." 山口県立大学大学院論集(6): 141-147.

水谷由美子, 入江幸江, 縄田恵 and 永富真子 (2005). "産学・国際間共同によるデザインの実践的研究--萩開府 400 年記念・竹が創る 21 世紀事業「竹を着る--日本&フィンランドの風」&「竹 MEETS フィンランドデザイン展」を事例として." 山口県立大学大学院論集(6): 117-139.

田中マキ子 (2005). "褥瘡予防・管理に活かすポジショニング." 日本褥瘡学会誌 7(1): 16-22.

田中愛子, 市村孝雄, 岩本テルヨ and 森口覚 (2005). "笑いが療養生活を送る高齢者の主観的幸福感とNK 細胞に与える影響." 山口県立大学大学院論集 6: 65-69.

稲田秀雄 (2005). "翻刻 鷺流間集(2)." 山口県立大学大学院論集(6): 1-8.

近藤淳子 (2005). "ジョン・フォスター・ダレスの未完の日米「相互防衛」条約." 山口県立大学大学院論集(6): 33-54.

高野和良 and 坂本俊彦 (2005). "高齢社会における社会参加と生きがい--生涯現役社会づくり県民意識調査データから." 山口県立大学大学院論集(6): 89-99.

Tanaka, A., M. Sato, H. Sakuda and S. Takano (2006). "A Study of the Care for Psychiatric Symptoms of Terminal-Stage Cancer Patient." 山口県立大学大学院論集(7): 89-93.

下笠徳次 (2006). "Sir Gawain and the Carl of Carlisle における定型表現." 山口県立大学大学院論集(7): 31-44.

久保昌昭 and 横山正博 (2006). "在宅高齢者の閉じこもりに関連する要因." 社会福祉学 46(3): 38-47.

伊原靖二, 青山和也 and 今村主税 (2006). "竹炭による環境阻害物質の除去技術開発に関する基礎研究." 山口県立大学大学院論集 7: 81-88.

兼安真弓 and 森口覚 (2006). "細胞性免疫能とストレスホルモン分泌に対する湯田温泉の足湯入浴の影響(第 57 回日本体力医学会中国・四国地方会)." 体力科学 55(5): 537.

安溪遊地 and 安溪貴子 (2006). "スペイン北部の山村の風土を生かして--ナバラ自治州で出会った持続可能な暮らしへの挑戦者たち." 山口県立大学大学院論集(7): 1-29.

市村孝雄 (2006). "足浴の生理的作用について 31 例のケーススタディ." 山口県立大学大学院論集(7): 75-80.

林隆, 木戸久美子, 中村仁志, 東谷敏子, 大本二三幸, 山川宏昭, 山川美香, 大谷美絵, 北山良平 and 茂木千絵 (2006). "多動性に着目した幼児行動チェックリストの臨床応用." 山口県立大学大学院論集(7): 101-107.

水谷由美子, 入江正敏 and 永富真子 (2006). "ファッションを通じた日・西の国際文化交流と地域文化発信の実践的研究--ナバラ州における'Yamaguchi Meets Navarra 2005'を事例として." 山口県立大学大学院論集(7): 109-125.

溝田順子 and 横山正博 (2006). "認知症高齢者グループホームにおける生活共有の有用性." 日本認知症ケア学会誌 5(3): 471-479.

田中マキ子, 人見英里 and 安藤真美 (2006). "高齢者における機能性間食パンへの意識." 山口県立大学大学院論集(7): 95-100.

田中愛子, 佐藤美幸, 作田裕美 and 高野静香 (2006). "末期癌患者の精神症状へのケアに関する研究." 山口県立大学大学院論集(7): 89-93.

足立蓉子 and 溝田美苗 (2006). "学習支援による栄養・食教育とその成果 山口県 T 町でのとりくみ." 山口県立大学大学院論集(7): 57-73.

鈴木隆泰 (2006). "釈尊の遺言--その現代的メッセージを読み解く." 山口県立大学大学院論集(7): 1-18.

馬鳳如 (2006). "中国北方漢語方言的罵語研究." 山口県立大学大学院論集(7): 45-55.

Shimogasa, T. (2007). "Addresses to the audience and transision in ME tail-rhyme romances." 山口県立大学大学院論集(8): 1-12.

井上佳美 and 長坂祐二 (2007). "高濃度グルコースによる細胞内グルタチオン減少に対するケルセチンの効果." 日本病態栄養学会誌 10(3): 295-300.

人見英里, 山本治城, 木戸愛子, 角橋明美, 藤井宏栄, 片川聖 and 内田浩二 (2007). "山口県産野菜類の肝解毒酵素誘導能の検索." 山口県立大学大学院論集(8): 139-145.

伊原靖二 (2007). "榎野川及びその周辺河川の水質調査と環境モニタリング." 山口県立大学大学院論集 8: 67-82.

安溪遊地 and 安溪貴子 (2007). "スペインに学ぶ地域独自のツーリズム--山口県民間訪問団ナバラ州訪問記." 山口県立大学大学院論集(8): 179-206.

安野早己 (2007). "ガル・ルトネ(ghar lutne):家財の略奪--ネパール・マオイストによる地方名望家への襲撃." 山口県立大学大学院論集(8): 21-38.

寺田修, 鈴木克彦, 栗原佳子 and 森口寛 (2007). "低強度短時間運動負荷とトレーニングが細胞性免疫能に及ぼす影響." 日本補完代替医療学会誌 4(2): 71-77.

小川全夫 (2007). "高齢化に対する地域社会計画:NORC-SSPsのケース." 山口県立大学大学院論集(8): 83-91.

弘津公子, 井上佳美, 田中マキ子, 森口寛 and 小川全夫 (2007). "超高齢社会における健康寿命の延伸に関連する要因 ADL・食生活・QOL からの検討." 山口県立大学大学院論集(8): 47-54.

新井哲夫 and 松下吏亜 (2007). "小学校・中学校・高等学校における環境教育." 山口県立大学大学院論集 8: 55-65.

末広静子 and 市村孝雄 (2007). "温熱刺激のリラクゼーション効果." 下関短期大学紀要(25): 41-56.

松尾眞砂子 and 人見英里 (2007). "味噌の種類・調理法および添加香辛料による抗酸化力の変化." 日本食品科学工学会誌 54(11): 503-508.

檜原朗 (2007). "イギリス新労働党の国民保健サービスの再形成へ." 山口県立大学大学院論集 8: 93-118.

檜原朗 (2007). "中浜隆著『アメリカの民間医療保険』:一アメリカの財政と福祉国家7, 日本経済評論社, 2006 年6月, 目次5頁, 図表一覧2頁, 略語一覧1頁, 本文 245 頁, 参考文献 23 頁, あとがき 3頁, 初出一覧1頁, 索引3頁=283 頁一." 保険学雑誌(597): 147-150.

水谷由美子, 井生文隆, 松尾量子, 田中輝雄, 岡部泰民, 入江幸江, 磯部素男, 永富真子 and 神大樹 (2007). "産民公学連携によるファッション文化の発信と地域文化の創造--第 21 回国民文化

祭・やまぐち 2006 ファッションフェスティバルの実践的研究." 山口県立大学大学院論集(8): 147-177.

生田奈美可, 大下由美, 田中マキ子, 森口寛 and 小川全夫 (2007). "豊かなソーシャル・キャピタルと縮小の危機 : 周防大島の高齢者の予備調査から." 山口県立大学大学院論集 8: 39-46.

田中マキ子 (2007). "看護職の今日的課題に対する専門職論からの再考." 山口県立大学大学院論集 8: 119-128.

鈴木隆泰 (2007). "大乘経典--仏教における<教え>とは何か." 山口県立大学大学院論集(8): 1-15.

馬鳳如 (2007). "山東方言親属称谓中的第三人称称谓." 山口県立大学大学院論集(8): 13-19.

高野和良, 坂本俊彦 and 大倉福恵 (2007). "高齢者の社会参加と住民組織 : ふれあい・いきいきサロン活動に注目して." 山口県立大学大学院論集 8: 129-137.

井上佳美, 長坂祐二, 田中寿幸, 加藤元士, 藏満保宏, 藤本正憲 and 中村和行 (2008). "プロテオーム解析による高濃度グルコース及びケルセチンの作用の評価." 生物物理化学 52(3): 77.

井生文隆, 平川和明 and 中谷昭子 (2008). "「'Sulo'展」." 山口県立大学学術情報(1): 90-93.

伊原靖二 and 青山和也 (2008). "環境阻害物質含有排水の吸着処理に及ぼす各種吸着剤の効果." 山口県立大学学術情報(1): 94-105.

寺谷剛 and 青木邦男 (2008). "認知症高齢者に対する運動療法の介入効果に関する文献研究." 山口県立大学学術情報(1): 195-204.

小川全夫 (2008). "アメリカの NORC-SSPs:大都市におけるソーシャル・キャピタル活性化." 日本都市社会学会年報 2008(26): 21-38.

川口喜治 (2008). "「中間作品」論争関係論文訳注稿(下)." 山口県立大学学術情報(1): 72-89.

廣瀬春次 (2008). "価値実現の感情および理由の評価が価値変容に及ぼす影響." 山口県立大学 学術情報(1): 177-186.

後藤みゆき (2008). "医療福祉制度改革下での終末期がん患者の家族介護者支援をめぐる問題 レスパイト・ケアのアセスメントの必要性." 日本医療福祉学会全国学術大会学術報告論文集 3 回: 12-17.

後藤みゆき, 田中マキ子, 森口覚 and 小川全夫 (2008). "中山間地域再生に向けた健康福祉コンビニ構想の有効性の検討(第2報) 小規模・高齢化集落の課題." 山口県立大学学術情報(1): 161-176.

松尾眞砂子 and 人見英里 (2008). "野菜を具とした味噌汁が生体内抗酸化力に及ぼす影響." 日本食生活学会誌 18(4): 330-334.

樫原朗 (2008). "イギリス新労働党の国民保健サービスの再形成へ 新NHS 国民保健サービスの基礎的構造編(続)と制度的ダイナミックスの変更(他)編とその枠組み編." 山口県立大学学術情報(1): 120-147.

水谷由美子, 神大樹, 磯部素男, 片山涼子 and 永留靖洋 (2008). "山口市における産公学連携によるアートがある街の創造 : 「アグリ・アート・ツーリズム」の実践的研究." 山口県立大学学術情報 (1): 39-50.

浅羽祐樹 (2008). "ハンナラ党は自民党の前轍を踏もうとしているのか : 中選挙区制における候補者擁立戦略と2006年韓国地方選挙の分析1)." 山口県立大学学術情報(1): 1-14.

田中マキ子 (2008). "【褥瘡ケア UPDATE】褥瘡予防管理の基礎知識 褥瘡発生の予測とリスクアセスメント." 臨床栄養 112(6): 656-660.

田中マキ子 (2008). "【褥瘡診療の実際 すべての医師のための知識とスキル】褥瘡を予防する臥位でのポジショニングによる予防." Modern Physician 28(4): 463-465.

田中マキ子, 神田裕美, 白水麻子, 森口寛 and 小川全夫 (2008). "中山間地域再生に向けた健康福祉コンビニ構想の有効性の検討(第1報) 生活者の健康実態からの考察." 山口県立大学学術情報(1): 148-160.

緒方雪乃 and 青木邦男 (2008). "車椅子バスケットボール競技者の競技時心拍数と主観的運動強度の関係." 山口県立大学学術情報(1): 187-194.

角橋明美, 神田知子, 安藤真美, 桑守正範 and 人見英里 (2008). "杜仲茶の抗酸化性." 山口県立大学学術情報(1): 113-119.

金恵媛 and 横山睦美 (2008). "『外交青書』からみる日韓文化交流の歩み." 山口県立大学学術情報(1): 15-31.

鈴木隆泰 (2008). "プダク写本『法華経』第2章「方便品」." 山口県立大学学術情報(1): 51-71.

馬鳳如 (2008). "□西南方言の几种特殊句式研究." 山口県立大学学術情報(1): 32-38.

高杉美佳子, 喜多川知子, 加藤雅子, 前田典子, 永田紀子, 丹羽絢子 and 島田和子 (2008). "各種市販茶のロイコトリエン B₄ 放出抑制作用とラジカル消去活性およびポリフェノール含量との関係." 日本食品科学工学会誌 55(3): 87-94.

三浦理恵 and 青木邦男 (2009). "大学生の精神的健康に関連する要因の文献的研究." 山口県立大学学術情報(2): 175-183.

井生文隆, 平川和明 and 中谷昭子 (2009). "'patina'展." 山口県立大学学術情報(2): 102-105.

安野早己 (2009). "マオイストになった娘たち: 西ネパールの村落社会から見た人民戦争." 山口県立大学学術情報(2): 20-39.

小川全夫 (2009). "【自治体サバイバル時代】ポスト過疎地域の突破口." 月刊福祉 92(1): 20-23.

市村孝雄 (2009). "多世代化した大学院生の健康関連 QOL." 山口県立大学学術情報(2): 124-131.

後藤みゆき (2009). "在宅終末期がん患者の家族介護者に対する支援 訪問看護サービスにおける現状と課題." 医療福祉研究(3): 27-43.

後藤みゆき and 小川全夫 (2009). "在宅終末期がん患者の家族介護者支援をめぐる研究動向と課題 インフォーマル・レスパイトケアの提起." 山口県立大学学術情報(2): 151-159.

新井哲夫 and 東野秀子 (2009). "昆虫と食文化." 山口県立大学学術情報(2): 106-123.

檜原朗 (2009). "イギリス新労働党の社会保障改革 「福祉から就労へ」「働けない人には社会保障を」." 山口県立大学学術情報(2): 132-150.

水谷由美子, 磯部素男, 永留靖洋, 倉田敏生, 西脇末美, 岡部隆則, 森田聖士 and 片山涼子 (2009). "地域資源を発掘・創造・発信する実践的研究 : 山口とファッション・まちづくり・国際交流." 山口県立大学学術情報(2): 40-59.

田中マキ子 (2009). "【『褥瘡予防・管理ガイドライン』と臨床実践】『褥瘡予防・管理ガイドライン』について." 臨床看護 35(14): 2103-2109.

田中マキ子 (2009). "査読者との対話 論文作成から推敲へ." 日本褥瘡学会誌 11(2): 85-91.

田中マキ子, 松永智子, 田口誠也, 上原奈緒子 and 小川全夫 (2009). "百歳研究の動向と課題." 山口県立大学学術情報(2): 167-174.

相原次男 and 上田エカテリーナ (2009). "Value Orientation of Russian Youth in the Post-Soviet Era." 山口県立大学学術情報(2): 60-76.

鈴木隆泰 (2009). "ブダク写本『法華経』第3章「譬喩品」." 山口県立大学学術情報(2): 77-101.

馬鳳如 (2009). "日中常用漢字字形の比較研究." 山口県立大学学術情報(2): 1-19.

高松美香 and 島田和子 (2009). "高校生の「食」に関する基礎知識の定着度の向上と主体的思考力の育成(第2報) : 体験学習を取り入れた授業方法の検討." 山口県立大学学術情報(2): 160-166.

三浦理恵 and 青木邦男 (2010). "高校生の食育、睡眠、運動および食事の関連性." 保健の科学 52(5): 347-353.

久保昌昭 and 横山正博 (2010). "事例検討会を通じたソーシャルワーカーの実践力向上に関するモデル作成の試み:ソーシャルワーク機能を実践で生かすために." 山口県立大学学術情報(3): 73-80.

井生文隆, 谷川敬二郎 and 眞鍋廣亜貴 (2010). "'fifth dimension' 展." 山口県立大学学術情報 (3): 61-71.

吉兼伸子 and 林隆 (2010). "特別支援教育時代における保育士の業務上の保育困難感について." 山口県立大学学術情報(3): 81-87.

吉村耕一 (2010). "【変貌を遂げる大動脈疾患の診断と治療】 治す 大動脈瘤の非手術治療は可能か." Heart View 14(9): 1038-1041.

吉村耕一 and 青木浩樹 (2010). "再充填可能な薬剤徐放性ステントグラフトが大動脈瘤治療を変える." Mebio 27(8): 132-141.

宮口幸治, 山下稔哉, 林隆, 佐藤秀紀 and 木村勉 (2010). "対人認知尺度作成の試み 少年院在院者への社会的スキル尺度作成を通して." 臨床精神医学 39(8): 1065-1072.

小川全夫 (2010). "高齢社会の諸相 高齢者が社会に果たす役割." 老年精神医学雑誌 21(1): 101-107.

山下稔哉, 仲程誠, 佐古三代治 and 林隆 (2010). "山村留学生の心理的特性." 山口県立大学学術情報(3): 113-120.

山下稔哉, 盛岡のぞみ, 金子宏明, 田中マキ子, 長坂祐二, 林隆 and 小川全夫 (2010). "語り"を通した百寿者の支援." 山口県立大学学術情報(3): 121-129.

岩野雅子 and 高見早苗 (2010). "日本のフェアトレード関連団体から見た消費者の社会的責任:フェアトレードにおけるコーヒーのサプライチェーンに関する一考察." 山口県立大学学術情報(3): 49-59.

市村孝雄, 西開地由美 and 長沼朋子 (2010). "短時間入眠誘導プログラムへの挑戦." 山口県立大学学術情報(3): 89-93.

水谷由美子, 磯部素男, 岡部隆則, 森田聖士, 岡田奈緒 and 田村未奈美 (2010). "地域資源を生かしたまちづくり:ファッションとアートによる実践的研究." 山口県立大学学術情報(3): 27-48.

田中マキ子 (2010). "【褥瘡】褥瘡予防・管理ガイドライン." 福祉介護機器 Techno プラス 3(2): 23-26.

田中マキ子, 笠松陽子, 安藤理裕, 加藤絵美子, 中西八須子, 松本衣代, 田下由優, 山本裕子 and 渋谷かをり (2010). "【手術体位をレベル UP!3 施設から分析する共通点とカラー写真で学ぶ皮膚トラブル】 実践から学ぶ手術体位." オペナリーシング 25(2): 168-180.

田口誠也 (2010). "地域福祉計画策定プロセスにおける住民参加:市町村行政職員の認識に注目して." 山口県立大学学術情報(3): 103-111.

盛岡のぞみ, 兼安真弓, 加藤元士, 山崎あかね, 弘津公子, 乃木章子 and 長坂祐二 (2010). "生活習慣改善プログラムにおける行動変容を目的として管理栄養士が作成した個別コメントの分析." 栄養学雑誌 68(3): 220-225.

盛岡のぞみ, 長坂祐二, 山下稔哉, 金子宏明, 田中マキ子, 林 隆, 足立蓉子 and 小川全夫 (2010). "百寿者の食と栄養 一事例からの検討." 山口県立大学学術情報(3): 95-102.

相原次男, ウイルソンエイミー and 岩野雅子 (2010). "日本の子どもの発達資産に関する研究:「発達資産プロフィール」調査の分析を中心に." 山口県立大学学術情報(3): 1-16.

馬鳳如 (2010). "漢日常用漢字使用頻度の比較研究." 山口県立大学学術情報(3): 17-25.

高杉美佳子, 加藤雅子, 前田典子 and 島田和子 (2010). "乾燥ハーブ熱水抽出物によるケミカルメディエーター放出抑制作用." 日本食品科学工学会誌 57(3): 121-127.

Yoshimura, K., Y. Ikeda and H. Aoki (2011). "Innocent bystander? Intraluminal thrombus in abdominal aortic aneurysm." Atherosclerosis 218(2): 285-286.

上原奈緒子 and 林隆 (2011). "作業療法士が認識する高次脳機能障害の症状の捉え難さに関する意識調査." 作業療法 30(3): 342-352.

井生文隆, 竹部徳真, 平川和明 and 中谷昭子 (2011). "「日本の'いろ'展」." 山口県立大学学術情報 4: 61-67.

吉村耕一, 森景則保 and 青木浩樹 (2011). "【大動脈瘤/大動脈解離を知る】大動脈瘤/大動脈解離の薬物療法." Vascular Lab 7(6): 616-620.

市村孝雄, 貞野友里恵, 中山薫, 福田由貴 and 札本翔子 (2011). "遠赤外線加温による睡眠潜時の短縮." 山口県立大学学術情報(4): 69-74.

村山美香, 矢田フミエ, 田中マキ子, 長坂祐二 and 小川全夫 (2011). "高齢者の在宅療養継続要因の検討(第1報) 百歳高齢者のADL機能の検討." 山口県立大学学術情報(4): 97-105.

林炫情, 李在鎬, 黄晷媛 and 浅尾仁彦 (2011). "韓国語学習者作文コーパス(KC Corpus)と韓国語教育への活用." 山口県立大学学術情報(4): 43-51.

柴崎幸子 and 青木邦男 (2011). "高齢者の生きがいに関する文献的研究." 山口県立大学学術情報(4): 121-130.

森祐子 and 島田和子 (2011). "高校生の主体的な学習活動をめざした家庭科教育の実践：高校生の昼食を題材とした課題解決型学習の取り組み." 山口県立大学学術情報(4): 81-88.

橋本夏夜子, 水津久美子, 井上睦恵, 横山佳代子, 藤田千恵子, 足立蓉子, 長坂祐二 and 三島正英 (2011). "ピアジェの発達心理学にもとづく食に関する指導の授業実践." 山口県立大学学術情報(4): 89-95.

水谷由美子 and 田村未奈美 (2011). "服飾デザインと国際アートマネジメントの実践的研究 : 地域資源を活用したクリスマスファッションショーを事例として." 山口県立大学学術情報(4): 1-27.

玉岡賀津雄, 宮岡弥生, 金秀眞, 林情, T. Katsuo, M. Yayoi, K. I. M. Sujin and L. I. M. Hyunjung (2011). "韓国語を母語とする日本語学習者の語彙知識がオノマトペの習得に与える影響." 言語教育評価研究(2): 36-41.

生田奈美可 (2011). "配偶者を亡くした高齢遺族のスピリチュアリティに関する質的研究." 日本看護研究学会雑誌 34(2): 97-107.

田中マキ子 (2011). "Examination of skin irritation factors using three types of adhesive plasters for the elderly." 山口県立大学学術情報(4): 75-79.

田中マキ子 (2011). "高齢者を対象とした3種絆創膏による皮膚刺激要因の検討." 山口県立大学学術情報(4): 75-79.

盛岡のぞみ, 草間かおる and 長坂祐二 (2011). "高齢者肥満の現状と生活習慣介入に関する系統的レビュー." 山口県立大学学術情報(4): 113-119.

矢田フミエ, 村山美香, 田中マキ子, 長坂祐二 and 小川全夫 (2011). "高齢者の在宅療養継続要因の検討(第2報) 排泄行動のプロセスに焦点を当てて." 山口県立大学学術情報(4): 107-112.

金恵媛 (2011). "韓流受容と韓国認識の多様化." 山口県立大学学術情報(4): 29-42.

鈴木隆泰 (2011). "Dam pa'i chos pad ma dkar po(VI)." 山口県立大学学術情報(4): 53-59.

Yoshimura, K. and H. Aoki (2012). "Recent advances in pharmacotherapy development for abdominal aortic aneurysm." Int J Vasc Med 2012: 648167.

中村千枝, 吉兼伸子, 笠岡和子, 田中マキ子, 田中耕太郎 and 長坂祐二 (2012). "山口県における百歳高齢者の生活実態(第2報) 百歳高齢者のもつ幸福感の関連要因の検討." 山口県立大学学術情報(5): 97-106.

吉兼伸子, 笠岡和子, 中村千枝, 田中マキ子, 田中耕太郎 and 長坂祐二 (2012). "山口県における百歳高齢者の生活実態(第1報) 百歳高齢者の性別とADL機能の検討." 山口県立大学学術情報(5): 81-95.

山下稔哉, 上原奈緒子, 金子宏明, 吉兼伸子, 安田風明, 崎山幸美, 安永正則, 岩城淳, 内田聡子 and 林隆 (2012). "生態学的視覚論からみた発達障害の理解." 山口県立大学学術情報(5): 117-124.

山下稔哉 and 林隆 (2012). "山村留学が子どもの心理状態に及ぼす効果 自尊感情と抑うつ度の年間変化." 小児保健研究 71(2): 267-272.

山下稔哉 and 林隆 (2012). "一般中学生のひらがな音読能力と自己評価および抑うつとの関係." 脳と発達 44(1): 45-49.

斉藤理 (2012). "文化遺産ガイディングに関する実態調査:歴史的建造物の事例から(その1)." 山口県立大学学術情報(5): 41-48.

水谷由美子, 松永美代子, 木村和枝, 浅田陽子, 松原直子, 武永佳奈 and 藤田幸司 (2012). "中山間地域活性化に向けた服飾デザインとアートマネジメント:「アウリンコ・徳地・タロ」プロジェクトを事例として." 山口県立大学学術情報(5): 9-39.

清水佑子 and 田中マキ子 (2012). "新人看護師のやる気の軌跡 志望動機からの分析." 日本看護学会論文集: 看護管理(42): 50-52.

盛岡のぞみ, 佐々木亜希, 兼安真弓, 加藤元士, 山崎あかね, 弘津公子, 乃木章子 and 長坂祐二 (2012). "生活習慣改善プログラム参加者の年齢、行動変容ステージ、目標達成率、自己評価点が管理栄養士の作成する個別コメントに及ぼす影響." 日本病態栄養学会誌 15(2): 159-165.

盛岡のぞみ and 長坂祐二 (2012). "テレビ電話による高齢者の健康サポートに関する事例研究." 山口県立大学学術情報(5): 125-129.

笠岡和子, 中村千枝, 吉兼伸子, 田中マキ子, 長坂祐二 and 田中耕太郎 (2012). "淡路島における百歳高齢者の生活実態." 山口県立大学学術情報(5): 107-115.

藤野加奈子, 石坂綾子, 小川裕子 and 島田和子 (2012). "市販豆腐における製造工程の違いと風味成分との関係." 山口県立大学学術情報(5): 131-136.

金恵媛 (2012). "韓国百寿者に関する社会的関心と課題." 山口県立大学学術情報(5): 49-58.

鈴木隆泰 (2012). "Dam pa'i chos pad ma dkar po(VII)." 山口県立大学学術情報(5): 59-80.

青木邦男 (2012). "在宅高齢者の運動行動変容に係わる変容プロセス尺度の因子の検討." 山口県立大学学術情報(5): 137-144.

馬鳳如 (2012). "近 40 年山東農村逐漸消失的事物和詞語." 山口県立大学学術情報(5): 1-8.

Nagasawa, A., K. Yoshimura, R. Suzuki, A. Mikamo, O. Yamashita, Y. Ikeda, M. Tsuchida and K. Hamano (2013). "Important role of the angiotensin II pathway in producing matrix metalloproteinase-9 in human thoracic aortic aneurysms." J Surg Res 183(1): 472-477.

Yamashita, O., K. Yoshimura, A. Nagasawa, K. Ueda, N. Morikage, Y. Ikeda and K. Hamano (2013). "Periostin links mechanical strain to inflammation in abdominal aortic aneurysm." PLoS One 8(11): e79753.

井生, 文., 昭. 中谷, 和. 平川, 健. 溝内, 徳. 竹部 and 絢. 北口 (2013). "「Natural material products 展」: 未利用材から生活用品へ." 山口県立大学学術情報(6): 51-57.

光貞美香 (2013). "食形態が高齢者の心身へ及ぼす影響の検討 自律神経系の反応と主観的評価から." 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 17(3): 226-232.

原田美穂子, 田中マキ子, 長坂祐二 and 田中耕太郎 (2013). "淡路市の山間部で生活する百寿者・主介護者と地域の相互作用." 山口県立大学学術情報(6): 109-119.

古賀聖典, 山下晋平, 長坂祐二, 横山正博 and 田中マキ子 (2013). "在宅高齢者における社会活動と酸素運搬能力." 山口県立大学学術情報(6): 103-108.

安溪遊地 and 井竿富雄 (2013). "資料紹介: 島地黙雷ゆかりの願教寺所蔵の足尾鉍毒事件関係書類." 山口県立大学学術情報(6): 59-93.

松永智子 (2013). "健康長寿の生活様式の検討 健康百寿者の語りから." 日本医学看護学教育学会誌(22): 44-48.

水谷由美子, 浅田陽子, 松原直子, 武永佳奈 and 水津初美 (2013). "中山間地域活性化に向けた服飾デザインとアートマネジメント 2: 徳地手漉き和紙を用いたファッションショーとサンタクロース村での作品展開催による実践的研究." 山口県立大学学術情報(6): 11-35.

盛岡のぞみ, 佐々木亜希, 繁田真弓, 加藤元士, 山崎あかね, 弘津公子, 乃木章子 and 長坂祐二 (2013). "自発的なセルフモニタリングの継続が生活習慣改善プログラム終了後の減量維持に与える影響." 山口県立大学学術情報(6): 95-101.

金恵媛, 金英順, 韓水正, 吉田節子 and 李誠國 (2013). "日韓百寿者に関する研究動向と課題." 山口県立大学学術情報(6): 43-50.

鈴木隆泰 (2013). "Dam pa'i chos pad ma dkar po(VIII)." 山口県立大学学術情報(6): 1-9.

馬鳳如 (2013). "山東方言中特殊的人称称谓研究." 山口県立大学学術情報(6): 37-42.

三谷明美, 田中マキ子, 田中耕太郎 and 長坂祐二 (2014). "後期高齢者の辛い体験に対する対処過程の検討." 山口県立大学学術情報(7): 97-117.

川口喜治 (2014). "劉希夷「代悲白頭翁」詩私解 " 山口県立大学学術情報(7): 69-76.

齊藤理 (2014). "文化遺産の活用とコモンズの形成に関する実態調査 : SL を活かした文化観光の事例から (大学院論集)." 山口県立大学学術情報(7): 17-25.

林炫情, 玉岡賀津雄 and 宮岡弥生 (2014). "大学教員間の「さん」と「先生」の呼称選択に影響する諸要因 " 山口県立大学学術情報(7): 9-15.

水谷由美子, 安倍昭恵, 武永佳奈 and 水津初美 (2014). "モンペとサルッパカマをリデザインした農作業着の服飾デザイン : 「農業スタイルコレクション 2013 in 長門油谷 with 会津若松」を事例として (大学院論集)." 山口県立大学学術情報(7): 27-49.

澤田孝子, 伊木康人, 山根千絵, 慎恩貞, 田中マキ子, 横山正博 and 長坂祐二 (2014). "ショッピングセンターを訪れる高齢者の主観的幸福感の検討 : PGC モラール・スケールを用いて (大学院論集)." 山口県立大学学術情報(7): 89-95.

箕越功浩, 伊帳田峻佑, 長坂祐二 and 張替直美 (2014). "遠赤外線足温器の効果と有用性の検討 足浴と比較した生理的效果." 山口県立大学学術情報(7): 77-88.

篠原美奈, 箕越功浩, 閻龍潔, 長谷昌枝, 田中マキ子, 横山正博 and 長坂祐二 (2014). "睡眠と長寿 百寿者を含む高齢者の睡眠に関する文献レビュー." 山口県立大学学術情報(7): 131-138.

金恵媛, 李誠國 and 金英順 (2014). "Views on longevity and social connections of Korean Centenarians " 山口県立大学学術情報(7): 51-60.

鈴木隆泰 (2014). "プダク写本『法華経』第9章「授学無学人記品」." 山口県立大学学術情報(7): 61-67.

青木邦男 (2014). "在宅高齢者の主観的健康管理能力、健康情報等利用状況、健康・体力状況、運動実施状況、食習慣ならびに健康関連 QOL 満足度の関連性 (大学院論集)." 山口県立大学学術情報(7): 119-129.

馬鳳如 (2014). "魯西南方言的慣用助詞研究 (大学院論集)." 山口県立大学学術情報(7): 1-7.

Hosoyama, T., M. Samura, T. Kudo, A. Nishimoto, K. Ueno, T. Murata, T. Ohama, K. Sato, A. Mikamo, K. Yoshimura, T. S. Li and K. Hamano (2015). "Cardiosphere-derived cell sheet primed with hypoxia improves left ventricular function of chronically infarcted heart." *Am J Transl Res* 7(12): 2738-2751.

Mizokami, F., Y. Takahashi, T. Nemoto, Y. Nagai, M. Tanaka, A. Utani, K. Furuta and Z. Isogai (2015). "Wound fixation for pressure ulcers: a new therapeutic concept based on the physical properties of wounds." *J Tissue Viability* 24(1): 35-40.

Takahashi, Y., M. Yoneda, M. Tanaka, K. Furuta and Z. Isogai (2015). "Ilium pressure ulcer with pathognomonic wound deformity: the "cliff phenomenon"." *Int J Dermatol* 54(6): e197-199.

Ueda, K., K. Yoshimura, O. Yamashita, T. Harada, N. Morikage and K. Hamano (2015). "Possible dual role of decorin in abdominal aortic aneurysm." *PLoS One* 10(3): e0120689.

Yoshikane, Y., M. Koga, K. Imanaka-Yoshida, T. Cho, Y. Yamamoto, T. Yoshida, J. Hashimoto, S. Hirose and K. Yoshimura (2015). "JNK is critical for the development of *Candida albicans*-induced vascular lesions in a mouse model of Kawasaki disease." *Cardiovasc Pathol* 24(1): 33-40.

Yoshimura, K., A. Nagasawa, J. Kudo, M. Onoda, N. Morikage, A. Furutani, H. Aoki and K. Hamano (2015). "Inhibitory effect of statins on inflammation-related pathways in human abdominal aortic aneurysm tissue." *Int J Mol Sci* 16(5): 11213-11228.

三谷明美, 田中マキ子 and 長坂祐二 (2015). "ベビーマッサージが父親・母親の心理的側面・発達の側面に及ぼす影響に関する文献レビューの一考察." *山口県立大学学術情報*(8): 135-143.

中津井貴子, 松野恭子, 萩原裕子, 人見英里, 吉村耕一, 中村文哉 and 田中マキ子 (2015). "中山間地域に居住する高齢者の健康関連 QOL の実態." *山口県立大学学術情報*(8): 95-101.

井生文隆, 中谷昭子 and 平川和明 (2015). "自然素材による生活道具「日本のいろ 2013」展." *山口県立大学学術情報*(8): 71-77.

伊藤美穂, 内田朋子, 久保木紀子, 小林裕子, 横山正博, 人見英里 and 田中マキ子 (2015). "中山間地域における地域住民の「互助」に関する文献検討." 山口県立大学学術情報(8): 79-84.

加登田恵子 (2015). "児童福祉調査史における「高度経済成長期」：その蓄積と表象(1)." 山口県立大学学術情報(8): 145-160.

北林健二 and 斉藤理 (2015). "地域史学習に関する博学連携の可能性について." 山口県立大学学術情報(8): 1-14.

吉兼伸子 (2015). "保育士のメンタルヘルス ワークモチベーション・バーンアウトからの検討." 保育と保健 21(2): 57-59.

山下みよ子, 野原徹, 赤崎敦子, 阿南沙織, 張紅娜, 横山正博, 人見英里 and 田中マキ子 (2015). "中山間地域における小規模高齢化集落の互助の現状と課題." 山口県立大学学術情報(8): 85-93.

斉藤理 (2015). "観光まちづくりにおける連携化の手法と持続可能性に関する考察." 山口県立大学学術情報(8): 37-44.

松野恭子, 中津井貴子, 萩原裕子, 人見英里, 吉村耕一, 中村文哉 and 田中マキ子 (2015). "中山間地域高齢者の低栄養に関連する要因の検討 低栄養化予防対策への一考察." 山口県立大学学術情報(8): 109-119.

松野恭子, 神野和彦 and 長坂祐二 (2015). "小児糖尿病患者児へのカーボカウント法導入に伴う問題点 小児糖尿病サマーキャンプでの栄養指導の分析から." 山口県立大学学術情報(8): 51-59.

横山正博, 坂本俊彦, 前田哲男, 大河原修, 加登田恵子, 藤村孝枝 and 吉村眞理 (2015). "中山間地域の地域包括ケアシステム構築における規範的統合に関与する研究実践." 山口県立大学学術情報(8): 121-133.

水谷由美子, 甲斐少夜子 and 小田玲子 (2015). "地域資源を活かした農ガールファッションの商品開発とサービスデザイン:アグリアート・フェスティバル 2014「大地の心をさく」を事例として." 山口県立大学学術情報(8): 45-70.

萩原裕子, 中津井貴子, 松野恭子, 人見英里, 吉村耕一, 中村文哉 and 田中マキ子 (2015). "中山間地域における高齢者の身体活動状況と心身の健康の検討 山口県山口市阿東地区を対象として." 山口県立大学学術情報(8): 103-108.

鈴木隆泰 (2015). "ディズニー映画 Frozen に見える宗教的世界観・人間観 : レリゴアと仏教." 山口県立大学学術情報(8): 15-36.

青木邦男 (2015). "一般成人のスポーツ文化観とそれに関連する要因." 山口県立大学学術情報(8): 161-173.

三谷明美, 田中和子, 浦山晶美, 佐世正勝 and 田中マキ子 (2016). "成熟期女性の葉酸に関する認知調査 未就学児を養育している母親を対象として." 山口県立大学学術情報(9): 135-142.

中村敦子, 箕越功浩, 人見英里, 中村文哉, 吉村耕一 and 田中マキ子 (2016). "高齢者の暮らしぶりと日常生活動作及び体力との関連 中山間地域と都市部の比較." 山口県立大学学術情報(9): 95-104.

中津井貴子 and 長坂祐二 (2016). "保護者(料理の作り手)の就労状況が保護者や児童生徒の食生活等に与える影響." 日本食育学会誌 10(3): 195-202.

中津井貴子 and 長坂祐二 (2016). "食育に視点をおいた料理教室の教育プログラムに関する系統的文献レビュー." 山口県立大学学術情報(9): 165-172.

北林健二 and 斉藤理 (2016). "地域史学習をめぐる博学連携モデルの可能性と課題について." 山口県立大学学術情報(9): 1-16.

吉兼伸子 (2016). "保育・教育職種の業務上の負担感の比較 学習面・行動面で著しい困難を示す子どもに対する負担感を中心として." 保育と保健 22(2): 67-72.

川口喜治 (2016). "李頎の士人描写詩について(二)." 山口県立大学学術情報(9): 81-94.

弘津公子, 清水亮 and 吉池信男 (2016). "管理栄養士の卒前教育における栄養ケア・マネジメントに関するコンピテンシー到達度." 山口県立大学学術情報(9): 105-133.

新開奏恵, 宮本恵子, 李草, 山本倫也, 人見英里, 吉村耕一 and 横山正博 (2016). "大学生における歯科口腔保健に関する自己管理能力と過去に受けた歯科保健教育の関連性." 山口県立大学学術情報(9): 153-163.

林炫情 (2016). "接触場面での日本人韓国語学習者の呼称使用ストラテジーとそれに対する韓国人母語話者の容認性判断." 山口県立大学学術情報(9): 17-29.

水谷由美子, 小田玲子, 甲斐少夜子 and 原田章子 (2016). "地域創生への服飾デザインからの挑戦 : 長門市油谷の棚田ブランディングと農作業着モンペッコの商品開発を事例として." 山口県立大学学術情報(9): 41-80.

河本乃里, 田中孝恵, 林瑞恵, 松元悦子, 人見英里, 吉村耕一 and 横山正博 (2016). "学生寮で生活する女子大学生の便秘と便秘予防行動、生活習慣との関連." 山口県立大学学術情報(9): 143-151.

鈴木隆泰 (2016). "プダク写本『法華経』第 19 章「常不輕菩薩品」." 山口県立大学学術情報(9): 31-39.

Harada, T., K. Yoshimura, O. Yamashita, K. Ueda, N. Morikage, Y. Sawada and K. Hamano (2017). "Focal Adhesion Kinase Promotes the Progression of Aortic Aneurysm by Modulating Macrophage Behavior." *Arterioscler Thromb Vasc Biol* 37(1): 156-165.

Tanaka, K. and F. Yamazaki (2017). "Coldness of the Body and Pregnancy in Japanese Women." *Japanese Journal of Medical and Nursing Education* 26(2): 1-7.

加登田恵子 (2017). "山口県における地域の「子育て力」に関する基礎的研究 : 子ども会育成者の地域子育てに関する意識調査を中心に." 山口県立大学学術情報(10): 73-90.

増田公香 (2017). "フィンランドにおける障害のある人々の参加(参加制約)の実態 : QCIQ をもちいて." 山口県立大学学術情報(10): 91-97.

山口光 (2017). "純国産の素材を活用したガラス工芸品におけるデザイン その1 : 萩ガラスにおける冷酒器のデザイン事例." 山口県立大学学術情報(10): 67-72.

山崎文夫 and 箕越功浩 (2017). "運動トレーニングと皮膚血管拡張機能." 体力科学 66(3): 185-193.

山根千絵 and 横山正博 (2017). "児童家庭支援センター職員のファミリーソーシャルワーク展開に関する態度の構造." 山口県立大学学術情報(10): 111-117.

川口喜治 (2017). "李頎の士人描写詩について(四)." 山口県立大学学術情報(10): 1-16.

廣中あゆみ, 田中和子, 山根千絵, 人見英里, 中村文哉, 吉村耕一 and 田中マキ子 (2017). "山口県民の自然災害に対する意識と防災行動に関連する要因の検討." 山口県立大学学術情報(10): 99-109.

松野恭子 and 長坂祐二 (2017). "小児 1 型糖尿病発症時の食事指導に対する受け止め方とその後の食事療法アドヒアランスの検討." 日本病態栄養学会誌 20(3): 293-299.

水谷由美子, 小田玲子 and 荒木麻耶 (2017). "産学公連携による農作業着モンペッコとツナギッコの商品開発 : アグリアート・フェスティバル 2016 を事例として." 山口県立大学学術情報(10): 35-57.

矢田フミエ (2017). "看護学生のリフレクションを成立させるための教員の発問の検討." 日本看護学会論文集: 看護教育(47): 71-74.

箕越功浩, 張替直美, 高橋則善, 藤居仁 and 長坂祐二 (2017). "レーザースペックル二次元血流画像化法による皮膚血流量測定の意義." 日本フットケア学会雑誌 15(4): 195-198.

進藤優子 and 松永朋子 (2017). "ソリューションフォーカスによる同僚効果 : 組織文化の異なる 4 社の事例分析." 山口県立大学学術情報(10): 23-33.

金恵媛 (2017). "高齢者の生活史との向き合い方 : 在日コリアン集住地域の事例(1)." 山口県立大学学術情報(10): 17-22.

鈴木隆泰 (2017). "ブダク写本『法華経』第 20 章「如来神力品」." 山口県立大学学術情報(10): 59-65.

Sakalihasan, N., J. B. Michel, A. Katsargyris, H. Kuivaniemi, J. O. Defraigne, A. Nchimi, J. T. Powell, K. Yoshimura and R. Hultgren (2018). "Abdominal aortic aneurysms." *Nat Rev Dis Primers* 4(1): 34.

Yokoyama, U., N. Arakawa, R. Ishiwata, S. Yasuda, T. Minami, M. Goda, K. Uchida, S. Suzuki, M. Matsumoto, N. Koizumi, M. Taguri, H. Hirano, K. Yoshimura, H. Ogino, M. Masuda and Y. Ishikawa (2018). "Proteomic analysis of aortic smooth muscle cell secretions reveals an association of myosin heavy chain 11 with abdominal aortic aneurysm." *Am J Physiol Heart Circ Physiol* 315(4): H1012-h1018.

Yoshimura, K., N. Morikage, S. Nishino-Fujimoto, A. Furutani, B. Shirasawa and K. Hamano (2018). "Current Status and Perspectives on Pharmacologic Therapy for Abdominal Aortic Aneurysm." *Curr Drug Targets* 19(11): 1265-1275.

三谷明美 (2018). "ベビービクスのプログラムによる定期開催が母親のメンタルや日常生活に及ぼした影響 ～個人教室（個人プログラム）に参加した母親を対象として." *母性衛生* 58(4): 682-692.

加登田恵子 (2018). "地域子ども会活動の推進に向けたコミュニティ・エンパワメントのニーズに関する研究：フォーカス・グループ・インタビューからみる母親の意識から." *山口県立大学学術情報* 11: 95-107.

山本幸子, 江口恵里, 楊玉華, 甲斐美智代, 佐藤正昭, 白蓋真弥, 山崎学, 吉村耕一, 増田公香 and 人見英里 (2018). "大学生のアルバイトが健康、学習、意識変容に及ぼす影響." *山口県立大学学術情報*(11): 127-134.

川口喜治 (2018). "典故私論(下)." *山口県立大学学術情報*(11): 11-30.

木村雅幸 and 岩野雅子 (2018). "山口県における青少年海外派遣事業を通じた中高生の異文化理解の促進について：英語圏への姉妹都市派遣研修プログラムについて." *山口県立大学学術情報*(11): 65-88.

林炫情 and 森原彩 (2018). "「自己調整学習(SRL)」活動を取り入れた海外フィールドワークの実践と評価." 山口県立大学学術情報(11): 1-10.

水谷由美子, 甲斐少夜子, 原田章子, 荒木麻耶, 高橋潤一郎, 松浦奈津子, Dozan11 and 三木学 (2018). "長門市棚田ブランディングと地域資源を活かすファッションの共創 : アグリアート・フェスティバル 2017 と SGFWS2017 を事例として." 山口県立大学学術情報(11): 31-63.

河本乃里, 松元悦子, 林瑞恵, 田中マキ子, 中村文哉, 人見英里 and 吉村耕一 (2018). "女子大学生の下肢筋力低下に関連する生活習慣の検討." 山口県立大学学術情報(11): 109-115.

田中マキ子 (2018). "術後の合併症を予防する ポジショニングと褥瘡予防(第 4 回) 身体拘束のある患者のポジショニング." 脳の看護実践 4(2): 58-61.

白蓋真弥, 甲斐美智代, 山崎学, 佐藤正昭, 江口恵里, 山本幸子, 楊玉華, 吉村耕一, 人見英里 and 増田公香 (2018). "平成 28 年(2016 年)熊本地震後における大学生の地震防災行動変容." 山口県立大学学術情報(11): 117-125.

藤井小百合 and 中村仁志 (2018). "養護教諭のアセスメント能力の形成に影響を与える要因." 山口県立大学学術情報(11): 135-146.

鈴木隆泰 (2018). "プダク写本『法華経』第 27 章「嘱累品」." 山口県立大学学術情報(11): 89-93.

井上寿美香, 片山久美子, 陳曉倩, 中村幸一郎, 金子祐大, 齋藤すが代, 戸川桂一, 森重恵介, 森本陽子, 草平武志, 吉村耕一 and 人見英里 (2019). "子どもの頃の食に関する経験が大学生の食生活に与える影響." 山口県立大学学術情報(12): 105-114.

井竿富雄 (2019). "『報徳』誌面から見る鹿児島時代の報徳会." 山口県立大学学術情報(12): 83-93.

内田朋子, 横山正博, 吉村耕一 and 人見英里 (2019). "職種間連携による病棟での栄養ケアに必要な要因の検討." 山口県立大学学術情報(12): 141-160.

吉村耕一 (2019). "【運動ってなんだ?"Exercise is Medicine"を支えるサイエンスを拓く】腹部大動脈瘤から考える運動療法の可能性." 実験医学 37(8): 1251-1255.

山本幸子 and 田中マキ子 (2019). "看護学臨地実習が社会人基礎力に影響を及ぼす要因." 日本看護学会論文集: 看護教育(49): 67-70.

川口喜治 (2019). "李頎の士人描写詩について(補論)." 山口県立大学学術情報(12): 1-17.

川崎裕史, 松浦和文, 横田恵, 劉偉媛, 露繁巧江, 濱本尊博, 福本絵里, 林甜甜, 園田純子, 弘津公子, 吉村耕一 and 長谷川真司 (2019). "大学院生の修学中における精神・心理的な健康状態に関する研究." 山口県立大学学術情報(12): 131-140.

斉藤理 (2019). "文化観光を通じた地域の記憶の継承手法について : ベルリンにおける事例分析を中心に." 山口県立大学学術情報(12): 59-66.

森本陽子, 金子祐大, 齋藤すが代, 戸川桂一, 森重恵介, 井上寿美香, 片山久美子, 陳曉倩, 中村幸一郎, 草平武志, 人見英里 and 吉村耕一 (2019). "医療福祉系大学生の学業に対するリアリティショックとその対処の現状." 山口県立大学学術情報(12): 115-122.

水谷由美子, 高橋潤一郎 and 下川まつゑ (2019). "デザイン・ペルソナと服飾デザイン : スーパーグローバル・ファッションワークショップ 2018 とアグリアート・フェスティバル 2018 を事例として." 山口県立大学学術情報(12): 19-50.

渡辺滋 (2019). "日本海軍における出身地と人間関係 : 堀悌吉中将の失脚と関連して." 山口県立大学学術情報(12): 67-81.

矢田フミエ (2019). "成功体験を語る看護学生に対するリフレクションを促進させる教員の発問の検討." 日本看護学会論文集: 看護教育(49): 63-66.

金恵媛 (2019). "高齢者の生活史との向き合い方 : 在日コリアン集住地域の事例(2)." 山口県立大学学術情報(12): 51-58.

鈴木隆泰 (2019). "ブダク写本『法華経』第 10 章「法師品」." 山口県立大学学術情報(12): 95-103.

露繁巧江, 濱本尊博, 福本絵理, 林甜甜, 川崎裕史, 松浦和文, 横田恵, 劉偉媛, 園田純子, 弘津公子, 長谷川真司 and 吉村耕一 (2019). "若年女性の身体活動量と冷え症状の関連について." 山口県立大学学術情報(12): 123-129.

大学院主催の活動等

山口国際文化学研究会

平成 19 年度(2007 年度)

回数	日時	講師名 (敬称略)	所属	タイトル
第 1 回	4 月	山口国際文化 学研究会発足		
第 2 回	5 月 25 日			
第 3 回	6 月 22 日			
第 4 回	7 月 27 日			
第 5 回	10 月 26 日			
第 6 回	11 月 16 日			
第 7 回	12 月 21 日			
第 8 回	1 月 25 日			
第 9 回	2 月 14 日			

平成 20 年度(2008 年度)

回数	日時	講師名 (敬称略)	所属	タイトル
第 13 回	10 月 23 日	清水明人	(株)お成り道	萩観光の再建—株式会社お成り道の目指すもの

平成 21 年度(2009 年度)

回数	日時	講師名 (敬称略)	所属	タイトル
第 26 回	12 月 17 日	浅羽祐樹	山口県立大学	期約のない(기약의 없는)(研究者)人生を 歩き続ける
第 27 回	1 月 28 日	白水智	中央学院大学	今、歴史学に求められていること—史料調査 と異分野コミュニケーションから考える—

平成 22 年度(2010 年度)

回数	日時	講師名 (敬称略)	所属	タイトル
第 30 回	5 月 26 日	鈴木隆泰	山口県立大学	仏教の虚像と実像
第 31 回	6 月 23 日	井竿富雄	山口県立大学	シベリア出兵とスペイン・インフルエンザ
第 32 回	7 月	文化コーディネータ 論シンポジウム		
第 33 回	10 月 27 日	修士論文・修士 制作中間発表 会		
第 34 回	12 月 22 日	木越俊介	山口県立大学	十九世紀江戸の物語と出版
第 35 回	1 月 26 日	井生文隆	山口県立大学	地球及び環境に貢献するデザイン開発 地球のためのデザイン開発とは? ~「人」と「もの」と「環境」~
第 36 回	1 月 27 日	修士論文・修士 制作最終発表 会		

平成 23 年度(2011 年度)

回数	日時	講師名 (敬称略)	所属	タイトル
第 37 回	4 月 27 日	伊藤幸司	山口県立大学	入明記からみた東アジアの海域交流—文献史学とフィールドワーク—
第 38 回	5 月 25 日	安溪遊地	山口県立大学	原発事故と"重層する環境ガバナンス"の再建—失敗の歴史に学ぶ
第 39 回	6 月 22 日	金 恵媛	山口県立大学	グローバル・エイジング時代における「啐啄同時」の関係
第 40 回	7 月 27 日	文化コーディネータ 論シンポジウム		
第 41 回	10 月 12 日	修士論文・修士 制作中間発表 会		

第42回	11月30日	国際文化研究 科:鈴木隆泰・ 川口喜治・進藤 優子、健康福祉 学研究科:田中 マキ子・志村哲 郎・長坂祐二	山口県立大学	合同研究発表会:しあわせ
第43回	1月25日	稲田秀雄	山口県立大学	狂言「武悪」を読むー下人たちの知恵と機転ー
第44回	2月14日	修士論文・修士 制作最終発表 会		

平成24年度(2012年度)

回数	日時	講師名 (敬称略)	所属	タイトル
第45回	4月25日	浅羽祐樹	山口県立大学	現代韓国政治研究の「現住所」ーディシプリンと地域研究の狭間ー
第46回	5月23日	張 玉玲	山口県立大学	「他者」として生きることー日中間における移民研究の新たな課題ー
第47回	6月27日	馬 鳳如	山口県立大学	中国語の方言文化について
第48回	7月11日	太田 舞	ファッションデザイナー	世界で活躍する先輩に聞く:山口からフィンランドのファッションデザイナーの道
第49回	7月25日	文化コーディネー ト 論シンポジウム		
第50回	10月10日	修士論文・修士 制作中間発表 会		
第51回	11月28日	岩野雅子	山口県立大学	変化と挑戦の時代における教育ー多文化化する日本は誰にどのような教育を提供すべきなのかー多文化教育・国際理解教育・異文化交流論の狭間でー

第52回	1月23日	斎藤 理	山口県立大学	日本文化の理解と発信法～ドイツ人建築家タウトの事例から考える～
第53回	2月19日	修士論文・修士制作最終発表会		

平成 25 年度 (2013 年度)

回数	日時	講師名 (敬称略)	所属	タイトル
第54回	24月24日	進藤優子	山口県立大学	山口県の人的資本の蓄積効果ー内生的成長モデルを用いた一般的均衡型世代重複シミュレーション分析ー
第55回	5月22日	安野早己	山口県立大学	学生によるフィールドワークと中山間地域の活性化
第56回	6月26日	林 炫情	山口県立大学	ことばのコミュニケーション 呼称使用の適切さとポライトネス
第57回	7月22日	文化コーディネータ 論シンポジウム		
第58回	10月13日	水谷由美子	山口県立大学	農業スタイルコレクション 2013in 長門 with 会津若松
第59回	10月9日	修士論文・修士制作中間発表会		
第60回	11月27日	井竿富雄	山口県立大学	山口県立大学卒業生・大学院修了生は「生きた器械」になれるか
第61回	1月22日	伊藤幸司	山口県立大学	現代の鏡としての歴史
第62回	2月19日	修士論文・修士制作最終発表会		

平成 26 年度 (2014 年度)

回数	日時	講師名 (敬称略)	所属	タイトル
----	----	--------------	----	------

第 63 回	4 月 23 日	井生文隆	山口県立大学	豊かな暮らしを育むフィンランドデザイン
第 64 回	5 月 28 日	稲田秀雄、山口 鷺流狂言保存 会、国際文化研 究科修了生:米 本太郎、	山口県立大 学・山口流狂 言保存会	山口鷺流狂言の可能性ー米本太郎氏に聞く
第 65 回	6 月 25 日	山口県県史編さ ん室明治維新 部会専門研究 員・国際文化研 究科修了生:北 林健二	山口県県史編 さん室明治維 新部会	A3 用紙 1 枚から始まる地域史編集メソッドー 地域資源を高校や大学教育にどう生かすかー
第 66 回	7 月 26 日	文化コーディネー ト 論シンポジウム		
第 67 回	10 月 15 日	修士論文・修士 制作中間発表 会		
第 68 回	11 月 26 日	(株)Ohmine:秋 山剛志	(株)Ohmine	山口の資産である文化遺伝子を世界に向けて発信
第 69 回	1 月 28 日	水谷由美子	山口県立大学	祝・大学院創立 15 周年 国内外を舞台にゼミ 生と歩んだ 15 年の研究創作 - 産学関連事 業「やまぐち文化発信ショップ NaruNaxeva」か らサービスデザイン研究まで -
第 70 回	2 月 17 日	修士論文・修士 制作最終発表 会		

平成 27 年度(2015 年度)

回数	日時	講師名 (敬称略)	所属	タイトル
第 71 回	4 月 22 日	西脇靖洋	山口県立大学	スペイン、ポルトガルにおける欧州懐疑主義
第 72 回	5 月 27 日	渡辺 滋	山口県立大学	史料としての和紙ーその歴史と特質ー

第 73 回	6 月 24 日	水谷由美子、大学院2年:甲斐少夜子	山口県立大学	サービスデザインからファブラボへ～地域の暮らしを豊かにするためのチャレンジ～
第 74 回	7 月 27 日	文化コーディネーター 論シンポジウム		
第 75 回	10 月 14 日	修士論文・修士 制作中間発表 会		
第 76 回	11 月 25 日	山口県立大学: 王星慧・下瀬一 世・小野飛鳥、 龍谷大学:相良 翔子・鷲尾晴貴	山口県立大 学・龍谷大学	大学院生による研究交流会
第 77 回	1 月 27 日	エバー・ウィルソン	山口県立大学	アメリカの若者を取り巻く環境
第 78 回	2 月 16 日	修士論文・修士 制作最終発表 会		

平成 28 年度(2016 年度)

回数	日時	講師名 (敬称略)	所属	タイトル
第 79 回	4 月 27 日	倉田研治	山口県立大学	地域とメディアデザイン GIS の視点から
第 80 回	5 月 25 日	山口県立大学: 斎藤 理・安溪 遊地、アルセッ ク・アルムナイ・ ジャパン理事: 木梨恒寛、山口 県県史編さん 室:北林健二・ 渡部史之	山口県立大 学・アルセッ ク・アルムナ イ・ジャパン・ 山口県県史編 さん室	地域・大学連携による地域づくりをめざして～ 木梨邸の事例を中心に～

第81回	6月22日	安野早己 大学院2年:松 永朋子、原田章 子	山口県立大学	イソップ物語「北風と太陽」とソリューションフォーカス 職場にプラスの変化をもたらす仕組み 8300 枚の棚田を再生する移住者、通い人と地元民—岡山県美作市の NPO 法人英田上山棚田団の試み—
第82回	7月25日	文化コーディネータ 論シンポジウム		
第83回	10月12日	修士論文・修士 制作中間発表 会		
第84回	11月30日	川口喜治	山口県立大学	現代典故論
第85回	1月25日	吉本秀子	山口県立大学	アメリカ合衆国の国際広報と沖縄
第86回	2月14日	修士論文・修士 制作最終発表 会	山口県立大学	

平成 29 年度(2017 年度)

回数	日時	講師名 (敬称略)	所属	タイトル
第87回	4月26日	山口 光	山口県立大学	プロダクトデザインと「～らしさ」 無意識で選ばれている「モノのアイコン」について
第88回	5月24日	西田光一	山口県立大学	付加価値を担うことばの研究の新構想
第89回	6月28日	菱岡憲司	山口県立大学	江戸時代後期における松阪商人の文学活動
第90回	7月24日	文化コーディネータ 論シンポジウム		
第91回	10月11日	修士論文・修士 制作中間発表 会		
第92回	11月22日	林 炫情	山口県立大学	韓国語 CLIL(内容言語統合型学習)教育実践と今後の展望

第 93 回	1 月 24 日	安野早己	山口県立大学	ネパール現代政治と民族誌的研究 高カー スト(カス・アーリア)による先住性の「発明」と 政治的反動
第 94 回	2 月	修士論文・修士 制作最終発表 会		

平成 30 年度(2018 年度)

回数	日時	講師名 (敬称略)	所属	タイトル
第 95 回	4 月 25 日	張 玉玲	山口県立大学	国境を越えていく「家族」 中国福建省福清 出身移民の事例から
第 96 回	5 月 23 日	大学院2年:古 宮弥生・松浦奈 津子、名誉教 授:安野早己、 稲田秀雄	山口県立大学	「総合実習」について考える
第 97 回	6 月 27 日	水谷由美子・斎 藤 理・山口 光	山口県立大学	大学院国際文化学研究科必修科目 「文化 コーディネート論」について考える
第 98 回	7 月 23 日	文化コーディネ ート 論シンポジウム		
第 99 回	10 月 24 日	修士論文・修士 制作中間発表 会		
第 100 回	11 月 28 日	キース・ジャクソン	神戸大学大学	人材育成と高等教育 日本の大学が向かうべ き方向性の提案
第 101 回	1 月 31 日	鳥飼玖美子	立教大学名誉 教 授	これからの多文化共生社会を生きる 私たち と異文化コミュニケーション

令和元年年度(2019 年度)

回数	日時	講師名 (敬称略)	所属	タイトル
第 102 回	5 月 22 日	斎藤 理	山口県立大学	行動論的アプローチから観光まちづくりを考える
第 103 回	6 月 26 日	セリグマン・アダム	米国 ボストン 大学	人文教育の今日：アメリカならびにボストン大学の視点から
第 104 回	10 月 16 日 予定	修士論文・修士 制作中間発表 会		
第 105 回	11 月 27 日 予定	金 恵媛	山口県立大学	いつから老人？ーアジアの大学生が抱く高齢者イメージと自己老年像ー

国際文化学研究科 文化コーディネーター論シンポジウム

(コーディネーターは水谷由美子教授。毎回、大学院生からのプロジェクト発表も行われている。)

平成 23 年度(2011 年度)

2011 年 7 月 27 日 場所: 菜香亭

タイトル: 山口市徳地の地域資源をいかした豊かなまちづくりの提案—国際交流・文化芸術振興・産業振興の視点から—

パネラー: 入江正敏(山口メディア研究所所長)・斉藤郁夫(山口県立美術館学芸専門監)・山崎篤典(いわみ芸術劇場名誉館長)・後藤秀樹(彫刻家)

平成 24 年度(2012 年度)

22012 年 7 月 25 日 場所: 阿知須いぐらの館

タイトル: 廻船のまち阿知須:山口流まちづくりの交流・創造・発信

パネラー: 高田昌幸(地域づくりコーディネーター・下関市)・西崎博史(周南市文化会館館長)・斉藤郁夫(山口県立美術館副館長・山口市)・後藤秀樹(彫刻家・美祢市)

平成 25 年度(2013 年度)

2013 年 7 月 22 日 場所: 瑞穂茶寮

タイトル: 商店街の魅力を発見するから創造するへ —山口の街の記憶が再生された空間で語ろう—

パネラー: 西崎博史(周南市文化会館館長)・白鳥文明(KK 瀬戸内ジャムズガーデン役員・UI ターンサポートクラブ「しまくらす」顧問・高田昌幸(地域づくりデザイナー)・三上清仁(なかた美術館ディレクター)

平成 26 年度(2014 年度)

2014 年 7 月 26 日 場所: 荘源寺

タイトル: 地域文化の活性化と持続可能性—周防大島を小旅行しながら語ろう—

パネラー: 白鳥 文明(荘厳寺住職 島くらす顧問)・三上 清仁(なかた美術館ディレクター)・城戸 宏史(北九州市立大学大学院教授)・高嶋 秀樹(株式会社宇迦匠取締役)

平成 27 年度(2015 年度)

2015 年 7 月 27 日 場所: 菜香亭

タイトル: 地域コミュニティ間の交流と創造的な暮らし

パネラー： 城戸宏史(北九州市立大学大学院マネジメント研究科教 授)・石崎泰之(山口県立美術館・浦上記念館学芸専門監兼学芸課長)・重見武男(山口ケーブルビジョン株式会社顧問)・大東和武司(広島市立大学国際学部教 授)

平成 28 年度(2016 年度)

2016 年 7 月 25 日 場所： 菜香亭

タイトル： 伝統文化を生かす～山口の創生～

パネラー： 城戸 宏史氏(北九州市立大学大学院マネジメント研究科教 授)・石崎 泰之氏(山口県立萩美術館・浦上記念館 学芸専門監兼学芸課長)・重見 武男氏(山口ケーブルビジョン株式会社顧問)・大東和 武司氏(広島市立大学国際学部教 授)

平成 29 年度(2017 年度)

2017 年 7 月 24 日 場所： 英雲荘

タイトル： 英雲荘を活かす！ 英雲荘に活かされる！

パネラー： 井生文生(山口県立大学名誉教 授)・大東和武司(関東学院大学経営学部教 授)・広島市立大学名誉教 授)・岡田 実(山口県立美術館長)・重見武男(山口ケーブルビジョン株式会社顧問)

平成 30 年度(2018 年度)

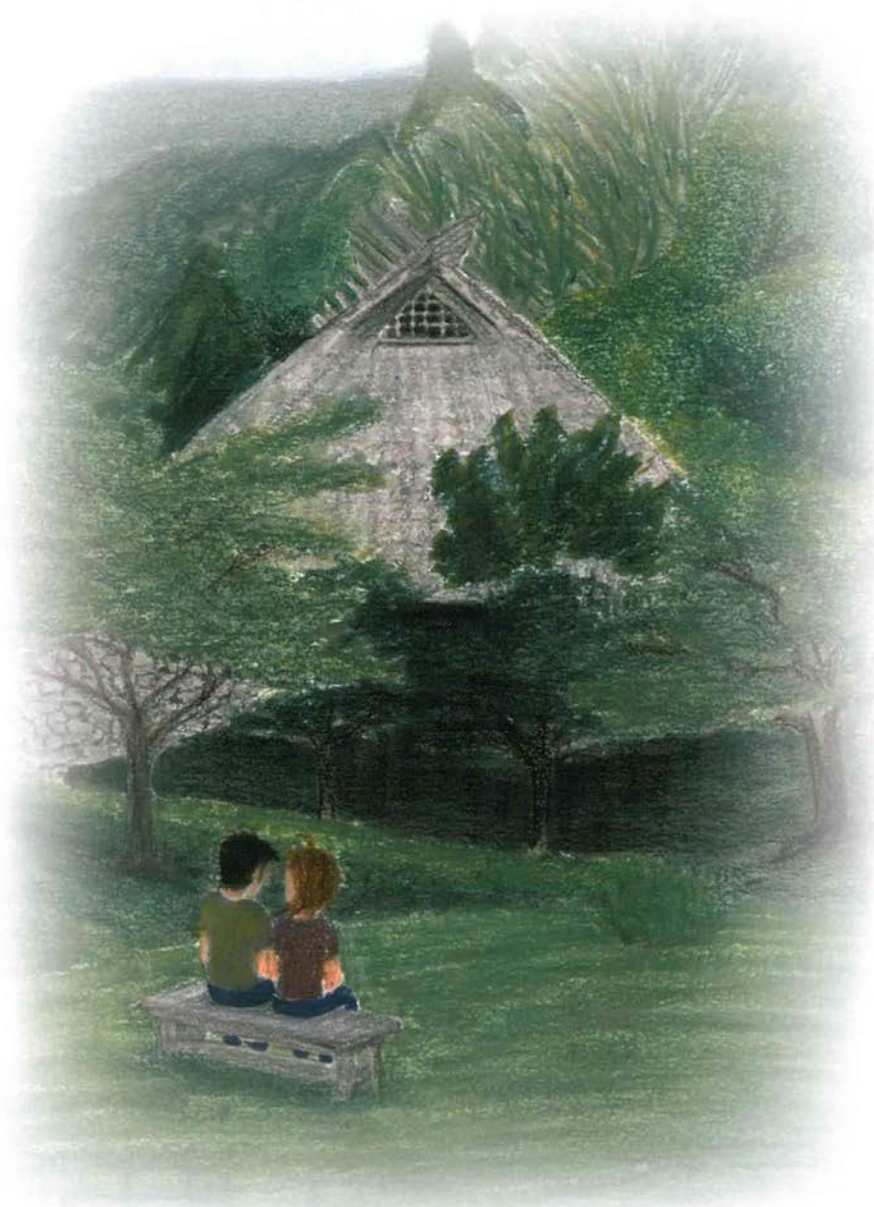
2018 年 7 月 23 日 場所： 菜香亭

タイトル： 文化維新 from やまぐち

パネラー： 岡田 実(山口県立美術館長)・片山涼子(アトリエ a.p.r 主宰、服飾デザイナー)・大和保男(陶芸家、山口県立大学特別栄誉教 授)

文 化 コー デー ト 論

山口県立大学大学院国際文化学研究科 公開授業 特別シンポジウム 2011
平成23年度第4回国際文化学会 - 山口市徳地の地域資源をいかしたまちづくりの提案 -



〈日時〉 平成23年7月27日 (Wed)

開場：18:00
開演：18:30～20:30 (入場無料)

〈会場〉 山口市菜香亭

〒753-0091 山口市天花 1-2-7
TEL:083-934-3312 FAX:083-934-3360

主催：山口県立大学大学院国際文化学研究科
後援：山口市

文化コーディネーター論

山口県立大学大学院国際文化学研究科 公開授業 特別シンポジウム 2011

〈日時〉

7月27日 (Wed)

開場：18:00
開演：18:30～20:30
(入場無料)

〈会場〉

山口市菜香亭

〒753-0091 山口市天花 1-2-7
TEL:083-934-3312 FAX:083-934-3360

今年度の文化コーディネーター論では、国際交流と歴史資源、舞台芸術とプロデュースやメディア戦略、文化芸術による地域文化創造、そして地域資源を活かしたまちづくりなどの分野から学習してきました。それを踏まえて本シンポジウムでは、「山口市徳地の地域資源をいかした豊かなまちづくりの提案 - 国際交流・文化芸術振興・産業振興の視点から -」をテーマとして、講師4名と大学院生3組のプレゼンテーションを行います。今回は境言の受け手として徳地の関係者をゲストにお招きしています。みなさまお誘い合わせの上、多数ご来場頂き、活発な議論の花を咲かせて頂きますよう、お待ち申し上げます。

【コーディネーター】水谷由美子（山口県立大学大学院国際文化学研究科教授）

プログラム

作品展・会場巡検	18:00～18:20
プロローグ	18:30～18:35
プレゼンテーション	18:35～20:00

・〈史跡〉石風呂の将来像

800年以上の歴史を持つ石風呂。異空間体験のできる希少な資源であるにもかかわらず、現在はその魅力を活かしきれていない。森と湖のフィンランドから着想を得たこれからのサウナ文化を提案する。

北林 健二 張 亮 松原 直子 松原 信政

・徳地アートマップ

徳地地域に在住する芸術家やデザイナーの活動を広く伝える。伝統的な地域資源や文化を紹介するための日中韓三ヶ国語で、観光地図を制作する。これにより徳地地域の観光の活性化を図る。

安 津 ン ソ ル 崔 延 萍 藤 田 幸 司

・地域資源の活用と提案

「徳地の涼をもとめて」というコンセプトのもとに徳地の地域資源を使って制作を行う。地域資源の可能性を探り、徳地の新たな魅力を提案する。

浅 田 陽 子 北 口 絢 章 武 永 佳 奈 Severikangas Tanja

・徳地の人物資源 入 江 正 敏（山口メディア研究所所長）

明治新政府が発した「神仏分離令」。解釈の違いで、仏教排斥運動が起こり、日本各地の寺院や仏具が破壊されるという日本史において汚点となる事件が起こった。この排斥運動を終息させたのが維新の傑僧、妙誓寺（徳地島地）住職であった島地照雷である。

・地域の思いを達成するためのマネージメント力

山 崎 篤 典（いわみ芸術劇場名誉館長）

地域おこしのためのプロデュース・マネージメントの必要性とは。なぜ、山口県に「人形芝居」が多く現存しているのかその理由とそれらの財産を保存するだけでなく活用する方策を考える。

・文化は点でなく面 齊 藤 郁 夫（山口県立美術館学芸専門監）

山口県立美術館で昨年開催した吉村芳生展。作品を見ただけでなく、徳地という場所と吉村芸術の密接な関係を浮き彫りにした映像を作ったり、カフェやショップで徳地特産品も販売したりして、地域と文化の関係を伝えようとした。

・中山間地域の活性化の問題点と課題（美祿市の場合）

後 藤 秀 樹（彫刻家）

美祿市でのまちづくり、活性化をとおして、実際に感じたことを題材に、中山間地域での見落としがちだが、重要な要素、「当事者視点と見えない利益」について紹介する。

意見交換会

20:00～20:25

- ・徳地の方々からのご意見、ご感想などの意見交換会。
- ・ご来場の皆様に、プレゼンテーションに関するご意見やご感想、また、山口における文化創造の持論やアイデア等を語っていただきます。

エビローグ

20:25～20:30

鈴 木 隆 泰（山口県立大学大学院国際文化学研究科長）

〈お問い合わせ〉

〒753-8502 山口市板倉 3-2-1 TEL&FAX: 083-928-2550
E-mail: myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp（山口県立大学水谷研究室）

山口市菜香亭 / アクセスマップ



山口県立大学大学院国際文化学研究科 文化コーディネート論公開シンポジウム／展覧会
第5回山口国際文化学研究会



山口流まちづくりの 交流・創造・発信

シンポジウム

PM 5:00 臨時開館 PM6:30 開演

2012 7, 25 (wed)

入場無料

展覧会

AM10:00~PM4:00 休館日 水・木

2012 7, 27 (fri) ~ 8, 5 (sun)

場所：阿知須いぐらの館 〒754-1277 山口市阿知須岡田北 3425

コーディネーター：水谷 由美子（山口県立大学大学院国際文化学研究科教授）

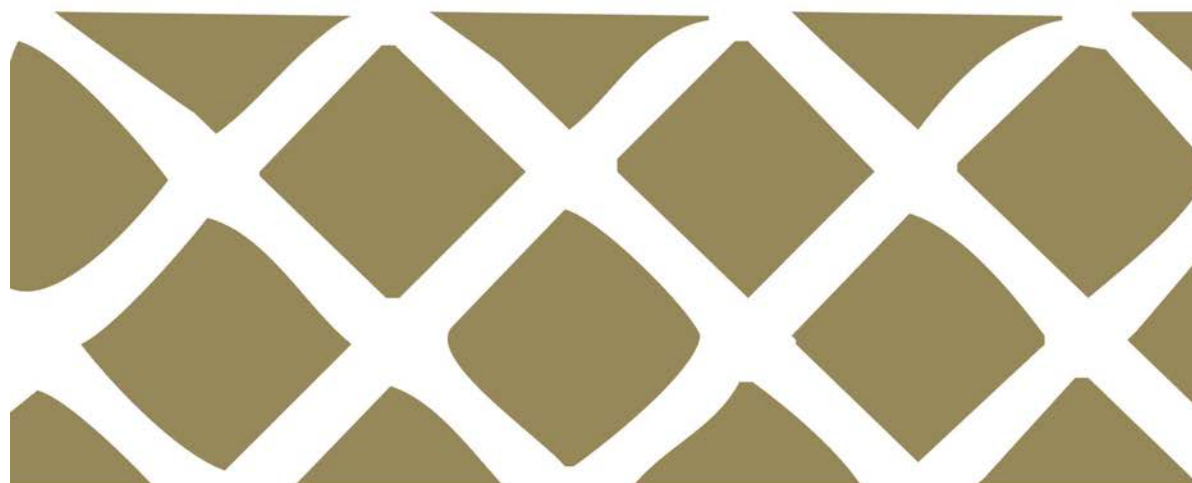
パネラー：高田 昌幸（地域づくりコーディネーター・下関市）

西崎 博史（周南市文化会館館長・周南市）

斉藤 郁夫（山口県立美術館副館長・山口市）

後藤 秀樹（彫刻家・美祿市）

研究創作発表：文化コーディネート論 受講生



主催：山口県立大学大学院国際文化学研究科・『廻船の〈まち・人・生き生き〉プロジェクト』実行委員会
後援：（財）地域活性化センター



山口県立大学大学院国際文化学研究所

【廻船の〈まち・人・生き生き〉プロジェクト】実行委員会共同事業

この事業は、地域社会振興財団の交付を受けて実施しています。

この事業は、長寿社会づくりソフト事業として実施しています。

本年度はかつて廻船業で栄えた阿知須を舞台に、山口県立大学大学院と【廻船の〈まち・人・生き生き〉プロジェクト】実行委員会共同事業で文化コーディネーター論公開授業としてシンポジウムと展示会を実施します。

パネラーによって国内外の地域における農村開発や芸術文化によるまちづくりが紹介されます。大学院生による実践的研究成果としての阿知須地域振興に関する提言や商品開発などの作品提案などに基づき、地域の皆様と一緒に、廻船のまち阿知須の生き生きとした地域文化創造について語り合いたいと思います。皆様お誘い合わせの上ご来場下さいませようご案内申し上げます。

シンポジウム

7月25日(水)
PM6:00~8:30

7月25日は、
PM 5:00より
臨時開館

作品展示

7月27日(金)~
8月5日(日)
AM10:00~PM4:00
休館日:水・木

場所

山口市阿知須田北3425
阿知須いぐらの館
Tel&Fax
0836-65-2403
E-mail
kyu-naka@c-able.ne.jp

1 開発援助と異文化交流：地域づくりとは地域のしくみをつくること

高田 昌幸（地域づくりコーディネーター）

地域の再生には、5つの状況が必要だ。これらの状況が連鎖的に反応することで、地域には「地域のしくみ」が育つ。直接携わったエチオピアの農村開発プロジェクトを例に、「地域のしくみ」をどうやって育てるのかを紹介する。

2 舞台芸術とアートマネジメント：地域の独自色を生かす

西崎 博史（周南市文化会館館長）

人間の視点を超えて草花や昆虫、石ころ、ほこりまで宇宙に存在するありとあらゆるものに等しく価値を認める詩人まど・みちお。詩と歌と絵を通してその普遍的な世界を、ふるさと周南から日本各地へと伝えていく。

3 芸術による地域文化創造：文化の「場」を創り出す

斎藤 郁夫（山口県立美術館副館長）

高度消費社会、高度情報化社会のなかでの「文化」のあり方を考える授業をしてきた。美術館が文化的な場でありつづけるためには何が必要か、ということを経験しながらの美術館の取り組みを紹介する。

4 地域資源を生かしたまちづくり：地域資源と文化

後藤 秀樹（彫刻家）

地域資源を使った産業、文化活動を、地域の恒例行事として定着させることで、オンリーワンの地域づくりを進めるイタリアの田舎街についての具体的な事例を挙げる。そこで重要な住民と訪問者などの関係について紹介する。

5 院生のプレゼンテーション1

ひなもんにみる課題とこれからの展望

呉 曉良 田村 洋子 中村 彩佳

私たちは、いま阿知須で行われている「ひなもん」に着目した。この「ひなもん」を通して、これからのまちづくりがどのように発展していけば、もっと阿知須が面白いまちになるのか、それを私たちの視点から提案していきたいと思う。

6 院生のプレゼンテーション2

廻船のまち「阿知須の防長三白+展」

佐伯 もなみ 水津 初美 山崎 珠菜

廻船のまち、阿知須の文化、街並の魅力を伝えられるような作品を目指し、廻船によって運ばれていた防長三白+、なかでも紙と綿に注目した。メンバー3名がそれらの素材を使用してプロダクト製品・布小物・衣服を制作した作品展と展示内容について紹介する。

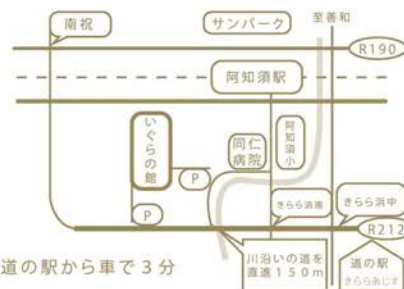
7 廻船のまち阿知須のまちづくり 地域の皆様との意見交換 8 パネラーとフロアーとの意見交換

問合せ先

山口県立大学大学院国際文化学研究所 担当: 水谷由美子
〒753-8502 山口市板倉3-2-1
Tel&Fax 083-928-2550
E-mail myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp

廻船の〈まち・人・生き生き〉プロジェクト実行委員会（阿知須地域交流センター内）
〒754-1292 山口市阿知須2743番地
Tel 0836-65-2022 Fax 0836-65-4013
E-mail ajisu@city.yamaguchi.lg.jp

アクセスマップ



シンポジウム

◆日時…二〇一三年七月二十二日(月) ◆入場無料

開場 十八時 開演 十八時半
(展示 十八時～二十時半)

◆場所…瑞穂茶寮

(旧長州藩本陣梅田邸、江戸時代後期町屋建築)
山口県山口市中市町三一六中市商店街

◆パネラー

西崎博史(周南市文化会館館長)
白鳥文明(三浦戸内ジャムスガーデン役員
「タインサポートクラブ」しまくらす顧問)
高田昌幸(地域づくりデザイナー)
三上清仁(なかつ美術館アイレクター)
文化コーディネーター論受講生

◆コーディネーター

水谷由美子(山口県立大学大学院国際文化学研究所教授
文化コーディネーター論担当)

二〇一三年度

第四回山口国際文化学研究会

商店街の魅力
— 山口の街の記憶が再生された空間で語ろう —

山口県立大学大学院国際文化学研究所 文化コーディネーター論公開授業

主催：山口県立大学大学院国際文化学研究所 協力：瑞穂茶寮

2013年度 第4回山口国際文化学研究会 山口県立大学大学院国際文化学研究所
文化コーディネーター論公開授業

商店街の魅力を発見するから創造するへ
— 山口の街の記憶が再生された空間で語り合おう —

◆日時 2013年7月22日(月) 開場 18:00 開演 18:30
◆場所 瑞穂茶寮 (旧長州藩本陣梅田邸、江戸時代後期町屋建築) ◆入場無料
山口県山口市市中町3-6 TEL: 083-929-3939

文化コーディネーター論では教室で地域のオピニオンリーダーや地域創造の実践者である講師に生活・芸術文化を通じた地域活性化の事例を学んでいる。その内容に触発されて導き出されたテーマについて、院生がグループでリサーチし、企画を立てて実践することで、地域活性化の仕組みや方法について理解することを目指している。創作研究分野の学生は、地域資源を活かす研究創作を実践する。

山口中心商店街の歴史的記憶の空間である旧長州藩本陣・梅田邸が、現代の店舗に甦った。この江戸時代後期の町屋建築に皆様をお招きし、商店街の魅力を発見して頂くとともに、そこからまちの創造について参加者のみなさんと活発に語り合ってください。皆様お誘い合わせの上、ご参加下さい。

◆シンポジウム

① 出会いの場づくり

西崎 博史 (周南市文化会館館長)

周南市文化会館は昨年11月で開館30周年、入館者は800万人。一貫して日常の暮らしの中に文化を根付かせる活動を続けてきた。原点はアウトリーチ(手を差し伸べる活動)。音楽や演劇、舞踊などとの出会いの場をいかに作っていくか。実践が次の実践を生み、劇場の独自色を打ち出してきた。地域固有の文化はどのように創り出されるのか。目指すはエンターテインメントの世界。その取り組みを紹介。

② 瀬戸内ジャムズガーデンの挑戦

白鳥 文明

(KK瀬戸内ジャムズガーデン役員Uターンサポートクラブ「しまくらす」顧問)
周防大島に起業した「瀬戸内ジャムズガーデン」について、起業の動機、起業までの行程、現状そしてジャムズガーデンを中心とした大島町のUターン者支援活動と今後の課題等について述べる。瀬戸内ジャムズガーデンの創業は、名古屋の電力会社に勤務していたサラリーマンが、新婚旅行の旅先バリのジャム屋で偶然出会ったヨーロッパの創作的ジャム(コンフィチュール)を知ったことに起因する。以後10年間計画の下、町の農家や優れたスタッフによって、その夢を叶えつつある。

③ 消費されすぎた地域芸術

三上 清仁 (なかた美術館ディレクター)

観光地、商業地として独特な発展を遂げた尾道。少子高齢化もなんのその。街づくり活動が盛んで、多くの人が注目をあびている。さて、尾道の何を見る? 風光明媚な街並み、しみなみ、いつか見た映画の風景、アニメの中の背景、ごんごんと文学、近代絵画、現代アート、などなど。観光と芸術はいつの間にか表裏一体。街の中で芸術を感じること消費することが同価値に。そのような地域デザインのおかげで地域芸術は、プレイヤー不在のドーナツ化が起きているようだ。

④ 持続的な「地域のしくみ」を育てるということ

高田 昌幸 (地域づくりデザイナー)

「家族や地域の仲間がともに健康であって、今日も明日も安心して楽しく暮らせること」私たちが本当に欲しいものが、他と競争して得られるものではなく、上のような「豊かさ」であるならば、これは実現が可能だ。地域社会の役割(地域のしくみ)を再生し、あるいは新たに育てることで、人びとは「豊かさ」を手に入れることができる。アフリカで取り組んだプロジェクトを事例に、豊かな暮らしを実現する地域づくりのポイントを紹介する。

⑤ 日中交流の生け花で華やかな商店街を楽しもう

岡村 理恵 孫 凱 歩 亦飛 (大学院 国際文化学研究所 1年)

私たちは、山口市の商店街の活性化につながる取組に着目し、メンバーに中国からの留学生が二人いることから、日中文化交流をキーワードに、中国京劇キャラクターと花を活用した企画を立案してみた。

具体的には、商店街の9店舗と華道家元池坊山口西京支部の協力を得て、華やかな生け花と中国京劇のかわいいカードとを展示し、一人でも多くの人に華やかな商店街を楽しんでもらうことで、集客と賑わいの創出につなげようとするものである。

⑥ 山口商店街の特色店を活かした若者及び

外国人観光客をひきつけるプロジェクト

岡本 勝利 王 晶晶 張 超超 (大学院 国際文化学研究所 1年)

現在の日本では少子高齢化、人口減少、都市中心商店街の衰退、空き店舗の増加など全国の地方都市が抱える問題は山口市にも存在する。近年、山口商店街もだんだん衰退している。この状況を解決するために、特色店及び商店街にキャラクターの創造を促し、若者及び外国人観光客をひきつけるプロジェクトを企画する。

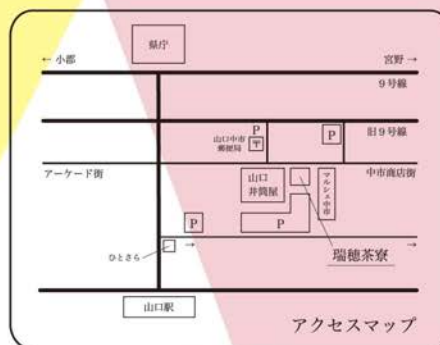
⑦ 徳地を着る

水津 初美 武永 佳奈 (大学院 国際文化学研究所 2年)

徳地の手透き職人である千々松哲也(千々松和紙工房)制作の十字字書き徳地和紙を使用した帽子や袴パンツなどの服飾商品を展示し、山口の地域資源である和紙の可能性を提案する。

◆お問い合わせ

山口県立大学大学院国際文化学研究所 担当: 水谷 由美子
〒753-8502 山口市桜島 3-2-1
TEL & FAX: 083-928-2550
E-mail: myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp



Graphic design: 石川 智香子

2014年度 第4回 山口国際文化学研究会

山口県立大学大学院 国際文化学研究所 公開シンポジウム & 関連イベント作品展

文化コーディネート論

地域文化の活性化と持続可能性

ー 周防大島を小旅行しながら語ろう ー

● 公開シンポジウム

日時：2014.7.26 (土) 開場 15:00
開演 15:30
場所：荘厳寺(山口県大島郡周防大島町日前)
TEL 0820-73-0351

入場無料

パネラー

白鳥文明氏 (荘厳寺住職 島くらす顧問)
三上清仁氏 (なかた美術館ディレクター)
城戸宏史氏 (北九州市立大学大学院教授)
高嶋秀樹氏 (株式会社宇迦匠取締役)
文化コーディネート論受講生

モデレーター

水谷由美子 (山口県立大学大学院国際文化学研究所教授)
文化コーディネート論担当

*小旅行のご案内

公開シンポジウムを含む小旅行への参加は
大学からの無料バスを利用できます。

■スケジュール

9:00 バス出発 大学D館前 (予約制)
12:00 ランチトーク 大野圭司氏 於荘厳寺 (弁当要予約 500円)
13:00 道の駅サザンセントとうわ 見学
14:20 ジャムズガーデン 見学
15:00 荘厳寺到着 開場
15:30 公開シンポジウム
18:00 交流会 (要予約 2,500円)
20:00 バス出発
22:40 大学到着

主催：山口県立大学大学院 国際文化学研究所
協力：島くらす～周防大島Uターンを応援する会
荘厳寺
瀬戸内 Jam's Garden & Farm

● 関連イベント: 作品展

New Farmer's Device

～農業を楽しみたい人へ～

日時：2014.7.27 (日) - 8.5 (火)
10:00 - 18:00

場所：瀬戸内 Jam's Garden & Farm
TEL 0820-73-0002 定休日 水・木曜日

問い合わせ・申し込み先

山口県立大学企画デザイン研究室
Phone/Fax: 083-928-2550 090-7776-9763
E-mail: myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp (担当: 水谷)
荘厳寺
Phone: 090-8996-0612
E-mail: 47hongan@gmail.com (担当: 白鳥)

文化コーディネート論

地域文化の活性化と持続可能性 - 周防大島を小旅行しながら語ろう -

公開シンポジウム 日時：2014 年 7 月 26 日（土） 場所：荘厳寺 大島郡周防大島町日前

まちづくりは地域にあるものを強みとして認識し、それを活かす活動の持続可能性が成否を分けるのではないのでしょうか。地域間の競争の時代に入っている現在、地域の個性の創造が求められています。地域の資源は地域内外の人々が繋がり、連携することによって魅力あるものとして発掘されます。周防大島では自然や歴史、文化などが活かされたまちづくりの実践が行われ、近年移住者が増えてきています。海に囲まれた美しい島で、夏のひととき、地域における豊かな暮らしの共創を一緒に語り合しましょう。皆様お誘い合わせの上、ご来場下さい。

プレゼンテーション

① New Farmer's Device ~ 農業を楽しみたい人へ ~

小野飛鳥 小田玲子 甲斐少夜子（国際文化学研究所 1 年）

農業従事者の高齢化や後継者不足による農業人口の減少が問題とされる中、新たに農業従事者を得るためには、現代のライフスタイルに合わせた使いやすくスタイリッシュな device[道具・仕掛け・工夫]が必要であると考えます。これから農業をやってみたくて考えている若い人や都会からの移住者に向けて、ファッションやプロダクトの分野から、ムーブメントを起こすべく新たな開発にチャレンジします。

② 健康保全型農業とは？ - 山口県の豊かな食文化を応援 -

李俊穎 藤井由美子 森光寛子（国際文化学研究所 1 年 2 年）

より文化的な生活に価値がおかれつつあるなか、食文化、その中でも環境と健康との結びつきが深い農産物に焦点をあてました。環境に、健康に心にやさしい未来へつながら農業を健康保全型農業と名づけ、そこにある問題点と解決へ向けた取り組みを紹介し、提言します。特に「有機野菜」「無農薬野菜」についての理解を深め周知させるために、他国の状況も伝えながら、冊子というメディアを通じて主に子育て世代へ発信します。

③ 日中のお茶文化を相互理解に役立たせる - 屋台での喫茶を試みて -

下瀬一正 王星慧 岡村理恵（国際文化学研究所 1 年 2 年）

日中文化がより深まることを目的として、中国の庶民にとって身近で馴染みのある屋台を簡易に作り、日本のお茶文化を留学生や日本に住む外国人、また中国のお茶文化を日本人々々へ、お茶の歴史、作法、種類、器などを通して紹介します。山口市内にてお茶の紹介を屋台で実施するとともにアンケートをとり、お茶文化に対する認知度や嗜好を検証します。

④ ボディツーリズムによる地域活性化について

高嶋秀樹（株式会社宇迦匠取締役）

「健康三味県 山口」というテーマで県内外から多くの人達に訪問して貰える地域活性化を解説します。ボディマイレージ論を通して、山口の「食」、「運動」、「温泉」の魅力を具体的に示し、新たな価値創出とビジネスモデルの構築の仕方を説明。また他県者にそれらが魅力としてどの様に映るのか、なぜ訪れたいのかを顧客心理から考えます。また既存資源の弊害とその対策も併せて解説。更に、スタートした瀬戸内エリアの観光化、来年から始まる NHK 大河ドラマによる影響も併せて解説します。

⑤ 小さな街と小さなアーカイブ

三上清仁（なかた美術館ディレクター）

1. 収集活動を行う場合は、街の中に無意識の徘徊者であること。※このことは、「大学に通う、バイトに行く」収集活動とは全く別の目的を持っている場の行動でも同様と考えます。2. 何かをするための情報や知識を集めるのではなく、身体に受けている物理的ストレスを意識し、現象や物事の収集を行います。3. 失われた街の記憶に限りなく近づいたこと（無意識のため気づくことが出来ない）の検証を行います。

⑥ 地域文化を生かした事業創造のために

城戸宏史（北九州市立大学大学院マネジメント研究科教授）

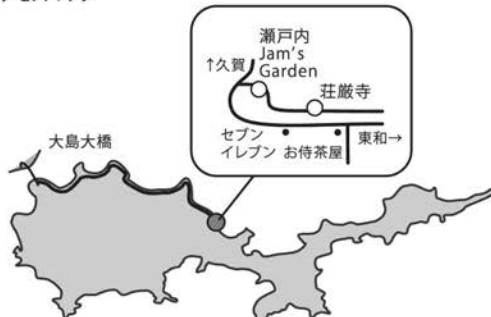
地域文化に着目し、様々な担い手をコーディネートし、事業を生み出していくことは、極めて意義のある取組みです。ただ、その意義ある取組みも、事業性を欠くと一時的なもので終わってしまいます。継続性のある事業とするためには、非営利活動であっても、まずはマーケティングを意識する必要があります。そして、担い手同士からなるチームのマネジメントの重要性を自覚する必要があります。ぜひ、2つの「マ」を心に刻んで頂きたいと思います。

⑦ 周防大島町への Uターン者を応援する会「島くらす」について

白鳥文明（荘厳寺住職 島くらす顧問）

過疎高齢日本一と言われたこの島でいま、若者たちが主役になった新しい活動が芽吹きはじめたのです。数年前までこの島では考えることもできなかった現象です。周防大島町に移住して活躍していた数名の若者を中心にして、自らの Uターン者としての体験を通し、この町で暮らしたい人々を呼び込み支援しようとした上りつがった「島くらす」について活動を紹介します。

アクセスマップ



大島大橋を渡って左折。国道を道なりに、二つ目のトンネルを過ぎ約2キロ先を左折。左折する手前左手にジャム屋の看板有り。

問い合わせ先・申し込み先

山口県立大学からバスで参加される方・自家用車の方
山口県立大学企画デザイン研究室
Phone: 083-928-2550 / Fax: 090-7776-9763
E-mail: myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp（担当：水谷）

周防大島から参加される方

荘厳寺
Phone: 0820-73-0351 090-8996-0612
E-mail: 47hongan@gmail.com（担当：白鳥）

2015 年度 第 5 回山口国際文化学研究会 × 山口県立大学大学院国際文化学研究科

文化コーディネート論 公開シンポジウム

地域コミュニティ間の交流と創造的な暮らし



入場無料

日時 2015. **7.27** (月)

開場 ▷ 18:00 開演 ▷ 18:30

場所 山口市菜香亭 (山口県山口市天花1-2-7)

TEL 083-934-3312

○パネラー

城戸 宏史 氏 (北九州市立大学大学院マネジメント研究科教授)
石崎 泰之 氏 (山口県立美術館・浦上記念館学芸専門監業学芸課長)
重見 武男 氏 (山口ケーブルビジョン株式会社顧問)
大東和 武司 氏 (広島市立大学国際学部教授)
文化コーディネート論受講生

○モデレーター

水谷由美子
(山口県立大学大学院国際文化学研究科教授)
文化コーディネート論担当

主催 山口県立大学大学院
国際文化学研究科

協力 山口市菜香亭
株式会社街づくり山口

問い合わせ

▶ 山口県立大学 大学院事務局
Phone/Fax : 083-928-3527
(月-木 9:00-16:00 / 金 9:00-12:30)

▶ 山口県立大学 国際文化学部事務局

Phone/Fax : 083-928-3423

(月-金 8:40-17:10)

E-mail : myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp (担当: 水谷)

▶ 山口市菜香亭

Phone : 083-934-3312

FAX : 083-934-3360

E-mail : saikou@c-able.ne.jp

文化コーディネート論 公開シンポジウム

地域コミュニティ間の交流と創造的な暮らし

現在の社会では、地域ごとにさまざまなコミュニティが形成されています。暮らしの豊かさは、コミュニティ内外で多様な価値観の存在を認め合い、他者の立場にたって言動できるような寛容性やサステナブルな社会の実現を目指す環境への配慮などによって形成されます。

今回は山口市中心商店街を舞台に、市内のコミュニティ間の交流を促し、新たに誕生する関係性を活かしながら、ものや情報を交換し個々の生活に新鮮な風を起こすプロジェクトを計画・実践し、その結果を発表します。特に商店街で高齢者が楽しめ、新しい出会いを体験できるような場作りを目指します。

シンポジウムに皆様お誘い合わせの上、お越しいただき活発な意見交換をお願いしたいと思います。

○街なかスローライフの勧め ～ゆるやかな生活を楽しもう！～

木村 雅幸 陳 鶴丹 原田 章子 松永 朋子 / 国際文化学研究科1年

ゆるゆるの散歩をすることや談話することなどを通して、商店街周辺に住んでいる人やマンションに住んでいる高齢者等に「ゆるやかなつながり」が拡がり、新しい地域コミュニティが生まれるか、その可能性を探ってみます。

○断捨離古本市+ワークショップ in 山口市中心商店街

小川 大貴 趙 園 馬木 浩二 田中 真紀子 / 国際文化学研究科1年

団塊世代を対象に断捨離により不要な古本を回収し商店街のスペースで提供していきます。文化、伝統の継承の役割を担ってきた商店街で留学生が中国の切り絵を通して国際交流を行います。地域社会の公共的空間である商店街で、人を呼び込めるイベントとしての役割を果たします。

○地域文化と事業創造

城戸 宏史 / 北九州市立大学大学院マネジメント研究科教授

地域文化の中には創意工夫によって、事業性や経済性を確保したサステナブルな仕組みを持つことが可能である。よって、地域文化におけるコーディネートの成果をマーケティング的な視点から考察を試みたい。

○地域の文化資源と創作支援

石崎 泰之 / 山口県立萩美術館・浦上記念館学芸専門監兼学芸課長

公募展開催事業による陶芸制作力(素材・技術・造形思考)の喚起は、地域の陶芸家の表現性にどのように影響したか。創造することの純然たる力能としての個性、その開花を支援する意味をコーディネート論的に考察する。

○地域デザインのあり方

重見 武男 / 山口ケーブルビジョン株式会社顧問

人口減少が地域に及ぼす影響は？また、課題先進地となる中山間地域でのICTを活用した買物等の生活支援サービスは有効か？この事例を基にPDCAサイクルにサービスデザイン手法を取り入れた地域デザインのあり方を検証する。

○地域文化における企業の役割

大東和 武司 / 広島市立大学国際学部教授

地域文化の形成には、異なる文化の受容、そして創造という側面がある。この点について、経営環境の変化、国際的影響をふまえながら、伝統を継承し革新した筆産集積地、広島・熊野の事例などを通して考察したい。

○アクセス

山口市菜香亭

〒753-0091 山口市天花1-2-7 / Phone: 083-934-3312

<http://www.c-able.ne.jp/~saikou/>

- ・自動車/国道9号沿い七尾山トンネル横 駐車場あり
- ・路線バス/野田学園前バス停下車(徒歩2分)
- ・コミュニティバス(大内ルート)/野田バス停下車(徒歩3分)
- ・JR山口線/山口駅下車(バス及びタクシー)

○問い合わせ先

山口県立大学 大学院事務局

Phone/Fax: 083-928-3527

(月-木 9:00-16:00 / 金 9:00-12:30)

山口県立大学 国際文化学部事務局

Phone/Fax: 083-928-3423

(月-金 8:40-17:10)

E-mail: myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp(担当:水谷)



2016年度 第4回山口国際文化学研究会×山口県立大学大学院国際文化学研究科

文化コーディネート論 公開シンポジウム

2016年

7月25日(月)

▶open18:00 ▶start18:30

伝統文化を生かす
～山口の創生～

場所 山口市菜香亭
山口県山口市天花1-2-7
☎083-934-3312

入場無料

●パネラー

城戸 宏史氏(北九州市立大学大学院マネジメント研究科 教授)
石崎 泰之氏(山口県立萩美術館・浦上記念館 学芸専門監兼学芸課長)
重見 武男氏(山口ケーブルビジョン株式会社 顧問)
大東和 武司氏(広島市立大学国際学部 教授)
文化コーディネート論受講生

●モデレーター

水谷 由美子(山口県立大学大学院国際文化学研究科 教授
文化コーディネート論担当)

【主催】山口県立大学大学院国際文化学研究科
【協力】山口市菜香亭

【問い合わせ】
山口県立大学大学院事務局 ☎:083-928-3527
E-mail : myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp(担当:水谷)

2016年度 第4回山口国際文化学研究会×山口県立大学大学院国際文化学研究科
文化コーディネート論公開シンポジウム
伝統文化を生かす～山口の創生～

文化コーディネート論では、外部から招聘した講師それぞれの専門の立場から、地域文化を活用した地域活性化について、三回に渡り紹介されました。太学院二年生の学生はそれぞれの講師の授業を参考とし、すでに2つのプロジェクトの実践を行いました。

山口には伝統文化、歴史、産業、人物そして国際交流の実践など貴重な地域資源の宝庫ですが、地域内外であまり知られていないという現状があります。今回のシンポジウムでは、このような観点から国際交流や地域資源同士のマッチングをした芸術イベントなどを通して、山口の地域創生の可能性について、パネラーやフロアーの皆様との活発な意見交換を行いたいと思います。

皆様お誘い合わせの上、ご来場頂きますようお願いいたします。



国際文化学研究科
ビジネス・文化・160・173号
柳 蘇賢
李 丹

「姉妹友好都市を知っちゃう？」

姉妹都市にまつわる情報があまり浸透しておらず、認知度が低いため、山口県民を対象にしたさらなる交流の必要性に直面した。ゆえに、各国の現状を伝え、観光促進のための案内や展示物などを設ける予定である。山口県立大学地域交流スペースのユッカで双方にとって有意義と思われる国際交流イベントを実行しました。



国際文化学研究科
荒木 麻耶
袁 夢
小方 礼次
張 潔

水墨画でつながるひと。伝統。文化。

常栄寺雪舟庭にて「水墨画と出会う雪舟庭の夏～つどう・えがく・かたる～」のイベントを開催した。雪舟を皮切りに、水墨画や赤間硯、徳地和紙、雪舟庭などを多くの地元民に知ってもらおう水墨画のワークショップや伝統工芸品の展示会、トークショーを通じて、異なる文化や分野の交流について考察を試みる。



北九州市立大学
大学院マネジメント
研究科教授
城戸 宏史

「地域資源としての伝統文化の可能性」

「地方創生」が政策的課題となる中で、地域資源の掘り起こしや活用(磨き)への関心が高まっている。そこで、様々な地域資源の活用成功事例を紹介しながら、まずは地域資源の掘り起こしのポイントを確認したい。そのうえで、地域資源としての伝統文化の可能性について、経営戦略の視点から検討を試みたい。



山口県立秋美術館
・浦上記念館 学芸
専門監兼学芸課長
石崎 泰之

地域の文化資源と創作支援
ー現在形の陶芸 秋大賞展の実施

陶芸の創作能力(素材・技術・造形思考)の喚起を目的に企画された公募展事業(現在形の陶芸 秋大賞展)は、地域の陶芸家の表現力にどのように影響したか。地域の文化資源である萩焼の伝統性を鑑みるなかで、創造することの純然たる力能としての個性の自覚とその内発的開花を支援する意味をコーディネート論的に考察する。



山口ケーブルビジョン(株)顧問
重見 武男

ビジネス自分史と地域デザイン

社会人基礎力を発揮するためのツールの一つである自分史を活用した地域デザインへの試みを行う。自宅周辺の今と昔のマッピングにより、記憶の中にある「まち並み」や「暮らしぶり」から、受け継いでいくべき「まちの魅力」を共有するとともに、現代的な課題を付加させ、「まちのあるべき姿」を考えるきっかけづくりとした。



広島市立大学国際
学部教授
大東和 武司

地域の伝統文化における企業の役割

地域文化の形成には、異なる文化の受容、そして創造という側面がある。グローバル化が進展している今日、企業が地域の伝統文化を継承しながら、どのように製品等の革新につなげてきたのかについて、筆産集積地、広島・熊野の事例などを通して考察したい。

【問い合わせ】
山口県立大学大学院事務局
☎:083-928-3527
E-mail: myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp(担当:水谷)

○アクセス
山口市菜香亭
〒753-0091 山口市天花1-2-7
☎083-934-3312
<http://www.c-able.ne.jp/~saikou/>
・自動車/行動9号線沿い新山口駅から24分
・路線バス/野田学園前バス亭下車、徒歩2分
・JR山口線/上山口駅下車、徒歩14分



山口県立大学大学院「文化コーディネート論」公開シンポジウム
ー 祝 明治維新 150 年記念イベント ー
2017 年度第 4 回山口国際文化学研究会

英雲荘を活かす！ 英雲荘に活かされる！

シンポジウム

日時 **7/24(月)**

開場 **17:30** 開演 **18:00**

会場 英雲荘（三田尻御茶屋）大観楼棟
〒747-0819 山口県防府市お茶屋町10-21
Tel:0835-23-7276

入場無料

コーディネーター：水谷 由美子（山口県立大学大学院国際文化学研究科教授）

パネラー：井生 文隆（山口県立大学名誉教授）

大東和 武司（関東学院大学経営学部教授・広島市立大学名誉教授）

岡田 実（山口県立美術館長）

重見 武男（山口ケーブルビジョン株式会社 顧問）



井生 文隆



大東和 武司



岡田 実



重見 武男

研究創作発表：文化コーディネート論 受講生

関連イベント ～塩田迫る三田尻御茶屋にて、防府市の今昔を眺める茶会～

展覧会 日時 **7/8(土) 13:00-16:30**
7/9(日) 9:30-16:30

作品展示 大井 正則(陶芸家)
大井 美智子(陶芸家)

茶会 日時 **7/9(日)**
13:00～ 14:00～
※各回先着15名まで、茶菓子・抹茶無料

会場 英雲荘構内 花月楼

※英雲荘本棟の拝観を希望される場合は、別途観覧料がかかります。（大人 300 円・小中学生 150 円）

主催：山口県立大学大学院国際文化学研究科

協力：防府市 英雲荘（国指定史跡萩往還関連遺跡三田尻御茶屋）

山口県立大学大学院国際文化学研究科は文化を活かした地域活性化を目標に掲げ「文化コーディネーター論」にて、ゲスト講師と大学の教員および院生が地域公開のシンポジウムを開催しています。

平成二九年度の本講では明治維新百五十周年イベントとして、国の史跡であり、山口県防府市の重要文化財でもある「英雲荘」に着目し、調査・研究・企画による地域活性化を目指します。

関係者の方々のお力添えのもと、「英雲荘」をシンポジウムの会場とし、ゲスト講師の提言とともに、大学院生はかつて「英雲荘」から見えた防府の景色であった「塩田」に注目し、「英雲荘」と「塩」をテーマとしたプロジェクトの実践を行います。

防府と塩と萩往還と

大学院生調査班 (歌澤雪・古宮弥生・中村光里・松浦奈津子)

江戸時代中期から昭和30年代まで約260年間にわたって、全国有数の塩の産地として栄えた防府。東北地方では塩のことを「みたじり」と呼んでいたとも伝えられている。その三田尻から城下町・萩までを結ぶ、全長約53キロの「歴史の道」、萩往還。「塩」と「萩往還」をパネルでひも解く。

地域 × デザインへのアプローチ

重見 武男氏

まちづくりには創造的思考によるデザイン力が欠かせない。そこで、特定の空間をケーススタディとし、空間形成におけるデザインの役割についてワークショップ（構想を模型や図面により空間にまとめあげ表現する作業）を通して自主的に考える機会を設けた。その結果を紹介する。

文化とデザイン

井生 文隆氏

人々の暮らしの中で、文化の一翼を担うデザインは、新しい在り方の構築が問われている。「ヒト」と「モノ」と「環境」の関わり合いを、「価値の向上と持続性」を目的に、どう具現化するのかが重要なテーマとなる。

展示作家紹介



大井 正則氏

防府市佐野は、古くから、佐野土を用いた焼き物、佐野焼の産地として、大戦前後まで、各方面に出荷するなど、大いに栄えました。

私の生家は、その中で長い間、大道土を使った萩焼の茶陶も制作し、玉祖窯元として、今日まで続いています。私自身は、大学で学んだ技法の絵付けなどを中心に、その他の新しい作風を求めて、制作しています。



大井 美智子氏

自然豊かな山里の暮らしの中で感ずる情感を創作の源としています。大道土の柔らかな質感や特性の中に、学んできた技法を生かして表現していきたいと思い、制作しています。

お問い合わせ

山口県立大学大学院国際文化学研究科 担当：水谷由美子
〒753-8502 山口県山口市桜島 3-2-1
Tel&Fax : 083-928-3423
E-mail : myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp

英雲荘と塩と作品

大学院生制作班 (栗栖尚太郎・高橋潤一郎・十亀陽太)

かつて江戸時代から明治にかけて、三田尻にて作られていた塩。英雲荘より見られた塩田を懐古し、防府の海水を使い現代の家庭でも出来る塩精製法の提案を行う。また、英雲荘とその時代背景より着想を得た作品の展示を行う。

地域の伝統文化における企業の役割

大東和 武司氏

地域にもグローバリゼーションなど国際的な影響・変化の波は否応なしにやってくる。それは、地域文化の形成における異なる文化の受容、そして創造という側面とつながっている。地域の伝統文化を継承しながら、どのように製品等の革新につなげてきたのかについて、企業レベルを中心として、事例を挙げながら考察を進めていく。

地域文化行政と地域活性化

岡田実氏

地域文化行政と地域活性化のかかわりについて、公共文化施設、公共文化イベントの両面から考える。公共文化施設は、秋吉台国際芸術村などを、また、公共文化イベントは、国民文化祭などを具体的事例として取り上げる。

アクセスマップ

英雲荘

〒747-0819
山口県防府市お茶屋町10-21
Tel:0835-23-7276



山口県立大学大学院 国際文化学研究科
2018 年度 第 4 回国際文化学会

文化コーディネート論 公開シンポジウム
文化維新 from やまぐち

日時 2018.7.23 (月)
開場・展示 18:00~ 開演 18:30~20:00

場所 山口市菜香亭 (山口市天花 1-2-7)
TEL 083-934-3312
入場無料

パネラー

岡田 実 (山口県立美術館長)

片山 涼子 (アトリエ a.p.r 主宰、服飾デザイナー)

特別ゲスト 大和 保男 (陶芸家、山口県立大学栄誉教授)

文化コーディネート論受講生

コーディネーター

水谷 由美子 (山口県立大学大学院国際文化学研究科教授)

お問い合わせ

山口県立大学 〒753-8502 山口県山口市桜島 3-2-1

・国際文化学部事務室 (担当: 水谷)

TEL : 083-928-3423

E-mail : myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp

・山口県立大学大学院 事務室

TEL : 083-928-3527

主催: 山口県立大学大学院 国際文化学研究科
協力: 山口市菜香亭

山口県立大学大学院 国際文化学研究科

2018 年度 第4 回国際文化学会

文化コーディネート論 公開シンポジウム

『文化維新 from やまぐち』

今年は明治維新 150 年に当たる。そこで今回のテーマは文化維新と題して、明治維新に活躍した人物に焦点を当てて、現在と歴史が交錯するような企画を立てた。

文化コーディネート論は、地域のオピニオンリーダー、地域文化の創造者あるいは活性化の推進者などを授業に招き、コーディネーター役専任教員とともに文化創造に関する理論と事例などについて講義を行い、学生はその内容を受けて、グループで実践的な研究を行う方法で進められている。

地域の皆様からのご発言も交えながら、このシンポジウムが地域と大学が共創し、豊かな文化芸術環境がある山口の創造を実現するための一助となることを祈ります。皆様お誘い合わせの上、ぜひ、ご来場ください。

歴史への旅

木谷 曜子・下川 まつゑ・張 樹琳 / 国際文化学研究科 1 年

明治に活躍した山口にゆかりのある 3 人の偉人に焦点を当てた。政治家として尽力した井上馨、裁縫塾と女子教育の基礎を築いた中村ユス、日本画家として海外にも影響を与えた高島北海の 3 人が辿った軌跡を現在の地図に落とし込み、新たな歴史の旅を発信する。

地域文化行政と地域活性化

岡田 実 / 山口県立美術館長

地域文化行政と地域活性化のかかわりについて、公共文化施設、公共文化イベントの両面から考える。公共文化施設は、秋吉台国際芸術村などを、また、公共文化イベントは、国民文化祭などを具体的事例として取り上げる。

服飾デザインによる地域への恩返し

片山 涼子 / アトリエ a.p.r.、服飾デザイナー

服飾デザインが地域活性化に繋がることを目指し、自身に取り組んできた事例を具体的に挙げる。山口市大殿地域の野外会場でのファッションショーの企画運営や、観光 PR 事業における、コスプレ体験用やパフォーマンス用衣装のデザイン制作等を紹介する。

維新の陶工「大和作太郎」と山口焼

大和 保男 / 陶芸家、山口県立大学名誉教授

大和作太郎（松緑）は萬代彦七が山口町下堅小路に創業した山口焼の職長として招聘されて、萩から山口へ進出してきた。2 年で職長を辞して、明治 25（1892）年に良質の陶土がある宮野村に移り独立し、松緑焼あるいは宮野焼と称して創業した。これが山口萩焼のはじまりであった。

アクセス

山口市業香亭 〒753-0091 山口市天花 1・2・7

TEL 083-934-3312 <https://www.c-able.ne.jp/~saikou/>

- ・自動車 / 国道 9 号沿い七尾トンネル横 駐車場あり
- ・路線バス / 野田学園前バス停下車（徒歩 2 分）
- ・コミュニティバス（大内ルート） / 野田バス停下車（徒歩 3 分）
- ・JR 山口線 / 山口駅下車（バス及びタクシー）

お問い合わせ

山口県立大学 〒753-8502 山口県山口市桜島 3-2-1

・国際文化学部事務局（担当：水谷）

TEL：083-928-3423 E-mail：myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp

・山口県立大学大学院 事務局 TEL：083-928-3527



健康福祉学研究会

平成 19 年度(2007 年度)

回	日時	テーマ・内容等	担当者
1	10 月 24 日(水) 18:00~19:30	在宅高齢者の健康状態とそれに関する要因」 山口県内の在宅高齢者の調査結果に基づいて	青木邦男
		修士論文指導の一事例～参加者主体の食育と評価～	足立蓉子
2	11 月 28 日(水) 18:00~19:30	ターミナルケアに携わる人々に焦点をあてた研究の進め方	田中愛子
		発達障害の理解と支援	林 隆
3	12 月 26 日(水) 18:00~19:30	地域福祉実践における市民参加について	草平武志
		人口化学物質と健康＝フタル酸の事例	市村孝雄
4	1 月 23 日(水) 18:00~19:30	障害概念の再検討 インペアメントかディスアビリティか	志村哲郎
		竹炭等を活用した水質浄化技術の開発	伊原靖二
5	2 月 27 日(水) 18:00~19:30	社会福祉の史的研究の今までとこれから	加登田恵子
		イネ突然変異体を用いた種子貯蔵タンパク質の改良に関する研究	小川雅広
6	3 月 25 日(水) 18:00~19:30	過疎高齢社会の地域生活構造変動と持続可能性	高野和良
		大豆の持つ機能性と豆腐のおいしさ	島田和子

平成 20 年度(2008 年度)

回	日時	テーマ・内容等	担当者
1	4 月 23 日(水) 18:00~19:30		田中耕太郎
		「メタボ」とどう付き合うか	長坂祐二
2	5 月 28 日(水) 18:00~19:30	保健・医療職のバーンアウトー要因分析と予防に向けてー	田中マキ子
			人見英里
3	6 月 25 日(水) 18:00~19:30	慢性病患者およびその家族の喪失および予期悲嘆	廣瀬春次
		カニ(サワガニ)の話	日野精二
4	7 月 23 日(水) 18:00~19:30	こどもの心の問題とのかかわり	中村仁志
			松尾 洋
5	8 月 27 日(水) 18:00~19:30		藤村孝枝
		環境と生物	新井哲夫

6	9月24日(水)	私が私であること—発達心理学をとおして考えていること—	三島正英
	18:00~19:30	ケアマネジャーの支援に関する研究	横山正博

平成 21 年度(2009 年度)

回	日時	テーマ・内容等	担当者
1	4月22日(水) 18:00~19:30	大学院 GP 申請に向けた組織的取り組み	
2	5月27日(水) 18:00~19:30	修了生による活動報告①	院生
3	6月24日(水) 18:00~19:30	修了生による活動報告②	院生
4	7月22日(水) 18:00~19:30	修了生による活動報告③	院生
5	8月26日(水) 18:00~19:30	修了生による活動報告④	院生
6	10月28日(水) 18:00~19:30	特別養護老人ホームのターミナルケアに関する研究	岩本テルヨ
7	11月25日(水) 18:00~19:30	事例検討会	院生
8	1月27日(水) 18:00~19:30	行動変容を促進する健康教育プログラムの成果と課題	乃木章子
9	3月24日(水) 18:00~19:30	百寿者研究	百寿者研究 チーム

平成 22 年度(2010 年度)

回	日時	テーマ・内容等	担当者
1	5月26日(水)	看護教育に潜む「病理」	田中マキ子
		特異的発達障害と二次障害の予防	林 隆
2	6月23日(水)	越境する地域活動	藤村孝枝
		大動脈瘤の分子病態研究と新規治療開発への応用	吉村耕一

3	7月28日(水)	アドボカシーは看護の新しい役割になり得るか	岩本テルヨ
		求められる食育	園田純子
4	9月22日(水)	在宅ターミナルケアに携わる訪問看護師の卓越した看護実践能力に関する研究	田中愛子
		行動変容支援プログラムによる生活習慣病予防の成果と課題	乃木章子
5	10月27日(水)	効果的な生活習慣改善方法～成果を上げる行動目標とは～	長坂祐二
		高齢者の栄養状態を改善するパンの開発	人見英里
6	11月24日(水)	食品の抗酸化能表示と大豆加工食品の抗酸化能	島田和子
		栄養学的ハイリスク者に対する栄養評価と生活支援に関する研究	草間かおる
7	12月22日(水)	方法論の統合について	廣瀬春次
		地域社会福祉史の可能性と展望	加登田恵子
8	1月26日(水)	何を研究してきたのか？	日野精二
		地域福祉推進における住民参加の支援の方法	草平武志
9	3月23日(水)	「子ども」とはどのような存在か	三島正英
		日独社会保障比較研究の歩み	田中耕太郎

平成23年度(2011年度)

回	日時	テーマ・内容等	担当者
1	4月27日(水)	研究方法としての統計手法使用の試行錯誤	青木邦男
		認知症高齢者のケアに関する研究	横山正博
2	5月25日(水)	色彩樹木画を用いたこころの問題に対する介入について	中村仁志
3	6月22日(水)	障がい者問題と女性問題の接点に立って	志村哲郎
4	11月30日(水)	第1回 大学院合同研究会テーマ「しあわせ」	田中マキ子 志村哲郎 長坂祐二 鈴木隆泰 川口喜治 進藤優子

平成 24 年度(2012 年度)

回	日時	テーマ・内容等	担当者
1	5 月 22 日(水) 18:00~20:15	第 6 回山口県立大学参加型 FD 現場から聴く 生涯現役社会づくり (山口県の現状と県政課題)	
2	8 月 29 日(水) 16:30~18:00	外部・社会(人)から大学院に期待すること 講師を囲んでの情報交換会	山口日産社長 末富喜昭
3	10 月 14 日(日) 13:00~	大学院オープンキャンパス シンポジウム:「無縁社会と孤独死-山口県立大学大学院 からのアプローチ-」	鈴木隆泰 田中愛子 井竿富雄 田中マキ子
4	11 月 28 日(水) 教 授会後	将来ビジョン:AP、CP、DP の検討 大学院をめぐる動向と 3P の検討	博士課程 委員会
5	12 月 26 日(水) 教 授会後	修士論文の指導法の検討	島田和子 横山正博
6	1 月 23 日(水)	将来ビジョン:新カリキュラムの検討 CP に基づいた具体的なカリキュラムの検討	博士課程 委員会

平成 25 年度(2013 年度)

回	日時	テーマ・内容等	担当者
1	4 月 24 日(水) 教 授会後	将来ビジョン:AP、CP、DP の検討	博士課程 委員会
2	6 月 26 日(水) 教 授会後	高齢者を対象とした回想法について	佐々木直美
3	9 月 28 日(水) 13:00~	大学院オープンキャンパス シンポジウム:「生命と生活の質(QOL)」の知究	安溪遊地 吉村耕一 湊和久 小野芳子
4	11 月 27 日(水) 教 授会後	修士論文指導の現状と課題	横山正博
5	2 月 11 日(火) -13 日(木)	大学院合同研究発表会	

平成 26 年度(2014 年度)

回	日時	テーマ・内容等	担当者
1	7 月 16 日(水)	修士論文発表会	秋期修了院生
2	9 月 23 日(火)	大学院オープンキャンパス	
		学位論文への道 ～個人の問題意識を万人の課題にする方法	長坂祐二
		国際文化学(Intercultural Studies)への招待 ～多文化教育(Multicultural Education)の視点から～	岩野雅子
3	10 月 22 日(水)	研究報告	増成直美
4	11 月 26 日(水)	「研究倫理について～問題の所在と解決への糸口～」	元山口大教授 谷田憲俊
5	12 月 24 日(水)	健康福祉学研究科のあり方、将来展望	三島正英 青木邦男
6	2 月 8 日(日) -11 日(水)	大学院合同研究発表会	

平成 27 年度(2015 年度)

回	日時	テーマ・内容等	担当者
1	6 月 24 日(水)	肝硬変症における糖代謝異常について	内田耕一
		冷え症の人の冷覚と皮膚血管収縮機能の特徴について	曾根文夫
		家族法と権利擁護	藪本知二
2	7 月 22 日(水)	判断能力を欠く患者に対する終末期医療-リビングウィルと近年の動向-	上白木悦子
		高齢期の社会参加支援活動と住民自治	坂本俊彦
		高齢者の栄養状態と ADLー口腔機能と食生活並びに ADLー	弘津公子
		精神障がいのある人の地域生活支援ー実践課題から研究課題へー	宮崎まさ江
3	9 月 27 日(日)	大学院オープンキャンパス	
		健康福祉と百歳研究	田中マキ子
		サービスデザインによる新しい価値の創造	水谷由美子

4	10月28日(水)	健全な研究実施のための研究者の心得 ー今研究者に求められるものー	吉村耕一
5	2月9日(火) -11日(木)	大学院合同研究発表会	

平成 28 年度(2016 年度)

回	日時	テーマ・内容等	担当者
1	6月22日(水)	未来を担う子どもを育児する母親への支援について	浦山晶美
		障害のある人々に関する研究～参加の評価と障害者虐待に焦点をあて	増田公香
2	7月27日(水)	修士論文発表会	秋期修了院生
3	9月22日(木)	大学院オープンキャンパス 生活の質 QOL シンポジウム	安溪遊地 加登田恵子 中村仁志 園田純子
4	9月28日(水)	終末期がん患者と家族の支援について	後藤みゆき
5	2月9日(木) -11日(土)	大学院合同研究発表会	

平成 29 年度(2017 年度)

回	日時	テーマ・内容等	担当者
1	9月16日(土)	大学院オープンキャンパス 院生の研究活動紹介	院生
2	10月25日(水) 18:00～19:30	社会福祉学理論研究 実践科学としての社会福祉学 ～実践と理論との整合性と一貫性～	同志社大 名誉教授 岡本民夫
3	2月8日(木) -10日(土)	大学院合同研究発表会	

平成 30 年度 (2018 年度)

回	日時	テーマ・内容等	担当者
1	7 月 25 日 (水) 18:00~19:30	助成研究からみる大正期から昭和初期の社会 ～事業における民間助成財団の特徴と役割～	長谷川真司
2	9 月 16 日 (土)	大学院オープンキャンパス 院生の研究活動紹介	院生
3	2 月 11 日 (月) -12 日 (火)	大学院合同研究発表会	

平成 23 年度(2011 年度) 大学院合同研究会

第一回 大学院合同研究会へのおさそい

※この研究会は、平成 23 年度第 6 回（通算第 42 回）山口国際文化学研究会・平成 23 年度第 5 回健康福祉学研究会を兼ねています。

テーマ「 し あ わ せ 」

日時 2011 年 11 月 30 日（水曜日）16 時 10 分より

場所 D-15 教室（場所にご注意下さい）

発表者 健康福祉学研究科

田中マキ子教授（大学院長・健康福祉学研究科長）「しあわせな老い」

志村哲郎教授「人類で最も長生きな日本女性、長寿は幸せか？」

長坂祐二教授「健康は、人を幸せにするか？」

国際文化学研究科

鈴木隆泰教授（国際文化学研究科長）「しあわせって何だっけ」

川口喜治教授「文学の快楽—読む快楽、描かれた快楽—」

進藤優子准教授「「しあわせ」を経済で考える」

主催 大学院国際文化学研究科・健康福祉学研究科

概要

「しあわせ」とは何でしょうか。お金に困らないことでしょうか。健康や若さ、不老不死でしょうか。社会的な成功や名誉でしょうか。古来たくさんの人々が「しあわせ」について考え、語ってきました。しかし、「しあわせ」、そして対極にあるといわれる「ふしあわせ」について考え始めると、いずれもなかなか一筋縄ではとらえにくいものであることがわかります。何もかも失い体を壊しても、たった一つのこと分かるだけで「しあわせ」を感じる人もいるからです。

今回山口県立大学大学院を構成する二つの研究科、国際文化学研究科と健康福祉学研究科は、その専攻領域を超えて、ともに「しあわせ」について考えてみようという試みを行います。実は、国際文化学研究科は、「幸せづくり」を掲げた研究科でもあります。医学、栄養学、社会福祉学、インド哲学仏教学、中国文学、経済学と多様な側面から「しあわせ」について語っていただきます。多角的に考え、横断的に語り、そしてともに探求することで、「しあわせ」についてより深い思索を深めることができると考えています。

皆様も、今回の合同研究会で「しあわせ」についてともに考えてみませんか。

※終了後 18 時から Yucca で、第二部として自由なトークを展開できる場を準備しております（有料）。こちらも皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

平成 25 年度(2013 年度) 大学院合同研究会

2013 年度 山口県立大学大学院合同研究発表会

国際文化化学研究科修士制作展

健康福祉学研究科 + 国際文化化学研究科

研究成果ポスター展

●	2014.2.11	TUE	17.00 ~ 21.00
●	2.12	WED	10.00 ~ 21.00
●	2.13	THU	10.00 ~ 20.00

山口市民会館 展示ホール

〒753-0074 山口市中央 2-5-1
TEL 083-923-1000

入場無料



主催 ▶ 山口県立大学大学院

後援 ▶ 山口市 山口市教育委員会

連絡先 〒753-8502 山口市桜島 3-2-1 山口県立大学大学院事務室 TEL 083-928-3527

国際文化学研究科修士制作展

武永 佳奈

地域資源でつながる服飾デザインの実践的研究

- 山口市徳地における袴パンツプロジェクトを事例として -

山崎 珠菜

生活や習慣の中にある文化から発想を得たプロダクト制作

研究成果ポスター展

健康福祉学研究科修士論文

柿並 洋子

精神科訪問看護による家族支援方法の検討

古賀 聖典

災害支援看護師に対する継続教育カリキュラムの検討

中津井貴子

保護者（料理の作り手）の食経験が児童生徒の食生活に及ぼす影響

藤井小百合

看護教諭のアセスメント能力の形成に影響を与える要因

山下 晋平

Helicobacter pylori の自己増殖阻害物質の解明

山中なみ子

皮膚・排泄ケア認定看護師に対する自己教育力活性の要因検討

国際文化学研究科修士論文

松原 信政

地域づくりの現状と課題

中村 彩佳

『太平広記』『狐部』所収の小説に描かれた「狐」の姿について

呉 暁良

日本における留学生受入政策の現状と課題 - 中国人留学生の留学情報受容に関する一考察 -

健康福祉学研究科博士前期課程 「健康福祉学特論」

百寿者の健康の要因についての考察 - ライフイベントと趣味についての語りから -

大塚和美、瀬充、馬燕、松本江理子、横山正博
田中マキ子、長坂祐二

睡眠と長寿

- 百寿者を含む高齢者の睡眠に関する文献レビュー -

篠原美奈、箕越功浩、間 龍潔、長谷昌枝
長坂祐二、横山正博、田中マキ子

ショッピングセンターを訪れる高齢者の主観的幸福感の検討 - PGC モラール・スケールを用いて -

澤田孝子、伊木康人、山根千枝
慎恩貞、田中マキ子、長坂祐二、横山正博

健康福祉学研究科博士後期課程 「健康福祉学講究」

後期高齢者の辛い体験に対する対処過程の検討

三谷明美、田中マキ子、田中耕太郎、長坂祐二

国際文化学研究科「国際文化学特講」 研究創作共同研究

モンペとサルッパカマをリデザインした農作業着の服飾デザイン - 「農業スタイルコレクション 2013 in 長門油谷 with 会津若松」を事例として -

水津初美、武永佳奈、安倍昭恵、水谷由美子

大学院創設 15 周年

2014 年度 山口県立大学

大学院修士制作&論文研究ポスター展

国際文化学研究科 健康福祉学研究科

15th Anniversary of Graduate School
Yamaguchi Prefectural University
2014 Graduation Works & Thesis
Posters Exhibition

2015. 2. 8 (日) → 2.11 (水) 入場無料

8 (日)	9 (月) & 10 (火)	11 (水)
15:00 - 19:00	10:00 - 19:00	10:00 - 17:00
17:00- プレゼンテーション 19:00- レセプション		

山口市民会館展示ホール
〒753-0074 山口市中央 2-5-1
TEL 083-923-1000

主催 山口県立大学大学院
後援 山口市 山口市教育委員会

お問合せ先 山口県立大学大学院事務局 〒753-8502 山口市桜島 3-2-1 TEL 083-928-3527 (月～木9-16・金9-12)

Map showing the location of the exhibition venue, Yamaguchi City Community Center, relative to the JR station and other landmarks.

大学院創設15周年

2014 年度山口県立大学大学院修士制作&論文研究ポスター展

制作研究展

国際文化学研究科修士制作

- 地域資源を活かした商品開発に関する実践的研究
ー徳地和紙と柳井縞を事例としてー
水津 初美

産学共同研究作品

- 農ガールコレクション2015
水津 初美 小田 玲子 甲斐 少夜子
中瀬 結香 荒木 麻耶 水谷 由美子

論文研究ポスター展

国際文化学研究科

- 国際観光を活かした地域振興策に関する研究
王 晶晶
- 古写真にみる山東省の景観と生活の変容
孫 凱
- 青島市における環境教育の可能性
ー日本の環境教育の事例をもとにー
張 超超
- 日中国際文化交流の成果と観光交流の可能性
ー山口県と山東省の姉妹都市を事例としてー
歩 亦飛
- キリスト教の受容過程にみる日本文化の特質
田村 洋子
- ファッションデザインにおけるアイデンティティ
ー「都市とモードのビデオノート」を起点としてー
藤田 幸司

健康福祉学研究科

<修士論文>

- 認知症高齢者に対して介護職員が「共感」を形成するプロセスの構造について
伊木 康人
- 中国濱州市における中年男性の健康に関する要因についての研究
閻 龍潔
- 介護職員のキャリアアップ形成に関わる要因の分析
大塚 和美
- 患者のQOLを向上させるための体位変換方法の検討
ー関節の変形・拘縮、筋萎縮を増強しないためにー
篠原 美奈
- 韓国の農村地域における敬老堂の機能と役割
愼 恩貞
- 障害受容についての当事者研究
ー脊髄損傷専門病院での入院経験からー
瀬 充
- 災害中長期における継続看護の為の情報共有システムの検討
長谷 昌枝
- 親の発達期待と子どものパーソナリティ
ー現代中国における母親の発達期待の一考察ー
馬 燕
- 看護師が会おうライフイベントがもたらす離職要因の検討
松本 江理子
- 駆血による皮膚血流量の変化(反応性充血)の測定の意義
ーレーザースペックル二次元血流画像化法の有用性の検討ー
箕越 功浩
- 児童家庭支援センターにおける家庭支援
ーファミリーソーシャルワークと職員の意識ー
山根 千絵

<共同研究>

- 中山間地域における小規模高齢化集落の互助の現状と課題
山下みよ子 野原徹 赤崎敦子 阿南沙織
張紅娜 横山正博 人見英里 田中マキ子
- 中山間地域における地域住民の「互助」に関する文献検討
伊藤美穂 内田朋子 久保木紀子 小林裕子
横山正博 人見英里 田中マキ子
- 中山間地域高齢者の低栄養に関連する要因の検討
ー低栄養化予防対策への一考察ー
松野恭子 中津井貴子 萩原裕子 人見英里
吉村耕一 中村文哉 田中マキ子
- 中山間地域に居住する高齢者の健康関連QOLの実態
中津井貴子 松野恭子 萩原裕子 人見英里
吉村耕一 中村文哉 田中マキ子
- 中山間地域における高齢者の身体活動状況と身心の健康の検討
ー山口県山口市阿東地区を対象としてー
萩原裕子 中津井貴子 松野恭子 人見英里
吉村耕一 中村文哉 田中マキ子

平成 27 年度(2015 年度) 大学院合同研究会

2015年度 山口県立大学大学院
修士制作 & 論文研究ポスター展
国際文化学研究科 健康福祉学研究科

YAMAGUCHI
PREFECTURAL UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOLS 2015
EXHIBITION OF GRADUATION
STUDIES & WORKS

2016. 2. 9 (Tue) ▶ 2. 11 (Thu)

9 (Tue)	10 (Wed)	11 (Thu)
15:00 - 18:00	10:00 - 18:00	10:00 - 17:00
16:00 - オープニング レセプション		14:00 - プレゼンテーション

クリエイティブ・スペース赤れんが
〒753-0088 山口市中河原町 5-12
TEL 083-928-6666

入場
無料

主催 山口県立大学大学院
後援 山口市 山口市教育委員会

お問合わせ 山口県立大学大学院事務局 〒753-8502 山口市桜島 3-2-1 TEL 083-928-3527 (月～木 9:00-16:00 金 9:00-12:00)



2015年度 山口県立大学大学院 修士制作 & 論文研究ポスター展

制作研究展

国際文化学研究科 修士制作

- 心地よさから発想を得た生活道具の研究
小野飛鳥

産学共同研究作品

- 農ガールコレクション 2016
安倍昭恵 × 企画デザイン研究室 × 有限会社ナルナセバ
水谷由美子 小田玲子 甲斐少夜子 原田章子
長門市 匠山泊 柳井縞の会 玖珂縞の会
- ねんりんピックおいでませ! 山口 2015 ファッションショー
企画デザイン研究室 有限会社ナルナセバ ファッションクリエイティブCHIZE
Y-FATI (山口ファッション&テキスタイル研究所)
- 地域資源振興とまちづくり研究「徳地手漉し和紙」
企画デザイン研究室 山口とくち和紙振興会 結の香

論文研究ポスター展

国際文化学研究科

< 修士論文 >

- 中国の帰国子女教育について
ー 日本の経験から学ぶ異文化教育 ー
王 星慧
- 家畜の放牧を生かす地域づくりの課題
岡本勝利
- 日本のファスト・ファッションを支える中国のアパレル製造工場
ー 中国山東省の事例を中心に ー
李 俊穎
- 古代中世の人・環境・社会
藤井由美子

健康福祉学研究科

< 修士論文 >

- 介護支援専門員の地域ケア会議に対する評価に関する研究
赤崎敦子
- 小児領域に勤務する看護師の職務ストレスに及ぼす影響
阿南沙織
- 初産婦を対象とした授乳確立までのプロセスとその支援
伊藤美穂
- 職種間連携による病棟での栄養ケアに必要な要因の検討
内田朋子
- 看護師長のストレスと後進育成のジレンマ
小林裕子
- 日本在住の若者中国人の高齢者観
張 紅娜
- 社会福祉施設におけるコミュニティソーシャルワーク機能についての考察
野原 徹
- 介護支援ボランティア活動がもたらす介護予防効果の考察
山下みよ子
- A県における出産施設と地域の子育て支援活動との連携の実態と課題
長尾安美

< 博士論文 >

- 高齢者の食欲増進に対する視覚刺激の基礎的研究
光貞美香

< 共同研究 >

- 学生寮で生活する女子大学生の便秘と便秘予防行動、生活習慣との関連
河本乃里 田中孝恵 林 瑞恵 松元悦子
人見英里 吉村耕一 横山正博
- 高齢者の暮らしふりと日常生活動作及び体力との関連
ー 中山間地域と都市部の比較 ー
中村敦子 賀越功浩 人見英里 中村文哉
吉村耕一 田中マキ子
- 大学生における歯科口腔保健に関する自己管理能力と過去に受けた歯科保健教育の関連性
新開奏恵 宮本恵子 李 草 山本倫也
人見英里 吉村耕一 横山正博

展示企画 有限会社ナルナセバ グラフィックデザイン 村上卓 展示協力 オオバクリエイティブ

平成 28 年度(2016 年度) 大学院合同研究会



平成 28 年度山口県立大学大学院 合同研究発表会 修士制作 & 論文研究ポスター展
Yamaguchi Prefectural University Graduate School 2016 Graduation Works & Thesis Posters Exhibition

国際文化学研究科 修士制作

- 地域資源を活用したメディア表現研究

小川 大貴

- 山口の地域素材を服飾デザインに活かす実践的研究
- デニムと和紙と藍布を用いた服飾造形 -

小田 玲子

国際文化学研究科 修士論文

- 歴史的街並みの観光活用に関する研究
- 文化的共通点に着目した国際交流の可能性を中心に -

陳 鶴丹

- 陶器研究
- 学習者の自己理解を深めるための教材作りを目的として -

馬木 浩二

- 高齢者のおしゃれ・美容行為に関する研究

田中 真紀子

- ソリューションフォーカスによる中小企業における組織開発の効果分析

松永 朋子

- 山口市阿東地区の観光を主体とした地域活性化

下瀬 一正

- 地域社会でペットと暮らす幸せ

岡村 理恵

- 山口県における青少年海外派遣事業を通じた異文化理解促進のための一考察 - 英語圏姉妹都市派遣研修プログラムへの中高生参加者を中心に -

木村 雅幸

- 中国における留学生教育の現状と課題
- 山東省に留学した日本人留学生を中心に -

趙 園

健康福祉学研究科 修士論文

- 就業継続 3 年が職業継続意欲へ及ぼす要因の検討
- 看護師における 3 年神話の検証から -

河本 乃里

- 過疎地域で暮らす在宅高齢者の廃用症候群の予防につながる生活要因の検討

林 瑞恵

- 単位子ども会役員が抱える負担感とやりがいについての検討

宮本 恵子

- 地域在住高齢者の転倒予防につながる日常生活行動特性

久保木 紀子

- 少子化時代における小児看護学の学習内容の検討

田中 孝恵

- 難病患者における医療従事者に対する心理過程の解明

松元 悦子

- 近代化と引きこもりに関する研究
- 中日比較の視点から -

李 草

健康福祉学研究科 博士論文

- メディカルフィットネス施設における運動実施および継続行動に関する研究 - 健康運動指導士から提供されるソーシャルサポートに着目して -

萩原 裕子

- 保育士のメンタルヘルス
- 陽性・陰性感情に基づく実証的研究 -

吉兼 伸子

健康福祉学研究科 共同研究

- 大学生のアルバイトが健康、学習や意識変容に及ぼす影響

山本 幸子, 楊 玉華, 江口 恵里, 甲斐 美智代, 佐藤 正昭, 白蓋 真弥, 山崎 学, 吉村 耕一, 増田 公香, 人見 英里

- 大学生の地震防災行動と熊本地震との関連性
- 平成 28 年 (2016 年) 熊本地震後の地震防災行動変容 -

白蓋 真弥, 甲斐 美智代, 山崎 学, 佐藤 正昭, 江口 恵里, 山本 幸子, 楊 玉華, 吉村 耕一, 人見 英里, 増田 公香

- 山口県民の自然災害に対する意識と防災行動に関連する要因の検討

廣中 あゆみ, 田中 和子, 山根 千絵, 人見 英里, 中村 文哉, 吉村 耕一, 田中 マキ子

平成 29 年度(2017 年度) 大学院合同研究会

研究 発表会

国際文化学研究科 国際文化学専攻(修士課程)

- 張 潔 盆行事の伝承と変容に関する中日比較研究—火をともし行事を中心として—
袁 夢 鲁迅における文芸観の変遷
小方 礼次 祭りが果たす現代的意義の一考察—山口地域における三自治会の祭りを事例に—
李 丹 中国(山東省)の大学における女性の進出に関する一考察:若者世代を中心に
ビジャモール・エレロ・エフライン The Identity of Children in a Multilingual Education Region:
A Case Study on Primary Education in the Basque Autonomous Community
原田 章子 伝統的茶道の研究と新様式野点の普及
—アーツ・マネジメントを通じた地域活性化のための実践的研究—
甲斐 少夜子 伝統染織文化の継承と地域貢献—染織ワークショップと商品開発の実践的研究—
荒木 麻耶 服飾デザインにおけるサービスデザインの活用と課題
柳 蘇賢 高度外国人材の採用および待遇の韓日比較—慶尚南道昌原市および山口県における企業調査—

健康福祉学研究科 健康福祉学専攻(博士前期課程)

- 山本 幸子 臨地実習が看護学生に必要な社会人基礎力に及ぼす影響の検討
白蓋 真弥 新卒看護職の看護実践能力及び社会的スキルと職場適応との関連性
江口 恵里 高齢者が旅行に参加する際の意思決定に影響を及ぼす要因の分析
楊 玉華 中国空巢老人問題の研究—地域住民による見守り活動に焦点をあてて—
新聞 奏恵 慢性疾患の子どもを支える養護教諭の教育実践に関する研究

健康福祉学研究科 健康福祉学専攻(博士後期課程)

- 箕越 功浩 血管機能の新たな測定方法の検討—レーザースペックル二次元血流画像化法の応用—
矢田 フミエ 看護学生のリフレクションを活性化させる教育方法の創出
中津井 貴子 児童生徒に対する食育の指導方法と評価に関する研究
松野 恭子 1型糖尿病患者における発症時の栄養指導に対する受け止め方がその後の食生活及び療養生活に与える影響について

健康福祉学研究科共同研究

- 陳 曉倩ら 子供の頃の食に関する経験が大学生の食生活に与える影響
戸川 桂一ら 職業イメージを持って入学した大学生の学業におけるリアリティショックの現状と
その対処方法の検討
河本 乃里ら 女子大学生の下肢筋力低下に関連する生活習慣の検討

平成 29 年度山口県立大学大学院合同研究発表会

2018 年2月8日(木)–10日(土)山口県立大学北キャンパス 2 号館

2月8日–10日 10:00–15:00 ポスター展示/2号館5階 ※9日のみ 10:00–17:00

2月8日 10:00–10:20 オープニングセレモニー/B201 教室

2月8日 10:20–15:00 口頭発表会/B201 教室

2月10日 13:00–15:00 入試説明会/2号館5階

【主催】山口県立大学大学院



【問い合わせ先】山口県立大学大学院事務局
〒753-0021 山口市桜島 6-2-1 (北キャンパス 2 号館 5 階) ☎083-929-6525

02.08Thu-02.10Sat

02.09Fri-02.11Sun

平成 29 年度山口県立大学大学院修士制作展

2018 年 2 月 9 日 (金) - 11 日 (日) 10:00 - 17:00

クリエイティブ・スペース赤れんが ホール I

甲斐少夜子・原田章子・荒木麻耶

入場無料

※最終日 11 日は 10:00 - 16:00

【主催】山口県立大学大学院 【後援】 山口市



公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

【問い合わせ先】

山口県立大学大学院事務局

〒753-0021 山口市桜島 6-2-1 (北キャンパス 2 号館 5 階) ☎083-929-6525



研究
発表会

平成 30 年度(2018 年度) 大学院合同研究会



2018 年度 山口県立大学大学院 合同研究発表会

国際文化学研究科・健康福祉学研究科

2019.2.11(月)~12(火)

(9:00~19:00) (9:00~18:00)

山口市民会館 展示ホール

〒753-0074 山口市中央2丁目5-1

入場無料

■ 修士制作 ■ 論文研究ポスター

2.11(月)

15:30 - 15:50 レセプション

16:00 - 16:20 国際文化学研究科展示 & ポスターセッション

16:30 - 17:00 健康福祉学研究科ポスターセッションⅠ

17:10 - 17:40 健康福祉学研究科ポスターセッションⅡ

主催：山口県立大学大学院 後援：山口市



2018 年度 山口県立大学大学院 合同研究発表会

■ 国際文化科学研究科 国際文化学専攻（修士課程）

- 栗栖 尚太郎 伝統工芸品のインターネット販売による文化の普及と自立 ―北タイ少数民族・モン族の事例研究―
耿 寒雪 中国山東省における高校生の進路指導に関する研究 ―日本のキャリア教育を参考にして―
十亀 陽太 プロダクトデザインにおける接合構造の実践的研究 ―地域産業資源における接合構造の活用を目的として―
古宮 弥生 茶道における談話のボラリティネス研究

■ 健康福祉科学研究科 健康福祉学専攻（博士前期課程）

- 山本 倫也 食の安全性向上を目指して ―難培養性細菌による食品汚染状況と薬剤耐性化の視点から―
甲斐 美智代 看護カンファレンス質評価尺度の開発 ―インタビュー調査をもちいた構造化分類―
山崎 学 母と子の愛着スタイルの関連性についての検討 ―質問紙と描画法を用いて―
井上 寿美香 入院中の子どもとの遊びを通じた関わりに関する看護学生への教育方法の効果
片山 久美子 高齢者に対する食生活プログラムが主観的健康感と健康状態に及ぼす影響
金子 祐大 アルフレッド・シュッツの他者理解理論における意味構成をめぐる考察 ―精神病がもたらす意味構成の阻害―
齋藤 すが代 倫理的課題に対する看護学生の認識の現状
陳 曉倩 中国内陸部における大学生の老親扶養意識と社会保障の役割について ―中国貴陽市と日本の比較調査を通じて―
中村 幸一郎 ネグレクトに対するスクールソーシャルワーカーの支援と成果

■ 健康福祉科学研究科 健康福祉学専攻（博士後期課程）

- 原田 美穂子 多次元的構成概念に基づく乳房切除術を受けた患者のボディ・イメージの検討
三谷 明美 母親の自己効力感を刺激するベビービクスプログラムの検証
中村 敦子 娘の産後を支援する実母の母性性・世代性に関する研究
田中 和子 開発途上国の周産期ケアを改善する新たな支援策開発のための基盤的調査研究

■ 共同研究

- 大学院生の修学中における精神・心理的な健康状態に関する研究
川崎裕史, 松浦和文, 横田 恵, 劉 偉媛, 露繁巧江, 濱本尊博, 福本絵理, 林 甜甜, 園田純子, 弘津公子, 吉村耕一, 長谷川真司
若年女性の身体活動量と冷え症状の関連について
露繁巧江, 濱本尊博, 福本絵理, 林 甜甜, 川崎裕史, 松浦和文, 横田 恵, 劉 偉媛, 園田純子, 弘津公子, 長谷川真司, 吉村耕一
大学生の学習意欲に関連する生活習慣因子の検討
新聞奏恵, 齋藤義之, 山本幸子, 田中マキ子, 中村文哉, 人見英里, 吉村耕一
アグリアート・フェスティバル 2018 におけるモンベッコ開発研究
水谷由美子, 下川まつる, 企画デザイン研究室
地域資源を活かしたスーパーグローバル・ファッションワークショップにおける服飾創作研究
水谷由美子, 高橋潤一郎, 下川まつる, 企画デザイン研究室, ラップランド大学, ハワイ大学マウイカレッジ
「自由律茶の湯 一野点ピクニック」における防府市伝統工芸の創造と発信
水谷由美子, 高橋潤一郎, 企画デザイン研究室

主催 山口県立大学大学院
後援 山口市

お問い合わせ先 山口県立大学大学院事務室 〒753-0021 山口市桜島 6-2-1
☎ 083-929-6525 e-mail: ypugsa@yamaguchi-pu.ac.jp

平成 31 年 4 月入学生募集中 大学院入試出願期間: 2 / 4 (月) ~ 2 / 15 (金)
ウェブサイトから資料請求 <https://www.ypu.jp/daigakuinseikyuu/> またはお電話で

平成 24 年度(2012 年度) 大学院オープンキャンパス

日 時:平成24年10月14日(日) 13:00～17:00

場 所:山口県立大学看護栄養学部棟 F204 講義室

プログラム

総合司会:齋藤 理(国際文化学研究科)

時 間	内 容	
13:00～	開催の挨拶	江里 健輔 学長
各研究科の紹介		
13:10～	「国際文化学研究科の紹介」	井竿 富雄 専攻長
13:20～	「健康福祉学研究科の紹介」	横山 正博 専攻長
シンポジウム:「無縁社会と孤独死-山口県立大学大学院からのアプローチ-」		
13:30～	司会:吉村 耕一(健康福祉学研究科) 「宗教から問う無縁社会と孤独死」 「“最期の時の在り方”から問う 無縁社会と孤独死」 「政治・経済から問う無縁社会と孤独死」 「生命と生活の質から問う 無縁社会と孤独死」	鈴木 隆泰 (国際文化学研究科) 田中 愛子 (健康福祉学研究科) 井竿 富雄 (国際文化学研究科) 田中 マキ子 (健康福祉学研究科)
15:00～ 15:15	休 憩 / 作品展示	
大学院生活の紹介		
15:15～	「ENJOY してます」 「大学院でみつけた私」 「大学院と仕事の両立」 「私のチャレンジ」	山中 なみ子 (健康福祉学研究科1年生) 中村 彩佳 (国際文化学研究科1年生) 竹永 吉伸 (健康福祉学研究科修了生) 原田 洋子 (国際文化学研究科修了生)
16:00～	閉会の辞	長坂 祐二 副学長
16:10～	個別相談/作品展示	各教員

平成 25 年度(2013 年度) 大学院オープンキャンパス

日 時:平成25年9月28日(土) 13:00～

場 所:山口県立大学看護キャンパス F204 講義室

プログラム

総合司会:横山 正博(健康福祉学研究科)

時 間	内 容	
13:00～	開催の挨拶	田中マキ子 大学院長
各研究科の紹介		
13:10～	「国際文化学研究科の紹介」	鈴木 隆泰 研究科長
13:20～	「健康福祉学研究科の紹介」	横山 正博 専攻長
シンポジウム:「生命と生活の質(QOL)」の知究		
13:30～	司会:齊藤 理(国際文化学研究科) 「アフリカの森で気づいた“本当の豊かさ”」 「QOL を評価することの重要性」 「介護の経験から見た高齢者の QOL」 「臨死現場における QOL」	安溪 遊地 (国際文化学研究科) 吉村 耕一 (健康福祉学研究科) 湊 和久 (国際文化学研究科修了生) 小野 芳子 (健康福祉学研究科修了生)
15:00～15:15	休 憩 / 作品展示	
研究室紹介		
15:15～	・国際文化学研究科国際文化学専攻修士課程(国) ・健康福祉学研究科健康福祉学専攻博士前期課程(健) 浅羽祐樹(国)、青木邦男(健)、安溪遊地(国)、加登田恵子(健)、稲田秀雄(国) 志村哲郎(健)、林 炫情(国)、園田純子(健)、川口喜治(国)、田中愛子(健) 金 恵媛(国)、中村仁志(健)、齊藤 理(国)、中村文哉(健)、鈴木隆泰(国) 人見英里(健)、張 玉玲(国)、藤村孝枝(健)、馬 鳳如(国)、横山正博(健) 水谷由美子(国)、吉村耕一(健)、安野早己(国) ・健康福祉学研究科健康福祉学専攻博士後期課程 田中マキ子、長坂祐二	
16:10～	個別入試相談 / 作品展示	
16:30～	閉会の辞	長坂 祐二 副学長

平成 26 年度(2014 年度) 大学院オープンキャンパス

日 時:平成26年9月23日(火・祝) 13:00～17:00

場 所:山口県立大学看護キャンパス F204 教室ほか

プログラム

総合司会:井竿 富雄(国際文化学研究科)

時 間	内 容	
13:00～	開催の挨拶	田中 マキ子 大学院長
基調講演 F204 教室		
13:10～	司会:田中 マキ子 研究科長 演題「学位論文への道 ～個人の問題意識を万人の課題にする方法～」	長坂 祐二 学長
13:40～	司会:井生 文隆 研究科長 演題「国際文化学(Intercultural Studies)への招待 ～多文化教育(Multicultural Education)の視点から～」	岩野 雅子 副学長
各研究科の紹介 F204 教室		
14:10～	「国際文化学研究科の紹介」	稲田 秀雄 専攻長
14:20～	「健康福祉学研究科の紹介」	吉村 耕一 専攻長
14:30～ 14:45	休 憩 / 作品展示	
大学院ゼミの体験		
14:45～ 16:15	「国際文化学研究科のゼミ体験」 E412 教室, E413 教室 「健康福祉学研究科のゼミ体験」 F111 教室, F112 教室	国際文化学研究科各教員 健康福祉学研究科各教員
個別相談		
16:15～ 17:00	個別入試相談 / 作品展示	各教員

平成 27 年度(2015 年度) 大学院オープンキャンパス

日 時:平成27年9月27日(日) 13:00～17:00

場 所:山口県立大学看護キャンパス F204 講義室ほか

プログラム

総合司会:佐々木 直美(健康福祉学研究科)

時 間	内 容	
13:00～	開催の挨拶	田中 マキ子 大学院長
基調講演 F204 講義室		
13:10～	司会:井生 文隆 研究科長 演題「健康福祉と百歳研究」	田中 マキ子 教授
13:40～	司会:田中 マキ子 研究科長 演題「サービスデザインによる新しい価値 の創造」	水谷 由美子 教授
各研究科の紹介 F204 講義室		
14:10～	「国際文化学研究科の紹介」	稲田 秀雄 専攻長
14:20～	「健康福祉学研究科の紹介」	吉村 耕一 専攻長
14:30～	お楽しみ企画	
14:40～ 14:50	休 憩 / 作品展示	
大学院ゼミの体験		
14:50～ 16:20	「国際文化学研究科のゼミ体験」 E412 講義室, E413 講義室 「健康福祉学研究科のゼミ体験」 F111 講義室, F112 講義室	国際文化学研究科各教員 健康福祉学研究科各教員
個別相談		
16:20～ 17:00	個別入試相談 / 作品展示	各教員

平成 28 年度(2016 年度) 大学院オープンキャンパス

日 時:平成28年9月22日(木) 13:00~17:00

場 所:山口県立大学看護棟 F204 講義室ほか

プログラム

総合司会 国際文化学研究科長 稲田 秀雄

時 間	内 容	
13:00~	開催の挨拶 F204 大学院長 中村 仁志	作品展示 F204 教室前ロビー
13:10 ~ 13:30	研究科紹介 国際文化学研究科 国際文化学専攻長 川口 喜治 健康福祉学研究科 健康福祉学専攻長 吉村 耕一	
13:30 ~ 14:30	生活の質 QOL シンポジウム 国際文化学研究科 教授 安溪 遊地 健康福祉学研究科 教授 加登田恵子 健康福祉学研究科 教授 中村 仁志 健康福祉学研究科 准教授 園田 純子	
14:30~	休 憩	
14:40 ~ 17:00	個別相談(各教員) 国際文化学研究科 E412, E413 健康福祉学研究科 F111, F112	

平成 29 年度(2017 年度) 大学院オープンキャンパス

日 時:平成 29 年 9 月 16 日(土)13:00~17:00

場 所:山口県立大学新 2 号館 1F 受付

B301 講義室

5F ロビー作品展示 ほか

プログラム

総合司会 研究科長 稲田 秀雄

時 間	内 容	
13:00~	開催の挨拶 B301 大学院長 中村 仁志	作品展示 5F
13:10 ~ 13:30	研究科紹介 国際文化学研究科 専攻長 川口 喜治 健康福祉学研究科 専攻長 吉村 耕一	
13:30 ~ 14:30	(CM ビデオ放映) 院生の研究活動紹介 院生:国際文化学研究科 2 人(荒木麻耶、張潔) 健康福祉学研究科 3 人(山本倫也、河本乃里、山根千絵)	
14:30~	休 憩(5F へ移動)	
14:40 ~ 17:00	個別相談(各教員) 5F 国際文化学研究科 B505 B506 健康福祉学研究科 B510 B501(共用研究室 11) 作品展示	

平成 30 年度(2018 年度) 大学院オープンキャンパス

日 時:平成 30 年 9 月 15 日(土)13:00~17:00

場 所:山口県立大学新 2 号館 1F 受付

B301 講義室

5F ロビー作品展示 ほかに

プログラム

総合司会 国際文化学研究科 研究科長 岩野雅子

時 間	内 容		
13:00～	開催の挨拶 B301 大学院長 吉村耕一	作品展示 5F	
13:10 ～ 13:40	研究科紹介 B301 国際文化学研究科 専攻長 山口 光 健康福祉学研究科 専攻長 弘津公子		
13:40 ～ 14:40	院生の研究活動発表 B301 司会:岩野雅子 院生:国際文化学研究科 十亀陽太、栗栖尚太郎 健康福祉学研究科 山本倫也、中村幸一郎、 田中和子		
14:40～	休 憩 (5F へ移動)		
14:50 ～ 17:00	個別相談(各教員) 5F 国際文化学研究科 B505 健康福祉学研究科 B506 作品展示		



**山口県立大学大学院 2018
オープンキャンパス
説明会・相談会**

9.15 Sat.
13:00 ~ 17:00
北キャンパス2号館 (B301 教室ほか)



申し込みなしで参加できます。当日会場へ直接お越しください。

《大学院説明会内容》

- ・研究科紹介 ・院生の研究活動発表
- ・個別相談会 ・研究作品展示

※個別相談を希望の方はできるだけ8月末までにご連絡ください



公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

【お問い合わせ先】

〒753-0021 山口県山口市桜畠6-2-1

・教務入試グループ

TEL : 083-929-6506 <https://www.ypu.jp/>

【個別相談の申し込み先】

・大学院事務室

TEL : 083-929-6525 E-mail : ypugsa@yamaguchi-pu.ac.jp

※お電話で対応できない時間帯がありますのでご了承ください。



国際文化科学研究科

国際文化学専攻修士課程 10名

健康福祉学研究科

健康福祉学専攻博士前期課程 10名

健康福祉学専攻博士後期課程 3名

山口県立大学大学院オープンキャンパス・説明会

国際文化学研究科（修士課程）

健康福祉学研究科（博士前期課程・博士後期課程）

日 時：2018年9月15日（土）13:00～17:00

場 所：山口県立大学北キャンパス2号館（〒753-0021 山口県山口市桜畠6-2-1）

内 容：13:00～13:30 研究科の説明

13:30～14:30 大学院生からコースワークやリサーチワークの報告

14:30～ 個別相談

※希望する場合は、志望分野に対応するため、できるだけ8月末日までにご連絡ください。なお、当日参加も受け付けます。

大学院事務局 TEL: 083-929-6525 E-mail: ypugsa@yamaguchi-pu.ac.jp

展 示：学位論文のポスターや制作作品の展示などもあります

個別相談のご予約ができます！（事前予約がおすすめです）

～ 一人一人の異なる多様なニーズにおこたえます ～

- 学部から進学したい
- 働きながら学びたい
- これまでの人生を一度振り返りたい
- 次のステップを探したい
- 専門的なキャリアアップを目指したい
- 学位を取得し仕事に活かしたい

<先輩からの経験談>

- ・ 特色ある科目で最新の理論と実践について多角的に学べる
両研究科の垣根を越えて学んだり、産官学連携等でネットワークが広がる
- ・ 昼夜開講で学びやすい
隔年で夜間や土日開講科目がある
- ・ 長期履修制度があるからゆっくり・じっくり学べる
- ・ 研究会や学会参加などを通して、地域社会や国内外の研究者や実践家等とつながれる
- ・ 新しいキャンパスで自分の研究スペースをもち、分野・世代・国籍を超えた交流ができる

もっと知りたい方へ：山口県立大学ウェブサイト (<https://www.ypu.jp/>) を検索

（入試情報） 出願期間：2018年11月5日（月）～11月16日（金）

試験日：2018年12月1日（土）

※試験科目その他の詳細については募集要項をご参照ください。

※事前審査が必要な場合があるので、早めに事前にご相談ください。

※追加募集がある場合は、募集期間2019年2月4日（月）～2月15日（金）、

試験日2019年3月2日（土）となります。詳細は募集要項をご覧ください。

おわりに

山口県立大学大学院の設立から 20 年が過ぎ、地域社会に向けて、多くの修了生を輩出することができました。最近では、新聞やニュースなどで修了生の皆様のご活躍を目にすることも多々ございます。それぞれの専門分野、あるいは新しい夢の舞台で、しっかりと実績を積み重ねておられることを、衷心よりお喜び申し上げます。また、大学院をゼロから立ち上げ、教育を実践された諸先生方のご尽力には、畏敬の念を禁じ得ません。皆様方に、厚く御礼申し上げます。

しかしながら大学院の将来について考えた時、大学院を取り巻く環境は、決して穏やかなものではございません。少子化や大学院改革が進む中で、その存在意義が問われる時代となりました。

我々には、皆様が蒔いて下さった「未来への種」がございます。地域とともに 20 年間育んだ、様々な希望や可能性がございます。これらを大切に育みながら、大学院を発展させて行くことが、我々に課せられた使命だと考えております。

これからも、地域の皆様とともに、山口県内の「知の拠点」として、さらに大学院を発展させて行きたいと考えております。今後とも、皆様方のご支援・ご尽力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和元年 9 月 11 日

国際文化学研究科 専攻長 山口 光
健康福祉学研究科 専攻長 弘津公子

地域と共に20年

山口県立大学大学院 活動実績報告書

2019 年 9 月発行

大学院運営会議

753-0021 山口県山口市桜畠 6-2-1

山口県立大学大学院事務室

TEL: 083-929-6525

E-mail: ypugsa@yamaguchi-pu.ac.jp
